COMAND システム

ナビゲーション・電話・オーディオ・テレビ /DVD ビデオ

取扱説明書

Mercedes-Benz

表記と記載内容について

マーク	内容
*	オプションや仕様により異なる装備には * マークが付いています。
	警告 重大事故や命にかかわるけがを未然に防ぐために必ず守っていただきたいことです。
	環境 環境保護のためのアドバイスや守っていただきたいことです。
	注意 けがや事故、車の損傷を未然に防ぐため、必ず守っていただきたいことです。
	知識 知っていると便利なことや、知っておいていただきたいことです。
▶	操作手順などを示しています。
(▷ ページ)	関連する内容が他のページにもあることを示しています。

お客様へ

このたびはメルセデス・ベンツ車お買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、COMAND システムの取り扱い方法、機能を十分に発揮させるための情報などを記載しています。

車および COMAND システムをご使用になる前に、本書を必ずお読みください。

- 取扱説明書は、いつでも読めるように必ず車内に保管してください。
- 装備の違いや仕様の変更などにより、一部の記述やイラスト、画面表示などが、お買い上げいただいた車とは異なることがあります。

  また、装備や操作方法、スイッチの形状などは予告なく変更されることがあります。
- 車両の取り扱いに関しては、別冊の取扱説明書（車両本編）をお読みください。
- 車を次のオーナーにお譲りになる場合は、車と一緒にすべての取扱説明書と整備手帳をお渡しください。
- 表紙の画像はイメージであり、日本仕様とは異なる場合があります。
- 記載している画面は、該当する操作やモードを示す代表例であり、同時に使用するほかのモードや操作などに直接影響のない表示については実際の画面表示と異なることがあります。

  また、同じ理由から COMAND ディスプレイやマルチファンクションディスプレイの表示例を一部記載していないことがあります。
- イラストや画像は、E クラス（セダン）を用いて説明しています。
- 表示されるメッセージは限られた表示領域のため、一部の文字を省略したり、短縮表記のために略記漢字を使用していることがあります。
- ご不明な点は、お買い上げの販売店またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

ℹ メルセデス・ベンツ日本㈱ 公式サイト

http://www.mercedes-benz.co.jp/

メルセデス・ベンツ日本株式会社

さくいん…… 4
安全のために…… 14
はじめに…… 15
システム…… 33
ナビゲーション…… 45
電話…… 149
オーディオ…… 205
テレビ / DVD ビデオ…… 271
音声認識…… 301

ア

アドレス帳 **182**
Bluetooth® 機器からデータを
ダウンロードする 193
PC カードからデータを
ダウンロードする 194
アドレス帳からナビの目的地を
設定する 192
アドレス帳から発信する 190
アドレス帳基本画面 183
アドレス帳の登録データを削除する ‥ 184
アドレス帳の内容 183
アドレス帳を開く 183
位置データを登録する 190
アドレス帳を新規に作成して
位置データを登録する 191
位置データの登録を解除する 192
既存のアドレス帳に位置データを
登録する 191
新規の登録データを作成する 184
登録データの詳細画面 186
アイコンの属性 187
詳細画面を閉じる 188
データの詳細を表示する 188
登録データの内容を変更する 188
電話番号のカテゴリーを変更する ‥ 189

アドレス帳からナビの目的地を
設定する **192**
アドレス帳から目的地を設定する ‥‥ 192

アドレス帳から発信する **190**

アドレス帳基本画面 **183**
アドレス帳の登録データを検索する ‥ 184
アドレス帳の登録データを選択する ‥ 184

アドレス帳検索 **115**

アドレス帳の登録データを削除する ‥‥ **184**
個別に登録データを削除する 184
種別ごとに一時データを削除する ‥‥ 185
すべての登録データを削除する 186

アドレス帳の内容 **183**

アドレス帳を開く **183**
電話の他の画面から開く 183
他のアプリケーションから開く 183

アプリケーションを切り替える **25**

安全上の注意事項 **46**

安全に使用するために **302**

安全のために **14**
本機のお手入れ 14

迂回探索 **90**

エアコンディショナー作動表示 **17**

オーディオ
はじめに 206
オーディオの構成 206

音楽再生（Bluetooth® オーディオ） ‥‥ **242**
Bluetooth® オーディオ基本画面 253
Bluetooth® オーディオプロファイル ‥ 242
Bluetooth® オーディオを開く 252
オーディオの他の音楽ソース、
DVD ビデオから開く 253
オーディオの他の音楽ソースから
開く 252
他のアプリケーションから開く ‥‥ 252
Bluetooth® 機器 242
Bluetooth® 機器を接続する 242
Bluetooth® 機器の Bluetooth® 機能を
オンにする 243
Bluetooth® 機器の詳細情報を
表示する 249
Bluetooth® 機器の認証を解除する ‥ 250
Bluetooth® 機器を認証する 244
COMAND システムの
Bluetooth® 機能をオンにする 242
外部認証 247
自動再接続機能 248
使用する Bluetooth® 機器を
切り替える 250
接続する Bluetooth® 機器を
選択する 251
音量の補正 256
再生の停止 255
再生モード 256
サウンドの調整 257
選曲 254
早送り / 早戻しする 254

音楽再生（ディスク / PC カード）
CD / DVD オーディオ、PC カードを
開く 221

オーディオの他の音楽ソース、DVD ビデオから開く …………………… 222
オーディオの他の音楽ソースから開く …………………………… 222
他のアプリケーションから開く …… 221
ディスクや PC カードを挿入しての再生 …………………………… 221
CD / DVD ディスクの挿入 / 取り出し ………………………… 219
ディスクの挿入 / 取り出し ……… 219
CD / DVD に関する注意 ………… 218
CD / DVD の取り扱いに関する注意 · 218
Gracenote Media Database ™ …… 229
Gracenote ™音楽認識テクノロジーおよび Gracenote Media Database ™を更新する …………………… 230
音楽 CD の情報を変更する ……… 230
再生中の曲情報を表示する ……… 230
MP3 について …………………… 215
記憶メディアのファイル構造 …… 216
再生可能な MP3 フォーマット …… 217
再生可能なサンプリングレート・ビットレート …………………… 217
再生可能なファイルシステム …… 215
その他の再生可能なオーディオデータ ……………… 217
対応メディア …………………… 215
著作権に関する注意 …………… 217
ファイル名およびフォルダ名 …… 216
マルチセッション CD ………… 215
PC カードの挿入 / 取り出し ……… 220
安全に利用するために …………… 214
記憶メディアに関する注意 ……… 214
基本画面 ………………………… 223
DVD オーディオ再生時 ………… 223
MP3 再生時 …………………… 224
グループの選択（DVD オーディオ）· · 229
再生の停止 ……………………… 226
DVD オーディオのとき ………… 226
再生モード ……………………… 227
サウンドの調整 ………………… 231
選曲 ……………………………… 224
選曲する ……………………… 224
トラックリストから選曲する（MP3 再生時）………………… 225
トラックリストから選曲する（音楽 CD / DVD オーディオ再生時）· · · 225
マルチファンクションディスプレイでの選曲 …………………………… 226
早送り / 早戻しする …………… 224
フォルダの選択（MP3）………… 228

音楽再生（ミュージックレジスター）· · · 231

音楽 CD のデータをミュージックレジスターに録音する · · 237
録音先のフォルダを選択する …… 238
録音する ……………………… 237
録音するトラックを選択する …………………………… 239
録音中の画面表示 ……………… 237
録音を再開する ………………… 238
録音を中止する ………………… 238
再生の停止 ……………………… 235
再生モード ……………………… 235
サウンドの調整 ………………… 241
すべての音楽データを削除する …… 240
選曲 ……………………………… 234
選曲する ……………………… 234
トラックリストから選曲する …… 234
マルチファンクションディスプレイでの選曲 …………………………… 234
フォルダ / トラック名を編集する、フォルダ / トラックを削除する …… 241
フォルダの選択 ………………… 236
ミュージックレジスター基本画面 …· 233
ミュージックレジスターを開く
オーディオの他の音楽ソース、DVD ビデオから開く …………… 232
オーディオの他の音楽ソースから開く …………………………… 232
他のアプリケーションから開く …… 232
メモリ容量を表示する …………… 240

音楽再生（メディアインターフェース）· · 257

カテゴリーの選択（iPod® 接続時）· · · 264
アルファベット検索 …………… 265
上の階層へ移動する …………… 266
カテゴリーの絞り込みを解除する · · 266
現在選択されているカテゴリーの曲名リストを表示する ………… 266
ご使用の前に …………………… 257

再生可能なオーディオデータ（USB 機器接続時）……258
再生の停止……261
再生モード……261
曲情報表示（USB 機器接続時）……263
パーティションの選択（USB 機器接続時）……262
サウンドの調整……266
選曲……260
選曲する……260
早送り / 早戻しする……260
フォルダの選択（USB 機器接続時）……263
フォルダ検索……264
メディアインターフェース基本画面……260
メディアインターフェースを開く……258
オーディオの他の音楽ソース、DVD ビデオから開く……259
オーディオの他の音楽ソースから開く……259
他のアプリケーションから開く……258

音声認識機能の設定……36
音声認識機能のヘルプ表示の設定をする……36
トークバックの設定をする……36

音声認識設定
トークバック……305
ヘルプ表示……305

音量の調整……28
オーディオやテレビ /DVD ビデオの音量を調整する……28
通話時の音量を調整する……29
ナビの音声案内の音量を調整する……28

カ

回避エリア……86
回避エリアを削除する……88
回避エリアを修正する……87
回避エリアを設定する……87
回避エリアを登録する……86
すべての回避エリアを削除する……89

外部入力……266
音量の補正……267
外部機器の接続……266
外部入力を開く……266
サウンドの調整……268

各部の名称……22

観光案内からの検索……120

基本機能……302
音声案内の音量を調節する……304
音声認識設定……305
音声認識を使用する……303
発声の注意……304
音声認識を中止する……304
ご使用になる前に……302

携帯電話の接続……151
携帯電話を Bluetooth® で接続する……151

携帯電話を Bluetooth® で接続する……151
COMAND システムの Bluetooth® をオンにする……151
外部認証……156
携帯電話の Bluetooth® をオンにする……152
携帯電話の詳細情報を表示する……157
携帯電話の認証を解除する……157
携帯電話を認証する……152
自動再接続機能……157
使用する携帯電話を切り替える……158

言語の設定……37

国際電話……172
国際プリフィックス番号の設定……172

ご使用の前に……46
安全上の注意事項……46
全画面表示……49
全般的な注意事項……47
地図ソフトの更新……46
地図の縮尺を切り替える……50
地図のスクロール……52
ナビ基本画面……49
ナビ設定……59
ナビを開く……49
入力制限について……46
表示設定……53

ご使用の前に（ナビ）
コンパス表示……60

こんなときは……141
現在地（自車位置）を補正する……144

コンパス表示……60

サ

サウンドの調整 ······ 30
サラウンドを調整する ······ 32
低音と高音を調整する ······ 30
バランスとフェーダーを調整する ······ 31
自局番号を表示する ······ 172
時刻の設定 / 日付・時刻の表示形式の設定 ······ 41
時刻を設定する ······ 41
日付・時刻の表示形式を設定する ······ 42
システム基本画面にする ······ 34
システムの設定 ······ 34
Bluetooth® の設定 ······ 38
COMAND システムのリセット ······ 40
COMAND ディスプレイの設定 ······ 35
COMAND ディスプレイをオフにする ······ 43
音声認識機能の設定 ······ 36
言語の設定 ······ 37
時刻の設定 / 日付・時刻の表示形式の設定 ······ 41
システム基本画面にする ······ 34
パーキングアシストリアビューカメラの設定 ······ 38
平均燃費画面 ······ 43
施設検索 ······ 109
自宅を目的地に設定する ······ 61
自宅の設定を削除する ······ 63
自宅を設定する ······ 62
車内マイクをオフにする ······ 166
住所検索 ······ 113
周辺施設の表示と検索 ······ 66
周辺施設を検索する ······ 66
周辺ランドマーク情報の表示 ······ 69
周辺施設を検索する ······ 66
" 現在地 " を選択したとき ······ 67
" 目的地周辺 " を選択したとき ······ 68
" ルート周辺 " を選択したとき ······ 68
周辺ランドマーク情報の表示 ······ 69
ランドマーク情報を表示する ······ 69
受話音量 / 発話音量を調整する ······ 171
情報メニューの表示 ······ 276
番組情報マーク ······ 277
ステアリングスイッチ ······ 24
全画面表示 ······ 49
全般的な注意事項 ······ 47
GPS 信号の受信 ······ 47
車を輸送した後にルート案内を使用するとき ······ 47
ハードディスクについて ······ 47
全ルート図 ······ 71
地図をスクロールする ······ 77
通過点 ······ 73
ルート条件を変更する ······ 78
ルート情報画面の表示 ······ 75
操作 / 音声コマンド ······ 306
AM、FM ラジオ ······ 309
Bluetooth® オーディオ ······ 311
DVD オーディオ ······ 311
MP3 ······ 311
音楽 CD ······ 311
音声コマンドの訂正 ······ 340
音声認識操作の例 ······ 306
共通操作 ······ 307
施設ジャンルの音声コマンド一覧 ······ 341
数字の読み方（丁目、番地、号）······ 346
数字の読み方（電話番号、郵便番号）······ 346
テレビおよび DVD ビデオ ······ 315
DVD ビデオの音声コマンド ······ 316
テレビの音声コマンド ······ 315
電話 ······ 318
ナビ ······ 320
VICS 表示 ······ 336
自宅（直接検索）······ 321
その他の音声コマンド ······ 338
地図検索 ······ 322
地図の表示画面を変更する ······ 320
通過点を設定する ······ 328
メモリ地点に登録する ······ 336
目的地を設定する ······ 327
ランドマークを表示する ······ 326
ルート案内中の表示切り替え ······ 334
ルート案内の中止 / 再開 ······ 333
ルートを再探索する ······ 330
ヘルプ機能 ······ 340
ミュージックレジスター ······ 311

メディアインターフェース ･････････ 311

タ

地上デジタル放送について
地上デジタル放送化のスケジュール ･･ 273
地上デジタル放送とは？ ････････････ 272
フルセグメント（12 セグメント）地上デジタル放送の受信エリアについて ････ 273

地図 / ETC バージョンの確認 ･････････ 146
地図 / ETC バージョンを確認する ･･･ 146

地図記号 ･････････････････････････ 138
設備マーク ･････････････････････････ 140
地図記号の例 ･･･････････････････････ 138

地図ソフトの更新 ･････････････････････ 46

地図データベースについて ･････････････ 147

地図の縮尺を切り替える ･･･････････････ 50
距離表示と地図縮尺 ･････････････････ 51
地図の距離表示の例 ･････････････････ 51

地図のスクロール ･････････････････････ 52

地図をスクロールする ･････････････････ 77

地点の検索方法 ･････････････････････ 101
アドレス帳検索 ･････････････････････ 115
以前の目的地から検索する ･･･････････ 115
すべての目的地履歴を削除する ･･･ 116
目的地履歴をアドレス帳に保存する ･････････････････････ 116
目的地履歴を削除する ････････････ 116
観光案内からの検索 ･････････････････ 120
施設検索 ･･･････････････････････････ 109
住所検索 ･･･････････････････････････ 113
地図から指定する ･･･････････････････ 101
電話番号検索 ･･･････････････････････ 111
ドライブコースからの検索 ･･･････････ 117
名前検索 ･･･････････････････････････ 102
メモリ地点からの検索 ･･･････････････ 117

着信・発信履歴 ･････････････････････ 167
COMAND ディスプレイに着信・発信履歴を表示する ･････････ 167
マルチファンクションディスプレイに発信履歴を表示する ･･･････････････ 168
履歴項目の詳細を表示する ･･･････････ 169
履歴項目をアドレス帳の登録データとして保存する ･･･････････････････････････ 169
履歴を削除する ･････････････････････ 169

通過点 ･･･････････････････････････････ 73
通過点の位置を変更する ･･･････････････ 74
通過点を削除する ･････････････････････ 75
通過点を設定する ･････････････････････ 73

通話を終える ･･･････････････････････ 165

テレビ ･･･････････････････････････････ 272
B-CAS カード使用許諾契約約款（特別内蔵用カード）･･･････････････ 275
B-CAS カードについて ･････････････ 274
安全に利用するために ･･･････････････ 272
画質・画面の調整 ･･･････････････････ 285
音声設定の切り替え ･････････････ 286
画質の調整 ･････････････････････ 285
画面比率の設定 ･････････････････ 286
基本画面と全画面表示の切り替え ････ 278
サウンドの調整 ･････････････････････ 286
情報メニューの表示 ･････････････････ 276
走行中の映像表示について ･･･････････ 272
地上デジタル放送について ･･･････････ 272
データ放送 ･････････････････････････ 283
データ放送の視聴を終了してテレビ放送に戻る ･･･････････････ 285
データ放送を見る ･･･････････････ 283
データ放送地域の設定 ･･･････････ 283
テレビ 1 とテレビ 2 の切り替え ････ 278
テレビを開く ･･･････････････････････ 276
番組表 ･････････････････････････････ 282
放送局の選局 ･･･････････････････････ 279
チャンネルを入力しての選局 ････ 280
プリセット選局 ･････････････････ 279
マルチファンクションディスプレイでの操作 ･････････････････････････ 280
放送局のプリセット ･････････････････ 281
オートプリセット ･･･････････････ 281
手動プリセット ･････････････････ 281

テレビを開く
DVD ビデオから開く ･････････････････ 276
他のアプリケーションから開く ･･････ 276

テンキーでの入力 ･･･････････････････ 124
数字の入力 ･････････････････････････ 125

ひらがなやカタカナ、
句読点などの入力 125
文字の種類の選択 124

電源のオン / オフ 19
電源をオフにする 20
電源をオンにする 19
バッテリー保護機能 20

電話 150
国際電話 172
ご使用のときに 150
安全上のご注意 150
機能の制限 150
携帯電話の接続方法 150
ご使用の前に 159
電話の他の画面から開く 160
他のアプリケーションから開く 160
自局番号を表示する 172
車内マイクをオフにする 166
受話音量 / 発話音量を調整する 171
着信・発信履歴 167
通話中に他の人からの着信が
あったとき 165
通話を終える 165
電話基本画面 161
電話の着信 164
電話の発信 161
電話を開く 160
プライベートモード 166

電話基本画面 161

電話帳 174
Bluetooth® 機器からデータを
ダウンロードする 181
PC カードからデータを
ダウンロードする 181
新しい電話帳データを作成する 177
一時データと保存データについて 174
一時データを保存データに移行する 179
既存の登録データに電話番号を
追加登録する 178
電話帳画面 175
電話帳画面から電話を発信する 175
電話帳の登録データを削除する 179
電話帳を閉じる 176
登録データの詳細を表示する 176
マルチファンクションディスプレイの
電話帳 176

電話帳画面 175

電話帳画面から電話を発信する 175
複数の電話番号が
登録されているとき 175

電話帳の登録データを削除する 179
個別に登録データを削除する 179
種別ごとに一時データを削除する 180
すべての登録データを削除する 180

電話の着信 164

電話の発信 161
電話帳から発信する 163
電話番号を入力して発信する 161
発信・着信履歴から発信する 162

電話番号検索 111

登録データの検索方法 197

ドライブコースからの検索 117
ドライブコースポイントの情報 119

ナ

ナビ基本画面 49

ナビ設定 59
給油警告 GS 選択 60

ナビの音声案内 85

ナビを開く 49

名前検索 102
検索結果をさらに絞り込む 104
入力文字履歴から検索する 107

入力制限について 46

燃料残量が少なくなったときの表示 65

ハ

パーキングアシストリアビューカメラの設定 38

日付・時刻の表示形式の設定 41

表示設定 53
3D 回転 56
VICS 54

地図に表示するランドマーク（施設）を選択する 57
地図表示切替 53
地図向 55
表示形式 54
ビル情報を表示する 58

ひらがなから漢字への変換 125

プライベートモード 166

平均燃費画面 43

本機のお手入れ 14

マ

マルチファンクションディスプレイ 24

マルチファンクションディスプレイの電話帳 176

ミュート 29
消音する 29
ナビの音声案内の消音を解除する 30
ナビの音声案内を消音する 30
ミュートを解除する 30

メモリ地点 95
メモリ地点リスト 96
メモリ地点を登録する 95

メモリ地点からの検索 117

メモリ地点リスト 96
すべてのメモリ地点を削除する 100
メモリ地点の位置の変更 99
メモリ地点の詳細を表示する 97
メモリ地点の電話番号の変更 98
メモリ地点の並び替え 99
メモリ地点のマークの変更 97
メモリ地点の名称の変更 98
メモリ地点リストを表示する 96
メモリ地点をアドレス帳に登録する 101
メモリ地点を削除する 100

メモリ地点を登録する 95

目的地の設定 61
自宅を目的地に設定する 61
燃料残量が少なくなったときの表示 65
目的地を削除する 65
目的地を設定する 63
目的地の設定をする前に 61

目的地を削除する 65

目的地を設定する 63
地図から設定する 63
地点検索などで設定する 63
目的地が水上の場合 64
目的地付近に高速道路や有料道路、橋、トンネルが存在する場合 64

文字の入力方法（オーディオ） 268
コントローラーでの入力 268
ひらがなとカタカナの入力 269
文字の種類の選択 268
文字の入力 269
文字を削除する 269
テンキーでの入力 269
数字の入力 269
ひらがなやカタカナ、句読点などの入力 269
文字の種類の選択 269
ひらがなから漢字への変換

文字の入力方法（電話 / 情報） 195
コントローラーでの入力 195
ひらがなとカタカナの入力 195
文字の種類の選択 195
文字の入力 195
テンキーでの入力 196
数字の入力 196
ひらがなやカタカナ、句読点などの入力 196
文字の種類の選択 196
ひらがなから漢字への変換 197

文字の入力方法（ナビ） 123
COMAND コントロールパネルのテンキーでの入力 124
コントローラーでの入力 123
ひらがなとカタカナの入力 124
文字の種類の選択 123
文字の入力 124
文字を削除する 124
ひらがなから漢字への変換 125

ヤ

郵便番号検索 112

ラ

ラジオ ······ **206**
FM1 と FM2、AM1 と AM2 を切り替える ······ 208
FM ラジオ / AM ラジオを開く ······ 207
オーディオの他の音楽ソースから開く ······ 207
他のアプリケーションから開く ······ 207
アンテナについて ······ 207
交通情報（AM ラジオ） ······ 213
サウンドの調整 ······ 213
プリセット ······ 212
オートプリセット ······ 212
手動プリセット ······ 212
放送局の選局 ······ 209
自動選局 ······ 209
周波数を入力しての手動選局 ······ 211
手動選局 ······ 209
プリセット選局 ······ 209
マルチファンクションディスプレイでの操作 ······ 210
放送局名表示 ······ 207
ラジオ基本画面 ······ 208
ラジオ電波受信についての注意 ······ 206

ルート案内 ······ **79**
迂回探索 ······ 90
回避エリア ······ 86
全ルート図を表示する ······ 93
立ち寄り地点を設定する ······ 91
登録道路外および地図外の場所 ······ 84
地図に登録されていない場所から目的地までのルート案内 ······ 84
地図に登録されていない目的地までのルート案内 ······ 84
ナビの音声案内 ······ 85
別画面の案内図 ······ 80
警告地点表示 ······ 83
交差（分岐）点表示 ······ 82
交差点拡大図 ······ 80
高速案内図 ······ 81
高速道路分岐案内図 ······ 80
車線案内 ······ 82
都市高 3D 図 ······ 81
分岐点案内図 ······ 81
マルチファンクションディスプレイの表示 ······ 83
別ルート ······ 93
目的地情報を表示する ······ 94
地点情報と地点名を切り替える ······ 95
ルート情報を表示する ······ 95
目的地または目的地周辺の地域 ······ 84
ルート案内を再開する ······ 89
ルート案内を中止する ······ 89
ルート案内を利用する前に ······ 79
ルート情報を表示する ······ 94
ルートを再探索する ······ 92

ルート案内を再開する ······ **89**

ルート案内を中止する ······ **89**

ルート条件を変更する
全ルート図からルート条件を変更する ······ 78
ルート案内中にルート条件を変更する ······ 78

ルート情報画面の表示 ······ **75**
ルート情報画面の縮尺を変更する ······ 76
ルートのプレビューをする ······ 77
ルートリストを表示する ······ 76

ルート情報を表示する ······ **94**

ルートを再探索する ······ **92**

B

B-CAS カードについて
B-CAS カード使用上の注意 ······ 274

Bluetooth® 機器からデータをダウンロードする ······ **181、193**

Bluetooth® の設定 ······ **38**
Bluetooth® とは ······ 38
COMAND システムの Bluetooth® のオン / オフを切り替える ······ 39

C

COMAND コントローラー ······ **23**
クリアスイッチ ······ 24
コントローラー ······ 23
リターンスイッチ ······ 24

COMAND コントロールパネル ······ **22**
各部の名称 ······ 22

COMAND システムとは ······ **16**

COMAND システムの
アプリケーション··················· 16
COMAND システムの構成 ············ 18
エアコンディショナー作動表示······· 17
電源のオン / オフ ··················· 19
COMAND システムのアプリケーション· 16
各アプリケーションの主な機能······· 17
COMAND システムの基本機能·········· 28
音量の調整························· 28
サウンドの調整····················· 30
ミュート··························· 29
COMAND システムの基本操作·········· 25
FM ラジオでの基本操作の例 ·········· 26
アプリケーションを切り替える······· 25
COMAND システムの構成·············· 18
ステアリングスイッチ··············· 19
COMAND システムのリセット·········· 40
COMAND ディスプレイ················ 21
COMAND ディスプレイの手入れ ······ 21
COMAND ディスプレイの表示 ········ 21
COMAND ディスプレイの設定·········· 35
COMAND ディスプレイの色調を
設定する··························· 35
COMAND ディスプレイの照度を
調整する··························· 35
COMAND ディスプレイの手入れ······· 21
COMAND ディスプレイの表示·········· 21
COMAND ディスプレイをオフにする··· 43

D

DVD ビデオ························287
DVD ディスクに関する注意 ········· 287
DVD ディスクの挿入 / 取り出し ···· 289
ディスクを挿入する··············· 289
ディスクを取り出す··············· 289
DVD ビデオの再生規格 ············· 288
DVD ビデオを開く ················· 290
音楽再生（PC カード、ミュージックレジスター、Bluetooth® オーディオ、メディアインターフェース）から開く 290
他のアプリケーションから開く···· 290
DVD メニュー ····················· 294
DVD メニューから項目を選択する · 295
DVD メニューを表示させる ······· 294
再生を再開する··················· 296
再生を停止する、前 / 次のチャプターを再生する······················· 295
1 つ上の階層の DVD メニューに
戻る···························· 296
安全に利用するために··············· 287
インタラクティブコンテンツ········ 299
音声言語および字幕言語を設定する·· 297
画質・画面の調整·················· 293
画質の調整······················· 293
画面比率の設定··················· 294
機能の制限························ 288
基本画面と全画面表示の切り替え···· 291
決められた場面に移動する·········· 298
再生の停止························ 293
サウンドの調整···················· 299
サブタイトルとカメラアングル······ 297
情報メニューの表示················ 291
走行中の映像表示について·········· 287
タイトルを選択する················ 298
ディスクの取り扱いに関する注意···· 288
早送り / 早戻し ··················· 292
マルチファンクションディスプレイでの
操作···························· 292

E

ETC·······························145
ETC の設定 ······················· 145
ETC 履歴 ························· 146
ETC の設定 ·······················145
ETC 割込表示画面 ················· 145
ETC 履歴 ·························146

F

FM VICS 放送局を選局する ··········134
自動選局·························· 134
受信エリアを選択して受信·········· 135
放送局をサーチする················ 134
FM 多重放送·······················200
FM 多重放送を開く ················ 201
番組を表示する···················· 202

放送局をサーチして選局する ･･･････ 201
FM ラジオでの基本操作の例 ･･･････････ 26
受信バンドを FM1 から FM2 に切り替える ･･････････････････････ 27
プリセットされた放送局を選局する ･･･ 27
他のアプリケーションから FM ラジオを開く ･･････････････････････････････ 26

P

PC カードからデータをダウンロードする ･･･････････････ 181、194

V

VICS ･･･････････････････････････････ 126
FM VICS 放送局を選局する ･････････ 134
VICS 情報の取得方法 ･･････････････ 127
VICS 情報の表示形式 ･･････････････ 128
VICS とは？ ････････････････････ 126
VICS の設定 ････････････････････ 135
VICS マーク ････････････････････ 136
図形情報を表示する ･･･････････････ 130
地図上に VICS 情報を表示する ･･････ 131
地図上の VICS 情報マークの詳細情報を表示する ･･････････････････････ 132
注意警戒情報を表示する ････････････ 133
文字情報を表示する ･･･････････････ 129
VICS 情報の取得方法 ････････････････ 127
FM 多重放送 ･････････････････････ 127
電波ビーコン ････････････････････ 127
光ビーコン ･･････････････････････ 128
VICS 情報の表示形式 ････････････････ 128
VICS の設定 ･･･････････････････････ 135
VICS マーク ･･･････････････････････ 136
事象規制マーク ･･･････････････････ 137
渋滞・混雑情報 ･･･････････････････ 136
駐車場に関する情報 ････････････････ 137

安全のために

⚠ 事故のおそれがあります

- どのような交通状況においても、常に車両を安全にコントロールできるように注意してください。
- 車両が 50km/h で走行しているときは、1 秒間に約 14m も走行してしまうということを常に念頭において走行してください。
- 走行中に COMAND ディスプレイを 1 秒以上注視しないでください。
- COMAND システムの操作は、できるだけ走行中を避け、安全な場所に停車して操作してください。

- ナビゲーションのルート案内はあくまでも走行の参考として地図と音声で案内するものです。精度や地図データの情報により不適切な案内をすることがあります。

  案内ルートを走行するときは、必ず実際の交通規制（一方通行など）に従ってください。
- 運転者は、走行中に自動車電話や携帯電話を使用しないでください。道路交通法違反になります。

  なお、ハンズフリー機能は使用できますが、注意力が散漫になり事故の原因になります。安全な場所に停車してから使用してください。
- オーディオなどの音量が大きすぎると、安全運転のさまたげになります。適切な音量に調整してください。
- COMAND ディスプレイが表示されない、音が聞こえないなど、異常を感じたときや、本体に飲み物などがかかったりしたとき、本体に強い衝撃を与えたときは、ただちに COMAND システムをオフにして使用を中止してください。

  そのまま使用すると感電事故や火災の原因になります。すみやかにメルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。
- COMAND システム本体、および関連構成部品などを分解したり、改造したりしないでください。故障や感電事故、火災の原因になります。
- 純正アクセサリー以外の電装品（たとえば、盗難防止装置、オーディオ、後席テレビなど）を取り付けるときは、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場に相談してください。

  また、純正アクセサリー以外の電装品を取り付けると、電磁波障害やノイズ発生などの原因になります。特にラジオやテレビ、電話、ナビゲーションの使用時に予期せぬトラブルを生じるおそれがあります。

本機のお手入れ

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。
- ベンジン・シンナー類を使用するとケースや塗装が変質しますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんを使用する場合は、変色・変質の原因となりますので、使用上の注意をよく読み、必ずお守りください。

COMAND システムとは………… 16
COMAND ディスプレイ………… 21
COMAND コントロールパネル… 22
COMAND コントローラー……… 23
マルチファンクションディスプレイ／
ステアリングスイッチ…………… 24
COMAND システムの基本操作… 25
COMAND システムの基本機能… 28

COMAND システムとは

COMAND システムは、オーディオやナビゲーションシステム、電話などの各機能を一体にした、ドライバーと車両の総合的なコミュニケーションシステムです。

有効な情報を、画面表示や音声によって効率よくドライバーに伝えます。

COMAND システムのアプリケーション

① アプリケーションエリア
② ナビ
③ オーディオ
④ 電話
⑤ TV/ 映像
⑥ ｼｽﾃﾑ

COMAND システムは、以下のアプリケーションから構成されています。

" ナビ "

" オーディオ "

" 電話 "

"TV/ 映像 "

" システム "

各アプリケーションはアプリケーションエリア①から選択できます。

また、COMAND コントロールパネルの選択ボタンを押すことでも選択できます。

ℹ COMAND コントロールパネルの ボタンを押すと、" 電話 " が選択されます。

ℹ COMAND システムにはラストモードがあります。例えば、FM ラジオを聞いているときに、テレビを選択し、その後アプリケーションをオーディオにすると、オーディオで最後に選択していた FM ラジオが選択されます。

各アプリケーションの主な機能

ナビ (▷45 ページ)	• ナビメニュー • 自宅 • 図形情報 • 案内中止 / 案内再開 • コンパス
オーディオ (▷205 ページ)	• FM ラジオ、AM ラジオ • ディスク（音楽 CD、DVD オーディオ、MP3 を記録した CD または DVD） • メモリーカード（MP3 を記録した PC カード） • ミュージックレジスター • Bluetooth® オーディオ • メディアインターフェース • 外部入力
電話 (▷149 ページ)	• 電話 • アドレス帳 • FM 多重放送
TV / 映像 (▷271 ページ)	• テレビ • DVD ビデオ
システム (▷33 ページ)	• システム • 日時設定 • 画面 OFF

エアコンディショナー作動表示

内気循環スイッチやリアデフォッガースイッチ、オフスイッチ以外のエアコンディショナーのスイッチを操作したときに、COMAND ディスプレイ下部に、エアコンディショナーの主な作動内容が数秒間表示されます。

エアコンディショナー作動表示を消す

▶ COMAND コントローラーを操作します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの C ボタンまたはコントローラー右側の C スイッチ、コントローラー左側の ↩ スイッチを押します。

COMAND システムの構成

E クラス

①	COMAND ディスプレイ	▷21 ページ
②	COMAND コントロールパネル	▷22 ページ
③	COMAND コントローラー リターンスイッチ（左側） クリアスイッチ（右側）	▷23 ページ ▷24 ページ ▷24 ページ

⚠ けがのおそれがあります

COMAND システムはクラス 1 のレーザー製品です。以下のことに注意してください。目に見えないレーザー光線が外部に照射されるおそれがあります。

- COMAND システム本体、および関連構成部品などを分解したり、改造しないでください。
- センターコンソールのカバーを取り外さないでください。
- センターコンソールのカバーが損傷しているときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で修理を行なってください。
- 点検や修理作業は必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

ステアリングスイッチ

E クラス

④	ステアリングスイッチ	▷24 ページ
⑤	マルチファンクションディスプレイ	別冊の取扱説明書（車両本編）参照

電源のオン / オフ

電源をオンにする

E クラス
① オン / オフスイッチ

▶ COMAND コントロールパネルのオン / オフスイッチ①を押します。

警告メッセージが表示された後、前回オフにしたときのアプリケーション画面が表示されます。

ℹ 警告メッセージが日本語で表示されているときにコントローラーを押すと、警告メッセージは英語表記になります。

電源をオフにする

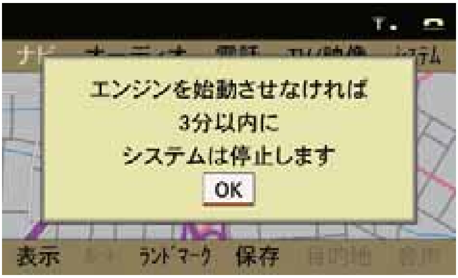
▶ COMAND コントロールパネルのオン / オフスイッチ①を押します。

! バッテリー保護のため、COMAND システムを使用するときはエンジンを始動してください。

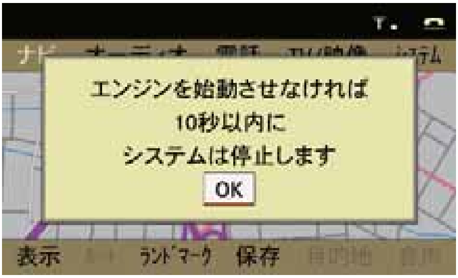
バッテリー保護機能

バッテリー電圧が低下したり、エンジンを始動せずに約 27 分以上 COMAND システムを使用すると、下記の画面が表示されます。

このときは、エンジンを始動してください。約 3 分以内にエンジンを始動しないと、自動的に電源がオフになります。



それでもエンジンを始動しないときは、以下のメッセージが表示され、自動的にオフになります。



i これらのメッセージ画面が表示されたときは、COMAND システムをオフにするだけでなく、バッテリーあがりを防止するためエンジンを始動してバッテリーを充電してください。

COMAND ディスプレイ

COMAND ディスプレイの表示

選択したアプリケーションとそれに関連するメニューがディスプレイに表示されます。

ディスプレイは 4 つのエリアに分かれています。

例えば、FM ラジオ基本画面は次のように表示されます。

① ステータスエリア
② アプリケーションエリア
③ メインエリア
④ サブメニューエリア

ℹ 選択されているエリアは明るく表示されます。ただし、ステータスエリアは選択できません。

ステータスエリア

時刻、ミュート（消音）時のインジケーター、接続されている携帯電話の電波状況および電話モードの状態などが表示されます。

アプリケーションエリア

COMAND システムの各アプリケーションが表示されます。このエリアから各アプリケーションの選択および各アプリケーションに応じたメニューをコントローラーで選択します。

メインエリア

選択したアプリケーションに応じた画面が表示されます。

サブメニューエリア

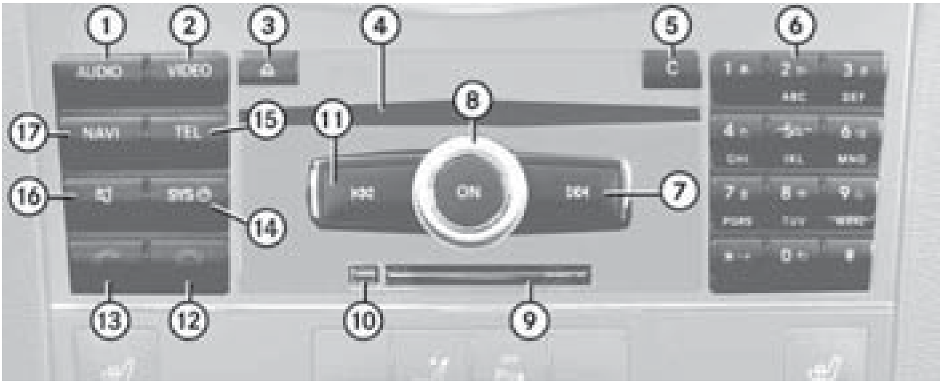
選択したアプリケーションに応じた設定項目が表示されます。

COMAND ディスプレイの手入れ

COMAND ディスプレイが汚れたときは、薄めた中性洗剤を含ませた不織布でふき取ってください。

! COMAND ディスプレイに直接触れないでください。ディスプレイの液晶部はとてもデリケートなため、損傷するおそれがあります。

COMAND コントロールパネル



E クラス

各部の名称

①オーディオ選択ボタン

オーディオを選択するときに使用します。

②TV / 映像選択ボタン

TV / 映像を選択するときに使用します。

③ディスク排出ボタン

CD / DVD を取り出すときに使用します。

④ディスクスロット

CD / DVD を挿入します。

⑤クリアボタン

入力した数字や文字を削除するときに使用します。

⑥テンキー

電話番号や文字の入力、放送局のプリセット選局などに使用します。

⑦早送りボタン

曲の早送りや次のトラックの選択、放送局の選局などに使用します。

⑧オン / オフスイッチ

COMAND システムの電源をオン / オフするときに使用します。

⑧音量調整ダイヤル

音量を調整するときに使用します。

⑨PC カードスロット

PC カードを読み込むときに使用します。

⑩PC カード排出ボタン

PC カードを取り出すときに使用します。

⑪早戻しボタン

曲の早戻しや前のトラックの選択、放送局の選局などに使用します。

⑫ 通話終了ボタン

通話を終えるときや応答を保留するときなどに使用します。

⑬ 通話開始ボタン

着信した電話を受けるときや電話を発信するときなどに使用します。

⑭ システム選択ボタン

システムを選択するときに使用します。

⑮ 電話選択ボタン

電話を選択するときに使用します。

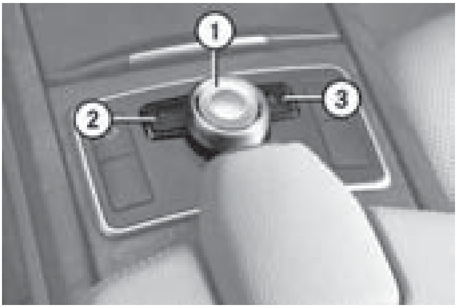
⑯ ミュートボタン

音声を消音するときなどに使用します。

⑰ ナビ選択ボタン

ナビを選択するときに使用します。

COMAND コントローラー



E クラス
① コントローラー
② リターンスイッチ
③ クリアスイッチ

コントローラー

コントローラー①により、COMAND システムの様々な機能を操作したり、設定することができます。

コントローラーは以下のように操作できます。

- 押す
- まわす
- 左右にスライドする
- 上下にスライドする
- 上下左右斜めにスライドする

リターンスイッチ

各アプリケーションのメニュー画面を消去する / 1 つ前の画面に戻る

▶ リターンスイッチ②を押します。

ℹ コントローラーを左右にスライドすることにより、メニュー画面を消去することもできます。

各アプリケーションの基本画面に戻る

▶ 基本画面に戻るまでリターンスイッチ②を押すか、押して保持します。

ℹ ナビ、TV/ 映像のときは全画面表示になります。

クリアスイッチ

1 文字だけ削除する

▶ クリアスイッチ③を押します。

入力した文字全体を削除する

▶ クリアスイッチ③を押して保持します。

マルチファンクションディスプレイ / ステアリングスイッチ

E クラス

	機能
①	マルチファンクションディスプレイ
②	+ 音量調整スイッチ（上げる）（▷28 ページ）
	− 音量調整スイッチ（下げる）（▷28 ページ）
	ミュートスイッチ（▷29 ページ）
	通話開始スイッチ（▷163 ページ～）
	通話終了スイッチ（▷163 ページ～）
③	音声認識スイッチ（▷303 ページ）
④	リターンスイッチ / 音声認識解除スイッチ

	機能
⑤	スクロールスイッチ ▲ 上に移動 / スクロール ▼ 下に移動 / スクロール メニュー選択スイッチ ▶ 右に移動 ◀ 左に移動 OK 選択を確定

COMAND システムの基本操作

COMAND システムでは、画面に表示される項目をコントローラーで操作して選択・決定することにより、ほとんどの操作を行なうことができます。

コントローラーによる操作は以下のように行ないます。

アプリケーションを切り替える

▶ コントローラーを上にスライドして、アプリケーションエリア①を選択します。

① アプリケーションエリア

ℹ 選択されているエリアは明るく表示されます。

▶ コントローラーをまわすか、左右にスライドして、希望のアプリケーションを選択します。

▶ コントローラーを押します。

選択した機能の画面が表示されます。

FM ラジオでの基本操作の例

他のアプリケーションから FM ラジオを開く

▶ コントローラーを上にスライドして、アプリケーションエリアを選択します。

▶ コントローラーをまわすか、左右にスライドして " オーディオ " を選択し、コントローラーを押します。

前回開いていた音楽ソースが FM ラジオのときは、FM ラジオが開きます。

前回開いていた音楽ソースが FM ラジオ以外のとき

▶ 再度アプリケーションエリアで"オーディオ " を選択し、コントローラーを押します。

現在選択されている項目（例：ディスク）の左側には "•" が表示されています。

▶ コントローラーをまわすか、上にスライドして "FM" を選択し、コントローラーを押します。

FM ラジオが開きます。

受信バンドを FM1 から FM2 に切り替える

▶ FM ラジオのとき、コントローラーを下にスライドして、サブメニューエリアを選択します。

▶ コントローラーをまわすか、左にスライドして、"FM1" を選択します。

現在選択されている項目（例：FM1）の左側には "•" が表示されています。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、"FM2" を選択します。

受信バンドが FM2 に切り替わります。

プリセットされた放送局を選局する

▶ サブメニューエリアで " プリセット " を選択します。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、受信したい放送局を選択します。

選択した放送局に選局され、FM ラジオ画面に戻ります。

放送局を選局しないで元の画面に戻るとき

▶ コントローラーを左右にスライドするか、コントローラー左側の [↩] スイッチを押します。

ℹ COMAND コントロールパネルのテンキーでプリセット番号の放送局を選択できます。

COMAND システムの基本機能

音量の調整

オーディオの音量、ナビの音声案内の音量、電話の通話音量などを調整できます。

オーディオやテレビ /DVD ビデオの音量を調整する

▶ COMAND コントロールパネルの音量調整ダイヤルをまわします。またはステアリングの [+] または [−] スイッチを押します。

ナビの音声案内の音量を調整する

ナビの音声案内の音量は、音声案内が行なわれている間に調整することができます。

▶ 音声案内が行なわれている間に COMAND コントロールパネルの音量調整ダイヤルをまわします。またはステアリングの [+] または [−] スイッチを押します。

ℹ 音声案内中に、一定の範囲を超えて音量を小さくまたは大きくしたときでも、次に行なわれる音声案内は、一定の範囲内の音量で行なわれます。

通話時の音量を調整する

ハンズフリー使用時の音量は、通話中に調整することができます。

▶ COMAND コントロールパネルの音量調整ダイヤルをまわします。またはステアリングの [+] または [−] スイッチを押します。

> ⚠ **事故のおそれがあります**
>
> ステアリングスイッチは、直進時で周囲の交通状況が安全なときにだけ操作してください。ステアリングの操作中にスイッチを操作すると、スイッチ操作に気をとられて事故を起こすおそれがあります。

ミュート

オーディオの音量またはナビの音声案内を消音する機能です。

① ミュートマーク

ℹ オーディオなどを消音しているときでも、ナビの音声案内は行なわれます。

CD やメモリーカード、ミュージックレジスターなどを再生しているときは、一時停止します。

CD 録音中は、音はミュートになりますが再生を続け、録音は継続されます。

消音する

▶ COMAND コントロールパネルの [🔇] ボタンまたはステアリングの 🔇 スイッチを押します。

オーディオまたはテレビ、DVD ビデオの音が消音されます。

ℹ 消音されているときは、ステータスエリアに [🔇] マークが表示されます。

ミュートを解除する

▶ 再度、COMAND コントロールパネルの [🔇] ボタンまたはステアリングの 🔇 スイッチを押します。

ミュートが解除されます。

ℹ 消音しているときに音量を調整したり、オーディオまたはビデオの再生ソースを切り替えると、ミュートは解除されます。

ナビの音声案内を消音する

▶ 音声案内の途中で、COMAND コントロールパネルの [🔇] ボタンまたはステアリングの 🔇 スイッチを押します。

ℹ 消音しているときにルート案内を再度開始したとき、または COMAND システムの電源をオン / オフすると、音声案内のミュート機能は自動的に解除されます。

ℹ アプリケーションがオーディオや TV / 映像などのときに電話がかかってきたり通話を開始すると、自動的にミュートになり、ナビの音声案内も消音されます。通話を終えると元に戻ります。

ナビの音声案内の消音を解除する

▶ サブメニューエリアで " 音声 " を選択します。

サウンドの調整

" オーディオ " および "TV 映像 " では、各ソースごとにサウンドの設定ができます。

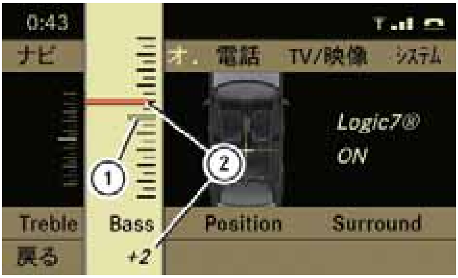
低音と高音を調整する

▶ それぞれのソース画面が表示されているときに、コントローラーを下にスライドして、" ｻｳﾝﾄﾞ " を選択します。

▶ "Treble" または "Bass" を選択します。

高音を調整するときは "Treble"、低音を調整するときは "Bass" を選択します。

調整スケールが表示されます。



低音調整画面
① 前回選択していた設定レベル
② 現在選択している設定レベル

ⓘ 前回選択していた設定レベル①は細い黒フチで表示されます。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、希望する高音または低音の設定に調整します。

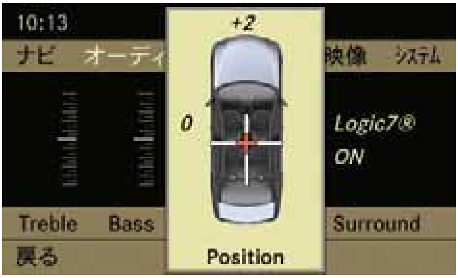
バランスとフェーダーを調整する

バランスを調整することにより、運転席側または助手席側のどちらかの音量をより大きくすることができます。

フェーダーを調整することにより、フロントまたはリアのどちらかの音量をより大きくすることができます。

▶ それぞれのソース画面が表示されているときに、コントローラーを下にスライドします。

▶ " サウンド " → "Position" を選択します。



① 現在の設定

▶ コントローラーを左右にスライドするか、上下にスライドします。

" ✚ " が移動し、バランス / フェーダーが調整されます。

サラウンドを調整する *

▶ それぞれのソース画面が表示されているときに、コントローラーを下にスライドします。

▶ " サウンド " → "Surround" を選択します。

現在選択されている項目の左側には " • " が表示されています。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、"Logic7®ON" または "Logic7®OFF" を選択します。

"Logic7®ON"

サラウンドがオンになります。

"Logic7®OFF"

サラウンドがオフになります。

ℹ AM ラジオのときは、サラウンドの調整はできません。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

システムの設定……………………… 34

システムの設定

以下の項目の設定ができます。

" 画面設定 "

ディスプレイの照度と色調を設定できます。

" 音声認識設定 "

音声認識機能の設定ができます。

" 言語 / Language"

COMAND システムとマルチファンクションディスプレイの言語を日本語 / 英語に切り替えます。

同時にナビの音声案内や音声認識コマンドを日本語 / 英語に切り替えます。

" リアビューカメラ "

パーキングアシストリアビューカメラの設定ができます。

"Bluetooth ON"

Bluetooth® 機能のオン / オフの切り替えができます。

" リセット "

COMAND システムを出荷時の設定にリセットできます。

ⓘ 車をお譲りになるときには、出荷時の設定にリセットしてください。

" 日時設定 " または " 日時 "

時刻の設定および日付・時刻の表示形式の設定ができます。

" 燃費 "*

平均燃費を表示できます。

システム基本画面にする

▶ COMAND コントロールパネルの SYS ボタンを押します。

または

▶ アプリケーションエリアの " システム " を選択します。

システム基本画面になります。

* 車種や仕様、オプションにより、異なる装備です。

COMAND ディスプレイの設定

COMAND ディスプレイの照度を調整する

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " システム " または " ｼｽﾃﾑ設定 " を選択します。

▶ " 画面設定 " → " 明るさ " を選択します。

照度のスケールが表示されます。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドします。

指針が上下に移動します。

▶ コントローラーを押すか、左右にスライドします。

照度が設定されます。

COMAND ディスプレイの色調を設定する

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " システム " または " ｼｽﾃﾑ設定 " を選択します。

▶ " 画面設定 " を選択します。

現在設定されている色調の左側の " ○ " の中には " • " が表示されています。

" 昼画面設定 "

車両周囲の明るさにかかわらず、昼画面に設定されます。

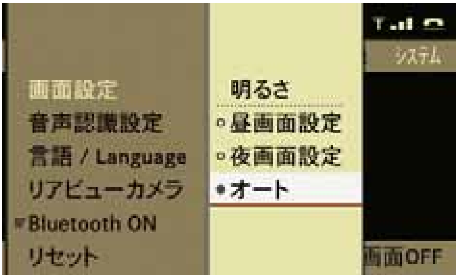
" 夜画面設定 "

車両周囲の明るさにかかわらず、夜画面に設定されます。

" オート "

車両周囲の明るさに応じて、昼画面と夜画面に切り替わります。

▶ 希望の色調を選択して、コントローラーを押します。



システム

音声認識機能の設定

音声認識機能のヘルプ表示の設定をする

音声認識をオンにしたときに、ヘルプ画面（▷305 ページ）を表示できます。

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " システム " または " ｼｽﾃﾑ設定 " を選択します。

▶ " 音声認識設定 " → " ヘルプ表示 " を選択します。

コントローラーを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

トークバックの設定をする

音声コマンドを発声したときに、発声した音声コマンドを再び発声させることができます。

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " システム " を選択します。

▶ " 音声認識設定 " → " トークバック " を選択します。

コントローラーを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

ℹ 音声認識について、詳しくは（▷301 ページ〜）をご覧ください。

言語の設定

COMAND システムとマルチファンクションディスプレイの言語を設定できます。

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " システム " または " ｼｽﾃﾑ設定 " を選択します。

▶ " 言語 /Language" を選択します。

▶ 言語を選択します。

現在選択されている言語の左側には " • " が表示されています。

" 日本語 "

言語設定が日本語になります。

"English"

言語設定が英語になります。

▶ コントローラーを押します。

言語が設定されます。

ⓘ 言語を変更すると、音声認識の言語も同様に変更されます。

ナビの地名表示は英語になりません。

パーキングアシストリアビューカメラの設定

パーキングアシストリアビューカメラは、車の後方の映像と音声により、車庫入れや縦列駐車などを補助するシステムです。

パーキングアシストリアビューカメラの設定や操作方法については、別冊の取扱説明書（車両本編）をお読みください。

Bluetooth® の設定

Bluetooth® とは

Bluetooth® とは、携帯電話や周辺機器、ハンズフリー対応機器などとの間を無線で接続し、ケーブルで接続することなくデータをやりとりする通信技術です。

ℹ Bluetooth® 対応機器であっても、COMAND システムに接続できなかったり、電話帳データをダウンロードできない場合があります。

ℹ ハンズフリーに対応していない携帯電話は COMAND システムに登録できません。また、そのような携帯電話では、DUN、OPP のみのサービスは利用できません。

ℹ 接続する携帯電話により、操作方法や音量が異なることがあります。

ℹ Bluetooth® 対応機器を COMAND システムに近付けて使用しないでください。音質が劣化したり、接続状況が悪化することがあります。

ℹ Bluetooth® 対応機器と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすおそれがあります。

ℹ Bluetooth® 接続をすることにより、Bluetooth® 対応機器の電池は早く消耗します。

ℹ Bluetooth® 対応機器は、2.4GHz の周波数帯を使用して無線通信を行なっています。この周波数帯はさまざまな機器が共有しているため、場合によっては他の機器からの影響により、通信速度や通信距離が低下したり、通信が切断することがあります。

ℹ 通信機器間の距離や障害物、電波状況、Bluetooth® 対応機器により、通信速度や通信距離は異なります。

COMAND システムに Bluetooth® 接続する携帯電話は、以下の仕様に適合している必要があります。ただし、携帯電話の機種により、一部の機能が制限される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- Bluetooth® Specification Ver.1.1（Ver.1.2 以上を推奨）

対応プロファイル

- OPP（Object Push Profile）Ver.1.1
- DUN（Dial-up Networking Profile）Ver.1.1
- HFP（Hands-Free Profile）Ver.1.0

ℹ COMAND システムに接続できる Bluetooth® オーディオ機器については（▷242 ページ）をご覧ください。

Bluetooth® は、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。

Bluetooth®

Bluetooth® ワールドマークとロゴは、Bluetooth SIG の所有です。

ℹ 本機は、電波法に基づく特定無線設備の工事設計の認証を取得しています。

COMAND システムの Bluetooth® のオン / オフを切り替える

オーディオ機器や携帯電話の Bluetooth® 接続（▷151、242 ページ）は、COMAND システムの Bluetooth® がオンのときに行なえます。

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " システム " または " ｼｽﾃﾑ設定 " を選択します。

▶ "Bluetooth ON" を選択します。

コントローラーを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

COMAND システムのリセット

ℹ COMAND システムの設定内容を、工場出荷時の状態に戻すことができます。

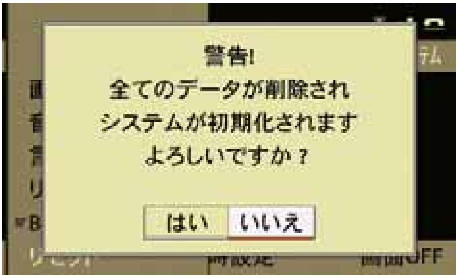
COMAND システムをリセットすると、すべての設定データ（例：放送局のプリセット内容、ミュージックレジスターの録音データ、アドレス帳の登録内容、ナビの設定など）が削除されます。

車をお譲りになる場合には、リセットを行なってください。

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " システム " または " ｼｽﾃﾑ設定 " を選択します。

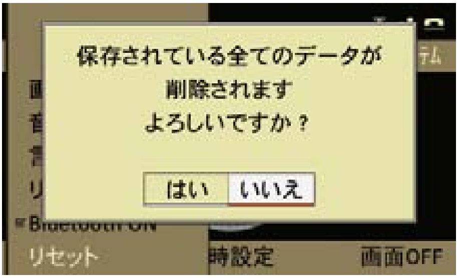
▶ " リセット " を選択します。

リセットの確認画面が表示されます。



▶ " はい " を選択します。

リセットの確認画面が再度表示されます。



▶ " はい " を選択します。

COMAND システムがリセットされ、再起動します。

ℹ " いいえ " を押すと、システム設定画面に戻ります。

時刻の設定 / 日付・時刻の表示形式の設定

時刻を設定する

ⓘ 通常では時刻の設定は必要ありません。

ナビの以下の機能を正しく作動させるためには時刻を正しく設定する必要があります。

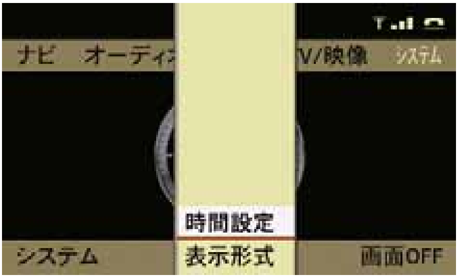
- 時間に応じた交通規制がある経路を含むルート案内
- 推定到着時刻の算出

▶ イグニッション位置を **1** か **2** にします。

ⓘ イグニッション位置が **0** のときは時刻を設定できません。

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " システム " を選択します。

▶ " 日時設定 " または " 日時 " → " 時間設定 " を選択します。



▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドします。

時刻が 30 分単位で変更されます。

▶ コントローラーを押します。

時刻が設定されます。

日付・時刻の表示形式を設定する

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " システム " を選択します。

▶ " 日時設定 " → " 表示形式 " を選択します。

▶ 日付の表示形式を選択します。

現在設定されている日付の表示形式の左側の " ○ " の中には " • " が表示されています。

"DD.MM.YY"

" 日 . 月 . 年（西暦の末尾 2 桁）" で表示されます。

"MM/DD/YYYY"

" 月 / 日　/ 年（西暦）" で表示されます。

"YY/MM/DD"

" 年（西暦の末尾 2 桁）/ 月 / 日 " で表示されます。

▶ コントローラーを押します。

日付の表示形式が設定されます。

▶ 時刻の表示形式を選択します。

現在設定されている時刻の表示形式の左側の " ○ " の中には、" • " が表示されています。

"HH:MM (24 H)"

24 時間表示になります。

"HH:MM (AM/PM)"

12 時間表示になります。

▶ コントローラーを押します。

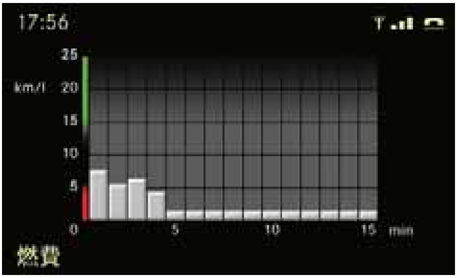
時刻の表示形式が設定されます。

平均燃費画面 *

過去 15 分間の平均燃費を表示できます。

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " 燃費 " を選択します。

平均燃費画面が表示されます。



COMAND ディスプレイをオフにする

COMAND ディスプレイをオフにできます。

▶ システム基本画面のサブメニューエリアで " 画面 OFF" または " 画面ｵﾌ " を選択します。

COMAND ディスプレイがオフになります。

COMAND ディスプレイを再度表示するときは、以下の操作を行ないます。

- コントローラーをまわす
- コントローラーを押す
- クリアスイッチ [c] またはリターンスイッチ [↩] を押す

ⓘ オーディオや映像などを開いているときも、COMAND ディスプレイのみをオフにすることができます。

* 車種や仕様、オプションにより、異なる装備です。

ご使用の前に………………………… 46
目的地の設定………………………… 61
周辺施設の表示と検索……………… 66
全ルート図…………………………… 71
ルート案内…………………………… 79
メモリ地点…………………………… 95
地点の検索方法…………………… 101
文字の入力方法…………………… 123
VICS ……………………………… 126
地図記号…………………………… 138
こんなときは……………………… 141
ETC………………………………… 145
地図 / ETC バージョンの確認 … 145
地図データベースについて……… 147

ご使用の前に

安全上の注意事項

⚠ 事故のおそれがあります

安全のため、目的地の設定は必ず停車時に行なってください。走行中に操作すると、周囲の状況を把握できなくなり、事故を起こすおそれがあります。

COMAND システムが目的地までのルート探索を行なう場合、以下のような要素は考慮されません。

- 信号
- 一時停止および優先標識
- 駐停車禁止
- 道幅の狭い区間
- その他の交通規制

COMAND システムは、道路の経路が変更された場合や一方通行の方向が逆になった場合のように、実際の道路状況がデジタル地図と違う場合には適切でない案内をすることがあります。

したがって、走行中は関連する交通規制に注意を払ってください。

COMAND システムの案内より、常に交通規制を優先してください。

地図ソフトの更新

地図ソフトのデジタルデータは、従来の道路地図と同じように古くなります。

地図ソフトを更新することにより、最適なルート案内を行なうことができます。

地図ソフトの更新は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なうことができます。

新しい地図ソフトのバージョンに関する詳細については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

入力制限について

走行速度が約 5km/h 以上になると、入力できなくなる項目があります。

ただし、走行速度が約 3km/h 以下になると、これらの項目への入力制限は解除されます。

全般的な注意事項

GPS 信号の受信

ナビの機能は、GPS 信号を受信することにより正しく機能します。

立体駐車場やトンネル内にいるとき、GPS アンテナに雪が付着しているときなどは、GPS 信号が十分に受信できない、または完全に受信できなくなることがあります。

GPS アンテナに雪が付着しているときは、取り除いてください。

GPS アンテナは車のルーフ後部にあります。

車を輸送した後にルート案内を使用するとき

車をフェリーやけん引などで輸送した後は、COMAND システムが車の位置を再度特定する必要があります。

再び走行を開始すると、COMAND システムがオフになっていても位置を自動的に特定します。

位置を特定するまでの時間は場合によって異なります。

位置を特定している間は、以下のような状況が発生することがあります。

- ナビの音声案内、ルート案内表示および表示される道路の名前が実際の場所と一致しない
- ナビの音声案内が行なわれない
- ルート案内表示の代わりに目的地の方向を示す矢印が表示される

位置が特定されると、音声案内とルート案内表示が有効になり、ルート案内が再開されます。

ハードディスクについて

COMAND システムには、地図データを収納するハードディスクが内蔵されています。

ハードディスクが故障すると、COMAND システムはルート探索を行なうときなどにハードディスクに収納されている地図データにアクセスできなくなります。

このときは " ドライブが利用できません " と表示されます。

メッセージを消す

▶ COMAND システムをオフにして、再度オンにします。

メッセージが再度表示される場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で点検を受けてください。

その他の注意事項

システムの構成上、以下のようなことが発生することがありますが、故障ではありません。

- 走行場所や運転条件などにより、現在地マークが正しい位置を表示しないことがあります。
- 分岐角度のゆるやかなＹ字分岐点の通過時、しばらくの間もう一方の道路に現在地マークが表示されることがあります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点（分岐点）で曲がったときなど、誤った音声案内をすることがあります。
- 高速道路を走行しているときに、並行している側道、あるいは高架下の一般道に現在地マークが表示されることや、その反対の場合があります。
- 走行中に再探索あるいは、迂回探索をすると、ルート表示が次の交差点（分岐点）までに間に合わないことがあります。
- 一方通行規制で進入できない道路を案内することがあります。
- 時間規制で曲がれない交差点を曲がるように案内することがあります。
- 再探索、迂回探索機能で探索したルートが遠回りになることがあります。
- ビルや大型車両の近く、あるいは山間部を走行すると、現在地マークがずれることがあります。
- 通過点を経由せずに目的地に向かうとき、再探索、迂回路探索を実行すると、通過点に戻るルートが表示されることがあります。
- 探索されたルート表示が、Ｕターンを案内することがあります。
- 実際に通行できない道（すでに廃止されている旧道など）を案内することがあります。
- 駐車場などのターンテーブルで回転させたり、らせん状の道路を走行しているときに現在地マークがずれることがあります。
- 駐車場から出た直後は、現在地マークが他の道路に表示される場合があります。
- 砂利道、雪道、凍結路などの滑りやすい路面を走行すると、タイヤのスリップにより現在地マークがずれることがあります。
- 現在地マークを修正したときに修正を間違えたまま走行を続けると、自動修正できないことがあります。
- 目的地まで道路が達していないときや道幅が狭いときは、目的地から離れたところでルート案内を終了することがあります。
- 目的地の施設などの裏の道路へルート案内することがあります。
- 直線道路で車線変更を繰り返すと、現在地マークがずれることがあります。
- 地図データにない新しい道路や開拓地域を走行すると、ルート案内ができなかったり、現在地マークがずれることがあります。
- 目的地までの距離が極端に長いときや短いときは、ルート案内できないことがあります。

ナビを開く

▶ COMAND コントロールパネルの NAVI ボタンを押します。

または

▶ アプリケーションエリアの " ナビ " を選択します。

前回表示していたナビの画面が表示されます。

ナビ基本画面

① ステータスエリア
② アプリケーションエリア
③ 現在地（自車位置）
④ サブメニューエリア

ナビ基本画面から全画面表示に切り替える

▶ メインエリアを選択します。

▶ " 全画面表示 " を選択します。

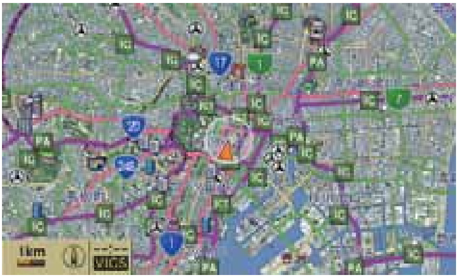
または

▶ コントローラー左側の ⮌ スイッチを押します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの NAVI ボタンを押します。

全画面表示



全画面表示からナビ基本画面に切り替える

▶ コントローラーを押します。

地図の縮尺を切り替える

▶ 全画面表示にします。

▶ コントローラーをまわします。

コントローラーを時計回りにまわすと地図の表示が縮小され、反時計回りにまわすと拡大されます。

スケールのインジケーター④が表示されます。

縮尺スケールは数秒後に消えます。

ⓘ 地図データがない場合、地図の縮尺は灰色で表示され選択できません。

縮尺スケールを 1 つ変更すると 5 段階でズームイン / ズームアウトします。また、2 つ以上変更するとダイレクトに縮尺が変更されます。

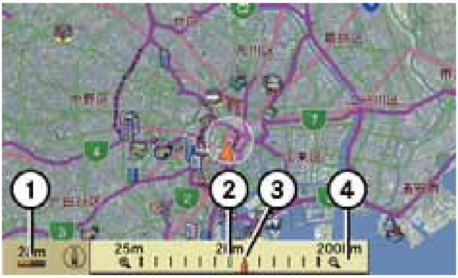
ⓘ 25m 表示は、市街図データがあるエリアで表示できます。

市街地データは 25m と 50m で表示されます。

市街地データは主に市街中心地で表示され、多くの郊外部では表示されません。

市街地がないエリアでは 50m の通常地図が表示されます。

市街図を選択している状態で高速道路を走行中に走行速度が約 5km/h 以上になったとき、自動的に 100m 表示に切り替わります。また、そのときは 25m、50m への縮尺変更ができなくなります。ただし、停止しているときは縮尺変更は可能です。



① スケール表示（地図上のこの長さが、この距離に相当します）
② 変更前のスケール表示
③ スケール変更バー
④ スケールのインジケーター

地図の距離表示の例

以下の画面は、同地点での異なる距離表示の例です。

2D 表示・市街地地図（25m 表示）

2D 表示・100m 表示

2D 表示・200m 表示

2D 表示・サテライトマップ（20km 表示）

距離表示と地図縮尺

地図の種類	距離表示
市街地地図	25m、50m
一般地図	50m 〜 200km
サテライトマップ ⓘ サテライトマップは、ナビ設定でサテライトマップ表示を設定しているときに表示されます。	1km 〜 200km
全ルート図	50m 〜 1000km

地図のスクロール

ℹ 走行中は、安全のため一定間隔でスクロールします。

▶ 全画面表示にします（▷49 ページ）。

▶ コントローラーをいずれかの方向にスライドします。

地図上にクロス・カーソルが表示されます。

① クロス・カーソル
② 現在地（自車位置）
③ クロス・カーソル位置の情報
④ クロス・カーソルの位置から現在地までの距離

ℹ スクロール先の地点に元の地点の縮尺の地図データがないときは、最も詳細な地図の縮尺に切り替わります。

スクロール画面で縮尺スケールや地図表示を変更した後に現在地画面へ戻った場合、スクロール画面で変更した設定はキャンセルされ現在地画面の元の設定に戻ります。

現在地画面に戻す

▶ COMAND コントロールパネルの NAVI ボタンを押します。

または

▶ 現在地画面が表示されるまでコントローラー左側の ⮌ スイッチを押します。

表示設定

地図表示に関する設定を行ないます。

以下の設定を行なうことができます。

" 地図表示切替 "

" 表示形式 "（▷54 ページ）

" VICS"（▷54 ページ）

" 地図向 "（▷55 ページ）

" 3D 回転 "（▷56 ページ）

" ランドマーク表示 "（▷57 ページ）

" ビル情報 "（▷58 ページ）

地図表示切替

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 表示 " を選択します。

▶ " 地図表示切替 " を選択します。

▶ "2D 表示 " "3D 表示 " " ビル表示 " のいずれかを選択します。

現在選択されている設定の左側には " • " が表示されています。

以下の画面は、同地点での異なる地図表示の例です。

2D 表示の例

3D 表示の例

ビル表示の例

ビルを立体的に表示します。

ℹ 25m および 50m の市街地地図表示のときに表示できます。

表示形式

ルート案内中の地図表示を設定できます。

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 表示 " を選択します。

▶ " 表示形式 " を選択します。

▶ " 高速案内図 " " 都市高 3D 図 " " 分岐点案内図 " のいずれかを選択します。

コントローラーを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

詳しくは（▷81 ページ）をご覧ください。

VICS

一般道または高速道路での VICS 情報表示の設定 / 解除ができます。

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 表示 " を選択します。

▶ "VICS" を選択します。

▶ "VICS 一般道 " または "VICS 高速道 " を選択します。

コントローラーを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

地図向

地図を 2D 表示にしているときに、ノースアップ表示（北が上）とヘディングアップ表示（進行方向が上）に切り替えることができます。

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 表示 " を選択します。

▶ " 地図向 " を選択します。

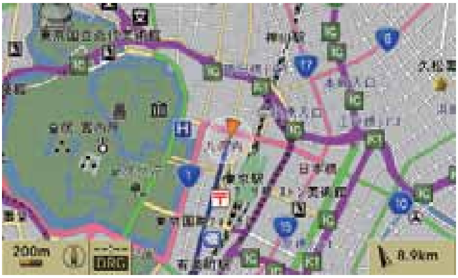
コントローラーを押すたびに、地図向きが切り替わります。

ℹ 地図スクロール画面のときはヘディングアップからノースアップにすることはできますが、ノースアップからヘディングアップにすることはできません。

サブメニューエリアで " 地図向 " が選択できる場合は、向きの変更ができます。

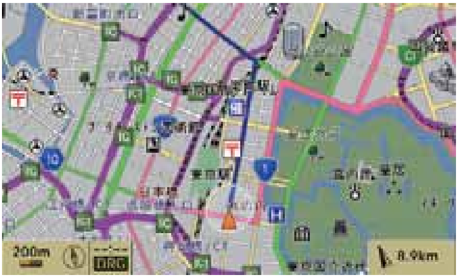
以下の画面は、同地点でのノースアップ表示およびヘディングアップ表示の例です。

ノースアップ表示



画面左下に " " が表示されます。

ヘディングアップ表示



画面左下に " " が表示されます。" " の向きは車の進行方向に応じて変化します。" " は北方向を " " は南方向を表示しています。

3D 回転

地図を 3D 表示またはビル表示にしているときに、地図を回転することができます。

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 表示 " を選択します。

▶ "3D 回転 " を選択します。

3D 回転画面になります。

地図を時計回りに回転させる

▶ コントローラーを左にスライドします。

地図を反時計回りに回転させる

▶ コントローラーを右にスライドします。

ℹ 3D 回転画面を表示中に走行を開始すると、3D 回転画面のままで現在地（自車位置）が移動します。

スクロール画面で 3D 回転を行ない、コントローラーを押すと、変更したアングルでスクロールが継続できます。ただし、現在地画面で 3D 回転を行なった場合はアングルは継続されません。

地図に表示するランドマーク（施設）を選択する

地図上にランドマーク（施設）のアイコンを表示できます。

ランドマーク（施設）アイコンは、500m 表示以下の詳細な縮尺を表示しているときに表示されます。

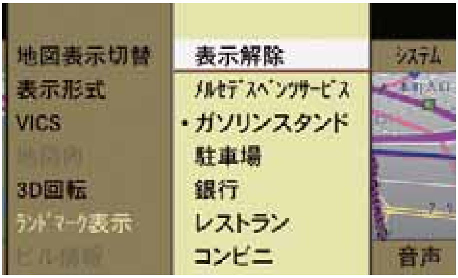
▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 表示 " を選択します。

▶ " ﾗﾝﾄﾞﾏｰｸ表示 " を選択します。

▶ ランドマーク（施設）を選択します。

現在、選択されている施設の左側には " • " が表示されています。

アイコンを表示しないときは、" 表示解除 " を選択します。



ℹ 同時に 2 種類のランドマーク（施設）のアイコンを表示することはできません。

ℹ ランドマーク（施設）を表示させた後に、立ち寄り地点設定で他のカテゴリーのランドマークを選択すると、表示されるランドマークも切り替わります。

ℹ 周辺検索でリストに表示されている他のカテゴリーを選択した場合、" • " は表示されません。また、ランドマークを消去する場合は " 表示解除 " を選択してください。

ℹ 地図が 1km 表示以下のときは、" 表示解除 " を選択したときも、本操作で表示させるアイコンとは別に " ﾒﾙｾﾃﾞｽﾍﾞﾝﾂｻｰﾋﾞｽ " のアイコンが常に表示されます。

ビル情報を表示する

ビルや建物に施設の情報が入っているときに情報が表示できます。ビルや建物に複数の施設が入っているときは、それぞれの施設の情報を表示できます。

▶ 地図を 25m または 50m 表示にします。

ℹ 25m および 50m の市街地地図表示のときに表示できます。

▶ 地図をスクロールさせて、ビル情報のあるビルや建物にクロス・カーソルを合わせます。

ビルや建物の色が変わります。

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 表示 " を選択します。

ℹ クロス・カーソルを合わせたときに色が変わらないビルや建物は情報を表示できません。

▶ " ビル情報 " を選択します。

ビル情報が表示されます。

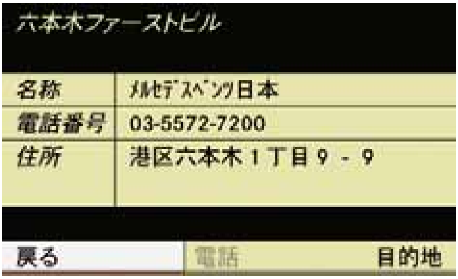
施設に電話発信する

▶ " 電話 " を選択します。

ℹ 情報に電話番号が登録されていない場合や電話が接続されていないときは、" 電話 " は選択できません。

目的地に設定する

▶ " 目的地 " を選択します。



複数の施設が入っているとき

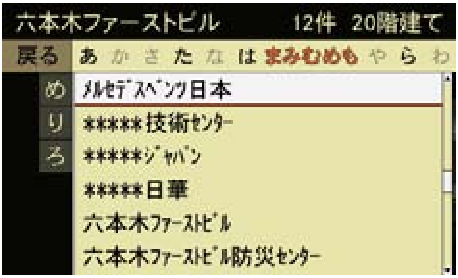
▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、施設を選択します。

または

▶ コントローラーを左右にスライドすると、施設リストが 50 音順にスクロールします。

▶ コントローラーを押します。

施設の情報が表示されます。



ナビ設定

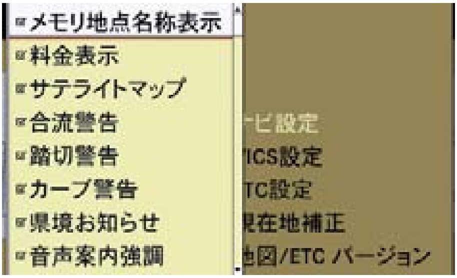
▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 設定 " → " ナビ設定 " を選択します。

ナビ設定のリストが表示されます。

▶ 設定 / 解除したい項目を選択して、コントローラーを押します。

コントローラーを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。



" メモリ地点名称表示 "

500m 表示以下のときに、メモリ地点の名称が地図画面に表示されます。

ℹ 名称が編集されていないときは、表示されません。

" 料金表示 "

有料道路の料金が表示されます。

" サテライトマップ "

1km 以上の広域表示のときに、衛星写真をもとにした立体的な地図を表示します。

" 合流警告 "

合流の手前で音声案内します。

" 踏切警告 "

踏切の手前で音声案内します。

" カーブ警告 "

カーブの手前で音声案内します。

" 県境お知らせ "

都府県境付近で音声案内します。

" 音声案内強調 "

音声案内中に、オーディオなどの音量が下がります。

" 渋滞回避探索 "

渋滞を回避してルート探索します。

ℹ ビーコン受信ユニットが接続されている場合のみ渋滞回避検索を設定できます。

" 学習ルート探索 "

学習したルートを考慮して探索を行ないます。

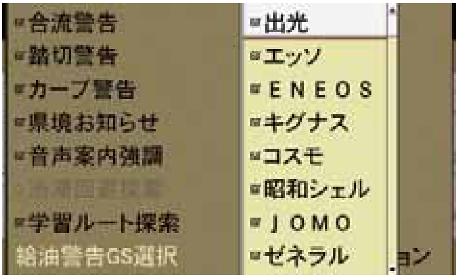
給油警告 GS 選択

燃料残量が少なくなったときは、自動的にガソリンスタンドの検索画面に切り替わります。(▷65 ページ)。

検索するガソリンスタンドの種類を選択できます。

▶ " 給油警告 GS 選択 " を選択します。

ガソリンスタンドのリストが表示されます。



▶ 設定 / 解除したいガソリンスタンドを選択します。

コントローラーを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

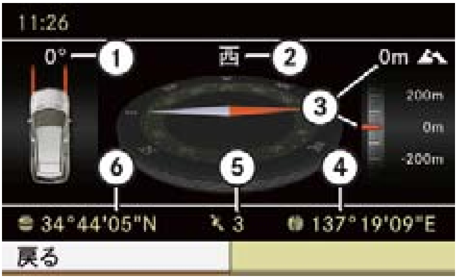
コンパス表示

自車の方位や自車位置の緯度 / 経度、高度などを表示することができます。

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " コンパス " を選択します。

コンパス画面が表示されます。



① ステアリング操舵角
② 自車の方位
③ 自車位置の高度
④ 自車位置（経度位置）
⑤ 受信している GPS 衛星数
⑥ 自車位置（緯度位置）

目的地の設定

目的地の設定をする前に

ℹ 走行中は、安全のため " 目的地設定 " を選択することはできません。

ℹ 以下の場合は、ルート探索を行なうことができません。

- 目的地および出発地付近に道路がない場合

  その場合は、画面に表示されるメッセージに従ってください。

- 離島などで適当なルートがない場合

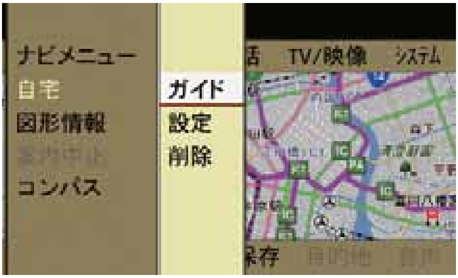
⚠ **事故のおそれがあります**

安全のため、目的地の設定は必ず停車時に行なってください。走行中に操作すると、周囲の状況が把握できなくなり、事故を起こすおそれがあります。

自宅を目的地に設定する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " 自宅 " → " ガイド " を選択します。



ℹ 自宅が設定されていないときは " 設定 " 以外は選択できません。

全ルート図が表示されます。

ルート案内については（▷79 ページ）をご覧ください。

自宅を設定する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " 自宅 " → " 設定 " を選択します。

▶ 地点の表示･検索方法を選択します。

詳しくは該当ページをご覧ください。

" 地図から指定 "（▷101 ページ）

" 名前検索 "（▷102 ページ）

" 施設検索 "（▷109 ページ）

" 電話番号検索 "（▷111 ページ）

" 郵便番号検索 "（▷112 ページ）

" 住所検索 "（▷113 ページ）

" アドレス帳検索 "（▷115 ページ）

" 以前の目的地 "（▷115 ページ）

" メモリ地点 "（▷117 ページ）

自宅地点の地図が表示されます。

▶ " 設定 " を選択します。

自宅が設定されます。

ℹ 地図の縮尺が大きいときは、自動的に縮尺が切り替わります。

複数の地点を自宅に設定することはできません。

地図をスクロールする

▶ " ｽｸﾛｰﾙ " を選択します。

▶ コントローラーをいずれかの方向ににスライドさせせます。

地図がスクロールします。

▶ 自宅地点にクロス・サークルを合わせて、コントローラーを押します。

▶ " 登録 " を選択します。

自宅が設定されます。

自宅の設定を削除する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " 自宅 " → " 削除 " を選択します。

自宅の設定が削除されます。

目的地を設定する

地図から設定する

▶ 全画面表示にします（▷49 ページ）

▶ 地図スクロールで地図を移動します（▷52 ページ）。

▶ クロス・カーソルを目的地に合わせてコントローラーを押します。

▶ " 目的地 " → " 目的地設定 " を選択します。

ℹ 1km 以上の縮尺表示を選択しているときはメッセージが表示され、自動的に縮尺が拡大されます。

目的地が設定され、全ルート図が表示されます（▷71 ページ）。

地点検索などで設定する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 目的地設定 " を選択します。

▶ 地点の表示･検索方法を選択します。

詳しくは該当ページをご覧ください。

" 地図から指定 "（▷101 ページ）

" 名前検索 "（▷102 ページ）

" 施設検索 "（▷109 ページ）

" 電話番号検索 "（▷111 ページ）

" 郵便番号検索 "（▷112 ページ）

" 住所検索 "（▷113 ページ）

" アドレス帳検索 "（▷115 ページ）

" 以前の目的地 "（▷115 ページ）

" メモリ地点 "（▷117 ページ）

" ドライブコース "（▷117 ページ）

" 観光案内 "（▷120 ページ）

検索された地点が表示されます。

▶ " 目的地 " を選択します。

i " ｽｸﾛｰﾙ " を選択すると、コントローラーをスライドして、地図をスクロールできます。

i " 保存 " → " アドレス帳保存 " を選択すると、表示した地点をアドレス帳に保存できます。

i " 保存 " → " メモリ地点 " を選択すると、表示した地点をメモリ地点に登録できます。

全ルート図が表示されます。

ルート案内については（▷79 ページ）をご覧ください。

目的地付近に高速道路や有料道路、橋、トンネルが存在する場合

以下のような画面が表示されます。

" 戻る "

１つ前の画面に戻ります。

" 高速道 "

その地点（高速道路であれば高速道路）に目的地を設定します。

設定する地点により、表示される名称は異なります。

" 一般道 "

目的地を一般道路に設定し、ルートを探索します。

目的地が水上の場合

水上に目的地は設定できません。

このときは " 水面上は目的地に設定できません 別の場所を設定してください " と表示されます。

目的地を削除する

目的地を削除できます。

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 目的地 " を選択します。

▶ " 削除 " → " 目的地 " を選択します。

確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

" いいえ " を選択するとナビ基本画面に戻ります。

燃料残量が少なくなったときの表示

燃料残量が少なくなったときは、自動的にガソリンスタンド検索画面が表示されます。

現在地から近い順にガソリンスタンドを表示できます。

ℹ COMAND システムがナビ以外になっていても、燃料残量が少なくなると、この表示に自動的に切り替わります。" 取消し " を選択して、元の表示に戻したときは、この表示は再度表示されません。

ℹ ガソリンスタンド検索画面では、コントローラー左側の ⮌ スイッチや COMAND コントロールパネルの NAVI ボタンは操作できません。

表示するガソリンスタンドの会社・ブランドを選択できます（▷60 ページ）。

" 電話 "

選択されているガソリンスタンドに電話発信します。

" 案内 "

選択されているガソリンスタンドを目的地に設定して、ルート案内が開始されます。

" 前候補 "

１つ前のガソリンスタンドが表示されます。

" 次候補 "

１つ後のガソリンスタンドが表示されます。

" 取消し "

ガソリンスタンド検索画面が消去されます。

周辺施設の表示と検索

周辺施設を検索する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 周辺施設検索 " を選択します。

" 現在地 "

現在地の周辺にある施設を検索します。

" ルート周辺 "

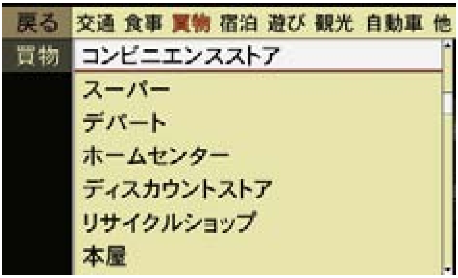
案内ルートの周辺にある施設を検索します。

" 目的地周辺 "

目的地の周辺にある施設を検索します。

ℹ " ルート周辺 " および " 目的地周辺 " は目的地を設定しているときに選択できます。

施設検索画面が表示されます。



▶ コントローラーを左右にスライドします。

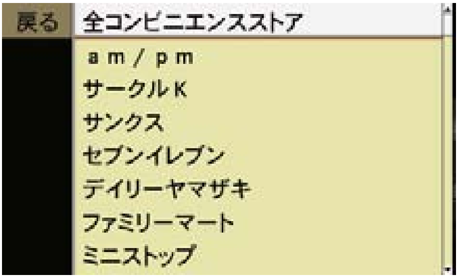
ジャンル（" 交通 "、" 食事 "、" 買物 ".....）が切り替わります。

または

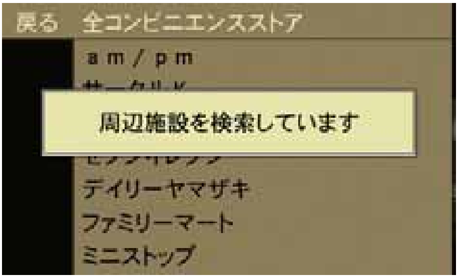
▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドします。

施設(" コンビニエンスストア "、" スーパー "、" デパート ".....）が切り替わります。

ℹ 施設によっては、コンビニエンスストアの会社名など、さらに細かく施設を選択できます。



" 周辺施設を検索しています " というメッセージが表示され、検索を開始します。



" 現在地 " を選択したとき

現在地またはクロス・カーソルから近い順に、半径 10km の範囲で、最大 200 件までの施設を検索します。

現在地からの距離の近い順にリストが表示されます。

リストには以下のものが表示されます。

- 施設のアイコンおよび現在地からの方向と距離①
- 施設名②

また、施設の位置③が地図に強調して表示されます。

ℹ 現在地周辺の施設検索は、高速道路上でも行なえます。

" ルート周辺 " を選択したとき

案内ルート沿いの、現在地の 50 m 先から 10 km 先までの範囲で、最大 200 件までの施設を検索します。

現在地からの距離の近い順にリストが表示されます。

リストには以下のものが表示されます。

- 施設のアイコンおよび案内ルートの左右いずれにあるかを示す矢印、現在地からの距離①
- 施設名②

また、施設の位置③が地図に強調して表示されます。

ℹ 高速道路上ではルート周辺の施設検索はできません。

ℹ 走行しているときは施設リストは灰色で表示されます。

また、走行することで自車と施設との方角や距離などが変化しても、走行しているときはこれらの情報は更新されず、停車したときに更新されます。

" 目的地周辺 " を選択したとき

目的地から半径 10 km の範囲で、最大 200 件までの施設を検索します。

目的地からの距離の近い順にリストが表示されます。

リストには以下のものが表示されます。

- 施設のアイコンおよび自車位置からの方向と距離①
- 施設名②

また、施設の位置③が地図に強調して表示されます。

ℹ 目的地周辺の施設検索は、高速道路上でも行なえます。

施設を選択する

▶ コントローラーをまわします。または上下にスライドします。

▶ コントローラーを押します。

選択した施設周辺の地図が表示されます。

ⓘ 施設に電話番号が登録されているときは、電話番号も表示されます。

以下のいずれかの操作を行なうことができます。

" 目的地 "

検索した施設を目的地に設定します。

" 保存 "

検索した施設をアドレス帳に保存したり、メモリ地点に登録できます。詳しくは（▷95 ページ）をご覧ください。

" 電話 "

検索した施設に電話番号が登録されていて COMAND システムに電話が接続されているときは、施設に電話発信できます。

" ｽｸﾛｰﾙ "

地図をスクロールできます。

周辺ランドマーク情報の表示

地図に表示されている以下の施設の詳細情報を表示できます。

観光名所や主要ホテル、主要公共施設など

地図が 2 km 表示以下のときに表示できます。

アイコンで表示される施設など

地図が 500 m 表示以下のときに表示できます。

アイコンで表示される施設については（▷138 ページ）をご覧ください。

ランドマーク情報を表示する

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " ﾗﾝﾄﾞﾏｰｸ " を選択します。

施設名と現在地からの距離が表示されます。

施設の周囲にサークルが表示されます。

ℹ 周辺に情報を表示できる施設がないときは、" 近くに施設がありません " と表示されます。

写真データがある場合、選択した施設の台座が赤色で表示されます。写真データがない場合は黄色の台座で表示されます。

複数の施設があるとき

複数の施設があるときは、現在地またはクロス・カーソルの中心から近い順に表示されます。

▶ " 次候補 " または " 前候補 " を選択します。

次または前の施設が選択されます。

選択した施設を目的地に設定する

▶ " 目的地 " を選択します。

全ルート図が表示されます。ルート案内については（▷79 ページ）をご覧ください。

選択した施設の詳細情報を表示する

▶ " 情報 " を選択します。

施設の詳細情報が表示されます。

以下の情報が表示されます。

- 名称
- 電話番号（選択した施設に電話番号の情報があるとき）
- 住所

施設に電話発信する

▶ " 電話 " を選択します。

ℹ 情報に電話番号が登録されていない場合や電話が接続されていないときは、" 電話 " は選択できません。

施設の写真を表示する

▶ " 写真 " を選択します。

ℹ 情報に写真が登録されていない場合は、" 写真 " は選択できません。

全ルート図

目的地が設定されてルート探索が終わると、全ルート図が表示されます。

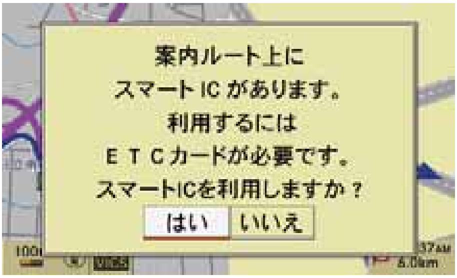
全ルート図では、ルート案内に関する設定を行なったり、ルートの内容や情報を表示できます。

① 現在地
② 案内ルート（青色で表示されます）
③ 目的地
④ ルート案内の開始
⑤ 通過点の設定
⑥ ルート情報の表示
⑦ スクロール
⑧ ルート条件の変更

ℹ 探索したルートにフェリーを利用する区間があるときは、下記の①が表示されます。

ℹ ルート検索ではスマート IC を考慮した検索が行なわれます。

ETC 車載器に ETC カードが差し込まれていないときに、スマート IC を通過するルート案内を開始したときは、以下の画面が表示されます。



スマート IC を通過するルートでルート案内を行なうときは、" はい " を選択します。

ETC 車載器に ETC カードが差し込まれているときは、確認画面が表示されることなく、ルート案内が開始されます。

ℹ スマート IC を通過するルートを案内中に ETC 車載器から ETC カードを抜いたときも、上記の画面が表示されます。

ルート案内中に全ルート図を表示する

ルート案内を開始してからも、全ルート図を表示できます。

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " ﾙｰﾄ " を選択します。

▶ " 全ルート " を選択します。

全ルート図が表示されます。

ℹ 全ルート図では、通過点の設定とスクロールの操作が行なえます。

ルート案内を開始する

▶ 全ルート図で、" 開始 " または " 戻る " を選択します。

メッセージが表示され、ルート案内が開始します。

ℹ 走行速度が 5km/h 以上のときは、" 開始 " または " スクロール " のみが選択できます。

通過点

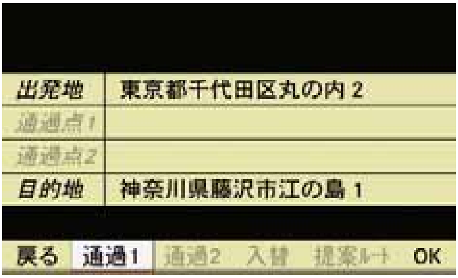
目的地が設定されているときに、通過点を設定できます。

ℹ 地図画面を表示しているときも、サブメニューエリアで " 目的地 " → " 通過点 1" を選択することで通過点を設定できます。

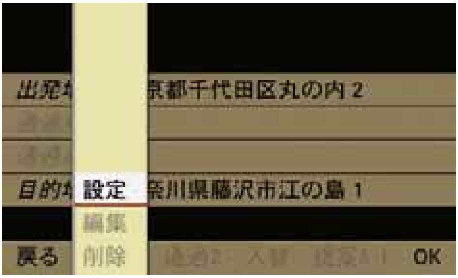
通過点を設定する

▶ 全ルート図で " 通過点 " を選択します。

▶ " 通過 1" を選択します。



▶ " 設定 " を選択します。



▶ 地点の表示･検索方法を選択します。

詳しくは該当ページをご覧ください。

" 地図から指定 "（▷101 ページ）

" 名前検索 "（▷102 ページ）

" 施設検索 "（▷109 ページ）

" 電話番号検索 "（▷111 ページ）

" 郵便番号検索 "（▷112 ページ）

" 住所検索 "（▷113 ページ）

" アドレス帳検索 "（▷115 ページ）

" 以前の目的地 "（▷115 ページ）

" メモリ地点 "（▷117 ページ）

設定した通過点 1 が表示されます。

ℹ " 通過点 2" は、" 通過点 1" が設定されているときに選択できます。

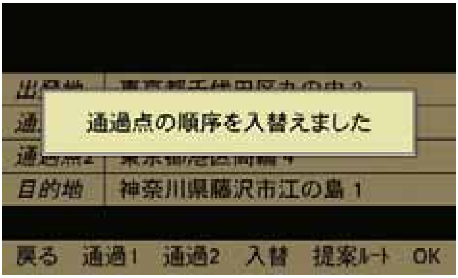
▶ "OK" または " 戻る " を選択します。

全ルート図に戻ります。

通過点を入れ替える

▶ " 入替 " を選択します。

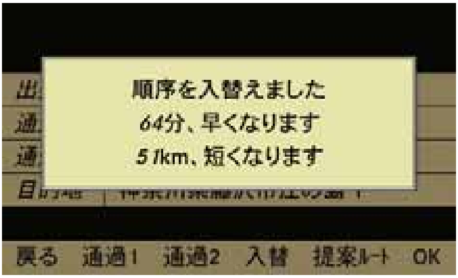
" 通過点 1" と " 通過点 2" の順番が入れ替わります。



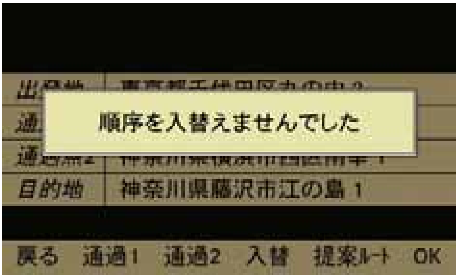
または

▶ " 提案ルート " を選択します。

時間と距離、またはどちらかが短縮される場合に、" 通過点 1" と " 通過点 2" の順番が入れ替わり、以下のメッセージが表示されます。



通過点が入れ替わらなかったときは、以下のメッセージが表示されます。



通過点の位置を変更する

▶ 通過点メニューで、" 通過 1" または " 通過 2" を選択します。

▶ " 編集 " を選択します。

通過点の地図が表示されます。

▶ コントローラーをいずれかの方向にスライドして、通過点の位置を選択します。

▶ コントローラーを押します。

▶ " 設定 " を選択します。

通過点の位置が変更されます。

以下の操作も選択できます。

" 保存 "

通過点をアドレス帳に保存したり、メモリ地点に登録できます。

" 電話 "

通過点に電話番号が登録されていて、COMAND システムに電話が接続されているときは、電話発信できます。

通過点を削除する

▶ 通過点メニューで、" 通過 1" または " 通過 2" を選択します。

▶ " 削除 " を選択します

確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

" 通過点 1" または " 通過点 2" が削除されます。

ℹ ルート案内中に通過点を削除することもできます。

ルート情報画面の表示

▶ 全ルート図で " ﾙｰﾄ情報 " を選択します。

ルート情報画面が表示されます。

ルート案内中にルート情報画面を表示する

ルート案内を開始してからも、ルート情報を表示することができます。

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " ﾙｰﾄ " を選択します。

▶ " ﾙｰﾄ情報 " を選択します。

ルート情報画面が表示されます。

全ルート図に戻る

▶ " 戻る " を選択します。

または

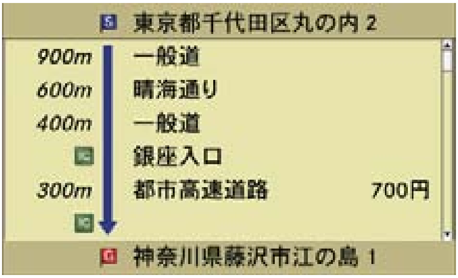
▶ コントローラー左側の [↩] スイッチを押します。

ルートリストを表示する

目的地までの道路の名称やおよその距離を表示します。

▶ " ﾘｽﾄ " を選択します。

ルートリストが表示されます。



リストを上 / 下にスクロールする

▶ コントローラーをまわします。または上下にスライドします。

ルート情報画面に戻る

▶ コントローラーを押します。

▶ " 戻る " を選択します。

または

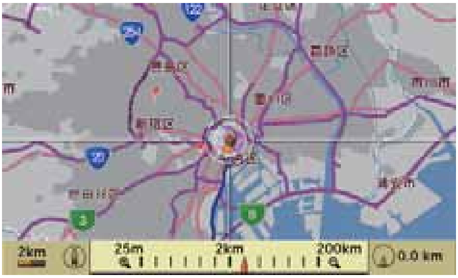
▶ コントローラー左側の [↩] スイッチを押します。

ルート情報画面の縮尺を変更する

▶ " 縮尺 " を選択します。

全画面表示になります。

▶ コントローラーをまわして、縮尺を変更します。



▶ コントローラーを押します。

縮尺が決定します。

ルート情報画面に戻る

▶ コントローラー左側の [↩] スイッチを押します。

ルートのプレビューをする

出発地から目的地までのルートに沿って、ルートを確認できます。

目的地の方向に移動する

▶ " → 前進 " を選択します。

目的地までスクロールします。

出発地の方向に移動する

▶ " → 後退 " を選択します。

出発地までスクロールします。

マークの移動を停止する

▶ " 停止 " を選択します。

ℹ プレビューしているときも、" 縮尺 " を選択すると、地図の縮尺を変更できます。

ℹ 最寄地点、通過点 1 、通過点 2、目的地ではルートスクロールが一旦停止します。ルートスクロールを再開する場合には "→前進 " または "→後退 " を選択してください。

安全のため、走行中を開始すると現在地画面に戻ります。

地図をスクロールする

▶ 全ルート図で " ｽｸﾛｰﾙ " を選択します。

全画面表示になり、地図上にクロス·カーソルが表示されます。

▶ コントローラーをいずれかの方向にスライドします。

地図がスクロールします。

地図の縮尺を変更する

▶ コントローラーをまわします。

ℹ 全ルート画面では、500km と 1000km の縮尺も選択できます。

ルート条件を変更する

全ルート図からルート条件を変更する

▶ 全ルート図で "5ﾙｰﾄ" を選択します。

ルート選択画面が表示されます。

① ルートの種類（この場合は、有料）
② 道路名
③ 入り口の IC 名
④ 出口の IC 名
⑤ 目的地までの距離
⑥ 推定到着時間
⑦ 料金

▶ ルート条件を選択します。

各ルート条件については、（▷93 ページ）をご覧ください。

ルート案内中にルート条件を変更する

ルート案内を開始してからも、ルート条件を変更することができます。

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " ﾙｰﾄ " を選択します。

▶ " 条件変更 " を選択します。

ルート選択画面が表示されます。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、ルート条件を選択します。

ℹ 異なるルート条件を選択したときも、同じルートが表示されることがあります。

ℹ 表示される有料道路の料金は実際の料金と異なることがあります。

ルート案内

ルート案内を利用する前に

⚠ 事故のおそれがあります

安全のため、目的地の設定は必ず停車時に行なってください。走行中に操作すると、周囲の状況を把握できなくなり、事故を起こすおそれがあります。

COMAND システムが目的地までのルート探索を行なう場合、以下のような要素は考慮されません。

- 信号
- 一時停止および優先標識
- 駐停車禁止
- 道幅の狭い区間
- その他の交通規制

COMAND システムは、道路の経路が変更された場合や一方通行の方向が逆になった場合のように、実際の道路状況がデジタル地図と違う場合には適切でない案内をすることがあります。

したがって、走行中は関連する交通規制に注意を払ってください。

COMAND システムの案内より、常に交通規制を優先してください。

ⓘ 探索ルートを外れると、COMAND システムは新しいルートを探索します。

ⓘ 道路によってはルート案内ができない場合があります。

地図データに該当する情報が登録されている場合、COMAND システムはルート案内中に通行が制限されている道路（通行止めや居住者専用道路など）を回避しようとします。

5.5m 未満の細街路は、目的地、通過点、出発地周辺を除いて案内対象外です。

ⓘ ルート案内は公道の走行開始後すぐに始まりますが、出発点が地図上に表示されていない道路や私有地内のときは、地図上に表示される公道を走行するまで案内できません。

ⓘ 交差点表示や地図上に表示の目印となる施設、ガソリンスタンド、コンビニエンスストア、レストランなどは地図の作成時点での公開情報に基づくものであり、実際とは異なることがあります。

立体交差や複雑に交差する分流、分岐点などの通過時に一時的に現在地方位を失うことがあります。

この場合、そのまま走行を続けると自動再探索を実行し、その地点からのルートを案内します。

ⓘ マルチファンクションディスプレイのメインメニューで " ナビ " を選択すると、マルチファンクションディスプレイにも分岐方向や距離、走行車線が表示されます。

別画面の案内図

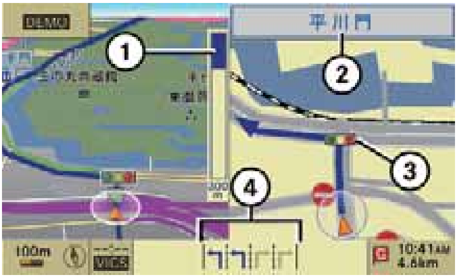
ルート案内中は、以下のような案内図が別画面で表示されます。

- 交差点拡大図
- 高速道路分岐案内図

また、以下の案内図が表示されるように設定できます。設定 / 解除方法については（▷54 ページ）をご覧ください。

- 高速案内図
- 都市高 3D 図
- 分岐点案内図

交差点拡大図



交差点拡大図
① 交差（分岐）点までの距離
② 交差（分岐）点名
③ 交差（分岐）点
④ 車線案内（▷82 ページ）

一般道路でルート案内を行なっているときに、交差点に近付くと表示されます。

交差（分岐）点までの距離と進行方向が案内されます。交差（分岐）点までの距離に応じて、数回に分けて案内が行なわれることがあります。

交差点を通過すると元の画面に戻ります。

ℹ 交差点拡大図は、地図データに情報があるときに表示されます。

交差（分岐）点までの距離が近付くにつれて、①の青色の部分は下から上へ減っていきます。

車線案内および分岐点の形状は、実際と異なることがあります。

交差点拡大図を消去する

▶ コントローラー左側の [⮌] スイッチを押します。

交差点拡大図を再表示する

▶ サブメニューエリアの " 音声 " を選択します。

高速道路分岐案内図

① 高速道路名またはジャンクション名

高速道路分岐案内図は、高速道路でルート案内を行なっているときに表示されます。

高速道路分岐案内図を消去する

▶ コントローラー左側の [⮌] スイッチを押します。

高速案内図

以下のときに、高速案内図が表示されます。

都市高速を除く高速道路を走行しているとき

表示形式の " 高速案内図 " が設定されているとき（▷54 ページ）。

都市高速を走行しているとき

表示形式の " 高速案内図 " が設定され、" 都市高 3D 図 " が設定されていないとき（▷54 ページ）。

都市高 3D 図

以下の場合、右側に都市高 3D 図が、左側に簡略化された地図が表示されます。

- 表示形式の " 都市高 3D 図 " が設定されているとき（▷54 ページ）
- 都市高速を走行しているとき

ℹ サテライトマップ表示が設定されている場合、2km 以上の縮尺表示にしたときは、左側にはサテライトマップが表示されます。

分岐点案内図

表示形式の " 分岐点案内図 " を設定すると（▷54 ページ）、ルート案内を行なって一般道を走行しているときに分岐点案内が表示されます。

次の分岐点の名称や方向、分岐点までの距離が表示されます。

車線案内

車線が複数ある道路では、交差（分岐）点までの車線案内が画面下部に表示されます。

①推奨車線

この車線では、次の交差（分岐）点およびその次の交差（分岐）点までに車線変更をしないで走行することができます。

昼間表示では暗い青色で、夜間表示では明るい青色で表示されます。

②走行可能車線

この車線では、次の交差（分岐）点までに車線変更をしないで走行することができます。

昼間表示では明るい青色で、夜間表示では暗い青色で表示されます。

③推奨されない車線

この車線では、次の交差（分岐）点までに、車線変更をする必要があります。

灰色で表示されます。

交差（分岐）点表示

車線案内が行なわれる交差（分岐）点が以下のように表示されます。

①		車線案内の表示される、進路変更する必要のない交差（分岐）点を示します。
②		進路変更する必要のある、信号機のない交差（分岐）点を示します。
③		進路変更する必要のある、信号機のある交差（分岐）点を示します。

ℹ 地図の縮尺により、交差（分岐）点表示が表示されないことがあります。

警告地点表示

合流地点や踏切など、警告地点の音声案内（▷59 ページ）を設定しているときに、警告地点に表示されます。

① 警告地点表示

マルチファンクションディスプレイの表示

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチで " ナビ " メニューを選択します。

マルチファンクションディスプレイに進行方向や交差（分岐）点までの距離、走行車線が表示されます。

E クラス

交差（分岐）点までの距離が 700m または 300m になると、下記の画面が表示されます。

この表示は、次の交差（分岐）点で曲がることを知らせるための表示であり、実際の道路が曲がっているわけではありません。

E クラス

目的地または目的地周辺の地域

① ゴールマーク

目的地にはゴールマーク①が表示されます。

マルチファンクションディスプレイでナビメニューを選択しているときに目的地周辺に到着すると、マルチファンクションディスプレイにゴールフラッグマークが表示されます。

登録道路外および地図外の場所

地図に登録されていない目的地までのルート案内

一部の離島などを除き、地図に登録されていない場所であっても、登録道路外の目的地としてルート案内を行なうことができます。

地点検索により目的地を設定できない場合は、地図をスクロールさせることにより、目的地として設定することができます。

この場合、COMAND システムは登録されている道路を使って目的地に近い場所までルート案内を行ない、できるだけ目的地に誘導しようとします。

地図に登録されていない場所から目的地までのルート案内

車の位置が地図情報として登録されていない場所にある場合は、車は登録道路外の場所に位置しています。

COMAND システムでは、そのような場所から目的地までのルート案内を行なうことができます。

ルート案内を開始すると、メッセージと矢印マーク、目的地までの距離が表示されます。

矢印マーク②は、直線で結んだ場合の目的地の方向を表します。

青色の案内ルートライン①は、COMAND システムに登録されている最寄りの道路から始まります。

車が COMAND システムに登録されている道路に戻ると、すぐに通常のルート案内が行なわれます。

① 案内ルートライン
② 矢印マーク

ナビの音声案内

ℹ 電話の通話中は、ナビの音声案内は消音されます。

音声案内を繰り返して聞くことができます。

音声案内を聞く

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 音声 " を選択します。

ℹ 車が案内ルートを走行しているときにのみ、音声案内を繰り返して聞くことができます。

音声案内を消音する

▶ 音声案内中に COMAND コントロールパネルの ボタンを押します。

または

▶ 音声案内中にステアリングの スイッチを押します。

再度、音声案内を聞くときは " 音声 " を選択します。

音声案内の音量を調整する

▶ 音声案内中に COMAND コントロールパネルの音量調整ダイヤルをまわします。

または

▶ 音声案内中にステアリングの + または − スイッチを押します。

ℹ 音声案内中に、一定の範囲を超えて音量を小さくまたは大きくしたときでも、次に行なわれる音声案内は、一定の範囲内の音量で行なわれます。

回避エリア

通過したくない地域を設定できます。

ℹ 回避エリアは最大 10 件まで登録することができます。

回避エリアを登録する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 回避エリア " → " 新規 " を選択します。

▶ 地図をスクロールさせて、設定するエリアの中心にクロス・カーソルを移動します。

▶ コントローラーを押します。

地図が 200m 表示になり、回避エリアが赤い四角で表示されます。

回避エリア範囲のスケールが表示されます。

▶ コントローラーをまわすか、左右にスライドして、回避エリアの範囲を指定します。

ℹ 回避エリアは一辺 50m から 10km の範囲で指定できます。

回避エリアの大きさに応じて、地図の縮尺が自動的に調整されます。

▶ コントローラーを押します。

選択した回避エリアの地名と範囲が、回避エリアリストに登録されます。

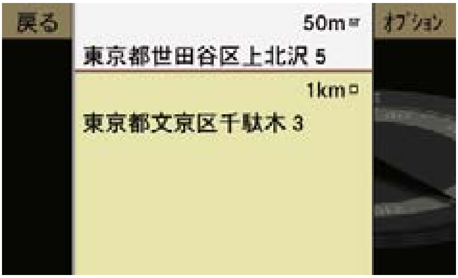
回避エリアを設定する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 回避エリア " → " リスト " を選択します。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、修正する回避エリアを選択します。

コントローラーを押すたびに、右側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。



回避エリアを修正する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 回避エリア " → " リスト " を選択します。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、修正する回避エリアを選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 編集 " を選択します。

地図が表示されます。

回避エリアの位置を修正する

▶ コントローラーをいずれかの方向にスライドして、地図をスクロールします。

回避エリアの範囲を修正する

▶ コントローラーを押します。

回避エリア範囲のスケールが表示されます。

▶ コントローラーをまわすか、左右にスライドして、回避エリアの範囲を指定します。

ℹ 回避エリアは一辺 50m から 10km の範囲で指定できます。

回避エリアの大きさに応じて、地図の縮尺が自動的に調整されます。

▶ コントローラーを押します。

回避エリアが修正されます。

回避エリアの地名と範囲が修正され、回避エリアリストに登録されます。

回避エリアを削除する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 回避エリア " → " リスト " を選択します。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、削除する回避エリアを選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 削除 " を選択します。

または

▶ コントロールパネルの c ボタンかコントローラー右側の c スイッチを押します。

確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

回避エリアが削除されます。

すべての回避エリアを削除する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 回避エリア " → " リスト " を選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 全削除 " を選択します。

確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

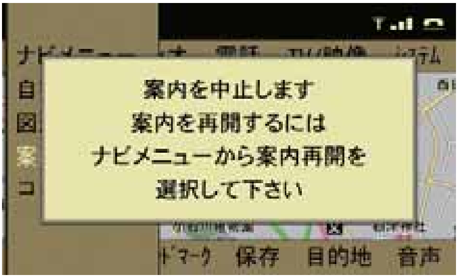
すべての回避エリアが削除されます。

ルート案内を中止する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " 案内中止 " を選択します。

以下のメッセージが表示されます。



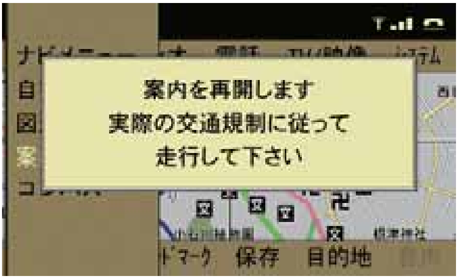
ルート案内を中止すると、地図上のルート（青色のライン）が消えます。

ルート案内を再開する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " 案内再開 " を選択します。

以下のメッセージが表示されます。



現在地からのルートを探索します。

探索が終了すると、現在地の地図が表示されます。

迂回探索

案内ルートのうち、現在地から選択した距離までの区間を走行しないようにルートを再探索することができます。

ℹ 設定する迂回区間の距離により、迂回探索ができないことがあります。

迂回探索を設定する

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " ﾙｰﾄ " を選択します。

▶ " 迂回探索 " を選択します。

▶ 迂回する範囲を選択します。

迂回探索を開始します。

迂回探索を解除する

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " ﾙｰﾄ " を選択します。

▶ " 再探索 " を選択します。

迂回探索が解除されます。

立ち寄り地点を設定する

ルート案内中に、立ち寄り地点を 1 カ所設定することができます。

立ち寄り地点は、以下の各カテゴリーから選択できます。

- " ﾒﾙｾﾃﾞｽﾍﾞﾝﾂｻｰﾋﾞｽ "
- " ガソリンスタンド "
- " 駐車場 "
- " 銀行 "
- " レストラン "
- " コンビニ "

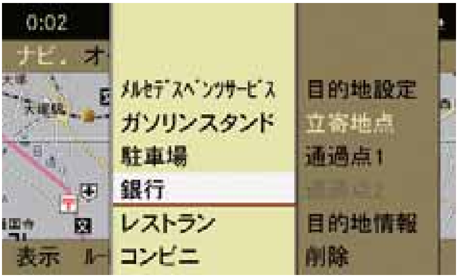
ℹ 通過点を設定してあるときに立ち寄り地点を設定すると、立ち寄り地点に最初に向かう経路が作成されます。

立ち寄り地点を設定する

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 目的地 " を選択します。

▶ " 立寄地点 " を選択します。

▶ 立ち寄り施設のカテゴリーを選択します。



10 km 先までの案内ルート沿いにある施設が、現在地から距離の近い順にリストに表示されます。

その下に、案内ルート沿いにない施設が距離の近い順に表示されます。

立ち寄り地点の以下の情報が表示されます。

- 施設の種類を示すアイコン
- ルート沿いにある施設の場合は、進行方向に対して施設のある側を示す矢印

  ルート沿いにない施設の場合は、施設から現在地の方向を示す矢印
- 施設までの距離
- 施設名

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、立ち寄り地点に設定する施設を選択します。

右側の地図に、選択した施設の位置が表示されます。

現在地から施設までの距離に応じて、地図の縮尺が自動的に変更されます。地図には、選択していない同カテゴリーの施設も表示されます。

▶ コントローラーを押します。

選択した施設を立ち寄り地点として、ルート案内が開始されます。

ℹ すでに立ち寄り地点が設定されているときに新たに立ち寄り地点を設定すると、以前の立ち寄り地点は削除され、新たに設定した立ち寄り地点でルート案内が行なわれます。

立ち寄り地点を削除する

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 目的地 " を選択します。

▶ " 削除 " → " 立寄地点 " を選択します。

確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

立寄地点が削除されます。

ルートを再探索する

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " ﾙｰﾄ " を選択します。

▶ " 再探索 " を選択します。

探索が終了すると、新しいルートが表示されます。

別ルート

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " ルート " を選択します。

▶ " 条件変更 " を選択します。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、以下のいずれかのルートを選択します。

現在選択されているルートの左側には " • " が表示されています。

" 推奨 "

最も推奨できるルート

" 有料優先 "

できるだけ有料道路を通るルート

" 一般優先 "

できるだけ一般道路を通るルート

" 距離優先 "

できるだけ短い距離を通るルート

" 別ルート "

上記以外のルート

ℹ 探索が終わると、選択したルート条件とともに新しいルートが表示されます。

高速道路と一般道路が上下あるいは平行のまましばらく続くような道路を走行する場合、道路を取り違えることがあります。

このため、例えば高速道路を走行中に、自車位置マークが一般道路を走行中と表示されることがあります。

全ルート図を表示する

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " ルート " を選択します。

▶ " 全ルート " を選択します。

ルート案内中に表示される全ルート図では、以下の操作を行なうことができます。

- 通過点の表示や設定、修正や入れ替え
- 地図のスクロール（▷52 ページ）

ℹ 安全のため、走行中は一定間隔の距離で地図がスクロールします。

ルート情報を表示する

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " ルート " を選択します。

▶ " ルート情報 " を選択します。

ルート情報については（▷75 ページ）をご覧ください。

目的地情報を表示する

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 目的地 " を選択します。

▶ " 目的地情報 " を選択します。

目的地情報が表示されます。

	総距離	到着予想時刻
立寄地点	3.3km	
通過点1	8.8km	
通過点2	12km	
通過点3		
通過点4		
目的地	16km	
戻る	目的地名称	ルート情報

以下の項目が表示されます。

- 現在地から、立ち寄り地点や通過点、目的地までの距離
- 立ち寄り地点や通過点、目的地の到着予想時刻（ダイナミック・ルート・ガイダンスが行なわれているとき）
- 立ち寄り地点
- 通過点
- 目的地

ℹ 通常、通過点は 2 カ所まで設定できます。ドライブコースを使用したときのみ通過点は 4 カ所まで設定できます。

地点情報と地点名を切り替える

▶ " 地点情報 " または " 目的地名称 " を選択します。

" 地点情報 " 画面

現在地から各地点までの距離と到着予想時刻が表示されます。

" 目的地名称 " 画面

各地点の名称が表示されます。

名称	
立寄地点	りそな銀行日暮里支店
通過点1	東京都文京区小石川 5
通過点2	東京都文京区千石 1
通過点3	
通過点4	
目的地	東京都千代田区神田神保町 1
戻る	地点情報　ルート情報

ルート情報を表示する

▶ " ルート情報 " を選択します。

ルート情報については（▷75 ページ）をご覧ください。

メモリ地点

任意の地点をメモリ地点に登録できます。

ℹ 最大 100 地点までメモリ地点に登録できます。

メモリ地点を登録する

▶ 地図をスクロールして、メモリ地点に登録する地点にクロス・カーソルを合わせます。

▶ コントローラーを押してナビ基本画面を表示します。

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 保存 " を選択します。

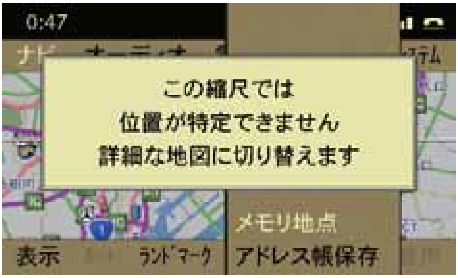
▶ " メモリ地点 " を選択します。

以下のようなメッセージが表示され、メモリ地点が登録されます。

登録されたメモリ地点は、最大 100 件までメモリ地点リストに保存されます。

ⓘ " アドレス帳保存 " を選択すると、選択地点の位置データをアドレス帳に登録することができます。詳しくは（▷190 ページ）をご覧ください。

ⓘ 地図表示が広域になっているときは、以下のようなメッセージが表示され、自動的に縮尺が切り替わります。



メモリ地点リスト

メモリ地点リストでは、以下の操作ができます。

- メモリ地点の詳細を表示して編集する
- メモリ地点をマーク順または登録順に並び替える
- メモリ地点を削除する
- すべてのメモリ地点を削除する
- メモリ地点をアドレス帳に登録する

メモリ地点リストを表示する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " メモリ地点 " を選択します。

メモリ地点リストが表示されます。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、メモリ地点を選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " を選択して、コントローラーを押します。

メモリ地点メニューが表示されます。

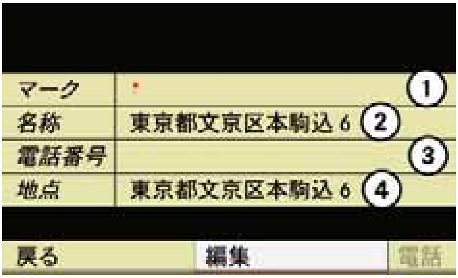
ℹ メモリ地点を選択してコントローラーを押すと、メモリ地点の地図が表示されます。

メモリ地点の詳細を表示する

▶ メモリ地点リストで、コントローラーをまわすか、上下にスライドして、詳細を表示するメモリ地点を選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 詳細 " を選択します。

メモリ地点の詳細画面が表示されます。



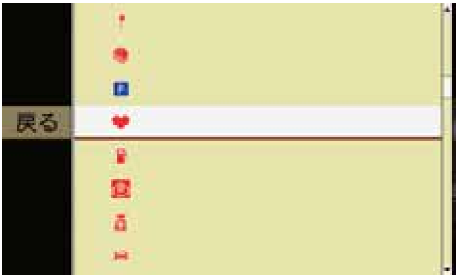
① マークの種類
② 名称
③ 電話番号（入力されている場合）
④ メモリ地点の位置

メモリ地点のマークの変更

地図上に表示されるマークを変更します。

▶ メモリ地点の詳細画面で、" 編集 " → " マーク " を選択します。

マークのリストが表示されます。



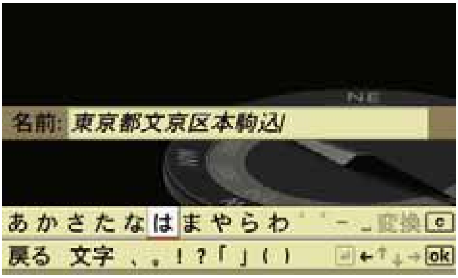
▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、マークを選択します。

下記のメッセージが表示されて、マークが変更されます。

メモリ地点の名称の変更

▶ メモリ地点の詳細画面で、"編集"→"名称"を選択します。

文字入力画面が表示されます。



文字の入力方法については（▷123 ページ）をご覧ください。

▶ 文字入力が終了したら、ok を選択します。

名称が変更され、変更した名称が地図に表示されます。

メモリ地点の電話番号の変更

▶ メモリ地点の詳細画面で、"編集"→"電話番号"を選択します。

電話番号入力画面が表示されます。

▶ コントローラーをまわすか、左右にスライドして、番号を選択します。

または

▶ テンキーで番号を入力します。

▶ 電話番号入力が終了したら ok を選択します。

電話番号が変更されます。

メモリ地点の位置の変更

▶ メモリ地点の詳細画面で、"編集"→"地点"を選択します。

地図上にクロス・カーソルが表示されます。

▶ 地図をスクロールして、コントローラーを押します。

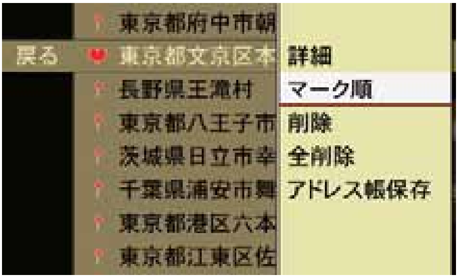
メモリ地点の位置が変更されます。

メモリ地点の並び替え

メモリ地点リストのメモリ地点を、マーク順または登録順に並び替えます。

▶ メモリ地点リスト画面で"ｵﾌﾟｼｮﾝ"を選択します。

▶ "マーク順"または"登録順"を選択します。



ℹ メモリ地点が登録順に並んでいるときは"マーク順"が、マーク順で並んでいるときは"登録順"が表示されます。

メモリ地点を削除する

▶ メモリ地点リスト画面で、コントローラーをまわすか、上下にスライドして、削除するメモリ地点を選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 削除 " を選択します。

下記の確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

メモリ地点が削除されます。

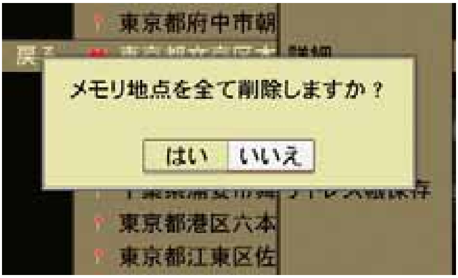
" いいえ " を選択すると、元の画面に戻ります。

すべてのメモリ地点を削除する

▶ メモリ地点リスト画面で " ｵﾌﾟｼｮﾝ " を選択します。

▶ " 全削除 " を選択します。

下記の確認メッセージが表示されます。



▶ " はい " を選択します。

すべてのメモリ地点が削除されます。

" いいえ " を選択すると、元の画面に戻ります。

メモリ地点をアドレス帳に登録する

▶ メモリ地点リスト画面で、コントローラーをまわすか、上下にスライドして、アドレス帳に登録するメモリ地点を選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " アドレス帳保存 " を選択します。

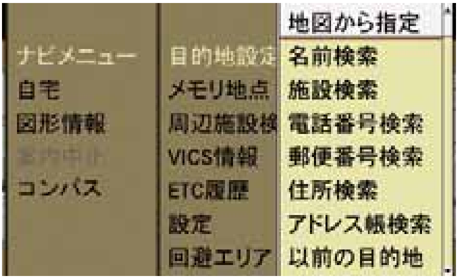
アドレス帳への登録の方法は（▷190 ページ）をご覧ください。

地点の検索方法

地図から指定する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナ ビ メ ニ ュ ー " → " 目 的 地 設 定"→"地図から指定"を選択します。



▶ 表示したい地図を選択します。

" 前回の地図 "

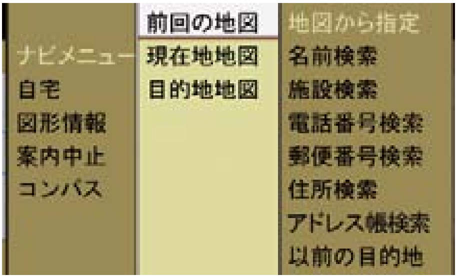
前回表示した地図を表示します。

" 現在地地図 "

現在地の地図を表示します。

" 目的地地図 "

目的地を設定しているときに、目的地周辺の地図が表示されます。



▶ コントローラーを押します。

選択した地図が表示されます。

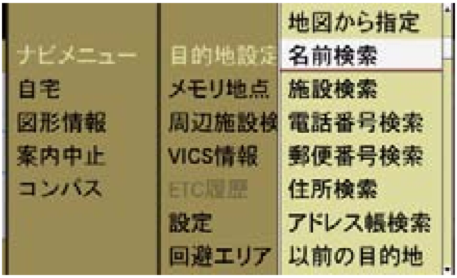
この後の操作については、以下のページをご覧ください。

目的地の設定	▷61 ページ
メモリ地点への登録	▷95 ページ
アドレス帳への登録	▷190 ページ

名前検索

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 目的地設定 " → " 名前検索 " を選択します。



ひらがなパレットが表示されます。

P82.86-6980-31

ℹ 文字が選択されていない場合、C と " リスト " は利用できません。

ℹ " リスト " は該当件数が 1 万件未満のときに選択できます。

COMAND コントローラーで入力する

▶ コントローラーをまわすか、上下左右にスライドして文字を選択します。

ℹ 灰色で表示されている文字は選択できません。

▶ コントローラーを押します。

該当する施設名が表示されます。

COMAND コントロールパネルのテンキーで入力する

▶ 入力したい文字の行が表示されたテンキーを押します。

その行の文字が表示されます。

▶ 約 2 秒以内に同じテンキーを再度押して、入力する文字を選択します。

約 2 秒後に、入力文字が確定します。

ℹ 入力文字を選択した後、他のテンキーを押したときも、入力文字は確定します。

入力した文字の削除

▶ [c]を選択します。

または

▶ コントローラー右側の [c] スイッチを押します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの [c] ボタンを押します。

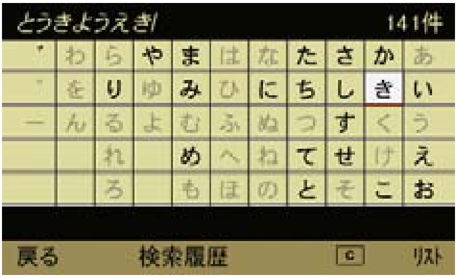
入力した文字が一文字削除されます。

ⓘ 上記の操作を保持すると、入力されたすべての文字が削除されます。

リストを開く

文字を入力すると、画面右上に該当件数が表示されます。

検索結果の該当件数が 1 万件未満になると、" ﾘｽﾄ " が選択できます。



▶ " ﾘｽﾄ " を選択します。

入力した文字に該当する施設のリストが表示されます。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、施設を選択します。

▶ コントローラーを押します。

選択した施設の地図が表示されます。また、施設名称と電話番号のウインドウが表示されます。

この後の操作については、以下のページをご覧ください。

目的地の設定	▷61 ページ
メモリ地点への登録	▷95 ページ
アドレス帳への登録	▷190 ページ
電話の発信	▷163 ページ

検索結果をさらに絞り込む

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " を選択します。

メニューが表示されます。

ⓘ 絞り込み検索は組み合わせて使用できます。各リストが表示されているときに " ｵﾌﾟｼｮﾝ " を選択すると、他の絞り込み方法で絞り込めます。

ジャンルで絞り込む

▶ " ジャンル " を選択します。

▶ " 設定 " を選択します。

ⓘ 設定した絞り込みを解除するときは、" 解除 " を選択します。

▶ コントローラーを左右にスライドします。

施設のジャンル(" 交通 " " 食事 " " 買物 ".....）が切り替わります。

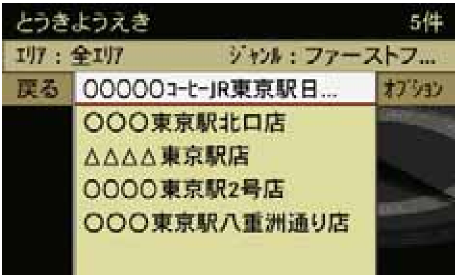
または

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドします。

施設(" 駅 " " ファミリーレストラン " .....）が切り替わります。

▶ 絞り込みたい施設を選択します。

該当施設のリストが表示されます。



▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、該当施設を選択します。

施設の地図が表示されます。また、施設名称と電話番号のウインドウが表示されます。

この後の操作については、以下のページをご覧ください。

目的地の設定	▷61 ページ
メモリ地点への登録	▷95 ページ
アドレス帳への登録	▷190 ページ
電話の発信	▷163 ページ

都道府県で絞り込む

▶ " 県別 " を選択します。

▶ " 設定 " を選択します。

ℹ 設定した絞り込みを解除するときは、" 解除 " を選択します。

▶ コントローラーを左右にスライドします。

地域（" 北海道 "、" 東北 "、" 関東 ".....）が切り替わります。

または

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドします。

都道府県が切り替わります。

▶ 絞り込みたい都道府県を選択します。

市区町村リストが表示されます。

▶ 絞り込みたい市区町村を選択します。

該当施設のリストが表示されます。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、該当施設を選択します。

施設の地図が表示されます。また、施設名称と電話番号のウインドウが表示されます。

この後の操作については、以下のページをご覧ください。

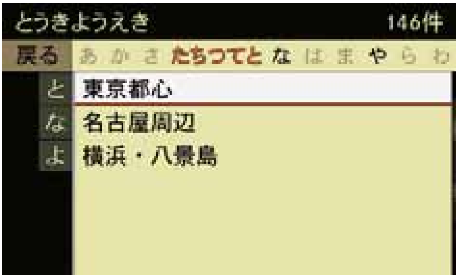
目的地の設定	▷61 ページ
メモリ地点への登録	▷95 ページ
アドレス帳への登録	▷190 ページ
電話の発信	▷163 ページ

観光スポットで絞り込む

▶ " 観光ｽﾎﾟｯﾄ " を選択します。

▶ " 設定 " を選択します。

ℹ 設定した絞り込みを解除するときは、" 解除 " を選択します。



▶ コントローラーを左右にスライドします。

50 音の行ごとに観光スポットリストが切り替わります。

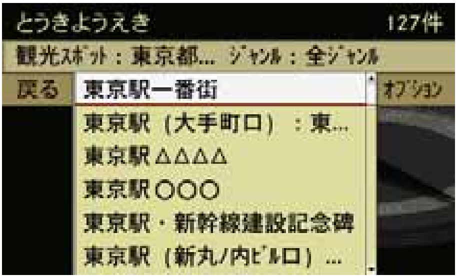
または

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドします。

観光スポットリストがスクロールします。

▶ 絞り込みたい観光スポットを選択します。

該当観光スポットのリストが表示されます。



▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、該当施設を選択します。

施設の地図が表示されます。また、施設名称と電話番号のウインドウが表示されます。

この後の操作については、以下のページをご覧ください。

目的地の設定	▷61 ページ
メモリ地点への登録	▷95 ページ
アドレス帳への登録	▷190 ページ
電話の発信	▷163 ページ

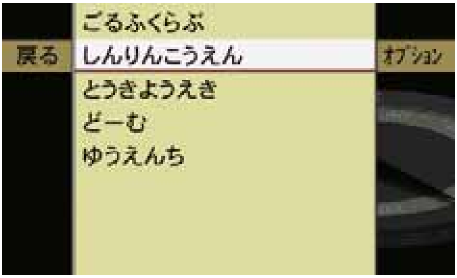
入力文字履歴から検索する

名前検索で入力した文字は記憶されます。

入力文字履歴を表示して、検索できます。

▶ " 検索履歴 " を選択します。

入力文字履歴のリストが表示されます。



▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、入力文字履歴を選択します。

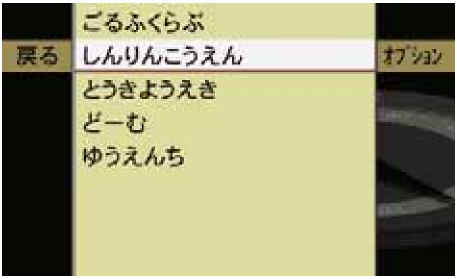
▶ コントローラーを押します。

選択した入力文字履歴がひらがなパレットに表示されます。

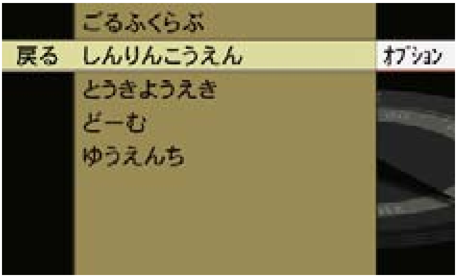
さらに文字を入力して、リストを表示できます。

入力文字履歴を削除する

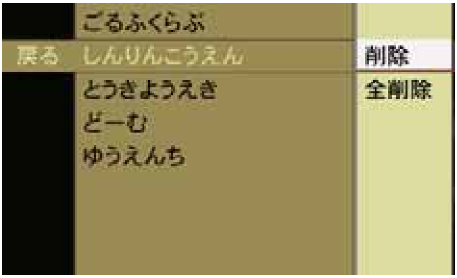
▶ 入力文字履歴のリストで、コントローラーをまわすか、上下にスライドして、削除する入力文字履歴を選択します。



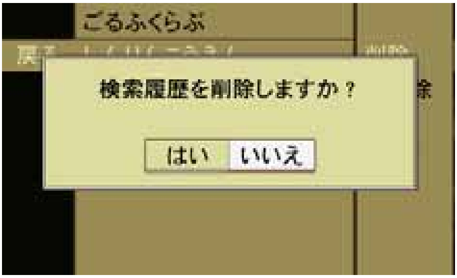
▶ " オプション " を選択します。



▶ " 削除 " を選択します。



下記の確認メッセージが表示されます。



▶ " はい " を選択します。

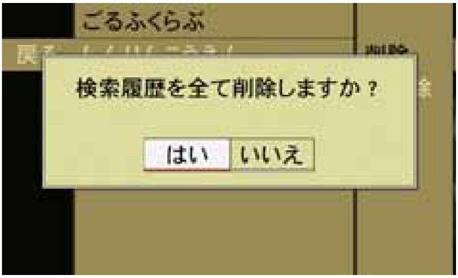
入力文字履歴が削除されます。

すべての入力文字履歴を削除する

▶ 入力文字履歴のリストで "ｵﾌﾟｼｮﾝ" を選択します。

▶ " 全削除 " を選択します。

下記の確認メッセージが表示されます。



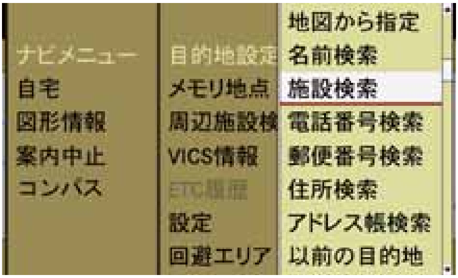
▶ " はい " を選択します。

すべての入力文字履歴が削除されます。

施設検索

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 目的地設定 " → " 施設検索 " を選択します。



施設の分類リストが表示されます。

▶ コントローラーを左右にスライドします。

施設の大分類（" 交通 "、" 食事 "、" 買物 ".....）が切り替わります。

または

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドします。

施設の小分類（"IC・SA・PA"、" 駅 "、" 空港 ".....）が切り替わります。

▶ 絞り込みたい小分類を選択します。

都道府県リストが表示されます。

▶ コントローラーを左右にスライドします。

地域（" 北海道 "、" 東北 "、" 関東 ".....）が切り替わります。

または

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドします。

都道府県が切り替わります。

▶ 絞り込みたい都道府県を選択します。

施設リストが表示されます。

▶ コントローラーを左右にスライドします。

50 音の行ごとに施設リストが切り替わります。

または

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドします。

施設リストがスクロールします。

▶ 施設を選択します。

この後の操作については、以下のページをご覧ください。

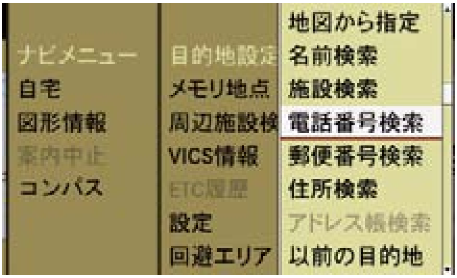
目的地の設定	▷61 ページ
メモリ地点への登録	▷95 ページ
アドレス帳への登録	▷190 ページ
電話の発信	▷163 ページ

電話番号検索

ℹ 丁目・番地・号の情報（ピンポイント情報）がない電話番号を入力した場合や、地域コードと都市コードだけを入力した場合は、代表地点の地図が表示されます。

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで "ナビ" を選択します。

▶ "ナビメニュー" → "目的地設定" → "電話番号検索" を選択します。



電話番号入力画面が表示されます。

▶ コントローラーをまわすか、左右にスライドさせて、数字を選択します。

または

▶ COMAND コントロールパネルのテンキーを押します。

入力した電話番号が表示されます。

入力した文字の削除

▶ c を選択します。

または

▶ コントローラー右側の c スイッチを押します。

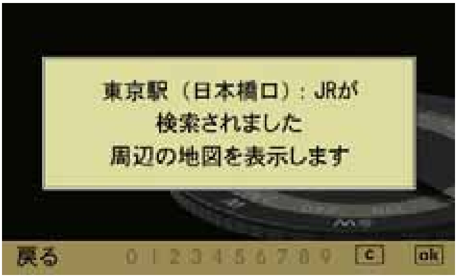
または

▶ COMAND コントロールパネルの c ボタンを押します。

カーソル左側の 1 文字が削除されます。

ℹ 上記の操作を保持すると、先頭からカーソル左側までの文字が削除されます。

10 桁の電話番号を入力すると自動的に地図画面が表示されます。



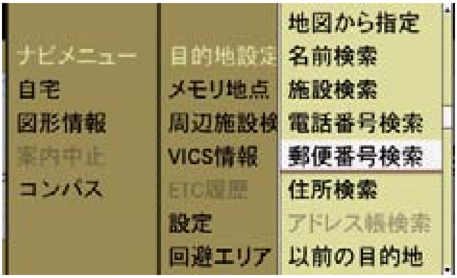
この後の操作については、以下のページをご覧ください。

目的地の設定	▷61 ページ
メモリ地点への登録	▷95 ページ
アドレス帳への登録	▷190 ページ
電話の発信	▷163 ページ

郵便番号検索

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで "ナビ" を選択します。

▶ "ナビメニュー"→"目的地設定"→"郵便番号検索"を選択します。



郵便番号入力画面が表示されます。

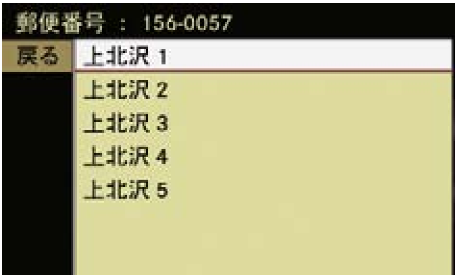
▶ コントローラーをまわすか、左右にスライドさせて、数字を選択します。

または

▶ COMAND コントロールパネルのテンキーを押します。

入力した郵便番号が表示されます。

ⓘ 地域によっては、7 桁の郵便番号を入力すると、詳細地域リストが表示されます。



入力した文字の削除

▶ c を選択します。

または

▶ コントローラー右側の c スイッチを押します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの c ボタンを押します。

カーソル左側の 1 文字が削除されます。

ⓘ 上記の操作を保持すると、先頭からカーソル左側までの文字が削除されます。

▶ "ok" を選択します。

選択地点の地図画面が表示されます。

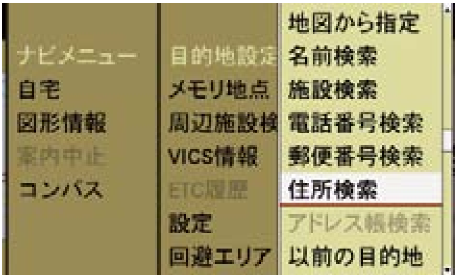
この後の操作については、以下のページをご覧ください。

目的地の設定	▷61 ページ
メモリ地点への登録	▷95 ページ
アドレス帳への登録	▷190 ページ

住所検索

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 目的地設定 " → " 住所検索 " を選択します。



都道府県リストが表示されます。

▶ コントローラーを左右にスライドします。

地域 (" 北海道 "、" 東北 "、" 関東 ".....) が切り替わります。

または

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドします。

都道府県が切り替わります。

▶ 絞り込みたい都道府県を選択します。

市区町村リストが表示されます。

▶ コントローラーを左右にスライドします。

50 音の行ごとに市区町村リストが切り替わります。

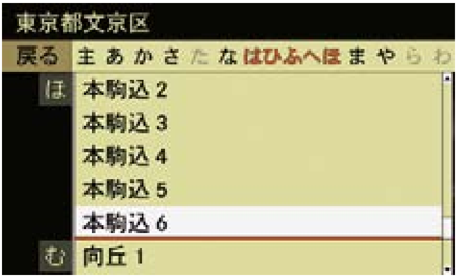
または

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドします。

市区町村リストがスクロールします。

▶ 市区町村を選択します。

詳細住所・丁目リストが表示されます。



▶ コントローラーを左右にスライドします。

50 音の行ごとに住所名リストが切り替わります。

または

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドします。

住所名リストがスクロールします。

▶ 住所名を選択します。

ℹ " ～主要部 " を選択すると、選択した市区町村または詳細住所・丁目の主要部の地図が表示されます。

番地リストが表示されます。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドします。

番地がスクロールします。

▶ 番地を選択します。

号リストが表示されます。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドします。

号がスクロールします。

▶ 号を選択します。

選択地点の地図画面が表示されます。

この後の操作については、以下のページをご覧ください。

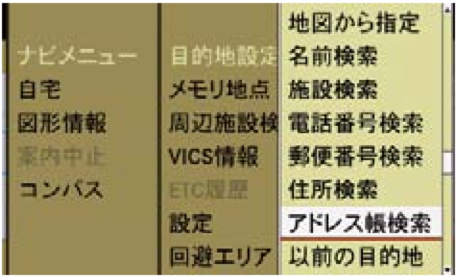
目的地の設定	▷61 ページ
メモリ地点への登録	▷95 ページ
アドレス帳への登録	▷190 ページ

アドレス帳検索

位置データが保存されているアドレス帳の登録データを検索できます。

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 目的地設定 " → " アドレス帳検索 " を選択します。



アドレス帳の登録リストが表示されます。

登録データが 8 件以上ある場合は、登録データを検索できます。

アドレス帳の検索方法については(▷197 ページ)をご覧ください。

▶ 表示したい登録データを選択します。

選択地点の地図画面が表示されます。

この後の操作については、以下のページをご覧ください。

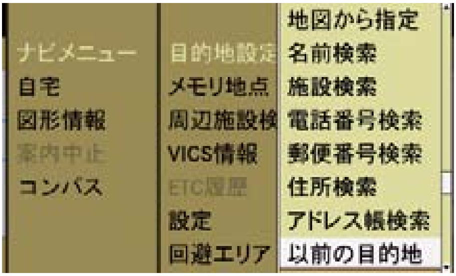
目的地の設定	▷61 ページ
メモリ地点への登録	▷95 ページ
電話の発信	▷163 ページ

以前の目的地から検索する

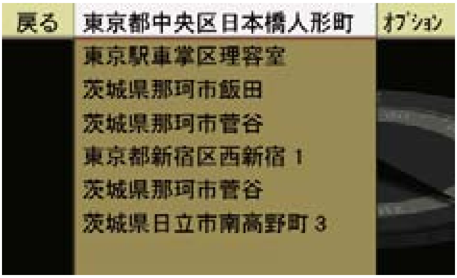
ℹ 設定した目的地は、最大 50 件まで保存されます。

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 目的地設定 " → " 以前の目的地 " を選択します。



目的地履歴リストが表示されます。



▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドします。

目的地履歴リストがスクロールします。

▶ 目的地を選択します。

選択した目的地履歴の地図画面が表示されます。

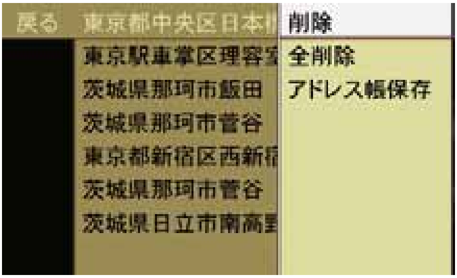
この後の操作については、以下のページをご覧ください。

目的地の設定	▷61 ページ
メモリ地点への登録	▷95 ページ
アドレス帳への登録	▷190 ページ
電話の発信	▷163 ページ

目的地履歴を削除する

▶ 目的地履歴リストでコントローラーをまわすか、上下にスライドして、削除する目的地履歴を選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 削除 " を選択します。



下記の確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

目的地が削除されます。

すべての目的地履歴を削除する

▶ 目的地履歴リストで " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 全削除 " を選択します。

確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

すべての目的地が削除されます。

目的地履歴をアドレス帳に保存する

▶ 目的地履歴リストでコントローラーをまわすか、上下にスライドして、保存する目的地を選択します。

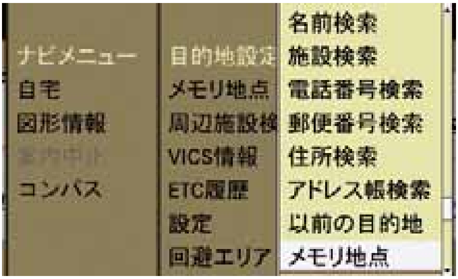
▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " アドレス帳保存 " を選択します。

アドレス帳への保存方法については（▷190 ページ）をご覧ください。

メモリ地点からの検索

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 目的地設定 " → " メモリ地点 " を選択します。



メモリ地点リストが表示されます。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、表示するメモリ地点を選択します。

▶ コントローラーを押します。

選択したメモリ地点の地図が表示されます。

この後の操作については、以下のページをご覧ください。

目的地の設定	▷61 ページ
メモリ地点への登録	▷95 ページ
アドレス帳への登録	▷190 ページ
電話の発信	▷163 ページ

メモリ地点リスト画面では以下の操作もできます。詳しくは（▷96 ページ）をご覧ください。

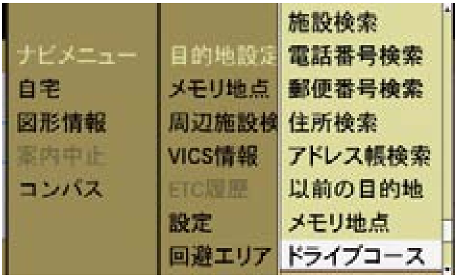
- メモリ地点をマークまたは登録順に並び替える
- メモリ地点をアドレス帳に登録する

ドライブコースからの検索

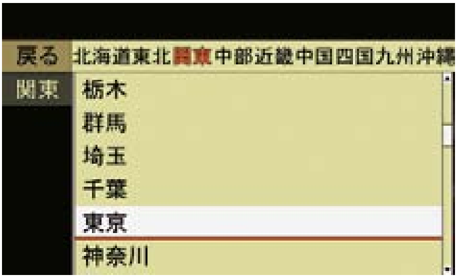
COMAND システムに登録されているドライブコースでルート案内を設定できます。

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 目的地設定 " → " ドライブコース " を選択します。



都道府県リストが表示されます。



▶ コントローラーを左右にスライドします。

地域（" 北海道 "、" 東北 "、" 関東 ".....）が切り替わります。

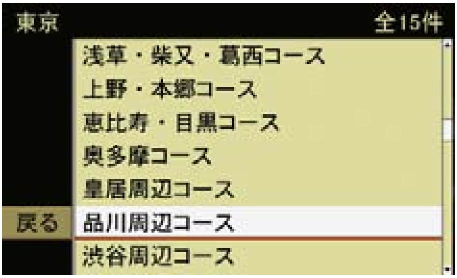
または

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドします。

都道府県が切り替わります。

▶ 都道府県を選択します。

ドライブコースリストが表示されます。

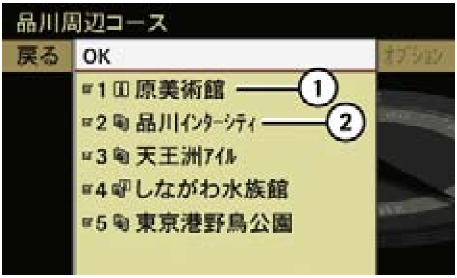


▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドします。

ドライブコースリストがスクロールします。

▶ ドライブコースを選択します。

ドライブコース詳細画面が表示されます。



① 詳細情報のある
ドライブコースポイント

② 写真情報のある
ドライブコースポイント

ℹ 施設により表示できる情報は異なります。

ドライブコースポイントからルート案内を開始する

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、ドライブコースポイントを選択します。

コントローラーを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

▶ "OK" を選択します。

選択したドライブコースポイントを通過点および目的地としてルート探索が行なわれ、ルート案内が開始されます。

ⓘ ドライブコースポイントは、ルート案内開始後に通過点として削除することができます。

ⓘ ルート案内開始後は、ドライブコースポイントの追加はできません。

ドライブコースポイントの情報

ドライブコースポイントの地図や写真、詳細情報を表示します。

ドライブコースポイントの地図を表示する

▶ ドライブコース詳細画面で、コントローラーをまわすか、上下にスライドして、地図を表示するドライブコースポイントを選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 地図 " を選択します。

ドライブコースポイントの地図が表示されます。

地図情報の表示中は、地図スクロール（▷52 ページ）と、縮尺の切り替え（▷50 ページ）ができます。

▶ コントローラーを押します。

または

▶ コントローラー左側の [⮌] スイッチを押します。

ドライブコース詳細画面に戻ります。

ドライブコースポイントの写真を表示する

▶ ドライブコース詳細画面で、コントローラーをまわすか、上下にスライドして、写真を表示するドライブコースポイントを選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 写真 " を選択します。

ドライブコースポイントの写真が表示されます。

▶ コントローラーを押します。

または

▶ コントローラー左側の [⮌] スイッチを押します。

ドライブコース詳細画面に戻ります。

ドライブコースポイントの情報を表示する

▶ ドライブコース詳細画面で、コントローラーをまわすか、上下にスライドして、情報を表示するドライブコースポイントを選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 情報 " を選択します。

ドライブコースポイントの情報が表示されます。

▶ コントローラーを押します。

または

▶ コントローラー左側の ↩ スイッチを押します。

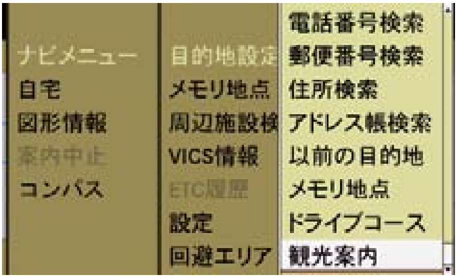
ドライブコース詳細画面に戻ります。

観光案内からの検索

COMAND システムに登録されている観光案内で、目的地を設定できます。

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 目的地設定 " → " 観光案内 " を選択します。



▶ " 前候補 " または " 次候補 " を選択して、地域を変更します。

▶ "OK" を選択します。

都道府県選択画面が表示されます。

▶ " 前候補 " または " 次候補 " を選択して、都道府県を変更します。

▶ "OK" を選択します。

エリア選択画面が表示されます。

▶ " 前候補 " または " 次候補 " を選択して、エリアを変更します。

▶ "OK" を選択します。

ジャンル選択画面が表示されます。

▶ " 前候補 " または " 次候補 " を選択して、ジャンルを変更します。

▶ "OK" を選択します。

選択したジャンル（" グルメ " 、" レジャー " 、" 観光 "）の目的地選択画面が表示されます。

▶ " 前候補 " または " 次候補 " を選択して、目的地の候補を変更します。

▶ "OK" を選択します。

目的地の情報画面が表示されます。

ℹ 施設により表示できる情報は異なります。

写真情報を表示する

▶ 目的地の情報画面で " 写真 " を選択します。

▶ "OK" を選択します。

写真情報が表示されます。

▶ コントローラーを押します。

または

▶ " 戻る " を選択します。

または

▶ コントローラー左側の ⮌ スイッチを押します。

目的地の情報画面に戻ります。

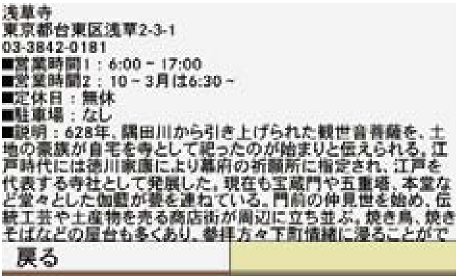
詳細情報を表示する

▶ 目的地の情報画面で " 情報 " を選択します。

▶ "OK" を選択します。

詳細情報が表示されます。

ℹ 情報がページ内に収まらないときは、COMAND コントローラーを上下にスライドすることでページをスクロールできます。



▶ コントローラーを押します。

または

▶ " 戻る " を選択します。

または

▶ コントローラー左側の ⮌ スイッチを押します。

目的地の情報画面に戻ります。

地図を表示する

▶ 目的地の情報画面で " 地図 " を選択します。

▶ "OK" を選択します。

観光地の地図と観光地名、電話番号が表示されます。

この後の操作については、以下のページをご覧ください。

目的地の設定	▷61 ページ
メモリ地点への登録	▷95 ページ
アドレス帳への登録	▷190 ページ
電話の発信	▷163 ページ

文字の入力方法

コントローラーでの入力

文字の種類の選択

▶ " 文字 " を選択します。

▶ 入力する文字の種類を選択します。

ℹ 入力項目によって、選択できる文字の種類は異なります。

電話番号や郵便番号など数字を入力する項目では、文字の種類は自動的に数字になります。

表示	入力できる文字の種類
かな / 漢字	ひらがな、漢字
ｶﾀｶﾅ	半角カタカナ
カタカナ	全角カタカナ
ABC	半角アルファベット（単語の最初の一文字だけが大文字になります） 半角主要記号
ＡＢＣ	全角アルファベット（大文字）
abc	半角アルファベット 半角主要記号
ａｂｃ	全角アルファベット（小文字）
半角数字	半角数字 半角主要記号
全角数字	全角数字 全角主要記号
特別文字	ゐ、ゑ、ヰ、ヱなど
特別数字	丸数字、ギリシア数字
特別記号	※、〒、☆など

文字の入力

▶ ↑↓←→を選択してカーソルを移動し、入力する位置を選択します。

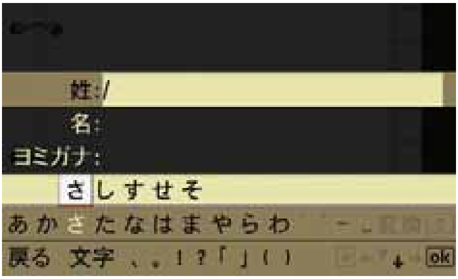
▶ コントローラーをまわすか、上下左右にスライドして、入力する文字を選択します。

ひらがなとカタカナの入力

▶ コントローラーを左右に動かして、入力するひらがな、またはカタカナの行を選択します。

選択した行の文字が表示されます。

▶ コントローラーをまわすか、左右にスライドして、入力する文字を選択します。



文字を削除する

▶ Cを選択します。

または

▶ コントローラー右側の C スイッチを押します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの C ボタンを押します。

カーソルの左側の文字が 1 文字削除されます。

ℹ 上記の操作を保持すると、入力している行の先頭からカーソルの左側までの文字が削除されます。

COMAND コントロールパネルのテンキーでの入力

文字の種類の選択

▶ COMAND コントロールパネルの # ボタンを押します。

ボタンを押すごとに文字の種類が、" かな / 漢字 " → " ｶﾀｶﾅ " → " カタカナ " → "ABC" → " ＡＢＣ " → "abc" → " ａｂｃ " →半角数字 " → " 全角数字 " → " かな / 漢字 " と切り替わります。

ℹ 入力項目によって、選択できる文字の種類は異なります。

ℹ " 特別文字 "、" 特別数字 "、" 特別記号 " を入力するときは、コントローラーで文字の種類を選択してください。

数字の入力

▶ 入力したい数字が表示されているテンキーを押します。

ひらがなやカタカナ、句読点などの入力

▶ 入力したい文字の行が表示されたテンキーを押します。

▶ 同じテンキーを再度押して、入力する文字を選択します。

約 2 秒後に､入力文字が確定します。

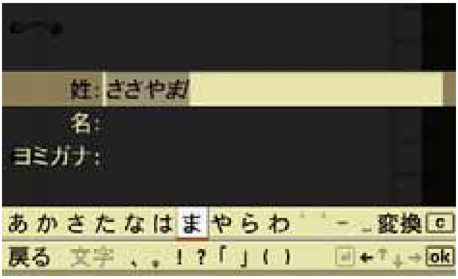
ℹ 入力文字を選択した後、他のテンキーを押したときも、入力文字は確定します。

ひらがなから漢字への変換

▶ 入力したい漢字の読みがなをひらがなで入力します。

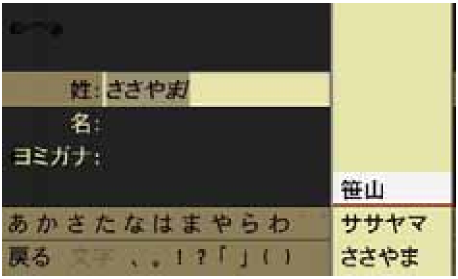
変換の対象となるひらがなが、アミかけで表示されます。

ℹ ←→を選択してカーソルを移動すると、変換範囲を変更できます。



▶ " 変換 " を選択します。

候補文字が表示されます。



▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、入力する文字を選択します。

ℹ 変換対象が長いときは、←→を選択してカーソルを移動すると、変換範囲を変更できます。

VICS

VICS とは？

COMAND システムは VICS 情報を受信できます。

VICS（道路交通情報通信システム）とは、FM 多重放送やビーコンにより、交通渋滞や所要時間、事故による規制などの道路交通情報を送信するシステムです。

VICS は Vehicle Information and Communication System の略です。

VICS は以下の情報を送信します。

- 交通渋滞
- 所要時間
- 事故および工事箇所
- 速度および車線規制
- 駐車場の位置
- 駐車場の混雑状況

ℹ VICS 情報の収集・処理・提供は、公安委員会、道路管理者、（財）日本道路交通情報センター、（財）VICS センターが行なっています。

VICS 情報内容の問い合わせ

VICS の概念や表示された情報内容に関することは（財）VICS センターにお問い合わせください。

（財）VICS センター

電話：0570-00-8831

（PHS からは利用できません）

電話受付：9:30 ～ 17:45

（土・日・祝祭日を除く）

FAX：03-3562-1719

HP アドレス：http://www.vics.or.jp

※上記の内容は取扱説明書作成時のもので、予告なく変更されることがあります。

VICS 情報の取得方法

VICS 情報は、FM 多重放送、電波ビーコン、光ビーコンにより提供されています。

! COMAND システムに送信される情報はあくまで参考情報です。

情報の収集と処理の条件により、実際の状況と COMAND システムに送信される情報が異なる場合があります。

実際の規制や状況に従って走行してください。

! FM 多重放送の情報は通常 5 分毎に更新されますが、常に最新の情報が表示されるわけではありません。そのため、最新の情報が画面に表示されるまで時間がかかる場合があります。

実際の規制や状況に従って走行してください。

ⓘ 電波ビーコンおよび光（赤外線）ビーコンのビーコン受信装置は販売店オプションです。詳しくはお買い上げの販売店またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

ⓘ 電波ビーコンおよび光（赤外線）ビーコンによる VICS 情報は、周囲の高層建物による電波干渉や山影などの地形の影響などにより、受信状態が不安定になることがあります。

FM 多重放送

特徴

- 各地域の FM 放送局の音声放送を多重化して、同一周波数帯域で放送します。
- 走行している地域の FM 放送局の情報や、その隣接地域の FM 放送局の情報を提供します。また、進行方向の前方約 100km までの高速道路の情報を提供します。

提供される情報

- 交通渋滞
- 所要時間（広域）
- 交通事故、工事規制、速度規制、車線規制などの情報（広域）
- 駐車場の位置と混雑状況

電波ビーコン *

特徴

- 交通情報を電波により提供します。
- 車両がビーコンから送信された電波を通過したときに受信します。
- 主に高速道路に設置されています。
- 進行方向の前方約 200km までの高速道路の情報や、インターチェンジ付近の接続するバイパスおよび一般道路に関する情報などを提供します。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

提供される情報

- 交通渋滞
- インターチェンジ間の所要時間
- インターチェンジ付近の交通状況
- 交通事故、速度規制、車線規制、チェーン規制、通行止めなどの情報
- 高速道路のサービスエリアおよびパーキングエリアの駐車場の混雑状況

光ビーコン *

特徴

- 交通情報を赤外線により提供します。
- 車両がビーコンから送信された電波を通過したときに受信します。
- 主要幹線道路に設置されています。
- 進行方向の前方約 30km および後方約 1km の一般道路と高速道路の情報を提供します。

提供される情報

- 交通渋滞
- 所要時間
- 交通事故、故障車、工事規制などの情報
- 駐車場の混雑状況

VICS 情報の表示形式

⚠ **事故のおそれがあります**

VICS 情報は走行中も表示されますが、表示画面を注視しないでください。

前方不注意などにより事故を起こすおそれがあります。

VICS 情報には、3 種類の表示形式があります。

レベル 1：文字情報

VICS 情報を文字で表示します。

現在の道路交通情報が文字形式で提供されます。

レベル 2：図形情報

VICS 情報を図形で表示します。

混雑している場所や所要時間が、道路の種類別に図形や文字で表示されます。

レベル 3：地図情報

取得した VICS 情報を地図上に表示します。受信する情報は、車の現在位置によって変わります。表示する情報の種類を選択して、表示 / 非表示にすることができます。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

文字情報を表示する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → "VICS 情報 " を選択します。

VICS メニューが表示されます。

VICS メニュー

▶ VICS メニューで、" 文字情報 " を選択します。

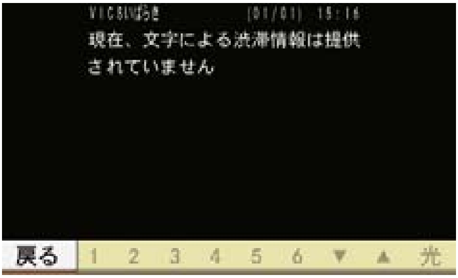
文字情報画面が表示されます。

▶ サブメニューエリアで取得したい情報の番号を選択するか、COMAND コントロールパネルのテンキーを押します。

VICS 文字情報が表示されます。

▶ ページを移動するときは、サブメニューエリアで " ▼ " または " ▲ " を選択します。

ⓘ 表示する情報がないときは以下のような画面が表示されます。



図形情報を表示する

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → "VICS 情報 " を選択します。

VICS メニューが表示されます。

VICS メニュー

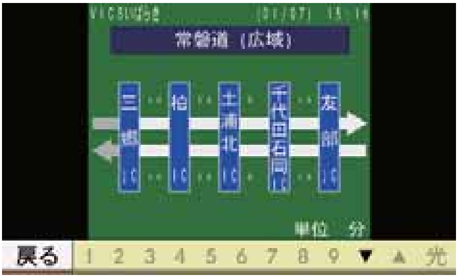
▶ VICS メニューで、" 図形情報 " を選択します。

図形情報画面が表示されます。

▶ サブメニューエリアで取得したい情報の番号を選択するか、COMAND コントロールパネルのテンキーを押します。

ℹ 情報を表示できる番号は黒色で表示されます。

VICS 図形情報が表示されます。



▶ ページを移動するときは、サブメニューエリアで "▼" または "▲" を押します。

地図上に VICS 情報を表示する

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " 表示 " を選択します。

▶ "VICS" を選択します。

▶ "VICS 一般道 " または "VICS 高速道 " を選択します。

一般道の VICS 情報を表示する

▶ "VICS 一般道 " を選択します。

コントローラーを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

一般道の情報が表示されます。

一般道の VICS 情報

高速道路の VICS 情報を表示する

▶ "VICS 高速道 " を選択します。

コントローラーを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

高速道路の情報が表示されます。

高速道路の VICS 情報

ℹ 表示する情報の種類を選択して、表示 / 非表示にすることができます（▷135 ページ）。

地図上の VICS 情報マークの詳細情報を表示する

▶ VICS 情報マークが表示されている地図画面にスクロール（▷52 ページ）して、コントローラーを押します。

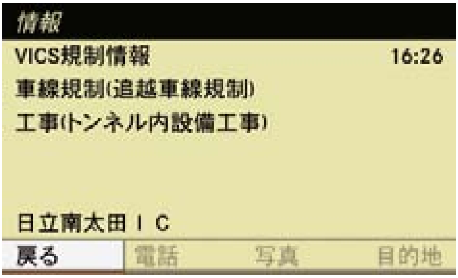
① VICS 情報マーク

▶ ナビ基本画面のサブメニューエリアで " ﾗﾝﾄﾞﾏｰｸ " を選択します。

▶ 画面上に複数の VICS 情報マークがあるときは、" 前候補 " または " 次候補 " を選択して、表示するマークを選択します。

▶ " 情報 " を選択します。

詳細情報が表示されます。

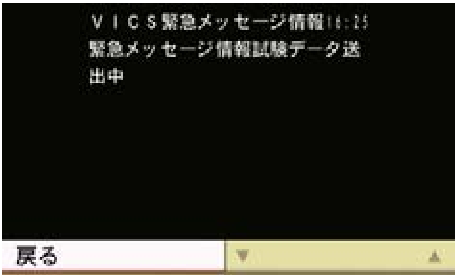


注意警戒情報を表示する

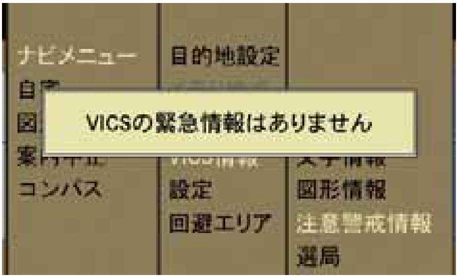
▶ VICS メニュー（▷129 ページ）で " 注意警戒情報 " を選択します。

注意警戒情報画面が表示されます。

複数の情報があるときは、サブメニューエリアで " ▼ " または " ▲ " を選択して情報画面を切り替えることができます。



ℹ 注意警戒情報がないとは、以下のような画面が表示されます。



注意警戒情報の自動表示

走行中に注意警戒情報を取得したときは、自動的に注意警戒情報が表示されます。

▶ " ズームイン " または " ズームアウト " を選択して、情報画面を拡大 / 縮小することができます。

FM VICS 放送局を選局する

▶ VICS メニュー（▷129 ページ）で " 選局 " を選択します。

以下の方法で放送局を選局できます。

- 自動選局
- 放送局をサーチする
- 受信エリアを選択して選局する

自動選局

▶ 手動選局モード画面のサブメニューエリアで " 自動選局 " を選択します。

手動選局モード画面

最も受信状態の良い放送局が自動的に選局されます。

放送局をサーチする

▶ 自動選局モード画面のサブメニューエリアで " 手動選局 " を選択します。

自動選局モード画面

▶ サブメニューエリアで " ⏮ " または " ⏭ " を選択します。

▶ コントローラーを押します。

0.1MHz 単位で低い周波数または高い周波数に変わります。

または、

▶ サブメニューエリアで " ⏮ " または " ⏭ " を選択します。

▶ コントローラーを押して保持します。

低い周波数または高い周波数に自動的に変わります。

ℹ FM 多重放送の受信可能周波数は 76.0 ～ 90.0 MHz です。

受信エリアを選択して受信

受信エリアを選択することにより、選択した都道府県の放送局を受信できます。

▶ サブメニューエリアで " リスト " を選択します。

都道府県リストが表示されます。

P82.86-7104-31

▶ コントローラーをまわすか上下にスライドして、都道府県を選択します。

選択された都道府県の受信状態の最も良い放送局を選局します。

受信できないときは、受信状況に " 選局なし " と表示されます。

VICS の設定

地図上に表示する情報や割り込み情報の種類を選択して、表示 / 非表示にすることができます。

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 設定 " → "VICS 設定 " を選択します。

VICS 設定リストが表示されます。

▶ 各項目を選択します。

コントローラーを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

" 渋滞・混雑線表示 "

渋滞している道路を赤色の矢印で、混雑している道路をオレンジ色の矢印で表示します。

" 順調線表示 "

空いている道路を緑色の矢印で表示します。

"VICS 音声案内 "

取得した VICS 情報を音声で案内します。

" 規制情報表示 "

交通規制情報が表示されます。

" 文字情報割込 "

文字情報が割り込み表示されます。

" 図形情報割込 "

図形情報が割り込み表示されます。

" 注意警戒情報割込 "

注意警戒情報が割り込み表示されます。

VICS マーク

渋滞・混雑情報

ℹ 渋滞している道路は赤色、混雑している道路はオレンジ色、空いている道路は緑色の矢印で表示されます。

また、交通規制のある区間が黄色の矢印で表示されます。

	道路の流れの目安		
矢印	一般道	都市内高速道路	都市間高速道路
→ 渋滞	10km/h 以下	20km/h 以下	40km/h 以下
→ 混雑	10km/h ～ 20km/h	20km/h ～ 40km/h	40km/h ～ 60km/h
→ 順調	20km/h 以上	40km/h 以上	60km/h 以上
→ 規制	交通規制区間		

事象規制マーク

交通障害情報

マーク	障害の内容
	事故
	故障車
	障害物・路上障害
	工事
	凍結
	作業

交通規制の情報

マーク	規制の内容
	閉鎖・通行止め
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止
	対面通行
	車線規制
	入り口閉鎖
	入り口制限
	速度規制
	徐行
	その他
	土砂崩れ
	行事など
	災害
	右左折規制
	片側規制
	火災
	悪天候
	地震警戒宣言

駐車場に関する情報

駐車場とサービスエリア（SA）/ パーキングエリア（PA）の位置を表示し、混雑状況を色で表示します。

マーク	混雑状況
	満車（混雑率 90%以上）
	混雑（混雑率 70 % ～ 90%）
	（青色） 空車（混雑率 70%以下）
	閉鎖
	（黒色） 駐車場情報がない状態

ⓘ 駐車場情報は一部のエリアでのみ提供されます。

ⓘ 駐車場情報は、500m 以下の縮尺表示を選択していて、ランドマーク表示（▷57 ページ）で " 駐車場 " を選択しているときに表示されます。

ⓘ 駐車場に関する情報は絶えず変化しているため、そのときの状況とCOMAND システムで受信した情報が異なることがあります。

駐車場に掲示されている情報などにも注意してください。

ⓘ ビル表示を選択しているときは、駐車場情報と SA/PA 情報は表示されません。

地図記号

地図記号の例

記号	名称
	高速道路・都市高速・有料道路
	国道
	主要地方道
	一般都道県道
	その他の道路（幅 5.5m 以上）
	その他の道路（幅 3.0m 以上）
	私鉄線路
	JR 線路
	水域（河川、湖沼、海など）
	緑地
	駅 / 敷地
	官庁、市町村の出先機関
	都道府県庁
	市役所
	東京 23 区役所
	町村役場、東京以外区役所
	郵便局
	警察署
	消防署
	学校
	幼稚園

記号	名称
	病院
	その他の施設
	発電所
	電話局
	銀行、信用金庫、農協
	スーパーマーケット
	ガソリンスタンド
	デパート
	薬局
	ホテル、旅館
	ビル
	工場
	神社
	寺院
	教会
	港
	城跡
	史跡
	ゴルフ場
	ボーリング場
	スキー場
	ヨットハーバー、マリーナ
	陸上競技場、体育館
	キャンプ場
	公園

記号	名称
	温泉
	洗車場
	ランドリー
	遊園地
	動物園
	灯台
	トンネル
	山
	墓地
	信号
IC	インターチェンジ
PA	パーキングエリア
SA	サービスエリア
JCT	ジャンクション
¥	料金所
P	駐車場
	道の駅
	フェリーターミナル
	空港、飛行場
	MB ディーラー

設備マーク

記号	名称
	郵便ポスト
	レストラン
	トイレ
	障害者用休憩所
	休憩所
	仮眠室
	売店
	ATM
	FAX サービス
	ハイウェイ情報ターミナル

こんなときは

画面表示や操作に対する反応に疑問を感じたときなどは、故障とお考えになる前に、以下の項目を参照して故障かどうか確認してください。

疑問に感じる現象など	現象に対する説明	対応
画面表示のディスプレイ面に光る点が散在する	• 画面表示の液晶パネルには非常に高度な製造技術で高密度の表示画素を採用しています。 • 表示する有効画素数の保証値は 99.99% 以上となっていますが、わずかながら（0.01% 以下）表示画素のエレメント配列欠損や常時点灯などの異常があることがあります。	故障ではありませんので、安心して使用してください。
自宅前の道路から案内を開始しない	• 団地内の私道や、住宅街の交通量の少ない（私道に準ずる）道は安全上と道路環境を保護するため、ルート案内対象道路として適用していません。	少し走行して近くの案内対象道路（公道）に出るとルート案内が始まります。
	• また、同じ理由から住宅街や学校付近などの「裏道や抜け道」も画面表示しなかったりルート案内や現在地表示ができないことがあります。	「裏道」などの走行中に画面表示から道路が消えても、再び案内対象道路（公道）に出るとルート案内を開始します。
道路（公道）が画面に表示されない、画面表示の施設名が実際とは異なる	道路や施設名、交差点名などについては地図の作成時点で公開されている情報に基づくものであり、実際とは異なることをご理解のうえ使用してください。	
地図の表示画面が暗すぎる、明るすぎる		▶COMAND ディスプレイの明るさを調整してください。

疑問に感じる現象など	現象に対する説明	対応
現在地マークが画面に正しく表示されない	• GPS（人工衛星）信号の受信状態や車の状態（たとえば、タイヤの交換直後やバッテリーの交換直後など）によって一時的に表示がずれることがあります。 • これまでに走行した道路と地図の登録情報が一致しないときや、地図に登録されていない新しい道路の通過後などでは一時的に表示がずれることがあります。	しばらくそのままで走行を続けると GPS の受信により自動的に修正されます。 ▶GPS を精度よく受信するために見晴らしのよい安全な場所に駐車することも一案です。 ▶GPS が連続して受信できていながら、10km 以上の距離を走行しても表示が自動的に修正されないときは手動で修正することもできます。詳細については、" 現在地（自車位置）を補正する " をご覧ください（▷144 ページ）。
現在地マークの方向と車の進行方法が合わない	以下のような状況では、一時的に車の進行方向がずれることがあります。 • 駐車場の出入り口でターンテーブルを使用したあと • ループ状の駐車場出入口の通過後 • ループ橋などの道路の通過後	しばらくそのままで走行を続けると、GPS の受信により自動的に修正されます。 ▶GPS が連続して受信できていながら、10km 以上の距離を走行しても表示が自動的に修正されないときは手動で修正することもできます。詳細については、" 現在地（自車位置）を補正する " をご覧ください（▷144 ページ）。

疑問に感じる現象など	現象に対する説明	対応
現在地位置までの走行距離の誤差が大きい（常に大きな誤差がある）	このシステムはタイヤの回転数によりこの車の走行距離を計算します。 指定サイズ、および指定ブランド以外のタイヤを装着すると表示誤差が大きくなることがあります。 非舗装路面や路面の凸凹が激しい道路、凍結路などの通過時やタイヤチェーン装着時などはタイヤの回転数が不安定になるため表示誤差が大きくなることがあります。	▶表示誤差が直らない場合や、タイヤ交換時は、必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡してください。
案内ルートが不適切 • 有料道路優先を選んでいないにもかかわらず、有料道路を案内する • 距離優先を選ぶと、有料道路の出入りをくり返す	以下のようなときは有料道路優先を選んでいなくても有料道路を案内することがあります。 • 一般道路を通ると極端に遠回りになるとき • 周囲に適切な案内対象の一般道が存在しないとき 距離優先を選ぶと、ルート探索上の最短の距離を表示します。 その結果、有料道路の区間別に繰り返し案内することがあります。	
インターチェンジなどの走行中現在地マークが回転する	ループ状のインターチェンジや交差点などを通過するときは方位が連続して変わるため、一時的に現在地マークが回転することがあります。	そのまま走行を続けると、正しい方位を探索して自動的に修正されます。
画面いっぱいに施設マークが表示される		▶施設マークを消去する場合は、" 地図に表示するランドマーク（施設）を選択する " をご覧ください（▷57 ページ）。

現在地（自車位置）を補正する

地図上の自車位置と実際の自車位置がずれていたり、自車の向きが正常に表示されないときは、補正することができます。

ℹ しばらく（約 10km）走行を続けていても現在地が自動修正できなかったり、表示誤差が大きいときは、最寄りのサービス工場で点検を受けてください。

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 設定 " → " 現在地補正 " を選択します。

現在地補正画面が表示されます。

▶ 地図スクロール（▷52 ページ）で現在地の位置を補正します。

▶ コントローラーを押します。

▶ コントローラーをまわして自車の向きを補正します。

▶ コントローラーを押します。

現在地が補正されます。

ℹ 1km 以上の縮尺表示を選択しているときはメッセージが表示され、自動的に縮尺が拡大されます。

ETC

ℹ ETC を利用するためには、事前に ETC 車載器のセットアップと ETC カードの準備が必要です。詳しくはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

ETC の設定

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 設定 " → "ETC 設定 " を選択します。

ETC 設定リストが表示されます。

▶ 各設定を選択します。

コントローラーを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

"ETC 割込表示 "

料金所に接近したときに、ETC に関連する情報を優先して画面に表示します。

"ETC 音声案内 "

ETC に関連する情報を音声で案内します。

" 警告表示 "

ETC の使用可能情報を COMAND ディスプレイに表示します。

" 警告音声案内 "

ETC の使用可能情報を音声で案内します。

ETC 割込表示画面

ETC 割込表示が設定されているときに料金所に接近すると、以下のような画面が表示されます。

P82.86-7113-31

ゲートを通過すると、料金所名と料金が表示されます。

ℹ ETC 音声案内が設定してあるときは、割込表示画面とともに、音声で案内します。

ナビ

ETC 履歴

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → "ETC 履歴 " を選択します。

ETC 履歴画面が表示されます。

各履歴を選択すると、出入口の名称が表示されます。

ℹ ETC カードが挿入されていない場合は "ETC 履歴 " は選択できません。

ETC 履歴画面の表示中に ETC カードを取り出すと、現在地画面が表示されます。

地図 / ETC バージョンの確認

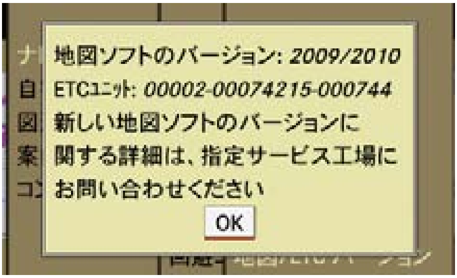
地図 / ETC バージョンを確認する

COMAND システムの地図データベースおよび ETC のバージョンを確認することができます。

▶ ナビ基本画面のアプリケーションエリアで " ナビ " を選択します。

▶ " ナビメニュー " → " 設定 " → " 地図 /ETC バージョン " を選択します。

地図ソフトのバージョンと ETC ユニットの情報が表示されます。



▶ コントローラーを押します。

元の画面に戻ります。

ℹ 地図ソフトのバージョンアップについては、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

地図データベースについて

この地図は、(財)日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」、(財)日本交通管理技術協会作成の「交通規制データベース」、インクリメントP(株)及びヤフー(株)の地図情報をもとに、三菱電機(株)が2008年3月現在までの情報を網羅し作成したものです。なお、元図の作成時期などの関係から、収録されていない新設道路があったり、地名や道路などに変更や誤りがある場合がありますので、あらかじめご了承ください。

- いかなる形式においても著作者に無断で、この地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の5千分の1国土基本図を使用したものである。
(承認番号　平19総使、第24号-12)
- この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。
(測量法第44条に基づく成果使用承認 06-021)
©2008 財団法人日本デジタル道路地図協会
- この地図は、小田原市長の承認を得て、同市発行の1/2,500国土基本図を使用したものである。
(承認番号)小田原市指令第52号 平成10年4月2日承認
- この地図は、養老町長の承認を得て、同町所管の2500分の1都市計画図を使用したものである。
平成12年 養建第1902号
- この地図の作成に当たっては、知多市長の承認を得て、同市発行の2,500分の1都市計画基本図を使用したものである。
(測量法第44条に基づく成果使用承認 平成12年度 知都発第170号)
- この地図は、貴志川町長の承認を得て同町発行の1/2,500全図を使用し、調製したものである。(承認番号)平10. 近公. 第34号
- この地図は、大木町長の承認を得て、同町発行の5,000分の1の地形図を使用し調製したものです。
(承認番号 15大木建第734号)
- この地図は、堀金村長の承認を得て1/2,500の都市計画図を参照して作成したものです。(承認番号16堀第5417号)
- この地図は、東近江市長の承認を得て、同市発行の地形図1/2,500を使用し、調製したものである。
(承認番号 東開第111号 平成18年2月28日承認)
- この地図は、伊香保町長の承認を得て平成7年度作成の10,000分の1の白図を使用し、調製したものです。
(承認番号 伊建農発229号 平成17年7月14日承認)
- この地形図は、東京都都市整備局および東京デジタルマップの東京都縮尺1/2500地形図を使用して作成したものである。
(承認番号 :18東デ共041号)
- この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺2,500分の1の地形図を使用して作成したものである。
(承認番号)18都市基交 第478号
- この地図は、津山市長の承認を得て、同市所管の測量成果津山市都市計画(1/2,500)を使用して調製したものです。
(承認番号 平成17年津山市使用承認第5号)
- この地図は、宇部市長の承認を得て平成13年作成の宇部市域図を使用したものである。
(承認番号 指令宇都第13号 平成18年5月15日承認/承認番号 指令宇都第14号 平成18年5月31日承認)
- この地図は、周防大島町長の承認を得て、周防大島町管内図を使用したものである。(承認番号 周防建設第56号 平成18年5月12日承認)
- この地図は、東かがわ市長の承認を得て、同市所管の測量成果である東かがわ市地形図1/10,000及び東かがわ市都市計画図1/2,500を使用して調製したものである。(承認番号平成18年5月2日18建第107号)
- この測量の成果は、東温市長の承認により、平成17年3月作成の東温市都市計画図を使用して得たものである。
(承認番号 H18東温都第174号)
- この地図は、宮城県知事の承認を得て、同県所管の1/5,000森林基本図を使用したものである。
(承認番号 林振第350号 平成18年9月19日承認/承認番号 林振第611号 平成19年2月28日承認)
- この地図は、秋田県知事の承認を得て森林基本図を複製したものである。承認番号 平成19年3月7日 指令水緑-1258
- この地図は、山形県の森林基本図を複製したものである。承認番号森第18-10号
- この地図は、長岡市長の承認を得て、同市所管の地形図1/10,000を使用して調製したものである。
(長都政第477号 平成18年3月28日承認)
- この図面は、山梨県が作成した測量成果をもとに作成したものです。使用承認 平成19年3月1日森整第1561号

- この地図は、長野県知事の承認を得て、長野県森林基本図を使用して作成したものである。（承認番号 18 森政第 5-5 号）
- この地図は、島根県が作成した森林基本図 1:5,000 を原図とし、島根県知事の承認を得て使用したものである。
  （承認番号 平成 18 年 11 月 24 日付け森第 1286 号／承認番号 平成 19 年 2 月 27 日付け森第 1736 号）
- この地図は、広島県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。
  （広島県使用承認林振第 115 号 平成 19 年 2 月 15 日承認）
- この地図は、徳島県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。
  （承認番号 林振第 484 号 平成 19 年 1 月 30 日承認）
- この地図は、佐賀県知事の承認を得て、同県所管の 1/5,000 森林基本図を使用したものである。
  （承認番号 森整第 010634 号 平成 18 年 10 月 4 日承認）
- この地図は、長崎県知事の承認を得て、長崎県森林基本図（1/5,000）を使用し調製したものである。（承認番号 18 林第 492 号（平成 18 年 10 月 6 日））
- この地図は、熊本県知事の承認を得て 5,000 分の 1 の森林地形図を複製したものである。
  （承認番号 森整第 993 号・平成 19 年 2 月 14 日／承認番号 森整第 1079 号・平成 19 年 3 月 7 日）
- この地図は、大分県知事の承認を得て、5,000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである。
  （承認番号林 18-1 平成 18 年 12 月 5 日／承認番号林 18-2 平成 19 年 3 月 7 日）
- この地図は、宮崎県知事の承認を得て 5000 分の 1 森林基本図を使用し、調製したものである。
  （承認番号 使 18-1 号 平成 18 年 12 月 8 日／承認番号 使 18-3 号 平成 19 年 3 月 8 日）
- この地図の作製に当たっては、鹿児島県知事の承認を得て、5 千分の 1 森林基本図を使用したものである。（承認番号 平 18 林振第 360 号）
- この地図は、知覧町長の承認を得て、同町発行の 1/5,000 全図を使用し、調製したものである。
  （承認番号）平成 18 年 5 月 26 日知耕第 590 号
- この地図に使用している交通規制データは、道路交通法に基づき設立された全国交通安全活動推進センターが作成した交通規制番号図を用いて、（財）日本交通管理技術協会（TMT）が作成したものを使用しています。
- この地図に使用している交通規制データは、2007 年 4 月現在のものです。本データが現場の交通規制と違うときは、現場の交通規制標識・表示等に従って下さい。
- この地図に使用している交通規制データの著作権は、（財）日本交通管理技術協会が有し、三菱電機（株）は二次的著作物作成の使用実施権を取得しています。 ©2007.TMT
- この地図に使用している交通規制データを無断で複写・複製・加工・改変する事はできません。
  「承認番号 08-100 承認者（財）日本交通管理技術協会（TMT）」
- この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図 250m メッシュ（標高）を使用したものです。
  （承認番号 平 7 総使、第 178 号）
- この地図で使用している画像データの一部について、その著作権は、（株）昭文社が有し、三菱電機（株）は、その使用許諾権を取得しています。
- この地図に使用している衛星画像データ（サテライトマップ）の著作権は、株式会社ジオサイエンスが有し、三菱電機（株）は、その使用許諾権を取得しています。
- この地図に使用している電話番号データは、2007 年 9 月現在のものです。 本データは NTT 情報開発（株）から提供されたタウンページデータを使用しています。
- VICS リンクデータベースの著作権は、（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会が有しています。
- 観光地 HTML 及び観光地情報は、（株) 昭文社の情報を使用しています。
- 「3 D ビルディング表示 」、「3 D ハイウェーマップ 」にはインクリメントＰ株式会社、株式会社キャドセンター、株式会社パスコ作成の「MAPCUBE®」を使用しています。
- 「MAPCUBE」はインクリメントＰ株式会社、株式会社キャドセンター、株式会社パスコの登録商標です。
- その他情報提供元
  監修：夜景愛好家　縄手真人（夜景コメント・夜景写真）

ご使用のときに…… 150
携帯電話の接続…… 151
電話…… 159
電話帳…… 174
アドレス帳…… 182
文字の入力方法…… 195
登録データの検索方法…… 197
FM 多重放送 …… 200

ご使用のときに

安全上のご注意

事故のおそれがあります

安全のため、運転者は走行中の携帯電話の接続や、携帯電話本体の使用は避けてください。

走行中は電話をかけないでください。

また、走行中に電話がかかってきたときは、あわてずに安全な場所に停車してから受けてください。

どうしても電話を受けなければならないときは、ハンズフリー機能で「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してからかけ直してください。

安全のため、走行中は電話番号を入力することができません。

走行中は、マルチファンクションステアリングのスイッチによる電話帳、音声認識、履歴の操作のみ行なうことができます。

事故やけがのおそれがあります

埋め込み型心臓ペースメーカーおよび埋め込み型除細動器を装着されている方や、それ以外の医療用電子機器を使用されている方は、携帯電話から約 22cm 以内に近付かないようにしてください。

電波の送受信により、埋め込み型ペースメーカーおよび埋め込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。

携帯電話の接続方法

COMAND システムと携帯電話の接続は、Bluetooth® 接続により行ないます。

接続した携帯電話から、ハンズフリー機能による通話や、携帯電話に登録されている名前や電話番号を COMAND システムにダウンロードすることができます。

機能の制限

- 通話可能圏外にいるか、通信ネットワークにログインしていないときは、携帯電話は使用できません。「圏外」というメッセージが表示されます。
- 走行中にドアウインドウやスライディングルーフ * またはソフトトップ * などが開いていると、ハンズフリー機能を使用した通話が妨げられることがあります。
- 安全のため、走行しているときは電話番号を入力することはできません。
- 走行しているときは、ステアリングスイッチでの電話帳操作や音声認識操作、発着信履歴リスト操作のみを行なうことができます。
- 携帯電話の機種によって、操作方法や音量が異なる場合があります。
- 携帯電話の省電力モードがオンになっていると、Bluetooth® を使って接続できないことがあります。

* オプションや仕様により、異なる装備です。

- 携帯電話の機種によっては、COMAND ディスプレイに表示される電波状況が、携帯電話に表示される電波状況と異なることがあります。
- 携帯電話によっては、電波状況が表示されないことがあります。このときは、ネットワークが使用できるかどうかのみを、枠表示の電波状況アイコンで表示します。

ℹ 日本仕様では選択できないメニューが画面に表示されることがあります。

利用できない機能は以下のように知ることができます。

- メニューの選択項目が灰色で表示されます。
- 「走行中は利用できません」というメッセージが表示されます。

携帯電話の接続

携帯電話を Bluetooth® で接続する

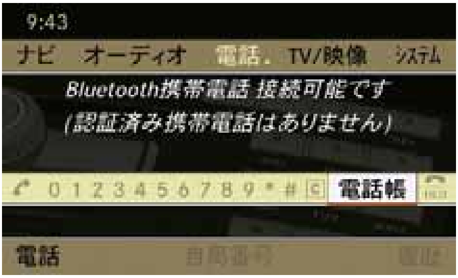
Bluetooth® により携帯電話を COMAND システムに接続して通話する場合は、Bluetooth® 対応携帯電話が必要です。

ℹ 携帯電話の機種によっては接続できない場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

COMAND システムの Bluetooth® をオンにする

▶ COMAND システムの Bluetooth® 機能をオンにします（▷39 ページ）。

ℹ COMAND システムの Bluetooth® 機能がオンにしてあり、登録（認証）してある携帯電話がないときは、以下のメッセージが表示されます。



また、マルチファンクションディスプレイに電話メニューを表示してあるときは、"Bluetooth 携帯電話 接続可能です " と表示されます。

電話

ℹ COMAND システムの Bluetooth® 機能がオフになっているときは、以下のメッセージが表示されます。

また、マルチファンクションディスプレイに電話メニューを表示してあるときは、"Bluetooth OFF" と表示されます。

携帯電話の Bluetooth® をオンにする

▶ 携帯電話の電源を入れます。

▶ 携帯電話の Bluetooth® 機能をオンにします（携帯電話の取扱説明書をご覧ください）。

ℹ 携帯電話のハンズフリープロファイルは 1.0 以上でなければなりません。

ℹ 携帯電話によっては、Bluetooth® 機能をオンにするとともに、携帯電話本体を他の機器から検索できる状態にする必要があります（詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください）。

これにより、COMAND システムは、Bluetooth® 接続可能な携帯電話を検索し、表示します。

ℹ 各 Bluetooth® 機器には Bluetooth® 機器名があります。

機器名はわかりやすい名称にすることをお勧めします。そうすることにより、携帯電話を明確に区別することができます。

Bluetooth® 機器名の設定方法については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

携帯電話を認証する

携帯電話を新たに COMAND システムに接続して使用するときは、携帯電話を登録（認証）する必要があります。

携帯電話を COMAND システムに接続するには 2 つの方法があります。

- COMAND システムから携帯電話を検索して、認証する
- 携帯電話から COMAND システムを検索して、認証する（外部認証）

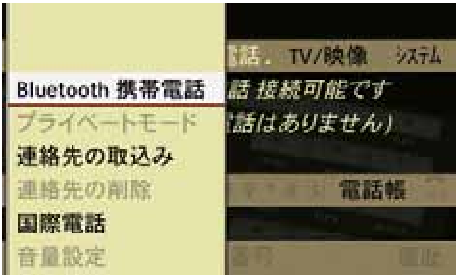
ℹ 携帯電話のセキュリティ設定によっては、COMAND システムから検索できなことがあります。このときは、携帯電話から COMAND システムを検索してください（▷156 ページ）。

携帯電話を検索する

▶ 電話基本画面（▷161 ページ）のサブメニューエリアで、" 電話 " を選択します。

▶ "Bluetooth 携帯電話 " → "Bluetooth 検索 " を選択します。

ℹ COMAND システムの Bluetooth® 機能がオフになっているときは、"Bluetooth 携帯電話 " は選択できません。



受信範囲内にある Bluetooth® 対応携帯電話の検索を行ないます。最大 10 機までの Bluetooth® 対応携帯電話を検索することができます。

ℹ マルチファンクションディスプレイに電話メニューを表示してあるときは、"Bluetooth デバイス 検索中…" と表示されます。

しばらくすると、Bluetooth® 対応携帯電話が表示されます。

ℹ 検索にかかる時間は、検索範囲にある Bluetooth® 対応携帯電話の台数や機種によって変わります。

検索には数分かかることがあります。

携帯電話を検索できない場合は、" サポートしている プロファイルを持ったデバイスが ありません " というメッセージが表示されます。

検索された機器リストが表示されます。

	アイコン	属性
①	(灰色)	認証済みだが、現在利用できない Bluetooth® 対応携帯電話 ℹ 携帯電話の電源が入っていないときや、携帯電話の Bluetooth® 機能がオフになっているときも、このアイコンは表示されます。
②	(黒色)	認証の準備ができている Bluetooth® 対応携帯電話
③	•	現在接続している Bluetooth® 対応携帯電話
④	(黒色)	認証済みの、接続可能な Bluetooth® 対応携帯電話

ℹ 機器リストを閉じたときは、再度携帯電話の検索を行なうことで、機器リストにアイコンが表示されます。

ℹ COMAND システムには最大 15 台までの Bluetooth® 対応携帯電話を接続できます。

ℹ 機器リストにすでに 15 台の携帯電話が認証されているときに、新しい機器を登録したい場合は、いずれかの機器の認証を取り消してください。

ℹ COMAND システムが携帯電話を検索できないときは、外部認証を使用してください（▷156 ページ）。

検索を再度行なう

▶ "Bluetooth 検索 " を選択します。

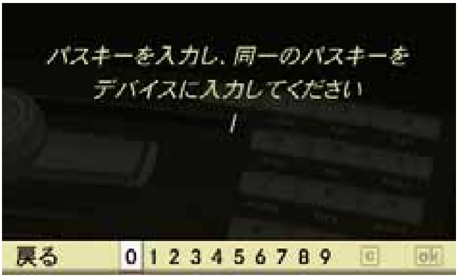
パスキーを入力する

▶ 認証したい Bluetooth® 対応携帯電話をリストから選択します。

または

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 認証 " を選択します。

パスキーの入力画面が表示されます。



ℹ パスキーは任意に選択できる 1 ～ 16 桁の数字です。

COMAND システムと認証される機器の両方に同じ数字を入力してください。

携帯電話の取扱説明書もご覧ください。

ℹ 認証を取り消した後に再度認証を行なうときは、異なるパスコードを選択してください。

認証が失敗する可能性があるため、再度認証を行なうときは、COMAND システムと携帯電話の両方で認証取り消しを行なうことをお勧めします。

▶ テンキーを押します。

または

▶ コントローラーで数字を選択します。

入力した数字を消去する

▶ COMAND コントロールパネルの [c] ボタンまたはコントローラー右側の [c] スイッチを押します。

または

▶ コントローラーで [c] を選択します。

ℹ 上記の操作を保持すると、入力したすべての数字が消去されます。

入力した数字の消去を取り消す

▶ " 戻る " を選択します。

または

▶ コントローラー左側の [↩] スイッチを押します。

入力を確定する

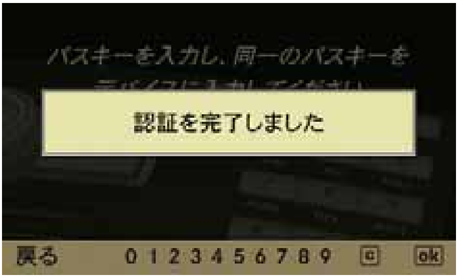
▶ コントローラーで [ok] を選択します。

" 認証中 ..." の画面が表示され、携帯電話にパスキーの入力メッセージが表示されます。

▶ 携帯電話に同じパスキーを入力します（携帯電話の取扱説明書をご覧ください）。

▶ 携帯電話に認証の確認メッセージが表示されたときは、携帯電話で認証操作を行ないます。

機器が認証されます。



認証された携帯電話を使って COMAND システムのハンズフリー機能から通話を行なうことができます。

ℹ 携帯電話によっては、COMAND システムでの認証が終了した後に携帯電話での設定を行なわなければならないことがあります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

外部認証

携帯電話のセキュリティ設定などにより、COMAND システムが携帯電話を検索できない場合があります。

その場合は、携帯電話から COMAND システムを検索して、登録することができます。

COMAND システムの Bluetooth® 機器名は "MB Bluetooth" です。

▶ 電話基本画面のサブメニューで " 電話 " を選択します。

▶ "Bluetooth 携帯電話 " → " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 外部認証 " を選択します。

下記のメッセージが表示されます。

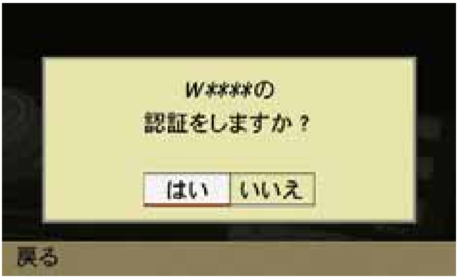
▶ 携帯電話を使って Bluetooth® 検索を開始します（携帯電話の取扱説明書をご覧ください）。

▶ 携帯電話画面の "MB Bluetooth" を選択します。

携帯電話にパスキーの入力メッセージが表示されます。

▶ 携帯電話にパスキーを入力します。

下記のメッセージが表示されます。



▶ " はい " を選択します。

▶ COMAND システムに同じパスキーを入力します。

機器が認証されます。

ℹ 携帯電話によっては、パスキーを入力する前に、携帯電話自体の暗証番号の入力を要求することがあります。

ℹ 携帯電話を接続できないときは、携帯電話の Bluetooth® 携帯機器リストを表示させ、以前の "MB Bluetooth" を削除してから再度認証を行なってください。

ℹ 携帯電話によっては、パスキーを入力した後に、携帯電話の Bluetooth® 携帯機器リストから "MB Bluetooth" を選択することにより、手動で携帯電話を COMAND システムに接続させることがあります。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

自動再接続機能

接続している携帯電話が COMAND システムの検索可能なエリアから外れたときも、再度検索可能なエリア内で携帯電話が検索されたときは、COMAND システムに自動で再接続されます。

携帯電話の詳細情報を表示する

以下の情報を表示できます。

- Bluetooth® の機器名
- Bluetooth® の識別記号
- 認証済みの可否

▶ 電話基本画面のサブメニューエリアで " 電話 " を選択します。

▶ "Bluetooth 携帯電話 " を選択します。

▶ 詳細情報を表示したい携帯電話を選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 詳細 " を選択します。

機器の詳細画面が表示されます。

詳細画面を閉じる

▶ コントローラーをまわすか、上下左右にスライドします。

または

▶ コントローラーを押します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの [c] ボタンまたはコントローラー右側の [c] スイッチを押します。

または

▶ コントローラー左側の [↩] スイッチを押します。

携帯電話の認証を解除する

▶ 電話基本画面のサブメニューエリアで " 電話 " を選択します。

▶ "Bluetooth 携帯電話 " を選択します。

▶ 認証を解除したい携帯電話を選択します。

▶ "ｵﾌﾟｼｮﾝ" → "認証取消し" を選択します。

機器の認証解除に対する確認メッセージが表示されます。

▶ "はい" を選択します。

機器の認証が解除されます。

"いいえ" を選択すると、元の画面に戻ります。

使用する携帯電話を切り替える

複数の携帯電話を認証している場合、携帯電話を切り替えることができます。

別の携帯電話を選択すると、その携帯電話が自動的に接続されます。

一度に利用できる携帯電話は 1 台だけです。

▶ "電話" → "Bluetooth 携帯電話" を選択します。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、切り替える携帯電話を選択します。

選択した携帯電話の検索を開始します。検索中にコントローラーを押すと、検索が中止されます。

▶ 携帯電話の画面に認証の確認メッセージが表示されたときは、携帯電話で認証操作を行ないます。

検索が終了すると電話基本画面になります。

ℹ 選択した携帯電話が検索できなかったときは、"接続できませんでした" と表示されます。コントローラーを押すと、元の画面に戻ります。

電話

ご使用の前に

- 以下の場合は、ハンズフリー機能を使って通話することができません。
  ◇通話可能圏外にいるとき
  ◇通話が制限されているとき（例：回線が混んでいるとき）
  ◇携帯電話が故障しているとき
  ◇携帯電話が接続されていないとき
  ◇携帯電話のバッテリー残量がないとき
  ◇携帯電話の電源が入っていないとき
  ◇COMAND システムがオフのとき（着信してもスピーカーから着信音は鳴りません）
  ◇携帯電話がその他の理由で使用できないとき
- 着信があったときは、携帯電話で設定した着信音が鳴ります。

  ただし、機種や設定によっては携帯電話の設定とは異なる着信音が鳴ることがあります。

  着信音は車のスピーカーか携帯電話、または両方から鳴ります。

  携帯電話がマナー（バイブ）モードまたは着信音消音モードに設定されている場合、異なる着信音が鳴ることや、着信音が鳴らないことがあります。
- 携帯電話をドライブモードに設定している場合は、着信を受けることができません。

ℹ 発信と同時に着信を受けた場合、画面の表示と携帯電話の作動状態が異なることがあります。

- 次のような場合は、通話相手にこちらの音声が聞こえづらくなることがあります。
  ◇悪路走行時
  ◇高速走行時
  ◇ドアウインドウやスライディングルーフ * またはソフトトップ * などが開いているとき
  ◇エアコンディショナーの送風口がルームミラーに設置してあるマイクに向いているとき
  ◇エアコンディショナーの送風音が大きいとき

* オプションや仕様により、異なる装備です。

- 携帯電話本体から発信した場合、以下の点がハンズフリーから発信した場合と異なります。
  - ◇COMAND システムの通話履歴には登録されないことがあります。その場合、通話履歴の表示は携帯電話の機種によって異なります。
  - ◇通話中の携帯電話を COMAND システムに接続した場合、通話中の電話番号は COMAND システムの通話履歴には登録されません。
  - ◇Bluetooth® 接続された携帯電話の機種によっては、接続されている携帯電話から発信したときに、通話はハンズフリーに自動的に切り替わることがあります。携帯電話によっては、携帯電話の操作により、通話をハンズフリーに切り替えることができます。詳しくは携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- ハンズフリーは、運転者が使用することを前提に設計されています。車内マイクとスピーカーは運転者が使用する際に最適となる位置に配置されています。
- 携帯電話の機種により、携帯電話のオートダイヤルロックは COMAND システムから認識することができません。この場合は、携帯電話側でダイヤルロックを解除してください。

電話を開く

ℹ "電話" アプリケーションには以下の 3 つのモードがあります。

- 電話
- アドレス帳
- FM 多重放送

最後に選択していたモードにより "電話" アプリケーションを選択したときに開くモードは異なります。

他のアプリケーションから開く

▶ COMAND コントロールパネルの TEL ボタンを押します。

または

▶ アプリケーションエリアで "電話" を選択します。

電話で前に開いていた画面になります。

電話以外の画面が開いたとき

▶ 再度、アプリケーションエリアで "電話" を選択します。

▶ "電話" を選択します。

電話の他の画面から開く

▶ アプリケーションエリアで "電話" を選択します。

▶ "電話" を選択します。

電話基本画面

①	電話接続マーク
②	電波状況表示
③	通信状況インジケーター 待機状態や着信中のときはが、通話中や発信中のときはが表示されます。
④	通話を終える
⑤	着信履歴表示、発信履歴表示、発着信履歴削除、マイクオン / オフ（通話時）
⑥	電話帳の表示
⑦	入力文字削除
⑧	自局番号表示 / 非表示切替
⑨	電話番号入力エリア（"0" が選択された状態）
⑩	電話メニュー
⑪	電話を発信する / 最後に発信したリストを表示する
⑫	Bluetooth® 接続している機器名

ℹ 電波状況が悪いときや通信圏外にいるときなどは、①②③の代わりに " 圏外 " と表示されます。

電話の発信

電話番号を入力して発信する

▶ 電話基本画面を開きます。

▶ COMAND コントロールパネルのテンキーまたはコントローラーで電話番号を入力します。

▶ COMAND コントロールパネルの ボタンを押します。

または

▶ ステアリングの スイッチを押します。

または

▶ コントローラーで を選択します。

入力した電話番号を削除する

▶ COMAND コントロールパネルの c ボタンまたはコントローラー右側の c スイッチを押します。

または

▶ コントローラーで C を選択します。

電話番号が 1 文字削除されます。

入力した電話番号をすべて削除する

▶ COMAND コントロールパネルの c ボタンまたはコントローラー右側の c スイッチを押して保持します。

または

▶ コントローラーで C を選択して保持します。

または

▶ コントローラーで HLD を選択します。

発信・着信履歴から発信する（COMAND システムでの操作）

▶ 電話基本画面のサブメニューエリアで " 履歴 " を選択します。

▶ " 着信履歴 " または " 発信履歴 " を選択します。

着信または発信した名前または電話番号と日時が表示されます。

▶ 発信したい項目を選択して、コントローラーを押します。

または

▶ 電話番号を入力していないときに、電話基本画面で 📞 を選択するか、COMAND コントロールパネルの 📞 ボタンを押します。

発信履歴が表示されます。

▶ 発信したい発信先名・発信先電話番号を選択します。

発信履歴から発信する（マルチファンクションディスプレイでの操作）

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチで "TEL" メニューを選択します。

▶ マルチファンクションディスプレイに " 電話 待ち受け " と表示されていることを確認します。

表示されていないときは、ステアリングの ☎ スイッチを押します。

▶ ステアリングの ☎ スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイに発信履歴が表示されます。

▶ ステアリングの ▲ または ▼ スイッチで、発信したい電話番号を選択します。

▶ ステアリングの ☎ スイッチを押します。

電話帳から発信する（COMAND システムでの操作）

▶ 電話帳またはアドレス帳に登録されているデータを表示させます（▷175、183 ページ）。

▶ 発信先を選択します。

▶ コントローラーを押します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの ☎ ボタンを押します。

電話帳から発信する（ステアリングスイッチでの操作）

▶ マルチファンクションディスプレイに、電話帳またはアドレス帳に登録されているデータを表示させます（▷175、183 ページ）。

▶ ステアリングの ▲ または ▼ スイッチを押して、発信先を選択します。

▶ ステアリングの OK または ☎ スイッチを押します。

発信先に複数の電話番号が登録されているときは、リストが表示されます。

▶ ステアリングの ▲ または ▼ スイッチを押して、発信したい電話番号を選択します。

▶ ステアリングの OK または ☎ スイッチを押します。

電話の着信

着信があると下記の画面が表示されます。

ⓘ 電話以外の画面を表示していても、着信があると下記の画面が表示されます。

着信を受ける

▶ " 通話 " を選択します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの ボタンを押します。

または

▶ ステアリングの スイッチを押します。

着信を受けたら、ハンズフリー機能を使って会話を行ないます。

受話音量を調整することができます（▷171 ページ）。

車内のマイクをオフにして、車内の音声を通話先に聞こえないようにさせることができます（▷166 ページ）。

応答を保留する

▶ " 応答保留 " を選択します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの ボタンを押します。

または

▶ ステアリングの スイッチを押します。

数秒後に、COMAND ディスプレイに下記の画面が表示されます。

ⓘ 応答を保留しているときは、発信元の相手には、携帯電話会社の音声メッセージが流されます。

ⓘ 携帯電話の機種により、応答保留の操作を行なうと着信が切断されることがあります。

ⓘ マルチファンクションディスプレイに電話メニューを表示してあるときに応答を保留しているときは、" 保留中 ..." と表示されます。

着信を拒否する

▶ 保留中に "着信拒否" を選択します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの [☎] ボタンを押します。

または

▶ ステアリングの [☎] スイッチを押します。

通話を終える

▶ ☎ を選択します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの [☎] ボタンを押します。

または

▶ ステアリングの [☎] スイッチを押します。

ⓘ 通話を終えると、その前に使用していた機能の画面が再度表示されます。

通話中に他の人からの着信があったとき

通話しているときに他の人から着信があった場合は、下記の応答保留画面が表示され、信号音が鳴ります。

ⓘ 別の相手からの着信を受けたときに ☎ を選択するか、COMAND コントロールパネルの [☎] ボタンを押す、またはステアリングの [☎] スイッチを押すと、携帯電話によっては、最初に通話していた相手との通話が切断され、後から着信のあった相手が通常の着信状態になったり、最初に通話をしていた相手および後から着信のあった相手との通話も切断されます。

ⓘ 携帯電話の機種や契約内容によっては利用できません。

別の相手からの着信を受ける

▶ ✆を選択します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの [✆] ボタンを押します。

または

▶ ステアリングの [✆] スイッチを押します。

ⓘ 別の相手からの着信を受けると、前の相手との通話は保留になります。このときは 2 つの通話がつながっている状態になります。

通話する相手を変更する

▶ ✆ を選択します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの [✆] ボタンを押します。

または

▶ ステアリングの [✆] スイッチを押します。

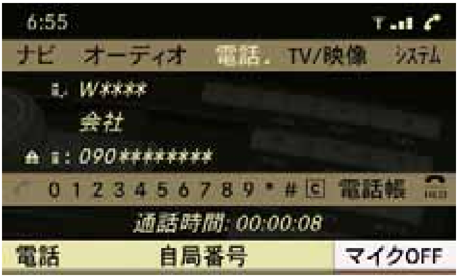
車内マイクをオフにする

車内の音声が通話先に聞こえないようにするために、ハンズフリーマイクをオフにできます。

車内マイクがオフのときは、メインエリアに ⊗ マークが表示されます。

車内マイクをオフにする

▶ 通話中に " マイク OFF" を選択します。

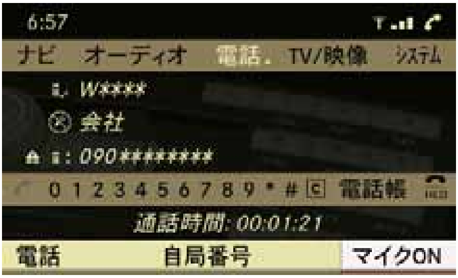


または

▶ COMAND コントロールパネルの 🔇 ボタン、またはステアリングの 🔇 スイッチを押します。

車内マイクをオンにする

▶ 車内マイクがオフのときに " マイク ON" を選択します。



または

▶ COMAND コントロールパネルの 🔇 ボタン、またはステアリングの 🔇 スイッチを押します。

プライベートモード

プライベートモードにすると車内のマイクやスピーカーがオフになり、携帯電話本体からのみ通話ができるようになります。

プライベートモードにする

▶ 通話中に " 電話 " → " プライベートモード " を選択します。

" プライベートモード " というメッセージが表示され、携帯電話本体での通話に切り替わります。

ハンズフリーモードにする

▶ 電話基本画面のメインエリアで " ハンズフリーモード " を選択します。

ℹ 携帯電話の機種により、" プライベートモード " を選択してもディスプレイに " プライベートモード " と表示されず、"Bluetooth 接続待ち " と数秒間表示されることがあります。このときは、数秒後に携帯電話は再度接続され、ハンズフリーモードに戻ります。

ℹ 携帯電話の機種により、待ち受け中に携帯電話本体で通話を行なうと、自動的にプライベートモードになることがあります。

ℹ プライベートモードのときは、車内マイクのオン / オフはできません。

! 運転者は、走行中に携帯電話をプライベートモードで使用しないでください。

着信・発信履歴

着信履歴（通話せずに切断した着信も含みます）または発信履歴を表示できます。

ℹ 携帯電話の機種によっては、別の携帯電話を接続すると、プライバシーを保護するために、それまでの発信・着信履歴は削除されます。

ℹ 携帯電話の機種によっては、別の携帯電話を接続するまでは、一度認証を解除しても、再度認証を行なうと発信・着信履歴が表示されます。

ℹ 携帯電話の機種によっては、通話せずに切断した発信・着信履歴が表示されない場合があります。

ℹ マルチファンクションディスプレイに発信履歴を表示することができます。

COMAND ディスプレイに着信・発信履歴を表示する

▶ 電話基本画面のサブメニューエリアで " 履歴 " を選択します。

▶ " 着信履歴 " または " 発信履歴 " を選択します。

履歴画面が表示されます。

履歴画面

① 属性を示すアイコン（電話番号 / 発信元 / 発信先がアドレス帳に登録されている場合）
② 着信 / 発信した日付と時刻
③ 発信元名·発信元電話番号 / 発信先名·発信先電話番号（発信元 / 発信先が電話帳に登録されているときに表示）
④ 通話されなかった（電話が受信されなかった）ことを示すアイコン

履歴項目を選択する

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドします。

マルチファンクションディスプレイに発信履歴を表示する

▶ ステアリングの [◀] または [▶] スイッチで "TEL" メニューを選択します。

▶ マルチファンクションディスプレイに " 電話 待ち受け " と表示されていることを確認します。

表示されていないときは、ステアリングの [☎] スイッチを押します。

▶ ステアリングの [✆] スイッチを押します。

マルチファンクションディスプレイに発信履歴が表示されます。

▶ ステアリングの [▲] または [▼] スイッチを押します。

発信履歴がスクロールします。

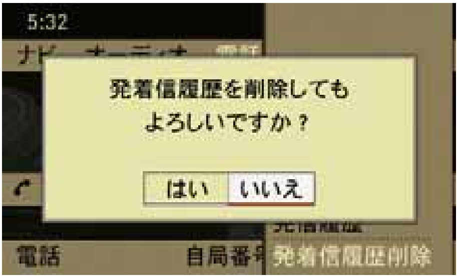
ⓘ 走行しているときは、電話帳に登録されていない発信履歴は " ＊＊＊＊＊ " と表示されます。

履歴を削除する

▶ 電話基本画面のサブメニューエリアで " 履歴 " を選択します。

▶ " 発着信履歴削除 " を選択します。

▶ " はい " を選択します。



履歴が削除されます。

" いいえ " を選択すると、元の表示に戻ります。

ℹ 他の携帯電話を接続したときは、現在の履歴は自動的に削除されます。

ℹ 携帯電話の機種によっては、COMAND システムに接続すると発着信履歴が COMAND システムに自動的にダウンロードされます。

このときは、COMAND システムへの接続が断たれると発着信履歴は自動的に削除され、" 発着信履歴 " は選択できなくなります。

履歴項目の詳細を表示する

履歴項目の詳細を表示することができます。

▶ 詳細を表示したい履歴項目を選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 詳細 " を選択します。

詳細表示画面が表示されます。

▶ コントローラーを押すか、いずれかの方向に操作すると、元の画面に戻ります。

履歴項目をアドレス帳の登録データとして保存する

履歴項目をアドレス帳に新規保存する

▶ 保存したい履歴項目を選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 保存 " を選択します。

▶ " 新規 " を選択します。

▶ " 一般 "、" プライベート "、" 会社 " のいずれかを選択します。

▶ " 一般 "、" 固定電話 "、" 携帯電話 "、"FAX"、" 自動車電話 " のいずれかを選択します。

▶ 通常使用する電話番号であるときは、" 通常使用番号 " を選択します。

コントローラーを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

▶ " 保存 " を選択します。

" 保存 " を選択しないと、選択内容が保存されません。

▶ " 姓 " と " 名 " を入力します。

文字の入力方法については（▷195 ページ）をご覧ください。

▶ 文字入力を終えたら、コントローラーを押します。

選択した履歴データがアドレス帳に登録されます。

ℹ 複数の電話番号が登録されていて、普段使用する電話番号として登録したいときは、" 通常使用番号 " を選択してください。選択した電話番号は、電話帳 / アドレス帳画面では赤色で表示され、マルチファンクションディスプレイの電話帳画面では登録電話番号の最上段に表示されます。

履歴項目を既存のアドレス帳の登録データに追加登録する

▶ 追加したい履歴項目を選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 保存 " を選択します。

▶ " 電話番号追加 " を選択します。

▶ " 一般 "、" プライベート "、" 会社 " のいずれかを選択します。

▶ " 一般 "、" 固定電話 "、" 携帯電話 "、"FAX"、" 自動車電話 " のいずれかを選択します。

▶ 通常使用する電話番号であるときは、" 通常使用番号 " を選択します。

コントローラーを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

▶ " 保存 " を選択します。

" 保存 " を選択しないと、選択内容が保存されません。

アドレス帳の検索メニューが表示されます。

▶ 電話番号を追加するアドレス帳の登録データを検索します。

登録データの検索方法については（▷197 ページ）をご覧ください。

▶ 検索が終了したら、コントローラーを押します。

アドレス帳に登録されている電話番号が 5 件未満の場合は、データがそのまま登録されます。

登録されると、メッセージが表示されます。

電話番号が 5 件登録されている場合、既存の番号のどれか 1 つを上書きするかどうか確認するメッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

▶ 上書きする番号を選択します。

選択した番号が上書きされます。

" いいえ " を選択すると、元の表示に戻ります。

受話音量 / 発話音量を調整する

受話音量 / 発話音量の調整は、携帯電話の受話音量 / 発話音量設定値に応じて COMAND システムの設定を変更するため、音量が大きくなることがあります。受話 / 発話状況が悪くなる可能性があるため、注意して設定の変更を行なってください。

ℹ 詳しい内容については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

ℹ 通常の受話音量の調整は、COMAND コントロールパネルの音量調整ダイヤルで行なうことができます。

▶ 電話基本画面のサブメニューエリアで " 電話 " → " 音量設定 " を選択します。

① 音量インジケーター

受話音量を調整する

▶ " 受話音量 " を選択します。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドします。

音量インジケーター①が上下に移動します。

または

▶ 着信中または通話中にステアリングの [+] または [−] スイッチを押します。

携帯電話からの受話音量が調整されます。

発話音量を調整する

▶ " 発話音量 " を選択します。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドします。

音量インジケーターが上下に移動します。

携帯電話への発話音量が調整されます。

ℹ 設定値は携帯電話を接続しているときに調整できます。

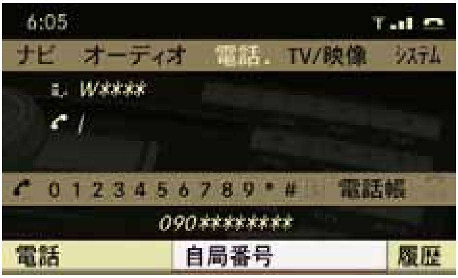
設定値は、通話しているときに調整できます。

自局番号を表示する

▶ 電話基本画面のサブメニューエリアで " 自局番号 " を選択します。

接続している携帯電話の電話番号がサブメニューエリアの上に表示されます。

ℹ 走行しているとき、または携帯電話の機種により、" 自局番号 " が灰色で表示され、選択できない場合があります。



自局番号表示を消す

▶ 再度、電話基本画面のサブメニューエリアで " 自局番号 " を選択します。

国際電話

ご契約の携帯電話会社に応じた国際プリフィックス番号を設定すると、自動的に国際電話を発信することができます。国際電話を発信するときの国際電話発信表示 " ＋ " の代わりになります。

この機能は、電話帳またはアドレス帳の電話番号の前に " ＋ " が付加されているときに使用できます。

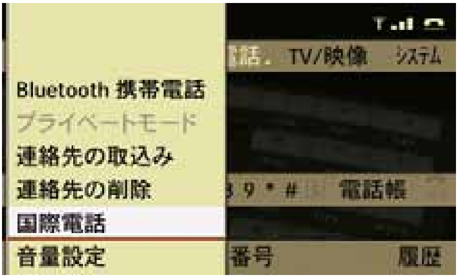
ℹ 日本では、国際プリフィックス番号は電話会社によって異なります。

ℹ COMAND コントロールパネルで " ＊ " キーを 2 度素早く押すことにより、"+" を入力できます。

国際プリフィックス番号の設定

▶ 電話基本画面のサブメニューエリアで " 電話 " を選択します。

▶ " 国際電話 " を選択します。



- テンキーまたはコントローラーで国際プリフィックス番号を入力します。最大 12 文字まで入力可能です。

- ok を選択します。

  " 保存されました " というメッセージが表示されます。

ℹ " 戻る " を選択したときに国際プリフィックス番号がすでに設定されている場合は、" 変更内容を保存しますか？ " という確認メッセージが表示されます。

確定するときは、" はい "、取り消すときは " いいえ " を選択します。

携帯電話会社の国際プリフィックス番号は以下の通りです。

NTT ドコモ、ソフトバンク モバイル、ディズニー・モバイル、イー・モバイル：010

au：005345

電話帳

アドレス帳の登録データから姓名と電話番号を抽出したものが電話帳です。

電話帳の登録データは、COMAND システムから直接入力したり、以下のデバイスからダウンロードすることにより、登録できます。

- Bluetooth® 携帯電話などの Bluetooth® 機器
- PC カード

ⓘ 携帯電話などの機種によっては、電話帳をダウンロードできないことがあります。

詳細についてはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

ⓘ 携帯電話などの機種とデータ量によって、ダウンロードに時間がかかることがあります。

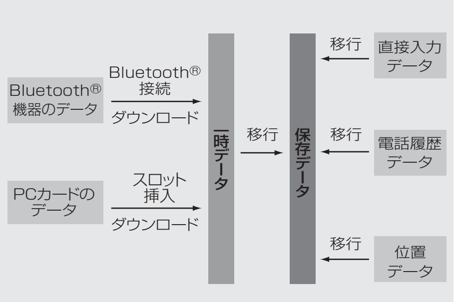
ⓘ 操作方法は携帯電話などの機種によって異なります。

詳細については機器の取扱説明書をご覧ください。

ⓘ 電話帳にダウンロードした登録データは、携帯電話などの接続を解除したときや、PC カードを抜いたときも、消去されません。必要に応じて登録データを削除してください。

一時データと保存データについて

COMAND システムに登録される電話帳登録データやアドレス帳登録データには、一時データと保存データの 2 種類があります。



ダウンロードした登録データは、ダウンロード元別に分類された一時データとして保存されます。

ⓘ 一時データを編集して保存すると、自動的に保存データに移行されます。

ⓘ PC カードからダウンロードした一時データは、新しいデータをダウンロードするときに " 上書き " を選択すると、上書きされます。

ⓘ PC カードからダウンロードした一時データは、新しいデータをダウンロードするときに " 追加 " を選択すると、上書きされません。

ⓘ Bluetooth® 接続した機器からダウンロードした一時データは、同じ Bluetooth® 機器または、他の Bluetooth® 機器からデータをダウンロードしても、上書きされません。

電話帳画面

▶ 電話基本画面で " 電話帳 " を選択します。

電話帳画面が表示されます。

① 選択されている登録データのよみがな
② Bluetooth® 接続携帯電話の一時データアイコン
③ 保存データのアイコン
④ PC カードの一時データアイコン
⑤ 文字入力パレット

ℹ 電話帳に 8 件以上の登録データがあるときは、文字入力パレットが表示されます。

電話帳画面から電話を発信する

▶ 発信したい登録データを選択して、コントローラーを押します。

ℹ 電話帳に 8 件以上の登録データがあるときは、検索画面が表示されます。検索方法については（▷197 ページ）をご覧ください。

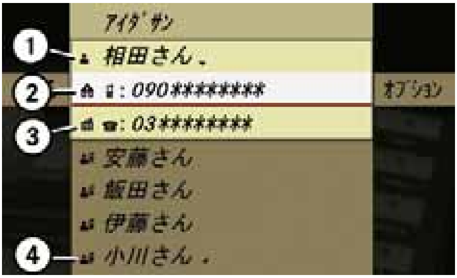
複数の電話番号が登録されているとき

複数の電話番号が登録されている登録データには、" ◢" マークが表示されます。

登録データを開く

▶ " ◢" マークの付いている登録データを選択します。

登録データが開きます。



① 開いた登録データ
② " プライベート " に登録されている電話番号
③ " 会社 " に登録されている電話番号
④ 複数の電話番号が登録されている登録データ（閉じた状態）

電話帳を閉じる

▶ " 戻る " を選択します。

または

▶ コントローラー左側の [↩] スイッチを押します。

登録データの詳細を表示する

登録データの情報を表示できます。

▶ 詳細を表示したい登録データを選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 詳細 " を選択します。

詳細表示画面を閉じる

▶ コントローラーをまわすか、いずれかの方向にスライドします。

マルチファンクションディスプレイの電話帳

マルチファンクションディスプレイに電話帳を表示できます。

▶ ステアリングの [◀] または [▶] スイッチで "TEL" メニューを選択します。

▶ マルチファンクションディスプレイに " 電話 待ち受け " と表示されていることを確認します。

表示されていないときは、ステアリングの [☎] スイッチを押します。

▶ ステアリングの [▲] [▼] [OK] スイッチのいずれかを押します。

マルチファンクションディスプレイに電話帳が表示されます。

E クラス

登録データを選択する

▶ ステアリングの [▲] または [▼] スイッチで、登録データを選択します。

ℹ ステアリングの [▲] または [▼] スイッチを押して保持すると、スクロールが早くなります。

また、スイッチを押して保持してから約 2 秒経過すると、50 音順にそれぞれの文字の先頭項目を表示します。

マルチファンクションディスプレイから電話を発信する

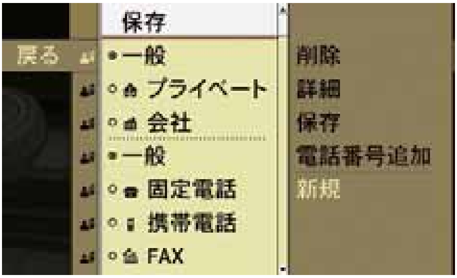
▶ ステアリングの [📞] または [OK] スイッチを押します。

電話が発信されます。

ℹ 登録データに複数の電話番号が登録されているときは、ステアリングの [📞] または [OK] スイッチを押すと、登録されている複数の電話番号が分類名で表示されます。ステアリングの [▲] または [▼] スイッチで、発信したい電話番号の分類名を選択して、ステアリングの [📞] または [OK] スイッチを押すと電話が発信されます。

新しい電話帳データを作成する

▶ 電話帳画面で " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 新規 " を選択します。



▶ " 一般 "、" プライベート "、" 会社 " のいずれかを選択します。

▶ " 一般 "、" 固定電話 "、" 携帯電話 "、"FAX"、" 自動車電話 " のいずれかを選択します。

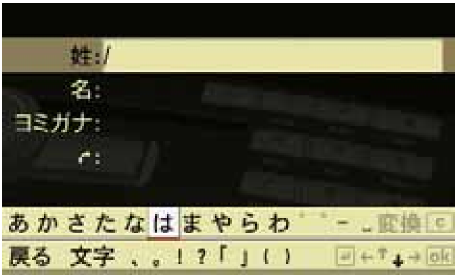
▶ 通常使用する電話番号であるときは、" 通常使用番号 " を選択します。

コントローラーを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

▶ " 保存 " を選択します。

" 保存 " を選択しないと、選択内容が保存されません。

姓、名、電話番号の入力画面が表示されます。



▶ 文字の入力方法については（▷195 ページ）をご覧ください。

▶ 文字入力が終了したら、ok を選択します。

ℹ 複数の電話番号が登録されていて、普段使用する電話番号として登録したいときは、" 通常使用番号 " を選択してください。選択した電話番号は、電話帳 / アドレス帳詳細画面の電話番号リストで赤色で表示され、マルチファンクションディスプレイの電話帳画面では登録電話番号の最上段に表示されます。

電話

既存の登録データに電話番号を追加登録する

▶ 電話帳画面で電話番号を追加したい登録データを選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 電話番号追加 " を選択します。

▶ " 一般 "、" プライベート "、" 会社 " のいずれかを選択します。

▶ " 一般 "、" 固定電話 "、" 携帯電話 "、"FAX"、" 自動車電話 " のいずれかを選択します。

▶ 通常使用する電話番号であるときは、" 通常使用番号 " を選択します。

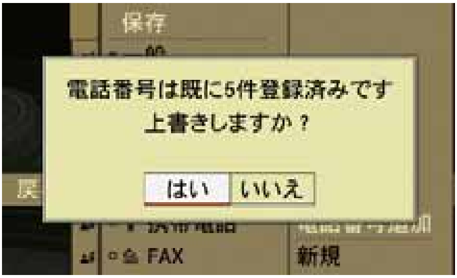
コントローラーを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

▶ " 保存 " を選択します。

" 保存 " を選択しないと、選択内容が保存されません。

電話番号の入力画面が表示されます。

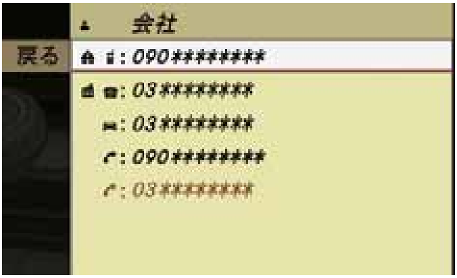
追加したい登録データにすでに電話番号が 5 件登録されているとき



▶ 上書きする場合は " はい " を選択します。

既存の電話番号リストが表示されます。

▶ 上書きする電話番号を選択します。



電話番号の入力画面が表示されます。

電話番号を入力する

▶ コントローラーをまわすか、左右にスライドさせて、数字を選択します。

または

▶ テンキーを押します。

入力した数字を削除する

▶ [c]を選択します。

または

▶ コントローラー右側の [c] スイッチ、または COMAND コントロールパネルの [c] ボタンを押します。

入力文字が 1 文字削除されます。

ⓘ [c] を選択して保持するか、コントローラー右側の [c] スイッチまたは COMAND コントロールパネルの [c] ボタンを押して保持すると、すべての文字が一度に消去されます。

入力を確定する

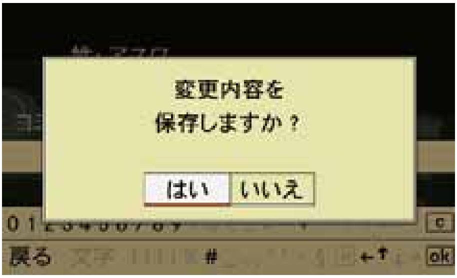
▶ [ok] を選択します。

入力が確定し、電話帳画面が表示されます。

または

▶ " 戻る " を選択するか、コントローラー左側の [⮌] スイッチを押します。

下記の画面が表示されます。



▶ " はい " を選択します。

入力が確定し、電話帳画面が表示されます。

一時データを保存データに移行する

▶ 保存データにしたい一時データの登録データを選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 保存 " を選択します。

" 保存されました " というメッセージが表示されます。

電話帳の登録データを削除する

個別に登録データを削除する

▶ 削除したい登録データを選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 削除 " を選択します。

または

▶ コントローラー右側の [c] スイッチ、または COMAND コントロールパネルの [c] ボタンを押します。

登録データの削除に対する確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

登録データが削除されます。

" いいえ " を選択したときは、元の表示に戻ります。

ⓘ 電話帳の登録データに名前と電話番号が登録してあるとき、その登録データを削除すると、対応するアドレス帳のデータも削除されます。

種別ごとに一時データを削除する

一時データをダウンロードしたとき、以下の種別ごとに一時データを削除できます。

- Bluetooth® 接続された携帯電話からダウンロードしたデータ
- PC カードからダウンロードしたデータ

▶ 電話基本画面のサブメニューエリアで " 電話 " を選択します。

▶ " 連絡先の削除 " を選択します。

▶ 削除する登録データの種別を選択します。

" COMAND 上で作成した連絡先 "

COMAND システムで新たに作成した登録データや、一時データから登録データに保存したデータが削除されます。

" 携帯電話から "

日本仕様では選択できません。

" メモリーカードから "

PC カードからダウンロードされた一時データが削除されます。

" Bluetooth 接続機器から "

Bluetooth® 接続された携帯電話からダウンロードされた一時データが削除されます。

削除する登録データの種別により、登録データを削除するかの確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

選択した種別の一時データが削除されます。" いいえ " を選択すると、元の表示に戻ります。

すべての登録データを削除する

▶ 電話基本画面のサブメニューエリアで " 電話 " を選択します。

▶ " 連絡先の削除 " を選択します。

▶ " 全削除 " を選択します。

登録データを削除するかの確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

すべての登録データが削除されます。" いいえ " を選択すると、元の表示に戻ります。

ⓘ " 全削除 " を選択すると、アドレス帳の登録データも含めたすべての登録データが削除されます。

電話

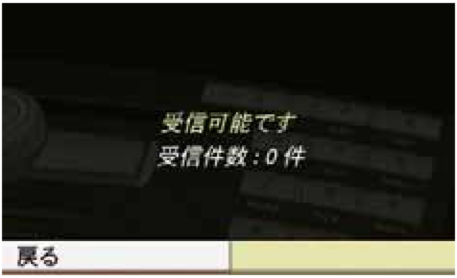
Bluetooth® 機器からデータをダウンロードする

ℹ Bluetooth® 機器の機種により、電話帳をダウンロードできないことがあります。

▶ 電話基本画面のサブメニューエリアで " 電話 " を選択します。

▶ " 連絡先の取込み " → "Bluetooth デバイスから " を選択します。

受信待機画面が表示されます。



▶ 携帯電話から COMAND システムにデータを送る操作を行ないます。

ℹ 携帯電話の機種により、操作方法は異なります。携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

ℹ 携帯電話が COMAND システムに認証されていないときは、確認画面が表示されます。データをダウンロードするときは、" はい " を選択してください。

ℹ 携帯電話の機種によっては、セキュリティ設定により、データを送信する前に認証操作が必要なことがあります。

PC カードからデータをダウンロードする

ℹ PC カードからデータをダウンロードするときは、PC カード内にフォルダなどを作らずに、直接 vCard ファイルを保存してください。

vCARD ファイルとは、".vcf" の拡張子を持つファイルです。

▶ PC カードをセットします（▷221 ページ）。

▶ 電話基本画面のサブメニューエリアで " 電話 " を選択します。

▶ 連絡先の取込み " → " メモリーカードから " を選択します。

▶ " 追加 " または " 上書き " を選択します。

PC カードの電話帳が COMAND システムにダウンロードされます。

ⓘ " 上書き " を選択すると、それまで登録されていた、PC カードの一時データは消去されます。

" 追加 " を選択すると、それまで登録されていた、PC カードの一時データにデータが追加されます。

PC カードの一時データがないときは、" 上書き " は灰色で表示され、選択できません。

アドレス帳

アドレス帳の登録データは、COMAND システムから直接入力したり、以下のデバイスからダウンロードすることにより、登録できます。

- Bluetooth® 携帯電話などの Bluetooth® 機器
- PC カード

ⓘ COMAND システムから直接作成した電話帳データは、自動的にアドレス帳に登録されます。

ⓘ 電話帳データとアドレス帳データには、合計で 1000 件のデータを登録できます。

アドレス帳の登録データは、携帯電話と COMAND システムの接続を外したり、PC カードを取り出しても削除されません。必要に応じて、登録データを削除してください。

ⓘ 携帯電話の機種によっては電話番号や名前のダウンロードができないことがあります。

携帯電話の機種とデータ量によって、ダウンロードに時間がかかることがあります。

ⓘ 操作方法は携帯電話などの機種によって異なります。

詳細については機器の取扱説明書をご覧ください。

アドレス帳の内容

アドレス帳データには以下の項目を登録できます。

氏名
氏名のよみがな
会社名
電話番号（最大 5 個）
住所（自宅 / 仕事先）
緯度経度データ

電話番号や郵便番号、位置データが含まれている登録データは、ナビの目的地などに設定することができます (▷192 ページ)。

よみがなが含まれている登録データは、音声認識機能により、電話発信をすることができます。

ℹ 電話帳で直接入力した登録データは、自動的にアドレス帳に登録されます。

アドレス帳を開く

他のアプリケーションから開く

▶ COMAND コントロールパネルの TEL ボタンを押します。

または

▶ アプリケーションエリアで " 電話 " を選択します。

電話で前に開いていた画面になります。

アドレス帳以外の画面が開いたとき

▶ 再度、アプリケーションエリアで " 電話 " を選択します。

▶ " アドレス帳 " を選択します。

電話の他の画面から開く

▶ アプリケーションエリアで " 電話 " を選択します。

▶ " アドレス帳 " を選択します。

アドレス帳基本画面

①	位置データマーク
②	氏名
③	郵便番号
④	都道府県
⑤	市区町村
⑥	番地

ℹ 住所が入力されていないときは、電話番号が表示されます。

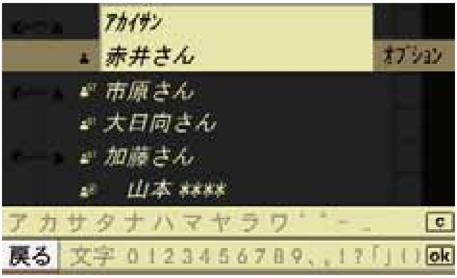
アドレス帳の登録データを選択する

▶ アドレス帳基本画面のメインエリアでコントローラーをまわすか、左右にスライドします。

アドレス帳の登録データを検索する

▶ アドレス帳基本画面のサブメニューエリアで " 検索 " を選択します。

検索画面が表示されます。



▶ 登録データを検索します。

登録データの検索方法については（▷197 ページ）をご覧ください。

新規の登録データを作成する

▶ アドレス帳基本画面のサブメニューエリアで " 新規 " を選択します。

または

▶ アドレス帳基本画面のサブメニューエリアで " 検索 " を選択します。

▶ 入力画面が消えて、全画面表示なるまで、コントローラーを上下または左右にスライドします。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 新規 " を選択します。

入力画面が表示されます。

文字の入力方法については（▷195 ページ）をご覧ください。

▶ 文字入力が終了したら、ok を選択します。

または

▶ " 戻る " を選択するか、コントローラー左側の ⮌ スイッチを押します。

" 登録データを保存しますか？ " という確認メッセージが表示されます。

" はい " を選択すると登録データが保存されます。" いいえ " を選択すると登録データは保存されず、アドレス帳基本画面が表示されます。

アドレス帳の登録データを削除する

個別に登録データを削除する

▶ アドレス帳基本画面に削除したい登録データが表示させます。

▶ " 削除 " を選択します。

または

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 削除 " を選択します。

または

▶ 削除したい登録データを検索します（▷197 ページ）。

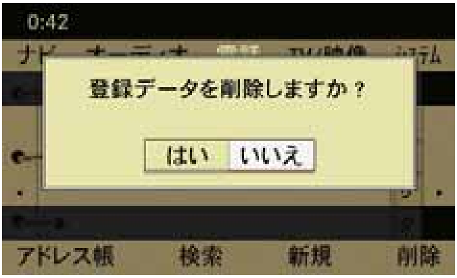
▶ "ｵﾌﾟｼｮﾝ" → "削除" を選択します。

または

▶ アドレス帳基本画面で削除したい登録データを選択するか、検索画面で削除したい登録データを選択します。

▶ コントローラー右側の c スイッチ、または COMAND コントロールパネルの c ボタンを押します。

削除を確認するメッセージが表示されます。



▶ "はい" を選択します。

登録データが削除されます。

"いいえ" を選択すると、元の画面に戻ります。

種別ごとに一時データを削除する

一時データをダウンロードしたとき、以下の種別ごとに一時データを削除できます。

- Bluetooth® 接続された携帯電話からダウンロードしたデータ
- PC カードからダウンロードしたデータ

▶ アドレス帳基本画面のサブメニューエリアで "アドレス帳" を選択します。

▶ "連絡先の削除" を選択します。

▶ 削除する登録データの種別を選択します。

"COMAND 上で作成した連絡先"

COMAND システムで新たに作成した登録データや、一時データから登録データに保存したデータが削除されます。

"携帯電話から"

日本仕様では選択できません。

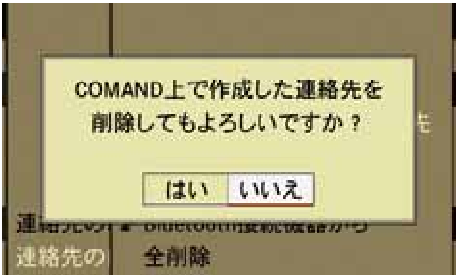
" メモリーカードから "

PC カードからダウンロードされた一時データが削除されます。

" Bluetooth 接続機器から "

Bluetooth® 接続された携帯電話からダウンロードされた一時データが削除されます。

削除する登録データの種別により、登録データを削除するかの確認メッセージが表示されます。



▶ " はい " を選択します。

選択した種別の一時データが削除されます。" いいえ " を選択すると、元の表示に戻ります。

すべての登録データを削除する

▶ アドレス帳基本画面のサブメニューエリアで " アドレス帳 " を選択します。

▶ " 連絡先の削除 " を選択します。

▶ " 全削除 " を選択します。

登録データを削除するかの確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

すべての登録データが削除されます。" いいえ " を選択すると、元の表示に戻ります。

ℹ " 全削除 " を選択すると、アドレス帳の登録データも含めたすべての登録データが削除されます。

登録データの詳細画面

▶ アドレス帳基本画面で詳細を表示したい登録データを選択します。

▶ コントローラーを押します。

または

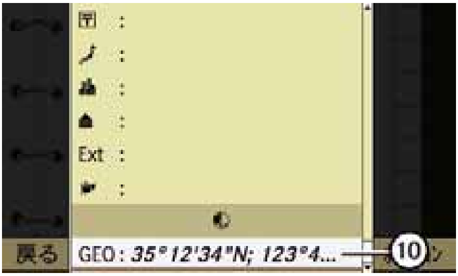
▶ 詳細を表示したい登録データを検索します。

▶ コントローラーを押します。

詳細画面が表示されます。

① 名称
② よみがな
③ 会社名
④ 電話番号（プライベート / 固定電話）
⑤ 電話番号（プライベート / 携帯電話）
⑥ 電話番号（仕事 / 固定電話）
⑦ 電話番号（仕事 / 携帯電話）

① 電話番号（一般 / 携帯電話）
② 位置データマーク
③ 郵便番号
④ 都道府県
⑤ 市区町村
⑥ 番地
⑦ ビル名およびフロア
⑧ 国
⑨ オプションメニューを開く



⑩ 緯度、経度

アイコンの属性

登録データの電話番号に表示されるアイコンは、以下のような属性を示します。

アイコン	属性
	一般電話
	プライベート
	仕事
	携帯電話
	FAX 番号
	自動車電話

登録データの項目を選択する

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドします。

データの詳細を表示する

▶ 詳細を表示したい項目を選択します。

▶ " オプション " → " 詳細 " を選択します。

データの全体表示を閉じる

▶ コントローラーを押すか、上下左右にスライドします。

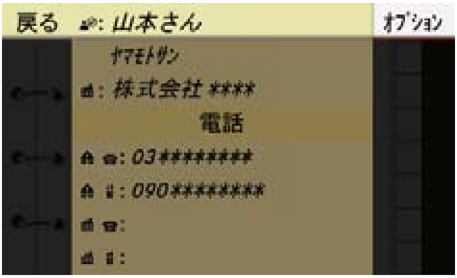
詳細画面を閉じる

▶ " 戻る " を選択します。

登録データの内容を変更する

▶ 詳細表示画面で内容を変更したい登録データを選択します。

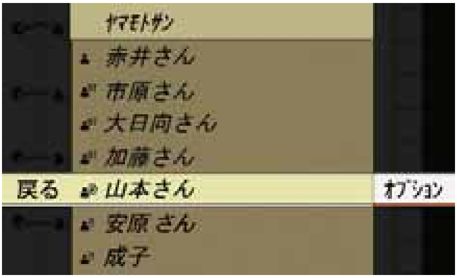
▶ " オプション " → " 編集 " を選択します。



文字入力画面が表示されます。

または

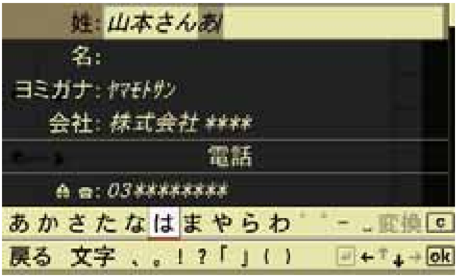
▶ アドレス帳の検索画面で内容を変更したい登録データを選択して " オプション " → " 編集 " を選択します。



文字入力画面が表示されます。

入力項目の切り替え

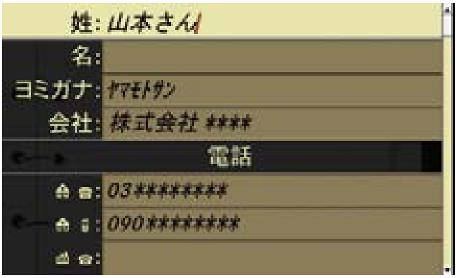
▶ 文字入力画面で [↑] または [↓] を選択して、入力する項目にカーソルを移動します。



または

▶ コントローラーを上にスライドします。

項目の選択画面が表示されます。



▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして入力する項目を選択し、コントローラーを押します。

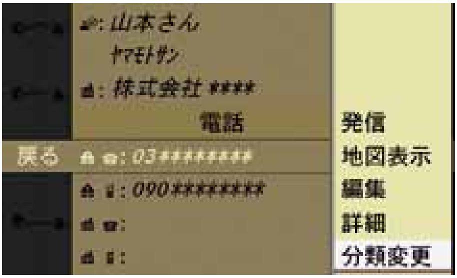
文字入力画面が表示されます。

文字の入力方法については（▷195 ページ）をご覧ください。

電話番号のカテゴリーを変更する

▶ 登録データの詳細画面でカテゴリーを変更したい電話番号を選択して、" オプション " を選択します。

▶ " 分類変更 " を選択します。



▶ " 一般 "、" プライベート "、" 会社 " のいずれかを選択します。

▶ " 一般 "、" 固定電話 "、" 携帯電話 "、"FAX"、" 自動車電話 " のいずれかを選択します。

▶ 通常使用する電話番号であるときは、" 通常使用番号 " を選択します。

コントローラーを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

▶ " 保存 " を選択します。

ℹ " 通常使用番号 " として選択した電話番号は、詳細表示画面の電話番号リストで、赤色で表示されます。

ℹ " 通常使用番号 " として選択した電話番号は、電話帳 / アドレス帳詳細画面の電話番号リストで赤色で表示され、マルチファンクションディスプレイの電話帳画面では登録電話番号の最上段に表示されます。

アドレス帳から発信する

▶ 携帯電話が接続されていることを確認します。

▶ 発信したい電話番号が含まれる登録データの詳細画面を表示します。

▶ 発信したい電話番号を選択して、コントローラーを押します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの［☎］ボタンを押します。

または

▶ 登録データの詳細画面で発信したい電話番号を選択して、" ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 発信 " を選択します。

画面表示が電話基本画面に切り替わり、電話が発信されます。

位置データを登録する

ナビで表示している地点の位置データをアドレス帳に登録できます。

ℹ 位置データが登録されると、アドレス帳の登録データリストと登録データの詳細画面の住所欄に位置データマーク⊘が表示されます。

▶ ナビの基本画面のサブメニューエリアで " 保存 " を選択します。

▶ " アドレス帳保存 " を選択します。

アドレス帳を新規に作成して位置データを登録する

▶ " 新規 " を選択します。

▶ " 自宅 " または " 会社 " を選択します。

文字入力画面が表示されます。

▶ アドレス帳に保存する登録データの名称を入力します。

文字の入力方法については（▷195 ページ）をご覧ください。

ℹ 文字入力画面が表示されたときは、「姓」の欄に表示地点の住所が表示されています。

▶ 入力が終了したら、[ok] を選択します。

入力した登録内容でアドレス帳に新規登録されます。

または

▶ " 戻る " を選択するか、コントローラー左側の [↩] スイッチを押します。

アドレス帳には登録されず、ナビ画面に戻ります。

既存のアドレス帳に位置データを登録する

▶ " 追加 " を選択します。

▶ " 自宅 " または " 会社 " を選択します。

アドレス帳の検索画面が表示されます。

▶ 位置データを追加したい登録データを検索します。

検索方法については（▷197 ページ）をご覧ください。

▶ 登録データを選択します。

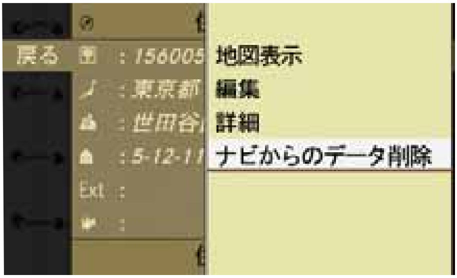
ℹ 登録データにすでに位置データが登録されているときは、上書きを行なうかについてのメッセージが表示されます。

位置データの登録を解除する

▶ 位置データの登録を解除したい登録データを選択します。

▶ 位置データマークが表示されている住所欄を選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " ナビからのデータ削除 " を選択します。



" 選択されたアドレスのナビからのデータを削除しますか？ " という確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。

位置データの登録が解除され、位置データマークが消えます。

" いいえ " を選択すると元の表示に戻ります。

アドレス帳からナビの目的地を設定する

アドレス帳に以下の項目が登録されているときは、アドレス帳からナビの目的地などを設定できます。

- 電話番号
- 郵便番号
- ナビから登録データの詳細画面の住所欄に登録した位置データ
- 緯度経度データ

ⓘ 以下の場合は目的地などを設定することはできません。

- 電話番号や経度緯度データが不正確なとき
- 住所欄に住所のみが登録されていて、郵便番号が登録されていないとき
- 電話番号が IP 電話や携帯電話の番号のとき

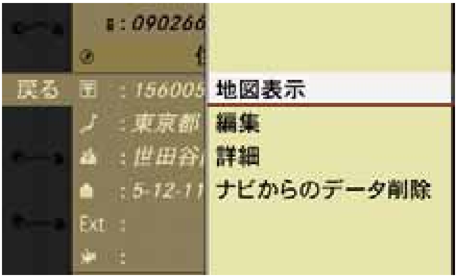
アドレス帳から目的地を設定する

目的地を設定する①

▶ 目的地に設定したい登録データの詳細画面の電話番号欄、郵便番号または位置データが登録されている住所欄、緯度経度欄を選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " を選択します。

▶ " 地図表示 " を選択します。



スクロール地図が表示されます。

目的地を設定する②

▶ 目的地に設定したい登録データの詳細画面の郵便番号または位置データが登録されている住所欄、緯度経度欄を選択して、コントローラーを押します。

スクロール地図が表示されます。

ℹ 位置データと郵便番号の位置が異なるときは、位置データの地図が表示されます。

▶ " 目的地 " を選択します。

ナビの目的地が設定されます。

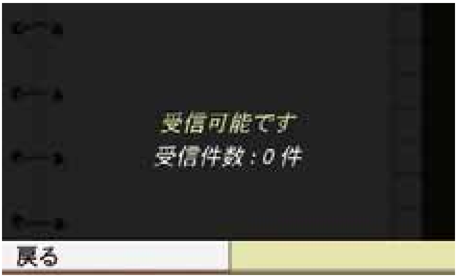
Bluetooth® 機器からデータをダウンロードする

ℹ Bluetooth® 機器の機種により、電話帳をダウンロードできないことがあります。

▶ アドレス帳基本画面のサブメニューエリアで " アドレス帳 " を選択します。

▶ " 連絡先の取込み " → "Bluetooth デバイスから " を選択します。

受信待機画面が表示されます。



▶ 携帯電話から COMAND システムにデータを送る操作を行ないます。

ℹ 携帯電話の機種により操作方法は異なります。携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

ℹ 携帯電話が COMAND システムに認証されていないときは、確認画面が表示されます。データをダウンロードするときは、" はい " を選択してください。

ℹ 携帯電話の機種によっては、セキュリティ設定により、データを送信する前に認証操作が必要なことがあります。

PC カードからデータをダウンロードする

ℹ PC カードからデータをダウンロードするときは、PC カード内にフォルダなどを作らずに、直接 vCard ファイルを保存してください。

vCARD ファイルとは、".vcf" の拡張子を持つファイルです。

▶ PC カードをセットします（▷221 ページ）。

▶ アドレス帳基本画面のサブメニューエリアで " アドレス帳 " を選択します。

▶ " 連絡先の取込み " → " メモリーカードから " を選択します。

▶ " 追加 " または " 上書き " を選択します。

PC カードの電話帳が COMAND システムにダウンロードされます。

ℹ " 上書き " を選択すると、それまで登録されていた、PC カードの一時データは消去されます。

" 追加 " を選択すると、それまで登録されていた、PC カードの一時データにデータが追加されます。

PC カードの一時データがないときは、" 上書き " は灰色で表示され、選択できません。

文字の入力方法

コントローラーまたはテンキーを使用して文字を入力します。

コントローラーでの入力

文字の種類の選択

▶ " 文字 " を選択します。

▶ 入力する文字の種類を以下から選択します。

ℹ 入力項目によって、選択できる文字の種類は異なります。

表示	入力できる文字の種類
かな / 漢字	ひらがな、漢字
ｶﾀｶﾅ	半角カタカナ
カタカナ	全角カタカナ
ABC	半角アルファベット（単語の最初の一文字だけが大文字になります） 半角主要記号
ＡＢＣ	全角アルファベット（大文字）
abc	半角アルファベット 半角主要記号
ａｂｃ	全角アルファベット（小文字）
半角数字	半角数字 半角主要記号
全角数字	全角数字 全角主要記号
特別文字	ゐ、ゑ、ヰ、ゝなど
特別数字	丸数字、ギリシア数字
特別記号	※、〒、☆など

文字の入力

▶ ↑ ↓ ← → を選択してカーソルを移動し、文字を入力する位置を選択します。

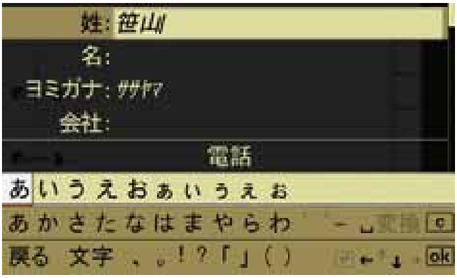
▶ コントローラーをまわすか上下左右にスライドして、入力する文字を選択します。

ひらがなとカタカナの入力

▶ コントローラーをまわすか左右にスライドして、入力するひらがな、またはカタカナの行を選択します。

選択した行の文字が表示されます。

▶ コントローラーをまわすか左右にスライドして、入力する文字を選択します。



文字を削除する

▶ c を選択します。

または

▶ コントローラー右側の c スイッチを押します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの c ボタンを押します。

ℹ 上記の操作を保持すると、入力している行の先頭からカーソルの左側までの文字が削除されます。

テンキーでの入力

文字の種類の選択

▶ COMAND コントロールパネルの # ボタンを押します。

ボタンを押すごとに、以下の順番で文字の種類が切り替わります。

- " かな / 漢字 "
- " ｶﾀｶﾅ "
- " カタカナ "
- "ABC"
- " ＡＢＣ "
- "abc"
- " ａｂｃ "
- " 半角数字 "
- " 全角数字 "
- " かな / 漢字 "

ⓘ 入力項目によって、選択できる文字の種類は異なります。

" 特別文字 "、" 特別数字 "、" 特別記号 " を入力するときは、コントローラーで文字の種類を選択してください。

数字の入力

▶ 入力したい数字が表示されているテンキーを押します。

ひらがなやカタカナ、句読点などの入力

▶ 入力したい文字の行が表示されたテンキーを押します。

▶ 同じテンキーを再度押して、入力する文字を選択します。

約 2 秒後に、入力文字が確定します。

ⓘ 入力文字を選択した後、他のテンキーを押したときも、入力文字は確定します。

ひらがなから漢字への変換

▶ 入力したい漢字の読みがなをひらがなで入力します。

変換の対象となるひらがなが、アミかけで表示されます。

ℹ ← → を選択すると、変換範囲を変更できます。

▶ " 変換 " を選択します。

候補となる単語が表示されます。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、入力する漢字を選択します。

ℹ 変換対象が長いときは、← → を選択すると、変換範囲を変更できます。

登録データの検索方法

電話帳やアドレス帳などに登録データが 8 件以上あるときは、登録データを検索できます。

▶ 電話基本画面で " 電話帳 " を選択します。

または

▶ アドレス帳基本画面のサブメニューエリアで " 検索 " を選択します。

登録データが 8 件以上ある場合は、文字入力エリアと検索リストが表示されます。

ℹ 登録データは、数字→アルファベット→かな / 漢字の順で表示されます。

登録データを検索する

登録データの表示方法には、漢字表記やカタカナ表記、アルファベット表記や数字表記などがあります。

検索する文字の種類を選択する

▶ " 文字 " を選択します。

▶ 検索したい登録データの最初の文字の種類を選択します。

ⓘ 対象となる登録データがない文字は灰色で表示され、選択できません。

検索リストに対象となる登録データが表示されます。

よみがなで検索するとき

ⓘ 漢字表記の登録データは、よみがながが登録されているときに検索できます。

▶ 検索したい文字の行を選択します。

▶ 検索したい登録データの最初の文字を選択します。

▶ 必要に応じて検索操作を繰り返し、対象となる登録データを絞ります。

ⓘ 対象となる登録データがない文字は灰色で表示され、選択できません。

検索リストは、選択した文字種の文字が最初にくるように表示されます。

ⓘ 他に対象となる登録データがないときは、入力画面が消え、登録データが全画面で表示されます。

ⓘ サブメニューエリアで C を選択するか、COMAND コントロールパネルの c ボタンを押すと、1 つ前に検索した文字での検索リストが表示されます。

リストで登録データを選択する

▶ 文字入力エリアが消去するまで、コントローラーを繰り返し上にスライドします。

または

▶ ok を選択します。

検索リストが全画面表示になります。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、登録データを選択します。

再度検索する

▶ " 戻る " を選択します。

テンキーでアドレス帳登録項目を検索する

検索する文字の種類を選択する

▶ COMAND コントロールパネルの # ボタンを押します。

▶ 検索したい登録データの最初の文字を選択します。

数字の入力

▶ 入力したい数字が表示されているテンキーを押します。

アルファベットの入力

▶ 入力したい数字が下方に表示されているテンキーを押します。

▶ 同じテンキーを再度押して、入力する文字を選択します。

よみがなで検索するとき

ℹ 漢字表記の登録データは、よみがなが登録されているときに検索できます。

▶ 入力したい文字の行が表示されたテンキーを押します。

▶ 同じテンキーを再度押して、入力する文字を選択します。

約 2 秒後に、入力文字が確定します。

ℹ 入力文字を選択した後、他のテンキーを押したときも、入力文字は確定します。

▶ 必要に応じて検索作業を繰り返し、対象となる登録データを絞ります。

FM 多重放送

受信中のラジオ放送とは独立して、FM 多重放送を受信して、文字情報を表示できます。

情報は FM 放送局から送信されます。

FM 放送局は、全国の主要都市をカバーするサービスエリアで放送を行なっています。

走行中は文字情報画面の一部の機能は使用できません。

ℹ 番組内容やメニューなどは、各放送局の自主製作によるものなどであり、受信した内容については、責任を負いかねますのでご了承ください。

! 受信情報は、個人として楽しむなどに限られ、著作権上作成権利者である放送局の許可なしでは使用できません。

FM 多重放送の番組メニューや情報画面は、それぞれの放送局独自の構成により表示されますので、放送局の方針などにより、表示方法が予告なく変更されることがあります。

そのため、表示される画面を特定することができませんので、以降に続く操作説明については表示例に基づく基本操作部分のみとなります。

提供される情報

FM 多重放送には以下の種類があります。

番組情報

FM ラジオ放送中の番組と連動しており、放送中の曲名や、演奏者名、リクエスト先などの情報を表示します。放送によって道路 / 交通情報が広範囲にわたって提供されます。

ℹ 文字情報はラジオの受信中に送られてきますが、送られてくる情報の受信時期が番組情報とずれることがあります。

そのため、同時にすべての情報画面を表示できないことがあります。

独立情報

放送中のラジオ番組とは連動せず、常に送信されているニュース番組や天気予報、交通情報などを表示します。

緊急情報

放送局側で緊急情報番組を送信したときのみ情報を表示します。

ℹ ナビの VICS の項目もご覧ください（▷126 ページ）。

FM 多重放送を開く

他のアプリケーションから開く

▶ COMAND コントロールパネルの TEL ボタンを押します。

または

▶ アプリケーションエリアで " 電話 " を選択します。

電話で前に開いていた画面になります。

FM 多重放送以外の画面が開いたとき

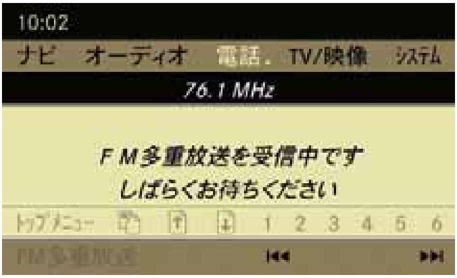
▶ 再度、アプリケーションエリアで " 電話 " を選択します。

▶ "FM 多重放送 " を選択します。

電話の他の画面から開く

▶ アプリケーションエリアで " 電話 " を選択します。

▶ "FM 多重放送 " を選択します。



現在選択している FM 放送局が文字情報を提供していない場合、" 受信できません " というメッセージが表示されます。

放送局をサーチして選局する

▶ " ⏮ " または " ⏭ " を選択します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンを数秒間押し続けます。

高い周波数または低い周波数に対してサーチが行なわれ、次に受信できる放送局で停止します。

" お待ちください ..." というメッセージが表示されます。

FM 多重放送局が見つかると、その放送局が表示されます。

ℹ 受信できる放送局がないときは、"FM 多重放送を受信できません " というメッセージが表示されます。

放送局が選択されても、FM 多重放送が受信できないときは、次の放送局の選択に戻ります。

番組を表示する

① 現在受信している FM 多重放送局
② 文字情報
③ 情報の表示
④ 上の階層の表示
⑤ 前ページの表示
⑥ 次ページの表示
⑦ タイトル番号の選択
⑧ FM 多重放送設定

▶ "FM 多重放送 " → " 番組情報 " を選択します。

メインエリアにタイトルが表示されます。

ℹ タイトルは複数の階層になっていることがあります。そのときは、下の階層で再度見たいコンテンツのタイトル番号を選択します。

▶ サブメニューエリアで見たいタイトル番号を選択します。

コンテンツ内容が長いときは、⑥を選択すると、続きの内容を見ることができます。

自動スクロール

ニュースや天気予報など、複数のページにわたる情報番組は、自動スクロールを設定することで、自動的に文字情報のページがスクロールされます。

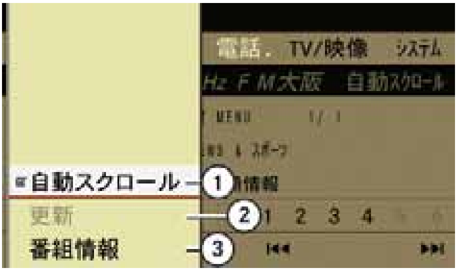
自動スクロールを設定する

▶ "FM 多重放送 " → " 自動スクロール " を選択します。

コントローラーを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

また、メインエリアに " 自動スクロール " と表示されます。

ℹ 走行しているときは、この機能は使用できません。



① 自動スクロール機能の設定
② 情報の更新
③ 番組情報の表示

自動スクロールを停止する

▶ "FM 多重放送 " → " 自動スクロール " を選択します。

コントローラーを押すたびに、左側のボックスのチェックマークが表示 / 消去されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

ℹ 自動スクロール設定中に、手動でページをスクロールしたときも、自動スクロールは停止します。

最新情報を表示する

受信している FM 多重放送を更新できます。

▶ "FM 多重放送 " → " 更新 " を選択します。

はじめに……………………………… 206
ラジオ………………………………… 206
音楽再生（ディスク / PC カード）
…………………………………… 214
音楽再生（ミュージックレジスター）
…………………………………… 231
音楽再生（Bluetooth® オーディオ）
…………………………………… 242
音楽再生（メディアインターフェース）
…………………………………… 257
外部入力……………………………… 266
文字の入力方法……………………… 268

はじめに

オーディオの構成

COMAND システムでは、下記の音楽ソースに対応しています。

- FM ラジオ
- AM ラジオ
- ディスク（音楽 CD / DVD オーディオ / MP3）
- PC カード
- ミュージックレジスター
- Bluetooth® オーディオ
- メディアインターフェース
- 外部入力

ラジオ

ラジオ電波受信についての注意

! ラジオの受信は、車両の移動によりアンテナの位置が刻々と変わるため一般家庭のラジオで受信する条件とは大きく異なります。

したがって、以下のようなことをご理解のうえでラジオをご利用ください。

- ラジオ電波の特性により地球上空の電離層の反射が起こることや、周囲の高層建物による電波干渉、山影などの地形の影響、刻々と変化する車両位置などにより、特に走行中の車両では受信状況が常に変化しています。

  そのため、家庭でのラジオ受信に比べ、受信状態が不安定になりがちです。

  また、同じ時刻に同じ場所での受信であっても、天候（雲の量や高度など）の影響によって受信状態が変わることがあります。

- 直線的に進む FM（超短波）電波の適正受信範囲の目安は、送信局のアンテナが目視できる距離とされています。

  FM 放送では受信状態が悪くなると、ノイズが増えたり、ステレオ放送や文字多重放送が正しく受信できなくなります。

- 違法な車載 CB 無線電波や点火プラグの露出した 2 輪車など、周囲からの電波障害による影響は回避できません。

放送局名表示

受信周波数に対応する放送局名表示は、自車位置を GPS により測定して該当する放送地域を判断し、その地域での周波数に対応する放送局名を表示しています。

そのため該当地域外での受信時では、その放送を受信することができても放送局名を表示しないことがあります。

アンテナについて

- 車両のアンテナは、周囲の電波遮蔽物の干渉や反射などで受信状況が大きく左右されます。
- 受信アンテナが、リアウインドウあるいはドアウインドウに極細のアンテナ（金属線）でプリントされている場合に導電性の遮光フィルムなどを貼ると、アンテナとして機能できなくなることがあります。
- 携帯電話などをリアウインドウあるいはドアウインドウの近くで使用すると、アンテナの受信性能が低下することがあります。

FM ラジオ / AM ラジオを開く

他のアプリケーションから開く

▶ COMAND コントロールパネルの AUDIO ボタンを押します。

または

▶ アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

オーディオで前に開いていた音楽ソースになります。

FM ラジオまたは AM ラジオ以外の音楽ソースが開いたとき

▶ 再度、アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

現在選択されている音楽ソースの左側には " • " が表示されています。

▶ " ＦＭ " または "AM" を選択します。

オーディオの他の音楽ソースから開く

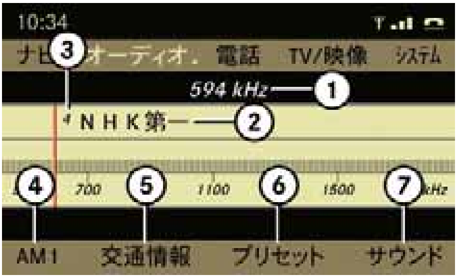
▶ アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

現在選択されている音楽ソースの左側には " • " が表示されています。

① 現在選択されている音楽ソース

▶ " ＦＭ " または "AM" を選択します。

ラジオ基本画面



AM ラジオの例

① 受信周波数
② 受信放送局名
③ プリセット番号
④ "AM1"
AM1 と AM2 の切り替え、周波数を入力しての手動選局
⑤ " 交通情報 "（AM ラジオのみ）
⑥ " プリセット "
オートプリセット、手動プリセット、プリセット選局
⑦ " サウンド "
サウンドの調整

FM1 と FM2、AM1 と AM2 を切り替える

▶ 基本画面のサブメニューエリアで "FM1" / "FM2" または "AM1" / "AM2" を選択します。

現在選択されている項目の左側には " • " が表示されています。

▶ 切り替えたい項目を選択します。

▶ コントローラーを押します。

ℹ 例えば、FM1 には自宅周辺のよく聞く放送局をプリセットさせて、FM2 には他地域を走行するときにその地域の放送局をプリセットさせるといった使い方ができます。

放送局の選局

ℹ 受信電波が弱い放送局では、ノイズが多く不安定な受信状態になります。また、ステレオ放送や FM 文字多重放送が受信できず、モノラルで受信することがあります。

以下の方法で選局できます。

- 手動選局
- 自動選局

ℹ ⏮ または ⏭ ボタンを使用しての手動選局と自動選局は、" ナビ " や " 電話 "、" ｼｽﾃﾑ " のときも行なえます。

- プリセット選局
- 周波数を入力しての手動選局

手動選局

▶ メインエリアを選択して、コントローラーをまわすか、左または右にスライドします。

または

▶ COMAND コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンを押します。

FM ラジオでは 0.1MHz 刻みで、AM ラジオでは 9kHz 刻みで受信周波数が変わります。

自動選局

▶ メインエリアを選択して、コントローラーを左または右にスライドして保持します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンを押して保持します。

ℹ 自動選局中にコントローラーを左右いずれかの方向に操作するか、⏮ または ⏭ ボタンを押すと、自動選局は停止します。

受信電波状態によっては、ノイズだけを受信することがあります。

プリセット選局

ℹ プリセット選局は、放送局があらかじめプリセットされているとき （▷212 ページ）に選局できます。

コントローラーでの操作

▶ " プリセット " を選択します。

または

▶ メインエリアを選択して、コントローラーを押します。

オーディオ

現在受信しているプリセット番号の左側に " • " が表示されています。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして放送局を選択します。

テンキーでの操作

▶ COMAND コントロールパネルで、受信したいプリセット番号のテンキーを押します。

ⓘ プリセットされている番号のみを選択できます。

ⓘ " ナビ " や " 電話 "、" ｼｽﾃﾑ " のときもテンキーでの操作は行なえます。ただし、文字入力および番号入力画面などのときは操作できません。

マルチファンクションディスプレイでの操作

自動選局

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、" ｵｰﾃﾞｨｵ " を選択します。

E クラス

▶ ステアリングの ▲ または ▼ スイッチを約 2 秒以上押して保持します。

受信周波数が移動して、次に受信できる放送局（周波数）で停止します。

プリセット選局

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、"ｵｰﾃﾞｨｵ" を選択します。

E クラス

① 受信バンド
② プリセット番号 / 受信放送局名

▶ ▲ または ▼ スイッチを押します。

次または前のプリセット番号の放送局に移動します。

周波数を入力しての手動選局

▶ ラジオ基本画面のサブメニューエリアで "FM1" / "FM2" または "AM1" / "AM2" を選択します。

▶ " 周波数入力 " を選択します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの [*◦◦] ボタンを押します。

周波数入力画面が表示されます。

周波数入力画面

▶ COMAND コントロールパネルのテンキーで周波数を入力します。

入力した文字を消去するときは COMAND コントロールパネルの [*◦◦] ボタンを押します。

FM ラジオでは 0.1MHz 単位まで AM ラジオでは 1kHz 単位まで入力すると、入力した周波数を受信します。

ℹ FM ラジオの受信可能周波数は 76.0 ～ 90.0 MHz です。

AM ラジオの受信可能周波数は 522 ～ 1629kHz です。

受信可能周波数以外の数字は入力できません。

受信電波が弱い放送局では、ノイズが多く不安定な受信状態になります。また、ステレオ放送や FM 文字多重放送が受信できずにモノラルで受信することがあります。

プリセット

FM1 / FM2、AM1 / AM2 にはそれぞれ 10 局まで放送局をプリセットできます。

オートプリセット

受信電波の状態に応じて、放送局が自動的にプリセットされます。

オートプリセットを行なうと、それまでのプリセットは消去されます。

▶ メインエリアを選択してコントローラーを押します。

▶ " オートプリセット " を選択します。

または

▶ 基本画面のサブメニューエリアで " プリセット " → " オートプリセット " を選択します。

COMAND ディスプレイに " オートプリセット実行中 ..." と表示されます。

オートプリセットが完了すると、受信できる放送局が自動的に記憶され、プリセットリストが表示されます。

ℹ 電波状態によっては、ノイズだけを受信することがあります。

また、同じ場所でオートプリセットを繰り返しても、異なる放送局が記憶されることがあります。

プリセットを中止する

▶ オートプリセット実行中にコントローラーを押します。

手動プリセット

テンキーでの操作

▶ プリセットする放送局を受信します。

▶ COMAND コントロールパネルで、プリセットしたい番号のテンキーを、" ピッ " と音が鳴るまで押して保持します。

コントローラーでの操作

▶ プリセットする放送局を受信します。

▶ ラジオ基本画面のサブメニューエリアで " プリセット " を選択します。

プリセットメニューが表示されます。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、プリセットしたい番号を選択します。

▶ " ピッ " と音がするまでコントローラーを押して保持します。

交通情報（AM ラジオ）

交通情報を聞く

▶ AM ラジオ基本画面のサブメニューエリアで " 交通情報 " を選択します。

ⓘ 1620kHz または 1629kHz の周波数で交通情報を聞くことができます。受信感度に応じて 1620kHz と 1629kHz を自動選局します。

「交通情報」は、道路管理者や所轄の警察が放送地域を限定して送信していますので、受信範囲外での受信はできません。

放送地域については、道路上の標識などで知ることができます。

AM ラジオに戻る

▶ サブメニューエリアで "AM に戻る " を選択します。

サウンドの調整

FM ラジオや AM ラジオでは、サウンドを調整できます（▷30 ページ）。

音楽再生（ディスク / PC カード）

安全に利用するために

けがのおそれがあります

COMAND システムはクラス 1 のレーザー製品です。以下のことに注意してください。目に見えないレーザー光線が外部に照射されるおそれがあります。

- COMAND システム本体、および関連構成部品などを分解したり、改造しないでください。
- センターコンソールのカバーを取り外さないでください。
- センターコンソールのカバーが損傷しているときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で修理を行なってください。
- 点検や修理作業は必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

事故のおそれがあります

メディアの挿入や取り出しは、必ず安全な場所に停車して行なってください。

走行中に行なうと、周囲の状況を把握できなくなり事故を起こすおそれがあります。

記憶メディアに関する注意

コピーされたディスクは、正常に再生されないことがあります。

非常に数多くのディスクや DVD オーサリングソフト、ライティングソフトが市販されていますが、COMAND システムで再生できるディスクは限られています。

ディスクに印刷されているマークなどで確認してください。

お客様ご自身で書き込んだディスクの再生については保証致しかねます。

! ディスク面にシールなどの異物を貼付しないでください。

シールなどが剥がれて、COMAND システムを損傷するおそれがあります。

シールなどを貼付するとディスクが曲がる原因となり、読み取りエラーなどの問題が生じるおそれがあります。

MP3 について

対応メディア

- CD-R および CD-RW
- DVD+R および DVD+RW
- DVD-R および DVD-RW
- PC カード、および PC カードアダプターにセットされたメモリーカード

再生可能なファイルシステム

- ISO9660/Joliet（CD/DVD）
- UDF Ver.1.02（CD/DVD）
- FAT16 または FAT32（PC カードにセットされた記憶メディア）

マルチセッション CD

マルチセッション CD では、最初に記録されているセッションによって CD の再生モードが決まります。

例えば、最初のセッションに音楽 CD 形式のデータが記録されていて 2 番目のセッションに MP3 ファイルが記録されている場合、CD は通常の音楽 CD として再生されます。

したがって、MP3 ファイルを再生することはできません。

また、最初のセッションに MP3 ファイルまたは WMA および AAC 形式のオーディオデータが記録されていて 2 番目のセッションに音楽 CD 形式のデータが記録されている場合、CD は音楽 CD として再生されません。

MP3 ファイル（または WMA および AAC ファイル）のみ再生することができます。

一般に市販されているディスクで最初のセッションが音楽 CD データで、2 番目のセッションにファイル（MP3 など）が記録されているものについてはサポートしていますが、ユーザーが作成したものについてはサポートしていません。

記憶メディアのファイル構造

MP3 を記録した記憶メディアを作成するときは、フォルダ内に MP3 ファイルを格納することができます。

フォルダ内には別のフォルダを格納することができます。

記憶メディアには合計で 999 個のフォルダを作成することができます。

1 つの記憶メディアには合計で 5000 個までファイルを格納することができます。

ℹ COMAND システムが認識できるディレクトリの階層は 8 階層までです。

ファイル名およびフォルダ名

MP3 を記録した記憶メディアを作成するときは、MP3 ファイルとフォルダに名前を付けることができます。

MP3 のときに該当する画面でそれらの名前が表示されます。

ファイルが格納されていないフォルダまたは MP3 以外のファイルが格納されているフォルダは表示されません。

MP3 ファイルがルートディレクトリに保存されている場合、ルートディレクトリもフォルダとして認識されます。

ルートディレクトリ名がフォルダ名として表示されます。

ファイル名を付けるときは以下の点に注意してください。

- ファイル名には 1 文字以上の文字を入力してください。
- ファイル名には "mp3" という拡張子を付けてください。
- ファイル名と拡張子の間にはピリオドを付けてください。

適切なファイル名の例：Track1.mp3

以下の場合、MP3 ファイルは認識されません。

- ファイル名と拡張子の間にピリオドがない
- 拡張子が入力されていない

ℹ COMAND システムは ID3 タグをサポートしていません。

再生可能な MP3 フォーマット

COMAND システムは、MPEG1 audio layer 3 フォーマットをサポートしています。

ℹ MPEG1 audio layer 3 フォーマットのファイルは通常、「MP3」という名称で呼ばれています。

再生可能なサンプリングレート・ビットレート

- 固定および可変ビットレート（32 kbps ～ 320kbps）
- サンプリングレート：8 kHz ～ 48 kHz

ℹ 必ず 128 kbps 以上のビットレートおよび 44.1 kHz 以上のサンプリングレートの MP3 ファイルを使用してください。

ビットレートおよびサンプリングレートがそれより低いと、十分な音質が得られません。

特にサラウンド機能を使用しているときは十分なビットレートとサンプリングレートに設定するようにしてください。

著作権に関する注意

MP3 での再生用に作成したオーディオデータは、適用される国際法や国内法によって著作権が保護されています。

! 個人で楽しむ以外は、オーディオデータ（MP3 含む）を著作権者に無断で複製し、有償無償を問わず配布、転送、転載することは著作権法や国際協定で固く禁じられています。

また、個人で楽しむ場合でも著作権者に無断で著作権で保護されているものを複製することは禁じられています。

その他の再生可能なオーディオデータ

COMAND システムは WMA および AAC フォーマットのオーディオデータも再生することができます。

ℹ 記録メディアに MP3 に加えてそれらのフォーマットのオーディオデータが記録されている場合、最初のファイルが再生されるまで少し時間がかかることがあります。

CD / DVD に関する注意

! COMAND システムでは、最高 1.3 mm の厚さまでのディスクを使用できます。

それより厚みのあるディスク、例えば両面にデータが記録されているディスク（片面に DVD、もう片面にオーディオデータなど）を挿入すると、取り出すことができなくなり、COMAND システムを損傷するおそれがあります。

シングル CD（8cmCD）はアダプターの装着 / 非装着に関わらず使用できません。12cmCD のみ使用してください。

! 円形以外の形状のディスクを使用しないでください。

COMAND システムを損傷するおそれがあります。

i コピープロテクトされているディスクは CD オーディオフォーマットの規格に準拠していないため、COMAND システムで再生できない場合があります。

コピープロテクトされているディスクは正常に再生されないことがあります。

i 700 MB 以上の記録容量を持つディスクにデータを書き込んだ場合、正常に再生されないことがあります。

i DVD オーディオを再生するとき、複数のアルバムが収録されていて、最後のトラックにオーディオデータがないときは、次のアルバムのトラックが再生されることがあります。

これはディスクの構成のためであり、COMAND システムの故障ではありません。

i 高音質なサラウンドフォーマットで記録された音楽 CD を COMAND システムで再生することができます。

CD / DVD の取り扱いに関する注意

- ディスクを手に持つときは、必ず周囲の縁部分を持ってください。
- 読み取りエラーの発生を防ぐため、ディスクは慎重に取り扱ってください。
- ディスクを傷付けないようにしてください。また、指紋やホコリを付けたままにしないでください。
- ディスクの汚れを落とすときは、市販のクリーニングクロスを使ってください。

  その際は、中心部から外側に向けてまっすぐ拭くようにして、絶対に円を描くように拭かないようにしてください。
- ディスク面に文字を書き込むときは、専用のペンを使用してください。
- ディスクはケースに入れて保管してください。
- ディスクを高温になる場所や直射日光が当たるところに放置しないでください。

CD / DVD ディスクの挿入 / 取り出し

⚠ **事故のおそれがあります**

ディスクの挿入や取り出しは、必ず安全な場所に停車して行なってください。

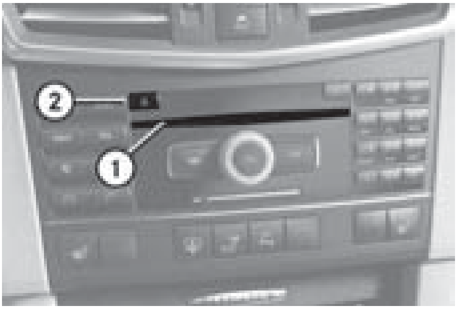
走行中に行なうと、周囲の状況を把握できなくなり事故を起こすおそれがあります。

ⓘ ディスクを挿入するときは、印刷されている面を上に向けてください。

どちらの面にも印刷されていない場合は、再生する面を下に向けてディスクを挿入してください。

ⓘ 悪路や踏切などを走行しているときは、振動のため音飛びすることがあります。音飛びが続く場合は、再生を中止してください。

ディスクの挿入 / 取り出し



E クラス
① ディスクスロット
② ディスク排出ボタン

ディスクを挿入する

▶ ディスクスロット①にディスクを挿入します。

ディスクスロット①にディスクが引き込まれます。

" 読込み中 ..." と表示されます。

ディスクの再生が開始されます。

音楽 CD の読み込み中に Gracenote Media Database にアクセスした場合、以下の画面が表示されます。

ディスクを取り出す

▶ ディスク排出ボタン②を押します。

" ディスク取出し中 ..." と表示されます。

ディスクが排出されます。

" ディスクを抜いてください " と表示されます。

▶ ディスクスロット①から約 15 秒以内にディスクを取り出します。

ℹ ディスクスロット①からディスクを約 15 秒以内に取り出さないと、ディスクは再度ディスクスロット①に引き込まれます。

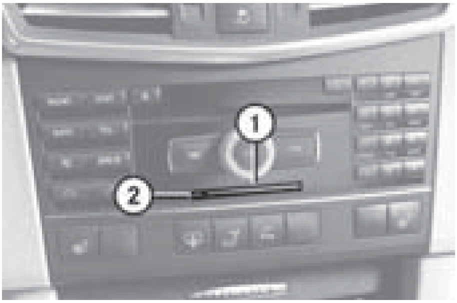
PC カードの挿入 / 取り出し

COMAND システムは、Type I および Type II の 8/16 ビットの PC カードをサポートしています。

! 駐車するときは、車の中に PC カードや記憶メディアを置いたままにしないでください。車内の温度により PC カードや記憶メディアが損傷し、使用できなくなることがあります。

ℹ 数多くの PC カードが市販されているため、すべての PC カードの再生については保証致しかねます。

PC カードスロットに PC カードがセットされていないときに " オーディオ " → " メモリーカード " を選択すると、" メモリーカードがありません " と表示されます。



E クラス

① PC カードスロット

② PC カード排出ボタン

PC カードを挿入する

▶ PC カードスロット①に PC カードを差し込みます。

! 差し込むときの方向は、使用する PC カードに従って正しくセットしてください。

PC カードを無理に挿入しないでください。PC カードスロットを損傷するおそれがあります。

MP3 ファイルが見つからなかった場合、" 再生できるファイルがありません " と表示されます。

PC カードが正しくセットされ、再生可能なファイルが見つかると、自動的に再生が開始されます。

i ミュージックレジスターを録音しているときは、PC カードを挿入しても自動的に再生は開始されません。

PC カードを取り出す

▶ PC カード排出ボタン②を押します。

ボタンがポップアップします。

▶ 再度、PC カード排出ボタン②を押します。

PC カードが排出されます。

▶ PC カードスロット①から PC カードを取り出します。

CD / DVD オーディオ、PC カードを開く

ディスクや PC カードを挿入しての再生

▶ CD / DVD オーディオ（▷219 ページ）または、PC カード（▷220 ページ）を挿入します。

自動的に再生が始まります。

他のアプリケーションから開く

▶ COMAND コントロールパネルの AUDIO ボタンを押します。

または

▶ アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

オーディオで前回ディスクまたは PC カードを開いていたときは、ディスクまたは PC カードが開きます。

ディスクまたは PC カード以外の音楽ソースが開いたとき

▶ 再度、アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

現在選択されている項目の左側には " • " が表示されています。

▶ " ディスク " または " メモリーカード " を選択します。

オーディオの他の音楽ソースから開く

▶ アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

現在選択されている項目の左側には " • " が表示されています。

① 現在選択されている項目

▶ " ディスク " または " メモリーカード " を選択します。

オーディオの他の音楽ソース、DVD ビデオから開く

▶ サブメニューエリアで " 選択 " を選択します。

現在選択されている音楽ソースの左側には " • " が表示されています。

ディスクを開く

▶ "1" を選択します。

挿入されているディスクの種類により、以下のアイコンが表示されます。

" CD " : 音楽 CD

" MP3 " : MP3 CD または MP3 DVD

" DVD-A " : DVD オーディオ

" DVD-V " : DVD ビデオ（▷287 ページ）

ℹ CD または DVD にタイトル名があるときは、タイトル名が表示されます。タイトル名がないときは " ディスク " が表示されます。

PC カードを開く

▶ " MP3 2　メモリーカード " を選択します。

基本画面

音楽 CD 再生時

① ディスクの種類 CD
② トラック番号
③ トラック / 曲名表示（記録されている場合のみ）
④ 経過時間表示
⑤ 経過時間のグラフ表示
⑥ トラック位置表示
⑦ サウンドメニュー
⑧ 選択メニュー
⑨ アルバム名（記録されている場合のみ）
⑩ トラックリスト
⑪ アーティスト名表示（CD や Gracenote Media Database にデータがある場合のみ）
⑫ 録音メニュー（ミュージックレジスターに音楽 CD データを録音）
⑬ スロット位置表示
⑭ CD メニュー

DVD オーディオ再生時

① ディスクの種類 DVD-A
② トラック番号
③ 経過時間表示
④ 経過時間のグラフ表示
⑤ トラック位置表示
⑥ サウンドメニュー
⑦ 選択メニュー
⑧ ディスク名（記録されている場合のみ）
⑨ トラックリスト
⑩ 停止
⑪ 一時停止
⑫ スロット位置表示
⑬ DVD オーディオメニュー

MP3 再生時

① ディスクの種類 MP3 または MP3
② トラック番号
③ トラック / 曲名表示
④ 経過時間表示
⑤ 経過時間のグラフ表示
⑥ トラック位置表示
⑦ サウンドメニュー
⑧ 選択メニュー
⑨ 現在選択しているフォルダ名表示
⑩ フォルダリスト
⑪ スロット位置表示
⑫ MP3 メニュー

ℹ スロット位置表示の "1" はディスクを、"2" は PC カードを、"3" はミュージックレジスターを、"4" は Bluetooth® オーディオを、"5" はメディアインターフェースを示しています。

早送り / 早戻しする

▶ メインエリアで、コントローラーを左または右にスライドして保持します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンを押して保持します。

選曲

選曲する

ℹ COMAND コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンの操作は、" ナビ " や " 電話 " など、オーディオが選択されていないときも行なうことができます。

前の曲を選局する

▶ メインエリアで、コントローラーを反時計回りにまわすか、左にスライドします。

または

▶ COMAND コントロールパネルの ⏮ ボタンを押します。

ℹ 約 8 秒以上再生しているときは、再生されている曲の先頭から再生を始めます。

次の曲を選局する

▶ メインエリアで、コントローラーを時計回りにまわすか、右にスライドします。

または

▶ COMAND コントロールパネルの ⏭ ボタンを押します。

トラックリストから選曲する（音楽 CD / DVD オーディオ再生時）

▶ サブメニューエリアで " トラックリスト " を選択します。

現在再生しているトラックの左側には " • " が表示されています。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして選曲します。

トラックリストから選曲する（MP3 再生時）

▶ サブメニューエリアで " フォルダ " を選択します。

または

▶ メインエリアで、コントローラーを押します。

現在再生しているトラックの左側には " • " が表示されています。

ℹ 複数のフォルダがあるときや、複数階層のフォルダがあるときは、フォルダを選択できます（▷228 ページ）。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして選曲します。

マルチファンクションディスプレイでの選曲

▶ ステアリングの [◀] または [▶] スイッチを押して、"ｵｰﾃﾞｨｵ" を選択します。

▶ [▲] または [▼] スイッチを押して、トラックを選択します。

E クラス

① ディスクを再生している状態
② トラック名 / トラック番号

再生の停止

再生を一時停止する

▶ COMAND コントロールパネルの [🔇] ボタンまたはステアリングの 🔇 スイッチを押します。

ステータスエリアに "[🔇]" が表示されます。

再生を再開する

▶ COMAND コントロールパネルの [🔇] ボタンまたはステアリングの 🔇 スイッチを押します。

"[🔇]" の表示が消えます。

DVD オーディオのとき

再生を一時停止する

▶ サブメニューエリアで "❚❚" を選択します。

または

▶ サブメニューエリアで "■" を選択します。

"❚❚" が "▶" に変わります。

次に "▶" を選択すると、再生を停止した場所から再生されます。

再生を停止する

▶ "■" を選択して一時停止しているときに、再度 "■" を押します。

次に "▶" を選択すると、最初から再生されます。

再生モード

再生モードを選択する

▶ サブメニューエリアで、"CD"、"DVD ｵｰﾃﾞｨｵ" または "MP3" を選択します。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、再生モードを選択します。

現在選択している再生モードの左側には " • " が表示されています。

" ノーマル "

トラックが通常の順番で再生されます。

" ランダム "

すべてのトラックが順不同で再生されます。

ランダム再生インジケーター①が表示されます。

① ランダム再生インジケーター

" ランダム（フォルダ）"（MP3 のみ）

現在選択しているフォルダおよび下の階層のフォルダに記録されているトラックが順不同で再生されます。

ランダム（フォルダ）再生インジケーター②が表示されます。

② ランダム（フォルダ）再生インジケーター

ℹ 新しい音楽ソースをセットした場合は、" ノーマル " が自動的に選択されます。

COMAND システムの電源をオフにしても、選択した再生モードは記憶されます。

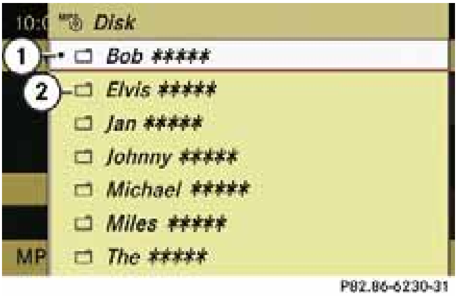
フォルダの選択（MP3)

▶ サブメニューエリアで " フォルダ " を選択します。

または

▶ メインエリアで、コントローラーを押します。

フォルダ / トラックリストが表示されます。



① 現在再生しているフォルダ
② フォルダマーク

フォルダを選択する（下の階層への移動）

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、フォルダを選択します。

下の階層のフォルダ / トラックリストが表示されます。

① フォルダ選択マーク
② 現在再生しているトラック
③ トラックマーク
④ 現在再生しているフォルダ名

上の階層へ移動する

▶ フォルダ選択マーク①を選択します。

上の階層のフォルダ / トラックリストが表示されます。

グループの選択（DVD オーディオ）

DVD オーディオは、最大 9 つのグループに分けられています。グループの有無や種類は DVD によって異なります。

グループには、例えば異なる音質（ステレオおよびマルチチャンネル）のトラックまたはボーナストラックが収録されています。

各グループにはトラックを最大 99 個まで収録することができます。

DVD オーディオに収録されているグループが 1 つだけの場合、" グループ " メニュー項目は選択できません。

グループを選択する

▶ DVD オーディオ基本画面のサブメニューエリアで " グループ " を選択します。

現在選択されているグループの左側には " • " が表示されています。

▶ グループを選択します。

Gracenote Media Database

ⓘ この機能は音楽 CD を選択しているときに利用できます。

COMAND システムには、Gracenote Media Database が収録されています。

音楽 CD に CD テキストデータが収録されているとき、COMAND システムは、そのテキストデータに含まれている情報を利用して、アーティスト名、アルバム名およびトラック名を表示します。

音楽 CD にテキストデータが収録されていない場合、COMAND システムは音楽 CD 内のアーティスト名、アルバム名およびトラック名が分からないオーディオトラックを Gracenote Media Database にアクセスして認識します。

そのためには、Gracenote Media Database に該当するデータが記録されている必要があります。

その場合、アーティスト名、アルバム名およびトラック名のような該当するデータが対応する画面とリストに表示されます。

音楽 CD を読み込んでいる間、COMAND システムは Gracenote Media Database にアクセスして、曲情報を取得します。

ディスクの挿入時や取り出し時、オーディオ画面右下にロゴが表示されます。

gracenote™

Gracenote ™音楽認識テクノロジーおよび Gracenote Media Database を更新する

新しい音楽 CD が発売されると、Gracenote Media Database のデジタルデータが古くなってしまいます。

Gracenote Media Database の機能は、Gracenote ™音楽認識テクノロジーを更新することによって最大限発揮されます。

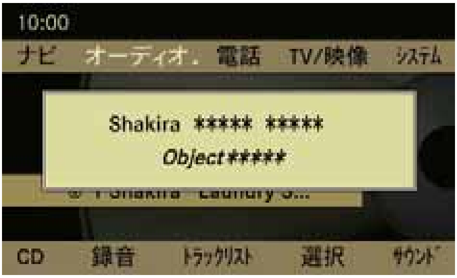
Gracenote Media Database の新しいバージョンの情報については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

ℹ メルセデス・ベンツ指定サービス工場では Gracenote Media Database と地図データを同時に更新します。

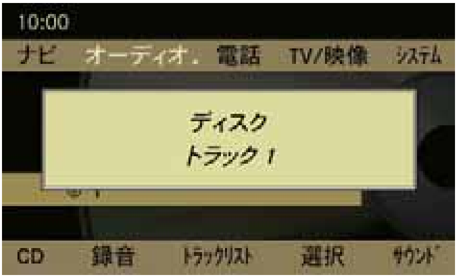
再生中の曲情報を表示する

▶ COMAND コントロールパネルの # ボタンを押します。

Gracenote の情報があれば、再生中の曲情報が表示されます。



Gracenote に曲情報がある場合の表示



Gracenote に曲情報がない場合の表示

音楽 CD の情報を変更する

挿入した音楽 CD に、誤ったアルバム名やトラック名が適用されたときは、候補の中から別の音楽 CD の情報に変更できます。

▶ サブメニューエリアで "CD" を選択します。

▶ "Gracenote メディア データベース " を選択します。

追加候補リストが表示されます。

現在選択されているアルバム名の左側には "•" が表示されています。

候補が他にあるときは、現在選択中のアルバム以外のアルバム名も表示されます。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、変更するアルバム名を選択します。

"なし" を選択するとアルバム名およびトラック名は表示されません。

サウンドの調整

CD / DVD オーディオ / PC カードではサウンドを調整できます（▷30 ページ）。

音楽再生（ミュージックレジスター）

音楽 CD のデータを、MP3 ファイルとしてミュージックレジスターに録音できます。

ミュージックレジスターの容量は 6GB です。

ℹ COMAND システムが故障すると、ミュージックレジスターに保存された音楽データが失われることがあります。

失われたデータについては一切責任を負いかねます。

個人で楽しむ以外は、オーディオデータ（MP3 含む）を著作権者に無断で複製し、有料無料を問わず配布、転送、転載することは、著作権法や国際協定で固く禁じられています。

ℹ 音楽データが録音されていないときは、ミュージックレジスターは再生できません。このときは、"音楽ファイルがありません" と表示されます。

ミュージックレジスターを開く

他のアプリケーションから開く

▶ COMAND コントロールパネルの AUDIO ボタンを押します。

または

▶ アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

オーディオで前回ミュージックレジスターを開いていたときは、ミュージックレジスターが開きます。

ミュージックレジスター以外の音楽ソースが開いたとき

▶ 再度、アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

現在選択されている項目の左側には " • " が表示されています。

▶ " ミュージックレジスター " を選択します。

オーディオの他の音楽ソースから開く

▶ アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

現在選択されている項目の左側には " • " が表示されています。

① 現在選択されている項目

▶ " ミュージックレジスター " を選択します。

オーディオの他の音楽ソース、DVD ビデオから開く

▶ サブメニューエリアで " 選択 " を選択します。

現在選択されている音楽ソースの左側には " • " が表示されています。

▶ " HDD 3 ミュージックレジスター " を選択します。

ミュージックレジスター基本画面

① 記憶メディアの種類 - ミュージックレジスター HDD
② トラック番号
③ トラック / 曲名表示
④ 経過時間表示
⑤ 経過時間のグラフ表示
⑥ トラック位置表示
⑦ 現在選択しているフォルダ名表示
⑧ サウンドメニュー
⑨ 選択メニュー
⑩ フォルダリスト
⑪ スロット位置表示
⑫ ミュージックレジスターメニュー

ⓘ スロット位置表示の "1" はディスクを、"2" は PC カードを、"3" はミュージックレジスターを、"4" は Bluetooth® オーディオを、"5" はメディアインターフェースを示しています。

早送り / 早戻しする

▶ メインエリアで、コントローラーを左または右にスライドして保持します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの [⏮] または [⏭] ボタンを押して保持します。

選曲

選曲する

ℹ COMAND コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンの操作は、"ナビ"や"電話"など、オーディオが選択されていないときも行なうことができます。

前の曲を選曲する

▶ メインエリアで、コントローラーを反時計回りにまわすか、左にスライドします。

または

▶ COMAND コントロールパネルの ⏮ ボタンを押します。

ℹ 約 8 秒以上再生しているときは、再生されている曲の先頭から再生を始めます。

次の曲を選曲する

▶ メインエリアで、コントローラーを時計回りにまわすか、右にスライドします。

または

▶ COMAND コントロールパネルの ⏭ ボタンを押します。

トラックリストから選曲する

▶ サブメニューエリアで"ﾌｫﾙﾀﾞ"を選択します。

または

▶ メインエリアで、コントローラーを押します。

現在再生しているトラックの左側には"•"が表示されています。

ℹ 複数のフォルダがあるときや、複数階層のフォルダがあるときは、フォルダを選択できます（▷236 ページ）。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして選曲します。

マルチファンクションディスプレイでの選曲

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、"ｵｰﾃﾞｨｵ"を選択します。

▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、トラックを選択します。

再生の停止

再生を一時停止する

▶ COMAND コントロールパネルの 🔇 ボタンまたはステアリングの 🔇 スイッチを押します。

ステータスエリアに "🔇" が表示されます。

再生を再開する

▶ COMAND コントロールパネルの 🔇 ボタンまたはステアリングの 🔇 スイッチを押します。

"🔇" の表示が消えます。

再生モード

再生モードを選択する

▶ ミュージックレジスター基本画面のサブメニューエリアで、" ﾐｭｰｼﾞｯｸﾚｼﾞｽﾀｰ " を選択します。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、再生モードを選択します。

現在選択している再生モードの左側には " • " が表示されています。

" ノーマル "

トラックが通常の順番で再生されます。

" ランダム（アルバム）

現在選択しているアルバムに記録されているトラックが順不同で再生されます。

ランダム（アルバム）再生インジケーター①が表示されます。

① ランダム（アルバム）再生インジケーター

" ランダム "

すべてのトラックが順不同で再生されます。

ランダム再生インジケーター②が表示されます。

② ランダム再生インジケーター

ℹ COMAND システムの電源をオフにしても、選択した再生モードは記憶されます。

フォルダの選択

▶ サブメニューエリアで " ﾌｫﾙﾀﾞ " を選択します。

または

▶ メインエリアで、コントローラーを押します。

フォルダ / トラックリストが表示されます。

フォルダを選択する（下の階層への移動）

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、フォルダを選択します。

下の階層のフォルダ / トラックリストが表示されます。

上の階層へ移動する

▶ フォルダ選択マーク を選択します。

上の階層のフォルダ / トラックリストが表示されます。

音楽 CD のデータをミュージックレジスターに録音する

! COMAND システムをリセットすると、録音した全データが削除されます。十分注意してください。COMAND システムのリセットについて、詳しくは（▷40 ページ）をご覧ください。

i アルバムのタイトル、アーティスト名、トラック名を含む CD 情報は Gracenote Media Database から取得されます。

この機能により、音楽 CD のデータファイルが MP3 ファイルとして保存されます。

データ量によって、録音に時間がかかる場合があります。

メモリが不足している場合は、メッセージが表示されます。

録音している間も、一部のアプリケーションは使用することができます。

データの録音進行時間と再生進行時間は異なります。すべての曲の再生が終了する前に、データの録音が終了することがあります。

録音する

▶ 音楽 CD 基本画面のサブメニューエリアで " 録音 " を選択します。

▶ 録音先のフォルダや録音するトラックを選択します（▷238、239 ページ）。

▶ サブメニューエリアで " 開始 " を選択します。

音楽 CD の録音が開始されます。

i サブメニューエリアで " 録音 " を選択した後、録音するトラックを選択しないで " 開始 " を選択すると、音楽 CD のすべてのトラックが録音されます。

録音中の画面表示

① 録音していることを示すアイコン
② すべてのトラックを選択しているときの表示
③ 録音している曲順 / 録音曲数
④ 音楽 CD のアルバム名
⑤ 録音先のフォルダ名
⑥ 録音中の曲の録音進行インジケーター

録音を中止する

▶ 録音中に、サブメニューエリアで " 停止 " を選択します。

" 録音が中止されました " と表示されます。

録音が完了したトラックはミュージックレジスターに保存されます。

音楽 CD が引き続き再生されます。

録音を再開する

▶ サブメニューエリアで " 録音 " を選択します。

▶ サブメニューエリアで " 開始 " を選択します。

▶ 音楽データを録音しないときは " 戻る " を選択します。

録音先のフォルダを選択する

録音しようとするトラックを収納するフォルダを選択できます。

▶ サブメニューエリアで " 録音先 " を選択します。

▶ 希望のフォルダを選択します。

ⓘ フォルダを選択しないで録音を開始したときは、自動的に新しいフォルダが作成され、そのフォルダに録音されます。

Gracenote Media Database で音楽 CD のアルバム名を認識したときはそのアルバム名がフォルダ名になります。

アルバム名を認識できないときは、フォルダ名は番号で作成されます。

録音するトラックを選択する

▶ サブメニューエリアで " 録音選択 " を選択します。

トラックリストが表示されます。

P82.86-6840-31

すべてのトラックを選択する

▶ " 全てのトラック " を選択します。

選択されたすべてのトラックが録音されます。

" 全てのトラック " の左側の " ○ " の中に " • " が表示され、すべてのトラックにチェックマークが表示されます。

▶ " 設定完了 " を選択します。

または

▶ コントローラーを左右にスライドします。

トラックを選択する

▶ 録音するトラックを選択して、チェックマークを表示させます。

▶ " 設定完了 " を選択します。

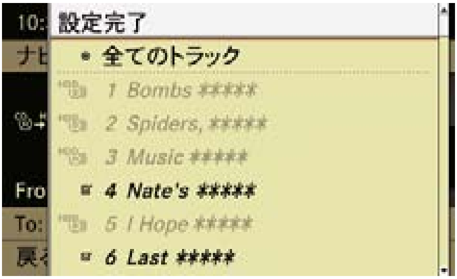
または

▶ コントローラーを左右にスライドします。

フォルダにトラックを追加するとき

録音しようとするトラックが、すでに録音先のフォルダに記録されているときは、さらに録音することはできません。

このとき、録音されているトラックは灰色で表示され、選択できません。また、トラックの左側に " HDD " が表示されます。



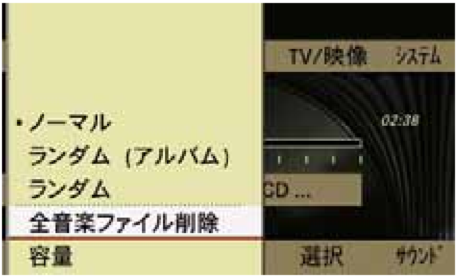
ℹ 異なるフォルダであれば、すでに他のフォルダに録音されているトラックでも録音できます。

すべての音楽データを削除する

ミュージックレジスターのすべての音楽データを削除することができます。

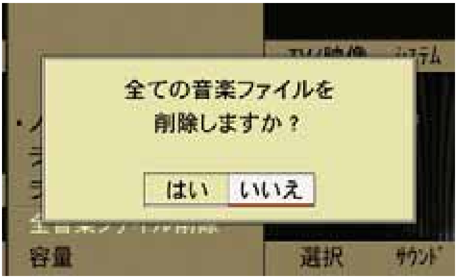
▶ サブメニューエリアで " ﾐｭｰｼﾞｯｸﾚｼﾞｽﾀｰ " を選択します。

▶ " 全音楽ファイル削除 " を選択します。



確認メッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択してコントローラーを押します。



メモリ容量を表示する

▶ サブメニューエリアで " ﾐｭｰｼﾞｯｸﾚｼﾞｽﾀｰ " を選択します。

▶ " 容量 " を選択します。

以下の情報を含むウインドウが表示されます。

- 全容量（6.0GB）
- 空き容量
- 使用している容量
- 記録フォルダ数
- 記録ファイル数

フォルダ / トラック名を編集する、フォルダ / トラックを削除する

▶ サブメニューエリアで " ﾌｫﾙﾀﾞ " を選択します。

! 走行中はフォルダ / トラック名は編集できません。このとき、選択項目が灰色で表示されます。

▶ 編集または削除するフォルダまたはトラックを選択します。

フォルダ / トラック名を編集する

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 編集 " を選択します。

入力エリアが表示されます。

▶ フォルダ / トラック名を編集します。

文字の入力方法については（▷268 ページ）をご覧ください。

▶ ok を選択します。

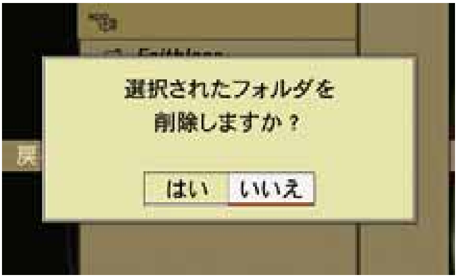
編集内容が保存されます。

フォルダ / トラックを削除する

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 削除 " を選択します。

▶ " はい " を選択して、コントローラーを押します。

メッセージが表示され、フォルダ / トラックが削除されます。



サウンドの調整

ミュージックレジスターではサウンドを調整できます（▷30 ページ）。

音楽再生（Bluetooth® オーディオ）

Bluetooth® 機器

Bluetooth® オーディオモードには、Bluetooth® に対応可能な Bluetooth® 機器が必要です。

ℹ Bluetooth® 機器によっては、COMAND システムの Bluetooth® オーディオに対応していない場合があります。

Bluetooth® オーディオプロファイル

Bluetooth® オーディオモードをご使用になる前に、Bluetooth® 機器が以下のオーディオプロファイルに対応していることを確認してください。詳しくは、Bluetooth® 機器の取扱説明書をご覧ください。

- A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）

  オーディオデータ伝送用 Bluetooth® オーディオプロファイルです。

- AVRCP（Audio Video Remote Control Profile）

  オーディオデータ再生用 Bluetooth® オーディオプロファイルです。

Bluetooth® 機器を接続する

COMAND システムの Bluetooth® 機能をオンにする

▶ COMAND システムの Bluetooth® 機能をオンにします（▷39 ページ）。

ℹ COMAND システムの Bluetooth® 機能がオンにしてあり、登録（認証）してある Bluetooth® 機器がないときは、以下のメッセージが表示されます。

また、マルチファンクションディスプレイにオーディオメニューを表示してあるときは、" 認証済の Bluetooth オーディオが ありません " と表示されます。

ℹ COMAND システムの Bluetooth® 機能がオフになっているときは、以下のメッセージが表示されます。

また、マルチファンクションディスプレイにオーディオメニューを表示してあるときは、"Bluetooth OFF" と表示されます。

Bluetooth® 機器の Bluetooth® 機能をオンにする

▶ Bluetooth® 機器の電源を入れます。

▶ Bluetooth® 機器の Bluetooth® 機能をオンにします（Bluetooth® 機器の取扱説明書をご覧ください）。

ℹ Bluetooth® 機器によっては、Bluetooth® 機能をオンにするとともに、Bluetooth® 機器本体を他の機器から検索できる状態にする必要があります（詳しくは Bluetooth® 機器の取扱説明書をご覧ください）。

これにより、COMAND システムは、Bluetooth® 接続可能な Bluetooth® 機器を検索し、表示できるようになります。

ℹ 各 Bluetooth® 機器には Bluetooth® 機器名があります。

機器名はわかりやすい名称にすることをお勧めします。そうすることにより、Bluetooth® 機器を明確に区別することができます。

Bluetooth® 機器名の設定方法については、Bluetooth® 機器の取扱説明書をご覧ください。

Bluetooth® 機器を認証する

Bluetooth® 機器を新たに COMAND システムに接続して使用するときは、Bluetooth® 機器を登録（認証）する必要があります。

Bluetooth® 機器を COMAND システムに登録（認証）するには、以下の 2 つの方法があります。

- COMAND システムから Bluetooth® 機器を検索して、認証する
- Bluetooth® 機器から COMAND システムを検索して、認証する（外部認証）（▷247 ページ）

ℹ Bluetooth® 機器のセキュリティ設定によっては、COMAND システムから検索できないことがあります。このときは、Bluetooth® 機器から COMAND システムを検索してください。

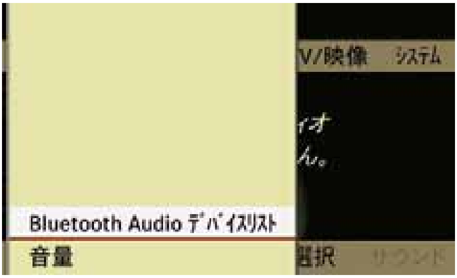
Bluetooth® 機器を検索する

▶ Bluetooth® オーディオを開きます。（▷252 ページ）

▶ Bluetooth® オーディオ基本画面のサブメニューエリアで "Bluetooth オーディオ " を選択します。

▶ "Bluetooth Audio ﾃﾞﾊﾞｲｽﾘｽﾄ " を選択します。

ℹ COMAND システムの Bluetooth® 機能がオフになっているときは、"Bluetooth Audio ﾃﾞﾊﾞｲｽﾘｽﾄ " は選択できません。



▶ "Bluetooth 検索 " を選択します。

▶ 受信範囲内にある Bluetooth® 機器の検索を行ないます。最大 10 台までの Bluetooth® 機器を検索することができます。

ℹ マルチファンクションディスプレイにオーディオメニューを表示してあるときは、"Bluetooth デバイス検索中…" と表示されます。

検索が終了すると、Bluetooth® 機器が表示されます。

ℹ 検索にかかる時間は、検索範囲にある Bluetooth® 機器の台数や機種によって変わります。

検索には数分かかることがあります。

Bluetooth® 機器を検索できない場合は、" サポートしている プロファイルを持ったデバイスが ありません " というメッセージが表示されます。

検索された機器リストが表示されます。

	アイコン	属性
①	（黒色）	認証済みの、接続可能な Bluetooth® 機器
②	（黒色）	認証の準備ができている Bluetooth® 機器
③	（灰色）	認証済みだが、現在利用できない Bluetooth® 機器 ℹ Bluetooth® 機器の電源が入っていないときや、Bluetooth® 機器の Bluetooth® 機能がオフになっているときも、このアイコンは表示されます。

ℹ 機器リストを閉じたときは、再度 Bluetooth® 機器の検索を行なうことで、機器リストにアイコンが表示されます。

ℹ COMAND システムには最大 15 台までの Bluetooth® 機器を接続できます。

ℹ 機器リストにすでに 15 台の Bluetooth® 機器が認証されているときに、新しい機器を登録したい場合は、いずれかの機器の認証を取り消してください。

ℹ COMAND システムが Bluetooth® 機器を検索できないときは、外部認証を使用してください (▷247 ページ)。

検索を再度行なう

▶ Bluetooth 検索 " を選択します。

パスキーを入力する

▶ 認証したい Bluetooth® 機器をリストから選択します。

または

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 認証 " を選択します。

パスキーの入力画面が表示されます。

ℹ パスキーは任意に選択できる 1 ～ 16 桁の数字です。

COMAND システムと認証される機器の両方に同じ数字を入力してください。

Bluetooth® 機器の取扱説明書もご覧ください。

ℹ 認証を取り消した後に再度認証を行なうときは、異なるパスコードを選択してください。

認証が失敗する可能性があるため、再度認証を行なうときは、COMAND システムと Bluetooth® 機器の両方で認証取り消しを行なうことをお勧めします。

▶ テンキーでパスキーを入力します。

または

▶ コントローラーで数字を選択して、入力します。

入力した数字を消去する

▶ COMAND コントロールパネルの c ボタンまたはコントローラー右側の c スイッチを押します。

または

▶ コントローラーで c を選択します。

ℹ 上記の操作を保持すると、入力したすべての数字が消去されます。

前の画面に戻る

▶ " 戻る " を選択します。

または

▶ コントローラー左側の ⮌ スイッチを押します。

入力を確定する

▶ コントローラーで ok を選択します。

"認証中..." の画面が表示され、Bluetooth® 機器にパスキーの入力メッセージが表示されます。

▶ Bluetooth® 機器に同じパスキーを入力します（Bluetooth® 機器の取扱説明書をご覧ください）。

▶ Bluetooth® 機器に認証の確認メッセージが表示されたときは、Bluetooth® 機器で認証操作を行ないます。

機器が認証されます。

ℹ Bluetooth® 機器によっては、COMAND システムでの認証が終了した後に Bluetooth® 機器での設定を行なわなければならないことがあります。詳しくは Bluetooth® 機器の取扱説明書をご覧ください。

外部認証

Bluetooth® 機器のセキュリティ設定などにより、COMAND システムが Bluetooth® 機器を検索できない場合や、検索・認証されても接続できない場合があります。

その場合は、Bluetooth® 機器から COMAND システムを検索して、登録することができます。

COMAND システムの Bluetooth® 機器名は "MB Bluetooth" です。

▶ Bluetooth® オーディオを開きます。（▷252 ページ）

▶ Bluetooth® オーディオ基本画面ののサブメニューエリアで "Bluetooth オーディオ" を選択します。

▶ "Bluetooth Audio ﾃﾞﾊﾞｲｽﾘｽﾄ" を選択します

▶ "Bluetooth 検索" で、"ｵﾌﾟｼｮﾝ" → "外部認証" を選択します。

下記のメッセージが表示されます。

▶ Bluetooth® 機器で Bluetooth® 検索を開始します（Bluetooth® 機器の取扱説明書をご覧ください）。

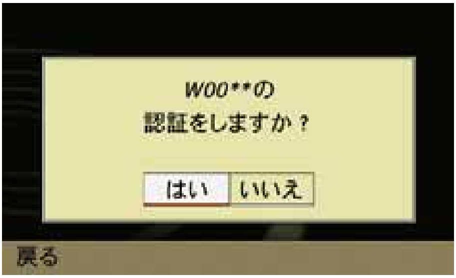
▶ Bluetooth® 機 器 画 面 の "MB Bluetooth" を選択します。

Bluetooth® 機器にパスキーの入力メッセージが表示されます。

▶ Bluetooth® 機器にパスキーを入力します。

下記のメッセージが表示されます。

▶ " はい " を選択します。



▶ COMAND システムに同じパスキーを入力します。

認証が開始され、以下のようなメッセージが表示されます。

機器が認証されます。

i Bluetooth® 機器によっては、パスキーを入力する前に、Bluetooth® 機器自体の暗証番号の入力を要求することがあります。

i Bluetooth® 機器を接続できないときは、Bluetooth® 機器の Bluetooth® 機器リストを表示させ、すでにある "MB　Bluetooth" を削除してから再度認証を行なってください。

i Bluetooth® 機器によっては、パスキーを入力した後に、Bluetooth® 機器の Bluetooth® 機器リストから "MB Bluetooth" を選択することにより、手動で Bluetooth® 機器を COMAND システムに接続させることがあります。詳しくは Bluetooth® 機器の取扱説明書をご覧ください。

自動再接続機能

接続している Bluetooth® 機器が COMAND システムの検索可能なエリアから外れたときも、再度検索可能なエリア内で Bluetooth® 機器が検索されたときは、COMAND システムに自動で再接続されます。

Bluetooth® 機器の詳細情報を表示する

以下の情報を表示できます。

- Bluetooth® の機器名
- Bluetooth® の識別記号
- 認証済みの可否

▶ Bluetooth® オーディオ基本画面のサブメニューエリアで "Bluetooth オーディオ " を選択します。

▶ "Bluetooth Audio ﾃﾞﾊﾞｲｽﾘｽﾄ " を選択します。

▶ 詳細情報を表示したい Bluetooth® 機器を選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 詳細 " を選択します。

機器の詳細画面が表示されます。

詳細画面を閉じる

▶ コントローラーをまわすか、上下左右にスライドします。

または

▶ コントローラーを押します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの [c] ボタンまたはコントローラー右側の [c] スイッチを押します。

または

▶ コントローラー左側の [↩] スイッチを押します。

Bluetooth® 機器の認証を解除する

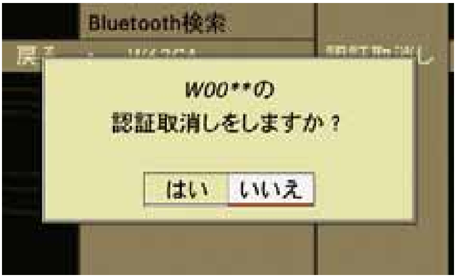
▶ Bluetooth® オーディオ基本画面のサブメニューエリアで "Bluetooth オーディオ " を選択します。

▶ "Bluetooth Audio ﾃﾞﾊﾞｲｽﾘｽﾄ " を選択します。

▶ 認証を解除したい Bluetooth 機器 ® を選択します。

▶ " ｵﾌﾟｼｮﾝ " → " 認証取消し " を選択します。

機器の認証解除に対する確認メッセージが表示されます。



▶ " はい " を選択します。

機器の認証が解除されます。

" いいえ " を選択すると、元の画面に戻ります。

使用する Bluetooth® 機器を切り替える

複数の Bluetooth® 機器を認証している場合、Bluetooth® 機器を切り替えることができます。

別の Bluetooth® 機器を選択すると、その Bluetooth® 機器が自動的に接続されます。

一度に利用できる Bluetooth® 機器は 1 台だけです。

▶ Bluetooth® オーディオ基本画面のサブメニューエリアで "Bluetooth オーディオ " を選択します。

▶ "Bluetooth Audio ﾃﾞﾊﾞｲｽﾘｽﾄ " を選択します。

現在選択されている Bluetooth® 機器の左側には " • " が表示されています。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、切り替える Bluetooth® 機器を選択します。

選択した Bluetooth® 機器の検索を開始します。検索中にコントローラーを押すと、検索が中止されます。

▶ Bluetooth® 機器の画面に認証の確認メッセージが表示されたときは、Bluetooth® 機器で認証操作を行ないます。

検索が終了すると Bluetooth® オーディオ基本画面になります。

ℹ 選択した Bluetooth® 機器が検索できなかったときは、" 接続できませんでした " と表示されます。コントローラーを押すと、元の画面に戻ります。

接続する Bluetooth® 機器を選択する

認証されている Bluetooth® 機器があっても、Bluetooth® 機器が接続されていないときは、接続する Bluetooth® 機器を選択できます。

▶ メインエリアの "BT オーディオ接続 " を選択します。

"Bluetooth オーディオ機器を サーチしています ..." と表示され、すでに認証されている Bluetooth® 機器の検索を開始します。

Bluetooth® 機器に接続すると、自動的に再生が開始されます。

Bluetooth® オーディオを開く

他のアプリケーションから開く

▶ COMAND コントロールパネルの AUDIO ボタンを押します。

または

▶ アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

オーディオで前回 Bluetooth® オーディオを開いていたときは、Bluetooth® オーディオが開きます。

Bluetooth® オーディオ以外の音楽ソースが開いたとき

▶ 再度、アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

現在選択されている項目の左側には " • " が表示されています。

▶ "Bluetooth オーディオ " を選択します。

オーディオの他の音楽ソースから開く

▶ アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

現在選択されている項目の左側には " • " が表示されています。

① 現在選択されている項目

▶ "Bluetooth オーディオ " を選択します。

オーディオの他の音楽ソース、DVD ビデオから開く

▶ 他のオーディオソース、DVD ビデオのサブメニューエリアで " 選択 " を選択します。

現在選択されている音楽ソースの左側には " • " が表示されています。

機器が接続されていない状態

▶ " BT 4 Bluetooth オーディオ " を選択します。

ℹ 機器が接続されているときは、" BT 4 " には各機器名が表示されます。

Bluetooth® オーディオ基本画面

① 記憶メディアの種類 -Bluetooth® オーディオ BT
② スロット位置表示
③ トラック / 曲名表示
④ 経過時間表示
⑤ 経過時間のグラフ表示
⑥ アルバム名表示
⑦ ランダム再生インジケーター
⑧ サウンドメニュー
⑨ メディア選択メニュー
⑩ 再生 / 停止メニュー
⑪ アーティスト名表示
⑫ Bluetooth® オーディオメニュー

ℹ 接続する Bluetooth® 機器により、基本画面に表示される項目は異なります。

ℹ スロット位置表示の "1" はディスクを、"2" は PC カードを、"3" はミュージックレジスターを、"4" は Bluetooth オーディオを、"5" はメディアインターフェースを示しています。

ℹ Bluetooth® 機器により、トラック / 曲名表示に " ｵｰﾃﾞｨｵ ｽﾄﾘｰﾐﾝｸﾞ " や " ｵｰﾃﾞｨｵ転送中 " と表示されることがあります。

ℹ 早送り / 早戻しや選曲、一時停止や再生の再開、再生モードの選択は Bluetooth® 機器からも行なうことができます。

また、Bluetooth® 機器の機種により、音量の調整を Bluetooth® 機器からも行なうこともできます。

早送り / 早戻しする

▶ メインエリアで、コントローラーを左または右にスライドして保持します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンを押して保持します。

ℹ 接続する Bluetooth® 機器により、早送り / 早戻し操作ができないことがあります。

選曲

選曲する

ℹ COMAND コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンの操作は、"ナビ" や "電話"、"ｼｽﾃﾑ" など、オーディオが選択されていないときも行なうことができます。

ℹ 選曲操作を複数回行なうと、さらに前の曲または次の曲を選曲できます。

前の曲を選曲する

▶ メインエリアで、コントローラーを反時計回りにまわすか、左にスライドします。

または

▶ COMAND コントロールパネルの ⏮ ボタンを押します。

ℹ 接続する Bluetooth® 機器により、約 5 秒以上再生しているときは、再生している曲の先頭から再生されます。

次の曲を選曲する

▶ メインエリアで、コントローラーを時計回りにまわすか、右にスライドします。

または

▶ COMAND コントロールパネルの ⏭ ボタンを押します。

ℹ 前の曲を選択したときは、トラック / 曲名表示に数秒間 " トラック -1" と表示されます。

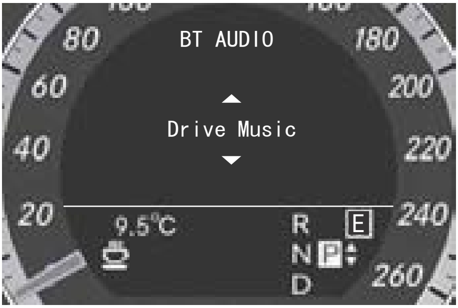
次の曲を選択したときは、トラック / 曲名表示に数秒間 " トラック +1" と表示されます。

マルチファンクションディスプレイにオーディオメニューを表示しているときは、マルチファンクションディスプレイに同様の表示が行なわれます。

マルチファンクションディスプレイでの選曲

▶ ステアリングの [◀] または [▶] スイッチを押して、"ｵｰﾃﾞｨｵ" を選択します。

▶ [▲] または [▼] スイッチを押して、トラックを選択します。



E クラス

ℹ 接続する Bluetooth® 機器により、マルチファンクションディスプレイの表示内容は異なります。

再生の停止

再生を一時停止する

ℹ 再生が一時停止しているときは、"Bluetooth オーディオ 再生停止中 " と表示されます。

マルチファンクションディスプレイにオーディオメニューを表示しているときは、マルチファンクションディスプレイに "Bluetooth ｵｰﾃﾞｨｵ ﾃﾞﾊﾞｲｽ停止しました " と表示されます。

ℹ Bluetooth® 機器でリピート再生などの設定をしている場合を除き、すべての曲（プレイリストなどを選択しているときは、プレイリストのすべての曲）の再生が終了すると、再生は停止します。

▶ COMAND コントロールパネルの [🔇] ボタンまたはステアリングの 🔇 スイッチを押します。

ステータスエリアに "[🔇]" が表示されます。

または

▶ サブメニューエリアで " ■ " を選択します。

再生を再開する

▶ COMAND コントロールパネルの [🔇] ボタンまたはステアリングの 🔇 スイッチを押します。

"[🔇]" が消去されます。

または

▶ サブメニューエリアで "▶" を選択します。

オーディオ

再生モード

ℹ Bluetooth® 機器の機種により、COMAND システムからは、再生モードを選択できない場合や再生モードが表示されない場合があります。

再生モードを選択する

▶ Bluetooth® オーディオ基本画面のサブメニューエリアで、"Bluetooth オーディオ " を選択します。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、再生モードを選択します。

現在選択している再生モードの左側には " • " が表示されています。

" ノーマル "

トラックが通常の順番で再生されます。

" ランダム "

すべてのトラックが順不同で再生されます。

ランダム再生インジケーター⑦（▷253 ページ）が表示されます。

音量の補正

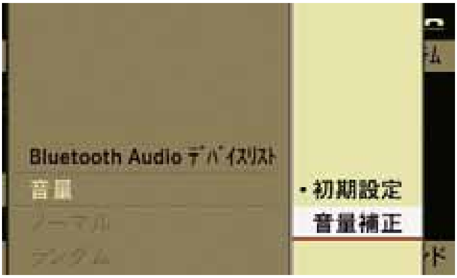
Bluetooth® 機器の音量を、一定の値に補正することができます。

音量を補正する

▶ Bluetooth® オーディオ基本画面のサブメニューエリアで、"Bluetooth オーディオ " を選択します。

▶ " 音量 " を選択します。

▶ " 音量補正 " を選択します。



音量の補正を解除する

▶ Bluetooth® オーディオ基本画面のサブメニューエリアで、"Bluetooth オーディオ " を選択します。

▶ " 音量 " を選択します。

▶ " 初期設定 " を選択します。

ℹ Bluetooth® オーディオの音量は、Bluetooth® 機器により著しく異なります。

Bluetooth® 機器の再生音量が小さくなったり大きくなったりする場合があります。また、通常の最大音量が得られない場合もあります。

ℹ Bluetooth® 機器の音量を設定するときは、適度な音量から少しずつ音量を上げて、歪みのない音質で再生できることを確認してください。

サウンドの調整

Bluetooth® オーディオではサウンドを調整できます（▷30 ページ）。

音楽再生（メディアインターフェース）

ご使用の前に

グローブボックス内またはフロントアームレスト内の接続端子に iPod® や、USB フラッシュメモリ、MP3 プレーヤーなどの USB 機器を接続して、音楽ファイルを再生することができます。

! 外部機器を車内に残したままにしないでください。車内の温度変化などにより故障の原因になります。

i 接続ケーブルは純正品のみを使用し、安全な場所に収納してください。

i iPod® は米国 Apple Inc. の登録商標です。

i メディアインターフェースに接続できる外部機器について、詳しくはお買い上げの販売店またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

i メディアインターフェースでは、USB サブクラス 6 をサポートしています。USB 機器の仕様については、各製造元におたずねください。

i 接続した外部機器を、COMAND での操作と同時に、Bluetooth® などで遠隔操作しないでください。

i 接続した外部機器の充電残量が少ないときは、再生が開始されるまでに時間がかかることがあります。

ℹ 以下のときは、COMAND ディスプレイにメッセージが表示されます。

- サポートしていない外部機器を接続したとき
- 接続した外部機器が多くの電力を必要とするとき
- メディアインターフェースが故障しているとき

再生可能なオーディオデータ（USB 機器接続時）

USB 機器接続時は、下記フォーマットのオーディオデータを再生できます。

- MP3
- WMA

USB 機器に関する注意

- USB 機器にオーディオデータ以外のデータが記録されているときは、再生が開始されるまでに時間がかかることがあります。
- 8 階層までのディレクトリ、および 1000 曲までのオーディオデータをサポートしています。
- USB 拡張ケーブルなどを使用しないでください。正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 記録されているフォルダ内にプレイリストがあるときは、別のカテゴリとしてプレイリストが表示されます。

ℹ DRM で保護されたオーディオデータは再生できません。

メディアインターフェースを開く

他のアプリケーションから開く

▶ COMAND コントロールパネルの AUDIO ボタンを押します。

または

▶ アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

オーディオで前回メディアインターフェースを開いていたときは、メディアインターフェースが開きます。

メディアインターフェース以外の音楽ソースが開いたとき

▶ 再度、アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

現在選択されている項目の左側には " • " が表示されています。

▶ " メディアインターフェース " を選択します。

ℹ 音楽データがないときは " 再生できるデータがありません " と表示されます。

オーディオの他の音楽ソースから開く

▶ アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

現在選択されている項目の左側には " • " が表示されています。

① 現在選択されている項目

▶ " メディアインターフェース " を選択します。

ℹ 音楽データがないときは " 再生できるデータがありません " と表示されます。

オーディオの他の音楽ソース、DVD ビデオから開く

▶ サブメニューエリアで " 選択 " を選択します。

現在選択されている音楽ソースの左側には " • " が表示されています。

機器が接続されていない状態

▶ " Media 4 メディアインターフェース " を選択します。

ℹ 機器が接続されているときは、"4" には各機器名が表示されます。

メディアインターフェース基本画面

① 記憶メディアの種類 - メディアインターフェース iPod
② スロット位置表示
③ トラック番号
④ トラック / 曲名表示
⑤ 経過時間
⑥ 経過時間のグラフ表示およびトラック位置表示
⑦ サウンドメニュー
⑧ 現在選択しているフォルダ名表示（記録されている場合のみ）
⑨ メディア選択メニュー
⑩ フォルダ / カテゴリ選択メニュー
⑪ アーティスト名表示（記録されている場合のみ）
⑫ 再生モード選択メニュー

ℹ スロット位置表示の "1" はディスクを、"2" は PC カードを、"3" はミュージックレジスターを、"4" は Bluetooth® オーディオを、"5" はメディアインターフェースを示しています。

早送り / 早戻しする

▶ メインエリアで、コントローラーを左または右にスライドして保持します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンを押して保持します。

選曲

選曲する

ℹ COMAND コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンの操作は、"ナビ" や "電話"、"システム" など、オーディオが選択されていないときも行なうことができます。

前の曲を選曲する

▶ メインエリアで、コントローラーを反時計回りにまわすか、左にスライドします。

または

▶ COMAND コントロールパネルの ⏮ ボタンを押します。

ℹ 約 8 秒以上再生しているときは、再生されている曲の先頭から再生を始めます。

次の曲を選曲する

▶ メインエリアで、コントローラーを時計回りにまわすか、右にスライドします。

または

▶ COMAND コントロールパネルの [⏭] ボタンを押します。

マルチファンクションディスプレイでの選曲

▶ ステアリングの [◀] または [▶] スイッチを押して、" ｵｰﾃﾞｨｵ " を選択します。

▶ [▲] または [▼] スイッチを押して、トラックを選択します。

再生の停止

再生を一時停止する

▶ COMAND コントロールパネルの [🔇] ボタンまたはステアリングの 🔇 スイッチを押します。

ステータスエリアに "[🔇]" が表示されます。

再生を再開する

▶ COMAND コントロールパネルの [🔇] ボタンまたはステアリングの 🔇 スイッチを押します。

"[🔇]" が消去されます。

再生モード

再生モードを選択する

▶ メディアインターフェース基本画面のサブメニューエリアで、" ﾒﾃﾞｨｱｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ " を選択します。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、再生モードを選択します。

現在選択している再生モードの左側には " • " が表示されています。

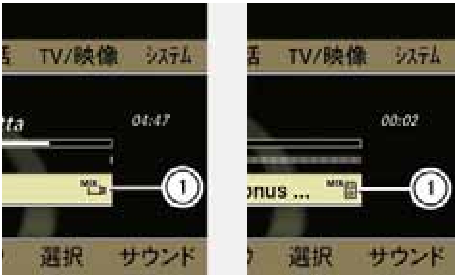
" ノーマル "

トラックが通常の順番で再生されます。

" ランダム "

すべてのトラックが順不同で再生されます。

ランダム再生インジケーター①が表示されます。

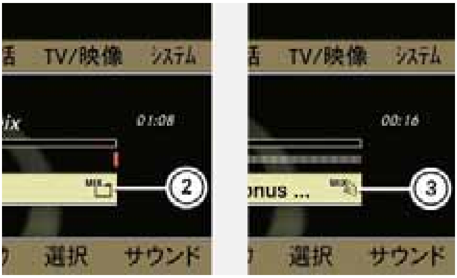


（左）USB 機器接続時
（右）iPod® 接続時
① ランダム再生インジケーター

" ランダム（フォルダ / カテゴリ）"

現在選択しているフォルダ / カテゴリに記録されているトラックが順不同で再生されます。

ランダム（フォルダ）再生インジケーター②またはランダム（カテゴリ）再生インジケーター③が表示されます。



② ランダム（フォルダ）再生インジケーター（USB 機器接続時）
③ ランダム（カテゴリ）再生インジケーター（iPod® 接続時）

ℹ USB 機器を接続しているときは " ランダム（フォルダ）" が、iPod® を接続しているときは " ランダム（カテゴリ）" が表示されます。

ℹ 現在選択しているフォルダに音楽ファイルがないときは、" 再生できるファイルがありません " または " 再生できるフォルダがありません " と表示されます。

パーティションの選択（USB 機器接続時）

USB 機器のメモリー部分に複数のパーティションが設定されているときは、再生する音楽データが含まれるパーティションを選択できます。

▶ メディアインターフェース基本画面のサブメニューエリアで、" ﾒﾃﾞｨｱｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ " を選択します。

▶ " パーティション選択 " を選択します。

▶ パーティションを選択します。

曲情報表示（USB 機器接続時）

オーディオデータに、トラック名、アルバム名、アーティスト名などの ID3 タグデータや WMA データが記録されているときは、それらを表示することができます。

曲情報を表示する

▶ メディアインターフェース基本画面のサブメニューエリアで、" ﾒﾃﾞｨｱｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ " を選択します。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、再生モードを選択します。

▶ " 曲情報表示 " を選択してコントローラーを押します。

コントローラーを押すたびに、左側のチェックボックスのチェックマークが表示されます。

曲情報を表示するときは、チェックマークを表示させます。

ℹ 曲情報表示を解除しているときは、トラック名はファイル名で、アルバム名およびアーティスト名はフォルダ名で表示されます。

フォルダの選択（USB 機器接続時）

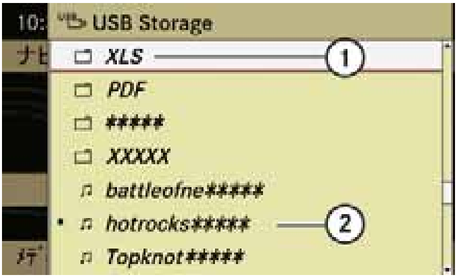
選択したフォルダ内に記録されているトラックを再生します。

▶ サブメニューエリアで " ﾐｭｰｼﾞｯｸ " を選択します。

または

▶ メインエリアで、コントローラーを押します。

フォルダリストが表示されます。



① フォルダ
② 現在選択されているトラック

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、フォルダを選択します。

下の階層のフォルダ / トラックリストが表示されます。

トラックを選択したときは、再生が開始されます。

ℹ フォルダを選択して、コントローラーを約 2 秒以上押して保持すると、フォルダ内の曲が再生モードにしたがって再生されます。

上の階層へ移動する

▶ フォルダ選択マークを選択します。

上の階層のフォルダ / トラックリストが表示されます。

フォルダ検索

フォルダやトラックを頭文字で検索できます。

▶ COMAND コントロールパネルの # ボタンを押します。

ボタンを押すごとに、検索する文字の種類が、" 数 / 記 " → " カタカナ " → " ＡＢＣ " と切り替わります。

▶ 入力したい文字が下方に表示されているテンキーを押します。

選択できる文字が、ディスプレイの下部に表示されます。

▶ 同じテンキーを再度押して、入力する文字を選択します。

リスト上の対象となる項目が選択されます。

ℹ 漢字やひらがなで登録されている文字は検索できません。

カテゴリーの選択（iPod® 接続時）

選択したカテゴリー内に記録されているトラックを再生します。

▶ サブメニューエリアで " ﾐｭｰｼﾞｯｸ " を選択します。

または

▶ メインエリアで、コントローラーを押します。

カテゴリーリストが表示されます。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、カテゴリーを選択します。

プレイリスト：

▶ プレイリストを選択します。

▶ トラックを選択します。

iPod® で作成したプレイリスト内のトラックを再生します。

アーティスト：

▶ アーティストを選択します。

▶ アルバムを選択します。

▶ トラックを選択します。

選択したアルバムのトラックを再生します。

アルバム：

▶ アルバムを選択します。

▶ トラックを選択します。

選択したアルバムのトラックを再生します。

曲：

▶ トラックを選択します。

記録されているすべてのトラックを再生します。

Podcast：

▶ ポッドキャストの登録リストを選択します。

▶ エピソードを選択します。

選択したポッドキャストのエピソードを再生します。

ジャンル：

▶ ジャンルを選択します。

▶ アーティストを選択します。

▶ アルバムを選択します。

▶ トラックを選択します。

選択したアルバムのトラックを再生します。

作曲者：

▶ 作曲者を選択します。

▶ アルバムを選択します。

▶ トラックを選択します。

選択したアルバムのトラックを再生します。

アルファベット検索

各カテゴリ内の選択したいアーティストや曲などを、頭文字のアルファベットで検索できます。

▶ カテゴリーリストから、コントローラーをまわすか、上下にスライドして、カテゴリを選択します。

▶ 入力したいアルファベットが下方に表示されているテンキーを押します。

選択できるアルファベットが、ディスプレイの下部に表示されます。

▶ 同じテンキーを再度押して、入力する文字を選択します。

リスト上の対象となる項目が選択されます。

ⓘ 接続している iPod® のソフトウェア（iTunes®）のバージョンにより、検索性が異なる場合があります。

上の階層へ移動する

▶ フォルダ選択マーク を選択します。

上の階層のカテゴリーリストが表示されます。

カテゴリーの絞り込みを解除する

▶ " すべて " を選択します。

カテゴリーリストの絞り込みが解除されます。

現在選択されているカテゴリーの曲名リストを表示する

▶ " 現在の曲のリスト " を選択します。

選択しているカテゴリーの曲名リストが、演奏順に表示されます。

サウンドの調整

メディアインターフェースではサウンド（▷30 ページ）を調整できます。

外部入力

音楽プレーヤーなどの外部機器を接続して、音声を COMAND システムで出力できます。

詳細については、メルセデス・ベンツ指定サービス工場におたずねください。

⚠ 事故のおそれがあります

外部入力の音量は一定でないため、システムメッセージ（例：交通およびナビの案内）の音量が大きくなることがあります。

外部機器の接続

▶ 専用の AUX ケーブルをグローブボックス内またはフロントアームレスト内のメディアインターフェース端子に接続します。

▶ 外部機器を AUX ケーブルに接続します。

外部入力を開く

他のアプリケーションから開く

▶ COMAND コントロールパネルの AUDIO ボタンを押します。

または

▶ アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

オーディオで前回外部入力を開いていたときは、外部入力が開きます。

外部入力以外の音楽ソースが開いたとき

▶ 再度、アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

現在選択されている音楽ソースの左側には " • " が表示されています。

▶ " 外部入力 " を選択します。

オーディオの他の音楽ソースから開く

▶ アプリケーションエリアで " オーディオ " を選択します。

現在選択されている音楽ソースの左側には " • " が表示されています。

① 現在選択されている音楽ソース

▶ " 外部入力 " を選択します。

▶ 外部機器の再生操作を行ないます。

音量の補正

外部機器の再生音量を、一定の値に補正することができます。

音量を補正する

▶ 外部入力基本画面のサブメニューエリアで、" 音量 " を選択します。

▶ " 音量補正 " を選択します。

音量の補正を解除する

▶ 外部入力基本画面のサブメニューエリアで、" 音量 " を選択します。

▶ " 初期設定 " を選択します。

ℹ 外部入力の再生音量は、外部入力機器により著しく異なる場合があります。

外部入力機器の再生音量が小さすぎたり、または大きすぎたりする場合があります。また、通常の最大再生音量が得られない場合もあります。

ℹ 外部入力機器の音量を設定するときは、歪みのない音質で再生するために、適度な音量から少しずつ音量を上げることをおすすめします。

サウンドの調整

外部入力ではサウンドを調整できます
(▷30 ページ)。

! 入力感度が異なるため、マイクロホンなどを接続すると、COMAND システムやスピーカーなどを損傷するおそれがあります。

! 接続コードは抵抗付きでないものを使用してください。

! 接続する外部機器は、安全のためグローブボックス内またはフロントアームレスト内に保管してください。シートの上などに置いていると、停車時などに落下するおそれがあります。また、急ブレーキ時などに投げ出されて、乗員がけがをするおそれがあります。

! 走行中にグローブボックスまたはフロントアームレストが開いていると、急ブレーキ時などにけがをするおそれがあります。

文字の入力方法

コントローラーまたはテンキーを使用して文字を入力できます。

コントローラーでの入力

文字の種類の選択

▶ " 文字 " を選択します。

▶ 入力する文字の種類を以下から選択します。

ⓘ 入力項目によって、選択できる文字の種類は異なります。

表示	入力できる文字の種類
かな / 漢字	ひらがな、漢字
ｶﾀｶﾅ	半角カタカナ
カタカナ	全角カタカナ
ABC	半角アルファベット（単語の最初の一文字だけが大文字になります） 半角主要記号
ＡＢＣ	全角アルファベット（大文字）
abc	半角アルファベット 半角主要記号
ａｂｃ	全角アルファベット（小文字）
半角数字	半角数字 半角主要記号
全角数字	全角数字 全角主要記号
特別文字	ゐ、ゑ、ヰ、ゝなど
特別数字	丸数字、ギリシア数字
特別記号	※、〒、☆など

文字の入力

▶ コントローラーをまわすか、上下左右にスライドして、入力する文字を選択します。

ひらがなとカタカナの入力

▶ コントローラーを左右にスライドして、入力するひらがな、またはカタカナの行を選択します。

選択した行の文字が表示されます。

▶ コントローラーをまわすか、左右にスライドして、入力する文字を選択します。

文字を削除する

▶ C を選択します。

または

▶ コントローラー右側の c スイッチを押します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの c ボタンを押します。

カーソルの左側の文字が一文字削除されます。

ℹ 上記の操作を保持すると、入力している行の先頭からカーソルの左側までの文字が削除されます。

テンキーでの入力

文字の種類の選択

▶ COMAND コントロールパネルの # ボタンを押します。

ボタンを押すごとに文字の種類が、" かな / 漢字 " → " ｶﾀｶﾅ " → " カタカナ " → "ABC" → " ＡＢＣ " → "abc" → " ａｂｃ " →半角数字 " → " 全角数字 " → " かな / 漢字 " と切り替わります。

ℹ 入力項目によって、選択できる文字の種類は異なります。

" 特別文字 "、" 特別数字 "、" 特別記号 " を入力するときは、コントローラーで文字の種類を選択してください。

数字の入力

▶ " 半角数字 " または " 全角数字 " を選択しているときに、入力したい数字が表示されているテンキーを押します。

ひらがなやカタカナ、句読点などの入力

▶ 入力したい文字の行が表示されたテンキーを押します。

▶ 同じテンキーを再度押して、入力する文字を選択します。

約 2 秒後に、入力文字が確定します。

ℹ 入力文字を選択した後、他のテンキーを押したときも、入力文字は確定します。

ひらがなから漢字への変換

▶ 入力したい漢字の読みがなをひらがなで入力します。

変換の対象となるひらがなが、アミかけで表示されます。

ℹ コントローラーを左右にスライドするか、←→ を選択すると、変換範囲を変更できます。

▶ " 変換 " を選択します。

候補漢字が表示されます。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、入力する漢字を選択します。

ℹ 変換対象が長いときは、コントローラーを左右にスライドするか、←→ を選択すると、変換範囲を変更できます。

テレビ……………………………… 272
DVD ビデオ ……………………………… 287

テレビ

安全に利用するために

⚠ けがのおそれがあります

COMAND システムはクラス 1 のレーザー製品です。以下のことに注意してください。目に見えないレーザー光線が外部に照射されるおそれがあります。

- COMAND システム本体、および関連構成部品などを分解したり、改造しないでください。
- センターコンソールのカバーを取り外さないでください。
- センターコンソールのカバーが損傷しているときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で修理を行なってください。
- 点検や修理作業は必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

走行中の映像表示について

約 5km/h 以上の速度で走行しているときは、映像が自動的に表示されなくなり、音声のみが再生されます。

また、" 安全のため、走行中は表示できません " と COMAND ディスプレイに表示されます。

走行速度が約 5km/h 以下になると、映像が再び表示されます。

地上デジタル放送について

COMAND システムのテレビは、フルセグメント（12 セグメント）の地上デジタル放送にのみ対応しています。

ⓘ COMAND システムのテレビは、ワンセグメント（ワンセグ）地上デジタル放送およびアナログ放送には対応していません。

地上デジタル放送とは？

地上波の UHF 帯を使用したデジタル放送です。

2003 年 12 月より一部の地域で開始され、順次放送が開始されています。

地上デジタル放送の特徴

- デジタルハイビジョンの高画質と CD 並みの高音質
- 標準画質による多チャンネル放送
- 多様なデータ放送、双方向機能を活かした番組への参加
- 移動体受信でも乱れのない鮮明な映像が視聴可能
- EPG による番組情報の確認
- ワンセグ放送による移動体向けサービス

ⓘ COMAND システムのテレビは、ハイビジョン出力には対応していません。

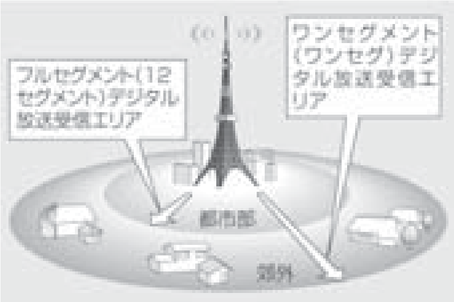
ⓘ COMAND システムのテレビは、双方向サービスには対応していません。

ⓘ ワンセグ放送のサービス開始時期は、各放送局により異なります。

フルセグメント（12 セグメント）地上デジタル放送の受信エリアについて

地上デジタル放送は、高画質・高音質で地域に密着したデータ放送などを楽しむことができます。

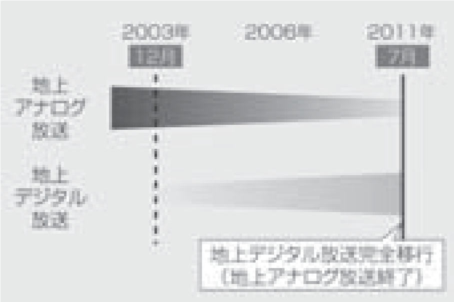
フルセグメント（12 セグメント）の地上デジタル放送は、都市部でのみ受信が可能です。



地上デジタル放送化のスケジュール

地上デジタル放送は 2003 年 12 月より、関東・中京・近畿の三大広域圏から開始され、2006 年 12 月までに全国都道府県庁所在地で放送が開始されています。

2011 年 7 月には地上デジタルテレビ放送に完全移行し、現在の地上アナログ放送を終了することが、国の施策として決定されています。



B-CAS カードについて

デジタル放送の著作権保護などの観点から、デジタル放送を視聴する際には、受信機器に B-CAS カードを挿入することが必要です。

COMAND システムにはすでに、B-CAS カードが挿入されています。

B-CAS カードの所有権は、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズに帰属し、「B-CAS カード使用許諾契約約款（特別内蔵用）」に基づいて運用されています。

詳しくは販売店またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

ℹ COMAND システムでテレビを視聴される前には必ず、右ページの「B-CAS カード使用許諾契約約款（特別内蔵用）」をお読みの上、同意書への署名が必要となります。詳しくは販売店またはメルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。

B-CAS カード使用上の注意

- B-CAS カードを抜き取らないでください。B-CAS カードの抜き取りが必要な場合は、メルセデス・ベンツ指定サービス工場にお問い合わせください。
- COMAND システムに付属している B-CAS カードは、地上デジタル放送専用です。地上・BS・110 度 CS デジタル放送の共用受信機器には使用しないでください。
- B-CAS カードを盗難・紛失したときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場に連絡してください。
- B-CAS カードに関する問い合わせの際は、B-CAS カードの ID 番号が必要になります。B-CAS カードの ID 番号を記載したシールが、地デジチューナー筐体とフロントアームレストの裏面に貼付してあります。
- 万一、B-CAS カードを交換した場合は新しい B-CAS カード ID 番号となります。

B-CAS カード使用許諾契約約款（特別内蔵用カード）

お客様がお買い求めのデジタル放送受信機器（以下「受信機器」という）には、地上デジタルテレビジョン放送を受信するためのＩＣカード（ビーキャス（Ｂ－ＣＡＳ）カード）（以下「カード」という）が内蔵されています。このカードは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（以下「当社」という）が、この約款の契約（以下「本契約」という）に基づいてお客様に貸与するものです。お客様は、受信機器を使用する前にこの約款を必ずお読みください。

当社は、Ｂ－ＣＡＳ方式の限定受信システム（ＣＡＳ）やカードを統一的に運用・管理するためにＢＳデジタル放送の放送事業者等により設立された会社です。詳しくは当社のホームページ（http://www.b-cas.co.jp）をご覧ください。当社へのご連絡やお問い合わせはカスタマーセンター（電話 0570-000-250）までお願いします。

第１条（カードの使用目的）

このカードには受信機器を制御する集積回路（ＩＣ）が内蔵されており、地上デジタルテレビジョン放送の番組の著作権保護等に利用されています。このカードは、地上デジタルテレビジョン放送の各種放送サービス（以下「放送サービス」という）を受信するために必要となります。

第２条（カードの所有権と使用許諾）

お買い求めの受信機器に内蔵されているカードの所有権は、当社に帰属します。

２．お客様は、本契約に基づき、受信機器に内蔵されているカードを使用することができます。

第３条（カードの故障交換等）

カードに起因すると推測される受信障害が発生した場合は、受信機器のメーカーあるいは販売店（以下「メーカー等」という）に連絡してください。カードの故障交換等は、お買い求めの受信機器の修理・保証に準じて、メーカー等により行われます。（詳しくは受信機器の取扱説明書をご覧ください）

２．当社に故意または重大な過失があった場合を除き、カードの故障により、放送サービス等が受信できないことによる損害が生じても、当社はその責任を負いません。

第４条（カードの交換依頼）

カードの不具合やシステム変更（バージョンアップ）等、当社の都合によりカード交換が必要となった場合、カード交換をお願いすることがあります。

第５条（ユーザー登録）

前条のカード交換依頼の連絡等のためにユーザー登録を希望するお客様は、当社のホームページから必要事項を入力していただく方法、または当社に連絡してユーザー登録用紙を取り寄せていただく方法により、登録をしてください。ユーザー登録は任意です。

２．当社は、お客様からのユーザー登録情報を別に定めるガイドライン（当社ホームページより参照）に従って厳格に取扱います。

第６条（契約の終了）

当社は、受信機器の廃棄等によりカードが使用されなくなった場合、もしくは受信機器の譲渡等によりカード使用者が変更になった場合には、お客様との契約が終了したものとみなします。

第７条（禁止事項）

お客様は、このカードを、お買い求めの受信機器から取り外さないで下さい。

２．このカードを使用して、ＢＳデジタル放送や110 度ＣＳデジタル放送等の有料放送の視聴契約をすることはできません。

３．カードの複製、分解、改造、変造若しくは改ざん、またはカードの内部に記録されている情報の複製若しくは翻案等、カードの機能に影響を与え、またはカードに利用されている知的財産権の侵害に繋がる恐れのある行為を行うことはできません。

４．カードを日本国外に輸出または持ち出すことはできません。

第８条（約款の変更）

この約款は変更することがあります。この約款の変更事項または新しい約款については、当社のホームページに掲載します。

テレビを開く

ℹ COMAND システムのテレビは、フルセグメント（12 セグメント）の地上デジタル放送にのみ対応しているため、受信エリア外ではテレビを視聴できません。

また、受信エリア内であっても電波状態によっては、地上デジタル放送を受信できず、テレビの音声や映像が消えることがあります。

他のアプリケーションから開く

▶ COMAND コントロールパネルの VIDEO ボタンを押します。

または

▶ アプリケーションエリアで "TV/ 映像 " を選択します。

TV / 映像で前に開いていた映像ソースになります。

DVD ビデオが開いたとき

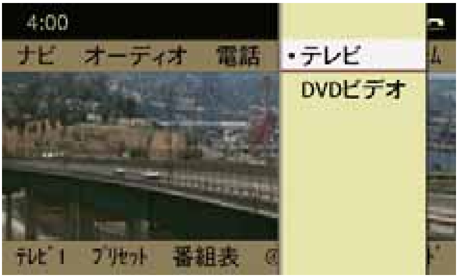
▶ 再度、アプリケーションエリアで "TV/ 映像 " を選択します。

▶ " テレビ " を選択します。

DVD ビデオから開く

▶ アプリケーションエリアで "TV/ 映像 " を選択します。

▶ " テレビ " を選択します。



情報メニューの表示

情報メニューには、チャンネル番号と放送局名、番組名、番組情報マークが表示されます。

また、プリセットされている放送局を受信しているときは、プリセット番号が表示されます。

情報メニューを表示する

▶ 全画面表示のときにコントローラーを上下にスライドします。

情報メニューが約 8 秒間表示されます。

ℹ テレビを開いたときや全画面表示で放送局を選局したとき、COMAND コントロールパネルの VIDEO ボタンを押したときも、情報メニューが約 8 秒間表示されます。

情報メニュー
① プリセット番号
② チャンネル番号 / 放送局名
③ 番組名
④ 番組情報マーク

情報メニューを消去する

▶ コントローラーを上下にスライドします。

ℹ 約 8 秒経過すると、情報メニューは自動的に消去されます。

約 5km/h 以上の速度で走行し、映像が表示されていないときは、情報メニューが常に表示されます。

番組情報マーク

番組情報マークにより、番組の情報を知ることができます。

以下は、主な番組情報マークです。

手	手話付き放送
デ	番組連動データ付き放送
S	ステレオ放送、二重音声放送
二	二ヶ国語放送
多	音声多重放送
解	解説あり放送
B	圧縮 B モードステレオ放送
N	ニュース放送
再	再放送
新	新番組

ℹ 上記以外のマークが表示されることがありますが、COMAND では対応していません。

基本画面と全画面表示の切り替え

全画面表示から基本画面にする

▶ 全画面表示のときに、コントローラーを押します。

基本画面

基本画面から全画面表示にする

▶ コントローラーを上にスライドして " 全画面表示 " を表示させせます。

▶ コントローラーを押します。

または

▶ コントローラー左側の [⮌] スイッチを押します。

テレビ 1 とテレビ 2 の切り替え

▶ テレビ基本画面のサブメニューエリアで " ﾃﾚﾋﾞ 1" または " ﾃﾚﾋﾞ 2" を選択します。

現在選択されている項目の左側には " • " が表示されています。

▶ " テレビ 1" または " テレビ 2" を選択します。

▶ コントローラーを押します。

ℹ 例えば、テレビ 1 には自宅周辺のよく視聴する放送局を記憶させて、テレビ 2 には他地域を走行するときにその地域の放送局を記憶させるといった使い方ができます。

放送局の選局

以下の方法で選局できます。

- 手動選局

ⓘ COMAND コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンでの選局は、" ナビ " や " 電話 "、" システム " のときも行なえます。

- プリセット選局
- チャンネルを入力しての選局

手動選局

▶ 全画面表示、または情報メニューが表示されているときに、コントローラーをまわすか、左右にスライドします。

または

▶ COMAND コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンを押します。

前または次のチャンネルが選局されます。

プリセット選局

ⓘ プリセット選局は、放送局があらかじめプリセットされているとき（▷281 ページ）に行なえます。

コントローラーでの操作

▶ テレビ基本画面のサブメニューエリアで " プリセット " を選択します。

現在選択されている放送局の左側には " • " が表示されています。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして放送局を選択します。

COMAND コントロールパネルのテンキーでの操作

▶ 受信したいプリセット番号のテンキーを押します。

チャンネルが切り替わり、プリセット番号、チャンネル番号、番組名が数秒間表示されます。

ⓘ プリセットされている番号のみを選択できます。

" ナビ " や " 電話 "、" システム " のときもテンキーでの操作は行なえます。ただし文字入力および番号入力画面のときは操作できません。

ⓘ プリセットリストに表示される "AUX 1" および "AUX 2" は使用できません。

マルチファンクションディスプレイでの操作

プリセット選局

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、" ｵｰﾃﾞｨｵ " を選択します。

E クラス

▶ ステアリングの ▲ または ▼ スイッチを押します。

次または前のプリセット番号の放送局に移動します。

または

▶ ステアリングの ▲ または ▼ スイッチを押して保持します。

放送局がプリセットされていないときは、次または前の受信可能な放送局に移動します。

チャンネルを入力しての選局

▶ テレビ基本画面のサブメニューエリアで " ﾃﾚﾋﾞ 1" または " ﾃﾚﾋﾞ 2" を選択します。

▶ " チャンネル入力 " を選択します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの ＊・◦ ボタンを押します。

チャンネルを入力しての手動選局画面

▶ COMAND コントロールパネルのテンキーでチャンネルを入力します。

入力した文字を消去するときは COMAND コントロールパネルの c ボタンを押します。

チャンネル番号を 4 桁入力すると、入力したチャンネルを受信します。

ℹ 入力したチャンネルに該当する放送局がないときは、" チャンネルをお確かめください " と表示されます。コントローラーを押すとチャンネル入力画面に戻ります。

放送局のプリセット

テレビ 1 とテレビ 2 にそれぞれ 12 局まで放送局をプリセットできます。

オートプリセット

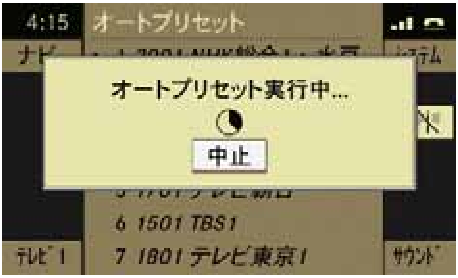
受信できる放送局が自動的にプリセットされます。

オートプリセットを行なうと、それまでのプリセットは消去されます。

▶ テレビ基本画面のサブメニューエリアで "ﾌﾟﾘｾｯﾄ" を選択します。

▶ " オートプリセット " を選択します。

CONAND ディスプレイに " オートプリセット実行中 ..." とメッセージが表示されます。



プリセットが終了すると、受信可能な放送局がプリセットリストに表示されます。

プリセットを中止する

▶ オートプリセット実行中にコントローラーを押します。

手動プリセット

コントローラーでの操作

▶ プリセットする放送局を受信します。

▶ テレビ基本画面のサブメニューエリアで "ﾌﾟﾘｾｯﾄ" を選択します。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、プリセットしたい番号を選択します。

▶ " ピッ " と音が鳴るまでコントローラーを押して保持します。

COMAND コントロールパネルのテンキーでの操作

▶ プリセットする放送局を受信します。

▶ COMAND コントロールパネルで、プリセットしたい番号のテンキーを、" ピッ " と音が鳴るまで押して保持します。

番組表

視聴しているチャンネルの、現在から12 番組先までの番組内容を表示できます。

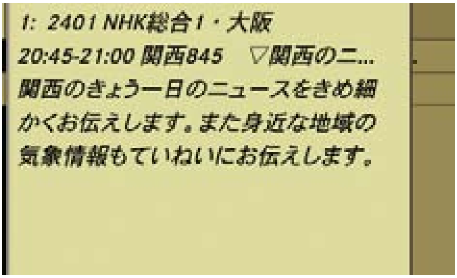
▶ テレビ基本画面のサブメニューエリアで " 番組表 " を選択します。

放送時間と番組名、番組情報マークが表示されます。

ℹ 前の画面に戻るときは、コントローラー左側の [↩] スイッチを押すか、" 戻る " を選択します。

▶ コントローラーをまわすか、上下にスライドして、内容を表示したい番組を選択します。

番組の内容が表示されます。



ℹ 前の画面に戻るときは、コントローラー左側の [↩] スイッチを押すか、コントローラーを左右にスライドする、またはコントローラーを押します。

データ放送

ⓘ 番組や電波状況によっては、データ放送を受信できない場合があります。

ⓘ COMAND システムのテレビ機能はワンセグデータ放送に対応していません。

ⓘ COMAND システムのテレビ機能は双方向データサービスに対応していません。

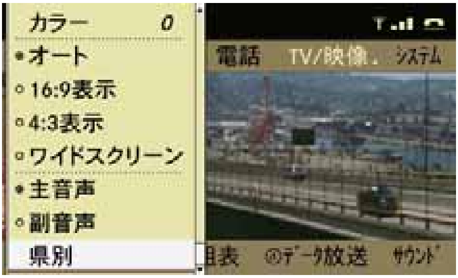
データ放送地域の設定

それぞれの地域に合わせたデータ放送を受信するための設定を行ないます。

ⓘ データ放送で表示される天気予報は、他地域の放送局の番組を視聴しているときも、あらかじめ設定した放送地域の天気予報が表示されます。

▶ テレビ基本画面のサブメニューエリアで " ﾃﾚﾋﾞ 1" または " ﾃﾚﾋﾞ 2" を選択します。

▶ " 県別 " を選択します。



▶ データ放送を受信する都道府県を選択します。

現在選択されている都道府県の左側には " • " が表示されています。

データ放送を見る

▶ テレビ基本画面のサブメニューエリアで " ⓓﾃﾞｰﾀ放送 " を選択します。

ⓘ 視聴しているチャンネルでデータ放送が受信できないときは、" ⓓﾃﾞｰﾀ放送 " は灰色で表示され選択できません。

データ放送が表示されます。

ℹ データ放送を受信してデータ放送のメニューが表示されるまでに時間がかかる場合があります。

ℹ データ放送の内容およびメニューは放送局により異なります。

データ放送の項目を選択する

▶ コントローラーを上下左右にスライドして、選択項目を移動します。

▶ コントローラーを押します。

データ放送のサブメニューを表示する

▶ データ放送が表示されているときに、コントローラーをいずれかの方向にまわします。

データ放送のサブメニューが表示されます。

カラー項目を選択する

データ放送によっては、選択項目に青・赤・緑・黄の各色が設定されていることがあります。

これらの選択項目は以下の方法で選択できます。

▶ データ放送のサブメニューで、コントローラーをいずれかの方向にまわすか、左右にスライドして、"•青 "、"• 赤 "、"• 緑 "、"• 黄 " のいずれかを選択します。

▶ コントローラーを押します。

選択した色のカラー項目が選択されます。

データ放送のサブメニューを消去する

▶ データ放送のサブメニューが表示されているときに、コントローラーを上下いずれかの方向にスライドします。

1 つ前の画面に戻る

▶ データ放送のサブメニューが表示されているときに、" ページアップ " を選択します。

または

▶ コントローラー左側の [↩] スイッチを押します。

データ放送の視聴を終了してテレビ放送に戻る

▶ データ放送のサブメニューで " テレビ " を選択します。

または

▶ コントローラー左側の [↩] スイッチを押して保持します。

画質・画面の調整

画質の調整

▶ テレビ基本画面のサブメニューエリアで " ﾃﾚﾋﾞ 1" または " ﾃﾚﾋﾞ 2" を選択します。

▶ " 明るさ "、" コントラスト "、" カラー " のいずれかを選択します。

調整スケールが表示されます。

▶ +5 ～－ 5 の範囲で希望する設定を選択します。

① これまでの設定値
② 現在の設定値

▶ コントローラーを押します。

画質が設定されます。

画面比率の設定

▶ テレビ基本画面のサブメニューエリアで " ﾃﾚﾋﾞ 1" または " ﾃﾚﾋﾞ 2" を選択します。

▶ 画面比率を選択します。

現在選択されている画面比率の左側の " ○ " の中には " • " が表示されています。

" オート "

番組に合わせて画面比率を自動的に切り替えます。

"16 : 9 表示 "

横縦比率が 16 : 9 で表示されます。

"4 : 3 表示 "

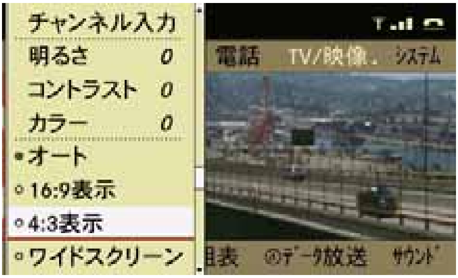
横縦比率が 4 : 3 で表示されます。

" ワイドスクリーン "

ワイドスクリーンで表示されます。

▶ コントローラーを押します。

画面比率が設定されます。



音声設定の切り替え

2 カ国語放送受信時に、出力音声を選択できます。

▶ テレビ基本画面のサブメニューエリアで " ﾃﾚﾋﾞ 1" または " ﾃﾚﾋﾞ 2" を選択します。

▶ 音声設定を選択します。

現在選択されている音声設定の左側の " ○ " の中には " • " が表示されています。

" 主音声 "

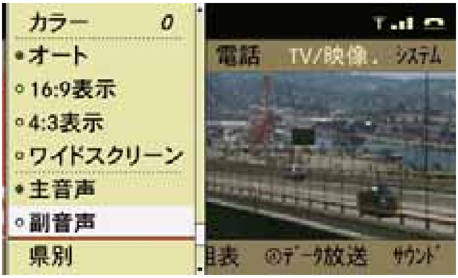
主音声が出力されます。

" 副音声 "

副音声が出力されます。

▶ コントローラーを押します。

出力音声が設定されます。



サウンドの調整

テレビでは、サウンド（▷30 ページ）を調整できます。

DVD ビデオ

安全に利用するために

⚠ けがのおそれがあります

COMAND システムはクラス 1 のレーザー製品です。以下のことに注意してください。目に見えないレーザー光線が外部に照射されるおそれがあります。

- COMAND システム本体、および関連構成部品などを分解したり、改造しないでください。
- センターコンソールのカバーを取り外さないでください。
- センターコンソールのカバーが損傷しているときは、メルセデス・ベンツ指定サービス工場で修理を行なってください。
- 点検や修理作業は必ずメルセデス・ベンツ指定サービス工場で行なってください。

⚠ 事故のおそれがあります

DVD ディスクの挿入や取り出しは、必ず安全な場所に停車して行なってください。

走行中に行なうと、周囲の状況を把握できなくなり事故を起こすおそれがあります。

走行中の映像表示について

約 5km/h 以上の速度で走行しているときは、映像が自動的に表示されなくなり、音声のみが再生されます。

また、" 安全のため、走行中は表示できません " と COMAND ディスプレイに表示されます。

走行速度が約 5km/h 以下になると、映像が再び表示されます。

DVD ディスクに関する注意

コピーされたディスクは、正常に再生されないことがあります。

非常に数多くのディスクや DVD オーサリングソフト、ライティングソフトが市販されていますが、COMAND システムで再生できるディスクは限られています。

ディスクに印刷されているマークなどで確認してください。

お客様ご自身で書き込んだディスクの再生については保証致しかねます。

! ディスク面にシールなどの異物を貼付しないでください。

シールなどが剥がれて、COMAND システムを損傷するおそれがあります。

シールなどを貼付するとディスクが曲がる原因となり、読み取りエラーなどの問題が生じるおそれがあります。

! 必ず以下のマークのあるディスクを使用してください。

厚さ 1.3 mm 以下のディスクを使用できます。

それより厚みのあるディスク、例えば両面にデータが記録されているディスク（片面に DVD データ、もう片面にオーディオデータなど）を挿入すると、取り出すことができなくなり、COMAND システムを損傷するおそれがあります。

シングル DVD（8cmDVD）はアダプターの装着 / 非装着にかかわらず使用できません。12cmDVD のみを使用してください。

ディスクの取り扱いに関する注意

- ディスクを持つときは、必ず周囲の縁部分を持つようにしてください。
- 読み取りエラーの発生を防ぐため、ディスクは慎重に取り扱ってください。
- ディスクに傷を付けないようにしてください。また、指紋やホコリを付けたままにしないでください。
- ディスクの汚れを落とすときは、専用のクリーニングクロスを使ってください。

  その際は、中心部から外側に向けてまっすぐ拭くようにして、絶対に円を描くように拭かないでください。
- ディスク面に文字を書き込むときは、専用のペンを使用してください。
- ディスクはケースに入れて保管してください。
- ディスクを高温になる場所や直射日光が当たるところに放置しないでください。

DVD ビデオの再生規格

市販されている DVD ビデオの中には規格に準拠していないものがあります。

そのような DVD は、正常に再生されない場合があります。

COMAND システムは以下の基準を満たす DVD ビデオを再生できます。

- リージョンコード 2 または 0（リージョンコードなし）

ⓘ DVD ビデオが別のリージョンコードに設定されている場合、対応するメッセージが表示されます。

- PAL または NTSC 規格

ⓘ DVD ビデオの再生規格は、DVD ビデオのディスク本体またはケースに記載されている情報で確認してください。

ⓘ COMAND システムは出荷時にリージョンコード 2 に設定されています。

メルセデス・ベンツ指定サービス工場ではリージョンコードを最高 5 回まで変更することができます。

リージョンコードを変更することによって、PAL または NTSC 規格の DVD ビデオであれば、他のリージョンコードの DVD ビデオを再生できます。

機能の制限

DVD ビデオによっては、一部の機能が、特定の状況で、または常に利用できないことがあります。

機能が利用できないときは、画面に " ⃠ " が表示されます。

DVD ディスクの挿入 / 取り出し

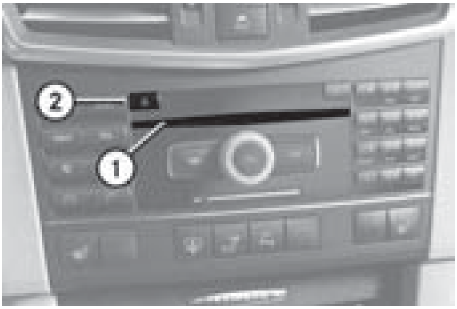
ℹ DVD ディスクを挿入するときは、印刷されている面を上に向けてください。

どちらの面にも印刷されていない場合は、再生する面を下に向けてディスクを挿入してください。

コピープロテクトされているディスクは再生できないことがあります。

悪路や踏切などを走行しているときは、振動のため音や映像が飛ぶことがあります。音や映像飛びが続く場合は、再生を中止してください。

ディスクを挿入する



E クラス
① ディスクスロット
② ディスク排出ボタン

▶ ディスクスロット①にディスクを挿入します。

ディスクスロット①にディスクが引き込まれます。

ディスクの再生が開始されます。

ディスクを取り出す

▶ ディスク排出ボタン②を押します。

" ディスク取出し中 ..." と表示され、ディスクが排出されます。

次に " ディスクを抜いてください " と表示されます。

▶ 約 15 秒以内にディスクスロット①からディスクを取り出します。

ℹ 約 15 秒以内にディスクスロット①からディスクを取り出さないと、ディスクは再度ディスクスロット①に引き込まれます。

DVD ビデオを開く

他のアプリケーションから開く

▶ COMAND コントロールパネルの VIDEO ボタンを押します。

または

▶ アプリケーションエリアで "TV/ 映像 " を選択します。

TV / 映像で前に開いていた映像ソースになります。

テレビが開いたとき

▶ 再度、アプリケーションエリアで "TV/ 映像 " を選択します。

▶ "DVD ビデオ " を選択します。

テレビから開く

▶ アプリケーションエリアで "TV/ 映像 " を選択します。

▶ "DVD ビデオ " を選択します。

音楽再生（PC カード、ミュージックレジスター、Bluetooth® オーディオ、メディアインターフェース）から開く

▶ 音楽再生（PC カード、ミュージックレジスター、Bluetooth® オーディオ、メディアインターフェース）の基本画面のサブメニューエリアで " 選択 " を選択します。

現在選択されている音楽ソースの左側には " • " が表示されています。

▶ " DVD-V 1 " を選択します。

情報メニューの表示

情報メニューには、タイトル番号やチャプター番号、経過時間が表示されます。

情報メニューを表示する

▶ 全画面表示のときにコントローラーを上下にスライドします。

ℹ DVD ビデオを開くと、情報メニューが自動的に表示されます。

情報メニュー
① タイトル番号
② チャプター番号
③ 経過時間

情報メニューを消去する

▶ コントローラーを上下にスライドします。

ℹ 約 8 秒経過すると、情報メニューは自動的に消去されます。

約 5km/h 以上の速度で走行し、映像が表示されていないときは、情報メニューが常に表示されます。

基本画面と全画面表示の切り替え

全画面表示から基本画面にする

▶ 全画面表示のときに、コントローラーを押します。

基本画面になります。

基本画面

基本画面から全画面表示にする

▶ コントローラーを上にスライドして " 全画面表示 " を表示させます。

▶ コントローラーを押します。

または

▶ コントローラー左側の ⮌ スイッチを押します。

" 全画面表示 " が表示された状態

早送り / 早戻し

ℹ COMAND コントロールパネルの ⏮ または ⏭ ボタンでの操作は、" ナビ " や " 電話 "、" ｼｽﾃﾑ " のときも行なえます。

早送りする

▶ 全画面表示、または情報メニューが表示されているときに、コントローラーを右にスライドして保持します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの ⏭ ボタンを押して保持します。

早戻しする

▶ 全画面表示、または情報メニューが表示されているときに、コントローラーを左にスライドして保持します。

または

▶ COMAND コントロールパネルの ⏮ ボタンを押して保持します。

次のチャプターを再生する

▶ 全画面表示、または情報メニューが表示されているときに、コントローラーを右にスライドするか、時計回りに 1 クリック分まわします。

前のチャプターを再生する

▶ 全画面表示、または情報メニューが表示されているときに、コントローラーを左にスライドするか、反時計回りに 1 クリック分まわします。

マルチファンクションディスプレイでの操作

チャプターを選択する

▶ ステアリングの ◀ または ▶ スイッチを押して、" ｵｰﾃﾞｨｵ " を選択します。

▶ ▲ または ▼ スイッチを押して、チャプターを選択します。

E クラス
① チャプター番号

再生の停止

再生を一時停止する

▶ DVD ビデオ基本画面のサブメニューエリアで " ▌▌ " を選択します。

" ▌▌ " が " ▶ " に変わります。

または

▶ DVD ビデオ基本画面のサブメニューエリアで " ■ " を選択します。

映像が消え、" ▌▌ " が " ▶ " に変わります。

次に " ▶ " を選択すると、再生を一時停止した場所から再生されます。

再生を停止する

▶ " ■ " を選択して一時停止しているときに、再度 " ■ " を選択します。

次に " ▶ " を選択すると、ディスクの先頭から再生されます。

画質・画面の調整

画質の調整

▶ DVD ビデオ基本画面のサブメニューエリアで "DVD ﾋﾞﾃﾞｵ" を選択します。

▶ " 明るさ "、" コントラスト "、" カラー " のいずれかを選択します。

調整スケールが表示されます。

▶ +5 〜－ 5 の範囲で希望する設定を選択します。

① これまでの設定値
② 現在の設定値

画面比率の設定

▶ DVD ビデオ基本画面のサブメニューエリアで "DVD ﾋﾞﾃﾞｵ" を選択します。

▶ 画面比率を選択します。

現在選択されている画面比率の左側の " ○ " の中には " • " が表示されています。

"16：9 表示 "

横縦比率が 16：9 で表示されます。

"4：3 表示 "

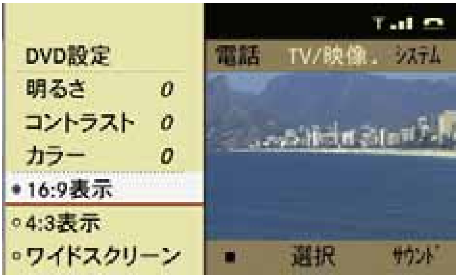
横縦比率が 4：3 で表示されます。

" ワイドスクリーン "

ワイドスクリーンで表示されます。

▶ コントローラーを押します。

画面比率が設定されます。



DVD メニュー

ℹ DVD メニューは、DVD に設定されているメニューで、特定の動作や設定を行なうことができます。

DVD メニューの表示内容や操作方法は DVD により異なります。

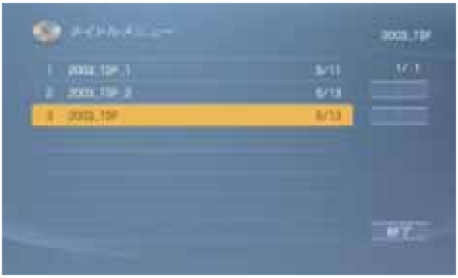
詳細については DVD の取扱説明書をご覧ください。

DVD メニューを表示させる

▶ DVD ビデオ基本画面のサブメニューエリアで "DVD ﾋﾞﾃﾞｵ" を選択します。

▶ "DVD 設定 " → "DVD メニュー " を選択します。

DVD メニューが表示されます。

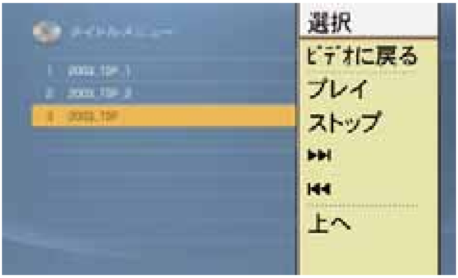


DVD メニューから項目を選択する

▶ メニューやトラックを選択します。

▶ コントローラーを押します。

ℹ 選択できない項目は灰色で表示されます。



▶ " 選択 " または " プレイ " を選択します。

DVD メニューで選択した項目が再生されます。

DVD によっては、さらにサブメニューが表示されます。

ℹ DVD によっては、" 選択 " や " プレイ " が選択できないことがあります。

その場合は、画面に " ⃠ " が表示されます。

再生を停止する、前 / 次のチャプターを再生する

▶ メニューやトラックを選択します。

再生を停止する

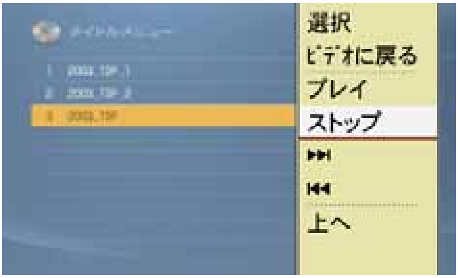
▶ " ストップ " を選択します。

次のチャプターを再生する

▶ " ⏭ " を選択します。

前のチャプターを再生する

▶ " ⏮ " を選択します。



ℹ DVD によっては、" ⏭ " と " ⏮ " は選択できないことがあります。

その場合は、画面に " ⃠ " が表示されます。

1 つ上の階層の DVD メニューに戻る

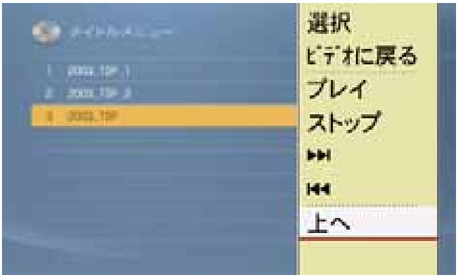
▶ コントローラー左側の ↩ スイッチを押します。

または

▶ DVD メニューから " 戻る " に対応する項目を選択します。

または

▶ " 上へ " を選択します。



ℹ DVD によっては、↩ スイッチを押しても 1 つ上の階層のメニューに戻らないことや、" 上へ " が選択できないことがあります。

" 上へ " が選択できないときは、画面に " ⃠ " が表示されます。

再生を再開する

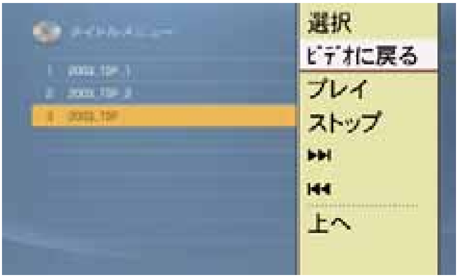
▶ 映像が再生されるまで、コントローラー左側の ↩ スイッチを繰り返し押します。

または

▶ DVD メニューから " 再生する " に対応する項目を選択します。

または

▶ "ﾋﾞﾃﾞｵに戻る " を選択します。



ℹ DVD によっては、↩ スイッチを押しても再生が再開されないことや、"ﾋﾞﾃﾞｵに戻る " が選択できないことがあります。

"ﾋﾞﾃﾞｵに戻る " が選択できないときは、画面に " ⃠ " が表示されます。

音声言語および字幕言語を設定する

音声言語および字幕言語を設定できます。

ℹ この機能は、DVD によっては利用できないことがあります。

設定内容は DVD により異なります。

DVD によっては DVD メニューから設定できることもあります。

▶ DVD ビデオ基本画面のサブメニューエリアで "DVDﾋﾞﾃﾞｵ" を選択します。

▶ "DVD 設定 " を選択します。

▶ " 音声言語 " または " 字幕言語 " を選択します。

現在選択されている言語の左側には " • " が表示されています。

▶ 希望の言語を選択して、コントローラーを押します。

サブタイトルとカメラアングル

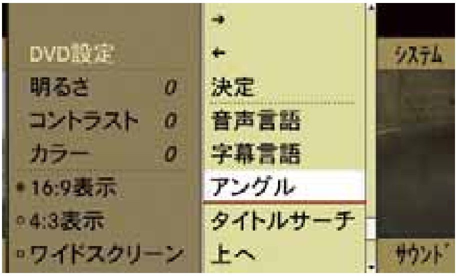
ℹ この機能は、DVD によっては利用できないことがあります。

サブタイトルとカメラアングルの内容は、DVD により異なります。

DVD によっては、DVD メニューから設定できることもあります。

▶ DVD ビデオ基本画面のサブメニューエリアで "DVDﾋﾞﾃﾞｵ" を選択します。

▶ "DVD 設定 " → " アングル " を選択します。



▶ " サブタイトル " または " カメラアングル " を選択します。

選択メニューが表示されます。

現在選択している設定の左側には " • " が表示されています。

▶ 希望の設定を選択して、コントローラーを押します。

タイトルを選択する

ⓘ この機能は、DVD によっては利用できないことがあります。

▶ DVD ビデオ基本画面のサブメニューエリアで "DVD ビデオ" を選択します。

▶ "DVD 設定" → " タイトルサーチ " を選択します。

再生するタイトル番号を選択します。

選択したタイトルが再生されます。

決められた場面に移動する

ⓘ この機能は、DVD によっては利用できないことがあります。

▶ DVD ビデオ基本画面のサブメニューエリアで "DVD ビデオ" を選択します。

▶ "DVD 設定" → " 上へ " を選択します。

DVD で決められた場面に移動します。

インタラクティブコンテンツ

ℹ この機能は、DVD によっては利用できないことがあります。

DVD によっては、インタラクティブコンテンツ（例：ビデオゲーム）が収録されていることがあります。

ビデオゲームでは、例えばアクションを選択または開始することによってイベントの順序を変更できます。

アクションなどの種類と数は DVD により異なります。

アクションを選択する

▶ コントローラーを上下にスライドするか、左右にスライドします。

アクションを開始する

▶ コントローラーを押します。

メニューが表示され、最初の項目が反転表示されます。

▶ コントローラーを押します。

サウンドの調整

DVD ビデオでは、サウンド（▷30 ページ）を調整できます。

安全に使用するために……………… 302
基本機能……………………………… 302
操作 / 音声コマンド ……………… 306

安全に使用するために

⚠ 事故のおそれがあります

音声認識の使用中は、注意力が散漫になり、事故の原因になります。

必ず周囲の状況に十分注意して音声認識を使用してください。

音声認識は、停車した状態で操作に十分慣れてから使用してください。

⚠ 事故のおそれがあります

緊急時など、緊張しているときは声質が変わり、音声が正しく認識されないことがあります。

緊急時は音声認識を使用しないでください。

⚠ 事故のおそれがあります

運転者は、走行中に自動車電話や携帯電話を使用しないでください。道路交通法違反になります。

なお、ハンズフリー機能は使用できますが、注意力が散漫になり、事故の原因になります。安全な場所に停車してから使用してください。

基本機能

ご使用になる前に

音声認識を使用して以下のアプリケーションを操作することができます。

- FM、AM ラジオ / 交通情報
- 音楽 CD / DVD オーディオ / MP3 / ミュージックレジスター / Bluetooth® オーディオ / メディアインターフェース / 外部入力
- テレビ / DVD ビデオ
- 電話
- ナビ

音声コマンドの種類

音声コマンドには、以下の 2 つの種類があります。

- COMAND システムの各アプリケーションを呼び出す音声コマンド

  いつでも呼び出すことができる音声コマンドです。例えば「エフエム」を発声すると、FM ラジオに切り替わります。

- 選択しているアプリケーションで使用する音声コマンド

  選択しているアプリケーションでのみ利用できる音声コマンドです。例えば、ナビを選択しているときに「チュウシャジョウヒョウジ」を発声すると、駐車場が表示されます。

選択しているアプリケーションで使用する音声コマンドは、現在表示している画面や現在聞いている音楽ソースに対して適用されます。

例えば、ナビ画面が表示されているときに FM ラジオを聞いている場合、音声認識を使って両方の操作を行なうことができます。

音声認識を使って別の機能を操作したい場合は、対応する音声コマンドを使ってその画面を呼び出してください。

音声認識を使用する

▶ COMAND システムをオンにします。

E クラス
① 音声認識スイッチ

▶ ステアリングの音声認識スイッチ ① を押します。

「ピッ」と鳴ったあと、音声認識がオンになります。

ヘルプ表示（▷305 ページ）を設定しているときは、利用できる主な音声コマンドが表示されます。また、使用しているオーディオの音声が消えます。

▶ 音声コマンドを発声します。

音声コマンドが認識されなかったときは、「認識できませんでした。もう一度お話ください」と返答されたあと、「ピッ」と鳴って音声認識が再度オンになります。もう一度、音声コマンドを発声してください。

以下のときは、音声認識は使用できません。

- ハンズフリー通話をしているとき
- 「Mercedes-Benz」または「安全のためのご注意」の画面が表示されているとき
- COMAND システムの電源がオフのとき

発声の注意

音声コマンドを発声するときは、以下のことに注意してください。

- 単語と単語の間には少し間隔を入れて、音声コマンドを発声してください。

  存在していない、または誤った音声コマンドを発声したり、周囲の騒音の状態、声の質や大きさ（大きすぎる、小さすぎる）は認識されない要因となります。
- 周囲の雑音や同乗者の会話、発声者の声質や話し方などにより、認識できない場合があります。
- 音声は通常の運転姿勢で正しく認識されますので、顔をマイクに近づけたり、無理に大きな声で発声する必要はありません。
- 「ピッ」と鳴った後に、一息おいて発声すると認識されやすくなることがあります。

  「ピッ」と鳴った後は、音声コマンドのみをはっきりと話し、" えーっと " などと言わないようにしてください。
- はじめて操作するときや、操作する人が変わったときは、実際の音声操作を始める前に、同じ音声コマンドを認識させる操作を約３回繰り返して行なうと、音声が認識されやすくなることがあります。

音声認識を中止する

▶ 音声認識を開始して、「テイセイ」「モドル」「チガウ」のいずれかを発声します。

ⓘ 音声コマンドで入力操作をしていたときは、もう一度はじめから入力できる状態になります。

または

▶ コントローラー左側の [⮌] スイッチを押します。

または

▶ COMAND コントロールパネルのいずれかのボタンを押します。

または

▶ COMAND コントローラーを操作します。

「音声認識を終了します」とアナウンスされます。

音声案内の音量を調節する

▶ 音声認識を開始します。

▶ 音声コマンドを発声します。

▶ 音声案内中に、ステアリングの [＋] または [－] スイッチを押します。

または

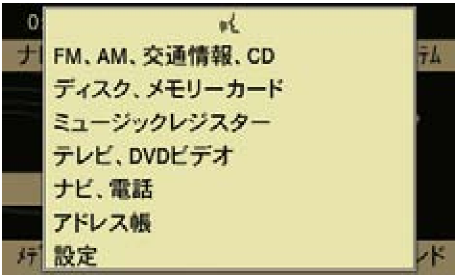
▶ 音声案内中に、COMAND コントロールパネルの音量調整ダイヤルをまわします。

音声認識設定

ヘルプ表示

音声認識を開始したときに、現在利用できる主な音声コマンドが COMAND ディスプレイに表示されます。

停車時または走行時で、表示される音声コマンドが異なります。



表示例

▶ 設定基本画面のサブメニューエリアで " システム設定 " を選択します。

▶ " 音声認識設定 " を選択します。

▶ " ヘルプ表示 " を選択します。

コントローラーを押すたびに、ボックスのチェックマークが表示 / 解除されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

トークバック

発声した音声コマンドを、COMAND システムが繰り返します。

▶ 設定基本画面のサブメニューエリアで " システム設定 " を選択します。

▶ " 音声認識設定 " を選択します。

▶ " トークバック " を選択します。

コントローラーを押すたびに、ボックスのチェックマークが表示 / 解除されます。設定されているときは、チェックマークが表示されます。

操作 / 音声コマンド

⚠ 事故のおそれがあります

周囲の状況に十分注意して音声認識を使用してください。

音声認識は、停車した状態で操作に十分慣れてから使用してください。事故を起こすおそれがあります。

以下のページには、各アプリケーションで利用可能な音声コマンドが表形式で記載されています。

各アプリケーションに切り替えてから、音声コマンドを発声してください。

音声認識操作の例

FM に切り替えてオートプリセットを行なう

▶ ステアリングの 🗣 スイッチを押します。

▶「エフエム」を発声します。

「FM にします」と返答されます。

FM ラジオに切り替わります。

▶「オートプリセット」を発声します。

「オートプリセットを開始します」と返答されます。

放送局のプリセットが始まります。

プリセットが完了すると、「オートプリセットが終了しました」とアナウンスされます。

共通操作

すべてのアプリケーションで利用できる音声コマンドです。他のアプリケーションから切り替えるときに使用します。

機能	音声コマンド	返答
FM ラジオに切り替える	「エフエム」	「FM にします」
AM ラジオに切り替える	「エーエム」	「AM にします」
交通情報に切り替える	「コウツウジョウホウ」	「交通情報にします」
ディスクに切り替える	「ディスク」	「ディスクにします」 **ディスクが挿入されていないとき** 「ディスクが入っていません」
PC カードに切り替える	「メモリーカード」 「ピーシーカード」 「ピーシーエムシーアイエー」	「メモリーカード画面にします」 **PC カードが挿入されていないとき** 「メモリーカードが入っていません」 **PC カードに音楽ファイルが入っていないとき** 「メモリーカードに音楽ファイルが入っていません」
音楽 CD に切り替える	「シーディー」	「CD 画面にします」 **CD が挿入されていないとき** 「CD が入っていません」
ミュージックレジスターに切り替える	「ミュージックレジスター」 「ハードディスク」	「ミュージックレジスター画面にします」 **ミュージックレジスターに音楽ファイルが録音されていないとき** 「ハードディスクに音楽ファイルが入っていません」
Bluetooth® オーディオに切り替える	「ブルートゥース」 「ブルートゥースオーディオ」	「ブルートゥースオーディオ画面にします」
テレビに切り替える	「テレビ」 「ティーブイ」	「テレビにします」

機能	音声コマンド	返答
DVD ビデオに切り替える	「ディーブイディービデオ」	「DVD ビデオにします」 **DVD ビデオが挿入されていないとき** 「DVD が入っていません」
DVD オーディオに切り替える	「ディーブイディーオーディオ」	「DVD オーディオ画面にします」 **DVD オーディオが挿入されていないとき** 「DVD が入っていません」
ナビの現在地画面に切り替える	「ナビ」 「ゲンザイチ」 「ナビゲーション」	「現在地にします」
FM 多重画面に切り替える	「エフエムタジュウ」 「エフエムマルチ」 「エフエムモジタジュウ」 「モジタジュウ」 「ミエルラジオ」	「FM 多重画面にします」
アドレス帳画面に切り替える	「アドレスチョウ」 「アドレスブック」	「アドレス帳画面にします」
オーディオ外部入力に切り替える	「ガイブニュウリョク」 「オーディオガイブニュウリョク」 「オンセイガイブニュウリョク」 「オーディオエーユーエックス」 「エーユーエックス」	「オーディオ外部入力画面にします」
メディアインターフェースに切り替える	「メディアインターフェース」	「メディアインターフェース画面にします」 **外部機器が接続されていないとき** 「デバイスが接続されていません」 **外部機器に音楽ファイルが入っていないとき** 「メディアインターフェースに音楽ファイルが入っていません」
設定画面に切り替える	「セッテイ」 「システム」	「設定画面にします」

AM、FM ラジオ

AM または FM ラジオを開く

▶ ステアリングの スイッチを押します。

▶「エーエム」または「エフエム」を発声します。

「AM にします」または「FM にします」と返答されます。

AM または FM ラジオに切り替わります。

機能	音声コマンド	返答
FM ラジオから AM ラジオに切り替える	「エーエム」	「AM にします」
AM ラジオのときに、AM1 または AM2 に切り替える	「エーエム」	「バンドを切り替えます」
AM ラジオから FM ラジオに切り替える	「エフエム」	「FM にします」
FM ラジオのときに、FM1 または FM2 に切り替える	「エフエム」	「バンドを切り替えます」
放送局のオートプリセットを開始する	「オートプリセット」	「オートプリセットを開始します」 ℹ プリセットが終わると、「オートプリセットが終了しました」とアナウンスされます。
		交通情報を受信しているとき 「オートプリセットできません」
		周波数のサーチまたはプリセットを実行しているとき 「オートプリセットできません」
選択しているバンドでプリセット選局する	「プリセットニ」 ℹ 1 ～ 10 のプリセット番号を選択できます。	「プリセット 2 にします」
		発声した番号に放送局がプリセットされていないとき 「プリセット 2 は登録されていません」

機能	音声コマンド	返答
高い周波数の放送局をサーチする	「シークアップ」	「シークアップを開始します」
		放送局を受信できないとき 「シークアップできません」
低い周波数の放送局をサーチする	「シークダウン」	「シークダウンを開始します」
		放送局を受信できないとき 「シークダウンできません」

音楽 CD / DVD オーディオ / MP3 / ミュージックレジスター / Bluetooth® オーディオ / メディアインターフェース

音楽 CD / DVD オーディオ / MP3 / ミュージックレジスター / Bluetooth® オーディオ / メディアインターフェースを開く

▶ ステアリングの スイッチを押します。

▶ 以下のいずれかの音声コマンドを発声します。

「シーディー」

「ディーブイディーオーディオ」

「ディスク」

「ミュージックレジスター」

「ハードディスク」

「メモリーカード」

「ピーシーカード」

「ピーシーエムシーアイエー」

「ブルートゥース」

「メディアインターフェース」

音声コマンドに応じて「○○にします」と返答され、再生がはじまります。

CD などがセットされていないときや、ディスクに異常があるときは、「○○が入っていません」「○○が読めません」などと返答されます。

ⓘ 発声した音声コマンドの画面がすでに表示されているときは、「○○を表示中です」と返答されます。

<table>
<tr><th>機能</th><th>音声コマンド</th><th>返答</th></tr>
<tr><td rowspan="5">次の曲を再生する</td><td rowspan="5">「トラックアップ」
「ツギノトラック」
「ファイルアップ」
「ツギノファイル」
「ツギノキョク」</td><td>「次のトラックにします」</td></tr>
<tr><td>ディスクを読み込んでいるとき
「ディスクを読み込み中です」</td></tr>
<tr><td>ディスクがセットされていないとき
「ディスクが入っていません」</td></tr>
<tr><td>ディスクエラーのとき
「ディスクが読めません」</td></tr>
<tr><td>その他のエラーのとき
「次のトラックにできません」</td></tr>
</table>

機能	音声コマンド	返答
前の曲を再生する	「トラックダウン」 「マエノトラック」 「ファイルダウン」 「マエノファイル」 「マエノキョク」	「前のトラックにします」
		ディスクを読み込んでいるとき 「ディスクを読み込み中です」
		ディスクがセットされていないとき 「ディスクが入っていません」
		ディスクエラーのとき 「ディスクが読めません」
		その他のエラーのとき 「前のトラックにできません」
トラック番号を選択して再生する ℹ DVD オーディオ / MP3 / ミュージックレジスターの再生中に利用できます。	「トラックニ」 「ファイルニ」 ℹ 各ディスクの利用可能なトラック番号を選択することができます。	「トラック 2 にします」
		ディスクを読み込んでいるとき 「ディスクを読み込み中です」
		ディスクがセットされていないとき 「ディスクが入っていません」
		ディスクエラーのとき 「ディスクが読めません」
		その他のエラーのとき 「トラック 2 にできません」
前のグループを選択して、再生する ℹ DVD オーディオ / MP3 / ミュージックレジスターの再生中に利用できます。	「グループダウン」 「マエノグループ」 ℹ MP3 / ミュージックレジスターの再生中は、「アルバムダウン」「マエノアルバム」または「フォルダダウン」「マエノフォルダ」として認識します。	「前のグループにします」
		ディスクを読み込んでいるとき 「ディスクを読み込み中です」
		ディスクがセットされていないとき 「ディスクが入っていません」
		ディスクエラーのとき 「ディスクが読めません」

機能	音声コマンド	返答
前のアルバムを選択して、再生する ℹ DVD オーディオ / MP3 / ミュージックレジスターの再生中に利用できます。	「アルバムダウン」 「マエノアルバム」 ℹ DVD オーディオ / MP3 の再生中は、「グループダウン」「マエノグループ」または「フォルダダウン」「マエノフォルダ」として認識します。	「前のアルバムにします」
		アルバムが 1 つしかない、またはシステムエラーのとき 「前のアルバムにできません」
		音楽ファイルがないとき 「音楽ファイルがありません」
次のグループを選択して、再生する ℹ DVD オーディオ / MP3 / ミュージックレジスターの再生中に利用できます。	「グループアップ」 「ツギノグループ」 ℹ MP3 / ミュージックレジスターの再生中は、「アルバムアップ」「ツギノアルバム」または「フォルダアップ」「ツギノフォルダ」として認識します。	「次のグループにします」
		ディスクを読み込んでいるとき 「ディスクを読み込み中です」
		ディスクがセットされていないとき 「ディスクが入っていません」
		ディスクエラーのとき 「ディスクが読めません」
次のアルバムを選択して、再生する ℹ DVD オーディオ / MP3 / ミュージックレジスターの再生中に利用できます。	「アルバムアップ」 「ツギノアルバム」 ℹ DVD オーディオ / MP3 の再生中は、「グループアップ」「ツギノグループ」または「フォルダアップ」「ツギノフォルダ」として認識します。	「次のアルバムにします」
		アルバムが 1 つしかない、またはシステムエラーのとき 「次のアルバムにできません」
		音楽ファイルがないとき 「音楽ファイルがありません」

機能	音声コマンド	返答
次のフォルダを選択して、再生する ℹ DVD オーディオ / MP3 / ミュージックレジスターの再生中に利用できます。	「フォルダアップ」 「ツギノフォルダ」 ℹ DVD オーディオ / ミュージックレジスターの再生中は、「グループアップ」「ツギノグループ」または「アルバムアップ」「ツギノアルバム」として認識します。	「次のフォルダにします」
		フォルダが 1 つしかないとき 「次のフォルダにできません」
		選択しているメディアに音楽ファイルがないとき 「音楽ファイルがありません」
		ディスクがセットされていないとき 「ディスクが入っていません」
		ディスクの読み込み中のとき 「ディスクを読み込み中です」
		ディスクにエラーがあるとき 「ディスクが読めません」

テレビおよび DVD ビデオ

テレビまたは DVD ビデオに切り替える

▶ ステアリングの ㊙ スイッチを押します。

▶「テレビ」または「ティーブイ」または「ディーブイディービデオ」を発声します。

「テレビにします」または「DVD ビデオにします」と返答されます。

テレビまたは DVD ビデオに切り替わります。

テレビの音声コマンド

機能	音声コマンド	返答
放送局のオートプリセットを開始する	「オートプリセット」	「オートプリセットを開始します」 ℹ プリセットが終わると、「オートプリセットが終了しました」とアナウンスされます。 **周波数のサーチまたはプリセットを実行しているとき** 「オートプリセットできません」
放送局のプリセット選局をする	「プリセット二」 ℹ 1 ～ 14 の プリセット番号を選択できます。	「プリセット 2 にします」 **発声した番号に放送局がプリセットされていないとき** 「プリセット 2 は登録されていません」
高い周波数の放送局をサーチする	「シークアップ」	「シークアップを開始します」 **放送局を受信できないとき** 「シークアップできません」
低い周波数の放送局をサーチする	「シークダウン」	「シークダウンを開始します」 **放送局を受信できないとき** 「シークダウンできません」
テレビ 1 またはテレビ 2 に切り替える	「テレビ」	「バンドを切り替えます」 ℹ テレビ以外の画面にしていたときは、テレビに切り替わります。

DVD ビデオの音声コマンド

機能	音声コマンド	返答
次のチャプターの再生を開始する	「チャプターアップ」 「ツギノチャプター」 「ツギノショウ」	「次のチャプターにします」
		ディスクを読み込んでいるとき 「ディスクを読み込み中です」
		ディスクがセットされていないとき 「ディスクが入っていません」
		ディスクエラーのとき 「ディスクが読めません」
前のチャプターの再生を開始する	「チャプターダウン」 「マエノチャプター」 「マエノショウ」	「前のチャプターにします」
		ディスクを読み込んでいるとき 「ディスクを読み込み中です」
		ディスクがセットされていないとき 「ディスクが入っていません」
		ディスクエラーのとき 「ディスクが読めません」
チャプターを選択して再生する	「チャプター二」 ℹ 再生可能なチャプター番号を選択することができます。	「チャプター 2 にします」
		ディスクを読み込んでいるとき 「ディスクを読み込み中です」
		ディスクがセットされていないとき 「ディスクが入っていません」
		ディスクエラーのとき 「ディスクを読めません」
次のタイトルを再生する	「タイトルアップ」 「ツギノタイトル」	「次のタイトルにします」
		ディスクを読み込んでいるとき 「ディスクを読み込み中です」
		ディスクがセットされていないとき 「ディスクが入っていません」
		ディスクエラーのとき 「ディスクが読めません」

機能	音声コマンド	返答
前のタイトルを再生する	「タイトルダウン」 「マエノタイトル」	「前のタイトルにします」
		ディスクを読み込んでいるとき 「ディスクを読み込み中です」
		ディスクがセットされていないとき 「ディスクが入っていません」
		ディスクエラーのとき 「ディスクが読めません」

電話

電話を開く

▶ ステアリングの スイッチを押します。

▶「デンワ」を発声します。

「電話画面にします」と返答されます。

電話が開きます。

ℹ 通話中に スイッチを押すと、COMAND ディスプレイに " 通話中に音声認識機能は使用できません " と表示されます。

ℹ 電話を開くことができない場合は、「電話画面にできません」と返答されます。

機能	音声コマンド	返答	
電話番号から電話を発信する	「デンワハッシン」 「ハッシン」 「ダイヤル」 「デンワヲカケル」 「デンワヲスル」 「デンワスル」	「発信先をお話ください」 ▶ 電話番号を発声します。 ℹ 電話番号は区切りながら発声しても音声認識されます。そのたびに音声案内が繰り返されます。 電話番号は、十、百、千などの桁は付けずに発声してください。 （例）「８６００」の場合：正「ハチ　ロク　ゼロ　ゼロ」誤「ハッセンロッピャク」 電話番号の数字の読み方の一覧は（▷346 ページ）をご覧ください。	「ダイヤルまたは訂正とお話しください」 ▶ 発信するときは「ダイヤル」を発声します。 ▶ 電話番号を訂正するときは「テイセイ」「サイニュウリョク」「ヤリナオシ」のいずれかを発声します。
		携帯電話の準備が整っていないとき 「ただいま電話をかけることができません」	

<table>
<tr><th>機能</th><th>音声コマンド</th><th colspan="2">返答</th></tr>
<tr><td rowspan="5">アドレス帳の名前（よみがな）から電話を発信する
ℹ アドレス帳で登録した登録名（よみがな）によっては、誤って認識され、電話の発信ができないことがあります。
ℹ よみがなが入力されていない場合は、この機能を使用できません。また、日本語設定では、アルファベットが入力されていると認識されません。</td><td rowspan="5">「デンワハッシン」
「ハッシン」
「ダイヤル」
「デンワヲカケル」
「デンワヲスル」
「デンワスル」</td><td rowspan="4">「発信先をお話ください」
▶ アドレス帳に登録されている名前を発声します。</td><td>「xxx にダイヤルします」</td></tr>
<tr><td>発声した名前のアドレス帳に複数の電話番号が登録されているとき
「xxx には複数の電話番号があります。1 件目は XXX です。次またはダイヤルとお話しください」
▶ 読み上げた番号に発信するときは「ダイヤル」を発声します。
▶ 次の番号を読み上げるときは「ツギ」を発声します。
▶ 前に読み上げた番号に戻るときは「マエ」を発声します。</td></tr>
<tr><td>発声した名前がアドレス帳に複数登録されているとき
「xxx は複数登録されています。xxx へは番号でおかけください」</td></tr>
<tr><td>発声した名前のアドレス帳に電話番号が登録されていないとき
「xxx の番号が登録されていません」</td></tr>
<tr><td colspan="2">携帯電話の準備が整っていないとき
「ただいま電話をかけることができません」</td></tr>
<tr><td rowspan="3">リダイヤルする</td><td rowspan="3">「リダイヤル」</td><td colspan="2">「リダイヤルします」</td></tr>
<tr><td colspan="2">発信の履歴が残っていないとき
「リダイヤル情報がありません」</td></tr>
<tr><td colspan="2">携帯電話の準備が整っていないとき
「ただいま電話をかけることができません」</td></tr>
</table>

ナビ

ナビを開く

▶ ステアリングの ㊙ スイッチを押します。

▶「ナビゲーション」を発声します。

「現在地にします」と返答されます。

現在地（自車位置）が COMAND ディスプレイに表示されます。

ℹ COMAND ディスプレイに自動的にガソリンスタンド検索画面が表示されたときは、音声認識を使用できません。

サブメニューエリアで“取消し”を選択して表示が消えると音声認識を使用できます。

地図の表示画面を変更する

機能	音声コマンド	返答
地図向きをノースアップまたはヘディングアップに変える	「チズムキ」	「地図の向きを変更します」 →ノースアップのときはヘディングアップに、ヘディングアップのときはノースアップに変更されます
		地図が 3D 表示のとき 「地図が 3D 表示では地図向きの変更はできません」
地図向きをノースアップに変える	「ノースアップ」 「キタキジュン」	「地図表示をノースアップにします」
		地図が 3D 表示のとき 「地図が 3D 表示では地図向きの変更はできません」
地図向きをヘディングアップに変える	「ヘディングアップ」 「ジシャキジュン」	「地図表示をヘディングアップにします」
		地図が 3D 表示のとき 「地図が 3D 表示では地図向きの変更はできません」
地図の縮尺を 1 段階広域な表示にする	「コウイキ」 「シュクショウ」 「ズームアウト」	「広域にします」
		これ以上広域の縮尺で表示できないとき 「これ以上広域の縮尺では表示できません」
地図の縮尺を 1 段階詳細な表示にする	「ショウサイ」 「カクダイ」 「ズームイン」	「詳細にします」
		これ以上詳細な縮尺で表示できないとき 「これ以上詳細の縮尺では表示できません」

<table>
<tr><th>機能</th><th>音声コマンド</th><th>返答</th></tr>
<tr><td rowspan="2">3D 表示に切り替える</td><td rowspan="2">「スリーディーヒョウジ」
「スリーディー」
「サンディー」
「スリーディーマップ」</td><td>「3D 表示にします」</td></tr>
<tr><td>「この画面では操作できません」
→現在地画面または地図スクロール画面にしてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2D 表示に切り替える</td><td rowspan="2">「スリーディーヒョウジカイジョ」
「サンディーヒョウジカイジョ」
「ツーディーヒョウジ」
「ニーディーヒョウジ」
「ツーディーマップ」
「ニーディーマップ」
「ツーディー」
「ニーディー」</td><td>「2D 表示にします」</td></tr>
<tr><td>「この画面では操作できません」
→現在地画面または地図スクロール画面にしてください。</td></tr>
</table>

自宅（直接検索）

<table>
<tr><th>機能</th><th>音声コマンド</th><th>返答</th></tr>
<tr><td rowspan="2">自宅を目的地に設定する</td><td rowspan="2">「ジタクニカエル」
「ジタクエカエル」
「ジタク」
「ウチニカエル」</td><td>「自宅を目的地に設定しますか？」
▶ 自宅を目的地に設定するときは、「はい」を発声します。
→自宅が目的地に設定され、全ルート図が表示されます。</td></tr>
<tr><td>自宅が設定されていないとき
「自宅が設定されていません。自宅を設定してからお使いください」</td></tr>
</table>

地図検索

<table>
<tr><th>機能</th><th>音声コマンド</th><th colspan="2">返答</th></tr>
<tr>
<td rowspan="2">住所から地図を検索する</td>
<td rowspan="2">「ジュウショ」
「アドレス」
「ジュウショデサガス」
「ジュウショケンサク」</td>
<td rowspan="2">「都道府県名から住所をお話しください」
▶ 以下のように住所を発声します。
• 都道府県名
• 都道府県名と市区町村名
• 都道府県名と市区町村名と大字名
• 都道府県名と市区町村名と大字名と丁目番地号
ℹ 丁目番地号の数字は桁読みで発声してください。
（例）「2 丁目 3 番地 33 号」→「ニノ サンノ サンジュウサン」または「ニチョーメ サンバンチ サンジュウサン」
丁目番地号の数字の読み方の一覧は（▷346 ページ）をご覧ください。</td>
<td>「検索または訂正とお話しください」
▶ 地図を表示するときは、「ケンサク」または「ヒョウジ」を発声します。→地図が表示されます。
ℹ 住所が地図データに収録されていないときは、「xxx を表示できません」と返答されます。
▶ 入力を訂正するときは、「テイセイ」を発声します。
ℹ 入力をはじめからやり直すときは、「サイニュウリョク」を発声します。</td>
</tr>
<tr>
<td>「続きの住所または検索、訂正とお話しください」
▶ 住所の続きを入力するときは、住所を発声します。
ℹ 都道府県名だけでも地図は表示されます。
▶ 地図を表示するときは、「ケンサク」または「ヒョウジ」を発声します。→地図が表示されます。
ℹ 住所が地図データに収録されていないときは、「xxx を表示できません」と返答されます。
▶ 入力を訂正するときは、「テイセイ」を発声します。
ℹ 入力をはじめからやり直すときは、「サイニュウリョク」を発声します。</td>
</tr>
</table>

機能	音声コマンド	返答	
施設から地図を検索する	「シセツ」 「シセツヲサガス」 「シセツケンサク」 「ピーオーアイ」	「都道府県名と施設名をお話しください」 ▶ 以下のように都道府県名と施設名を発声します。 例：「トウキョウトノトウキョウエキ」 ℹ 認識できる施設が含まれるジャンルの一覧は（▷341 ページ）をご覧ください。	「（例）東京都の東京駅を表示します」 →地図が表示されます。 ℹ 施設が地図データに収録されていないときは、「xxx を表示できません」と返答されます。
施設ジャンルから地図を検索する	「ジャンル」 「ジャンルデサガス」 「ジャンルケンサク」	「ジャンルをお話しください」 ▶ 以下のようにジャンルを発声します。 例：「エキ」 例：「ゴルフジョウ」 ℹ 認識できる施設が含まれるジャンルの一覧は（▷341 ページ）をご覧ください。	「（例）駅を検索します。都道府県名をお話しください」 ▶ 都道府県名を発声します。 ▶ 入力を訂正するときは、「テイセイ」を発声します。 「（例）東京都にある駅の名称をお話しください」 ▶ 施設の名称を発声します。 →地図が表示されます。 ℹ 施設が地図データに収録されていないときは、「xxx を表示できません」と返答されます。

<table>
<tr><th>機能</th><th>音声コマンド</th><th colspan="2">返答</th></tr>
<tr>
<td rowspan="2">施設の電話番号から地図を検索する</td>
<td rowspan="2">「デンワバンゴウケンサク」

「デンワバンゴウ」</td>
<td rowspan="2">「電話番号をお話しください」

▶10 桁の電話番号を発声します。

ℹ 電話番号は区切りながら発声しても音声認識されます。そのたびに音声案内が繰り返されます。

電話番号は、十、百、千などの桁情報は付けずに発声してください。

（例）「８６００」の場合：

正「ハチ　ロク　ゼロ　ゼロ」

誤「ハッセンロッピャク」

電話番号の数字の読み方の一覧は（▷346 ページ）をご覧ください。</td>
<td>「検索または訂正とお話しください」

▶ 地図を表示するときは、「ケンサク」または「ヒョウジ」を発声します。

→該当施設の地図が表示されます。

ℹ 電話番号が地図データに収録されていないときや、施設を特定できないときは、電話番号の代表地点が表示されます。

▶ 入力を訂正するときは、「テイセイ」を発声します。

ℹ 入力をはじめからやり直すときは、「サイニュウリョク」を発声します。</td>
</tr>
<tr>
<td>「続きの番号または訂正とお話しください」

▶10 桁の番号が認識されていないときは、続きの番号を発声します。

▶ 入力を訂正するときは、「テイセイ」を発声します。

ℹ 入力をはじめからやり直すときは、「サイニュウリョク」を発声します。</td>
</tr>
</table>

<table>
<tr><th>機能</th><th>音声コマンド</th><th colspan="2">返答</th></tr>
<tr>
<td rowspan="2">郵便番号から地図を検索する</td>
<td rowspan="2">「ユウビンバンゴウケンサク」
「ユウビンバンゴウ」</td>
<td rowspan="2">「郵便番号をお話しください」
▶7 桁の郵便番号を発声します。
ℹ 郵便番号は区切りながら発声しても音声認識されます。そのたびに音声案内が繰り返されます。
郵便番号は、十、百、千などの桁情報は付けずに発声してください。
(例)「８６００」の場合：
正「ハチ　ロク　ゼロ　ゼロ」
誤「ハッセンロッピャク」
郵便番号の数字の読み方の一覧は（▷346 ページ）をご覧ください。</td>
<td>「検索または訂正とお話しください」
▶ 地図を表示するときは、「ケンサク」または「ヒョウジ」と発声します。
→地図が表示されます。
ℹ 郵便番号が地図データに収録されていないときは、「入力された郵便番号が見つかりませんでした」と音声案内されます。
▶ 入力を訂正するときは、「テイセイ」を発声します。
ℹ 入力をはじめからやり直すときは、「サイニュウリョク」を発声します。</td>
</tr>
<tr>
<td>「続きの番号または訂正とお話しください」
▶7 桁の番号が認識されていないときは、続きの番号を発声します。
▶ 入力を訂正するときは、「テイセイ」を発声します。
ℹ 入力をはじめからやり直すときは、「サイニュウリョク」を発声します。</td>
</tr>
</table>

ランドマークを表示する

<table>
<tr><th>機能</th><th>音声コマンド</th><th>返答</th></tr>
<tr><td rowspan="4">地図上にランドマークを表示する
ℹ 地図の縮尺が1km 表示以上のときは、ランドマークは表示されません。</td><td rowspan="4">「xxxx ヒョウジ」
‘xxxx’ には以下の施設名が入ります。
• レストラン
• コンビニ
• ガソリンスタンド
• 駐車場
• 銀行
• メルセデス・ベンツサービス工場
• MB サービス工場
• ベンツサービス工場
• メルセデス・ベンツサービス
• MB サービス
• ベンツサービス</td><td>「xxxx を表示します」</td></tr>
<tr><td>地図の縮尺が 1km 表示以上になっているとき
「xxxx を表示します。ただしこの縮尺では表示されません」
▶ 縮尺を 500m 表示以下にすると、ランドマークが表示されます。</td></tr>
<tr><td>都市高 3D 図が表示されているとき
「都市高 3D 図には施設を表示できません」</td></tr>
<tr><td>ルート情報画面など、この機能を操作できない画面になっているとき
「この画面では操作できません」</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ランドマークの表示を解除する</td><td rowspan="2">「ランドマークヒヒョウジ」
「ランドマークヒョウジカイジョ」</td><td>「ランドマークの表示を解除します」</td></tr>
<tr><td>ルート情報画面など、この機能を操作できない画面になっているとき
「この画面では操作できません」</td></tr>
</table>

目的地を設定する

機能	音声コマンド	返答
画面上に表示されている地点を目的地に設定する ℹ 目的地の設定は、目的地を検索し、画面上に表示されている状態で行なってください。現在地（自車位置）が表示されている状態では、目的地の設定はできません。	「ココニイク」	「目的地を設定します」 →全ルート図が表示されます。 **目的地が設定されているとき** 「目的地を上書きしますか？」 ▶ 目的地を上書きするときは、「はい」を発声します。
		画面上に自車位置が表示されているとき 「自車位置では目的地設定できません」
		1km 表示以上の縮尺で拡大表示しているとき 「この縮尺では操作できません。縮尺を500m に変更します」
		目的地が海や河川の上にあるとき 「水面上には目的地を設定できません」
		目的地が高速道路上にあるとき 「目的地を高速道路上に設定しますか？」 ▶ 目的地を高速道路上に設定するときは、「はい」を発声します。 **目的地が有料道路上にあるとき** 「目的地を有料道路上に設定しますか？」 ▶ 目的地を有料道路上に設定するときは、「はい」を発声します。 **目的地が橋の上にあるとき** 「目的地を橋の上に設定しますか？」 ▶ 目的地を橋の上に設定するときは、「はい」を発声します。 **目的地がトンネル内にあるとき** 「目的地をトンネル内に設定しますか？」 ▶ 目的地をトンネル内に設定するときは、「はい」を発声します。 ℹ 「いいえ」を発声すると、「一般道に目的地を設定します」と返答されます。

通過点を設定する

機能	音声コマンド	返答
通過点を設定する ℹ この音声コマンドは現在地画面から、地図スクロール画面で地図を移動しているときに使用できます。 ℹ この音声コマンドは目的地が設定され、ルート案内を行なっているときに使用できます。	「ツウカテンセッテイ」 「ツウカテンニセッテイ」 「ケイユチセッテイ」 「ケイユチニセッテイ」 「ココニタチヨル」	**通過点が設定されていないとき** 「通過点 1 に設定します」 **通過点 1 が設定されているとき（通過済みまたは未通過）** 「通過点 2 に設定します」 **通過点 1 および 2 が設定されているとき（未通過）** 「通過点 1 を上書きしますか？」 ▶ 通過点 1 を上書きするときは、「はい」を発声します **通過点 1 および 2 が設定されているとき（通過点 1 を通過済み）** 「通過点 2 を上書きしますか？」 ▶ 通過点 2 を上書きするときは、「はい」を発声します →通過点が設定されると、ルート探索を開始し、全ルート図が表示されます。
		通過点が海や河川の上にあるとき 「水面上には通過点を設定できません」

機能	音声コマンド	返答
通過点を設定する ℹ この音声コマンドは現在地画面から、地図スクロール画面で地図を移動しているときに使用できます。 ℹ この音声コマンドは目的地が設定され、ルート案内を行なっているときに使用できます。	「ツウカテンセッテイ」 「ツウカテンニセッテイ」 「ケイユチセッテイ」 「ケイユチニセッテイ」 「ココニタチヨル」	**通過点が高速道路上にあるとき** 「通過点を高速道路上に設定しますか？」 ▶ 通過点を高速道路上に設定するときは、「はい」を発声します。 **通過点が有料道路上にあるとき** 「通過点を有料道路上に設定しますか？」 ▶ 通過点を有料道路上に設定するときは、「はい」を発声します。 **通過点が橋の上にあるとき** 「通過点を橋の上に設定しますか？」 ▶ 通過点を橋の上に設定するときは、「はい」を発声します。 **通過点がトンネル内にあるとき** 「通過点をトンネル内に設定しますか？」 ▶ 通過点をトンネル内に設定するときは、「はい」を発声します。 ℹ 「いいえ」を発声すると、「一般道に通過点 1（または「通過点 2」）を設定します」と返答されます。
		目的地が設定されているが、ルート案内が行なわれていないとき 「ルート案内中ではありません」
		目的地が設定されていないとき 「目的地が設定されていません。目的地を設定してからお使いください」
		通過点 1 および 2 を通過済みのとき 「これ以上設定できません」

機能	音声コマンド	返答
通過点を削除する	「ツウカテンサクジョ」 「ツウカテンヲサクジョ」 「ツウカテンヲサクジョスル」 「ケイユチサクジョ」 「ケイユチヲサクジョ」 「ケイユチヲサクジョスル」	**通過点を通過していないとき** 「通過点を削除します」 **または** 「通過点 1 を削除します」 **通過点 1 を通過済みのとき** 「通過点 2 を削除します」
		通過点をすでに通過しているとき 「通過点は通過済みです」
		通過点が設定されていないとき 「通過点がありません」

ルートを再探索する

機能	音声コマンド	返答
有料道路を優先したルートに再探索する	「ユウリョウドウユウセン」 「ユウリョウ」 「ユウリョウルート」 「コウソクユウセン」 「コウソクドウロユウセン」	「有料道路を優先して再検索します」
		目的地が設定されていないとき 「目的地が設定されていません。目的地を設定してからお使いください」
		ルート案内が行なわれていないとき 「ルート案内中ではありません」
一般道を優先したルートに再探索する	「イッパンドウユウセン」 「イッパン」 「イッパンルート」 「イッパンユウセン」	「一般道路を優先して再検索します」
		目的地が設定されていないとき 「目的地が設定されていません。目的地を設定してからお使いください」
		ルート案内が行なわれていないとき 「ルート案内中ではありません」

機能	音声コマンド	返答
推奨ルートでルートを再探索する	「スイショウルート」 「スイショウ」	「推奨ルートで再探索します」
		目的地が設定されていないとき 「目的地が設定されていません。目的地を設定してからお使いください」
		ルート案内が行なわれていないとき 「ルート案内中ではありません」
距離優先でルートを再探索する	「キョリユウセン」 「キョリ」 「キョリルート」	「距離優先で再探索します」
		目的地が設定されていないとき 「目的地が設定されていません。目的地を設定してからお使いください」
		ルート案内が行なわれていないとき 「ルート案内中ではありません」
別ルートの探索をする	「ベツルート」 「ベツルートタンサク」	「別ルートで再探索します」
		目的地が設定されていないとき 「目的地が設定されていません。目的地を設定してからお使いください」
		ルート案内が行なわれていないとき 「ルート案内中ではありません」
現在選択されているルートを再探索する	「リルート」 「サイタンサク」 「ルートサイケイサン」	「目的地までの再探索をします」

機能	音声コマンド	返答
迂回探索する	「ウカイタンサク」 「ゼンポウウカイ」 「ウカイルート」	「迂回探索をします」
		目的地が設定されていないとき 「目的地が設定されていません。目的地を設定してからお使いください」
		ルート案内が行なわれていないとき 「ルート案内中ではありません」 以下のときも同じ返答が行なわれます。 • 目的地が設定されているが、ルート探索がまだ完了していない • 目的地が設定されているが、ルート案内が中止されている • 目的地に到着している

ルート案内の中止 / 再開

機能	音声コマンド	返答
ルート案内を中止する	「アンナイチュウシ」 「アンナイストップ」 「ガイドストップ」 「ガイドキャンセル」	「ルート案内を中止します」
		ルート案内が行なわれていないとき 「ルート案内中ではありません」
		目的地が設定されていないとき 「目的地が設定されていません。目的地を設定してからお使いください」
ルート案内を再開する	「アンナイサイカイ」 「アンナイカイシ」 「ガイドサイカイ」	「ルート案内を再開します」
		ルート案内が行なわれているとき 「ルート案内中です」
		ルート探索中のとき 「ルート探索中です」
		ルート案内が行なわれていないとき 「ルート案内中ではありません」
		目的地が設定されていないとき 「目的地が設定されていません。目的地を設定してからお使いください」

ルート案内中の表示切り替え

機能	音声コマンド	返答
全ルート図を表示する	「ルートゼンタイ」 「ゼンルートヒョウジ」	「全ルート図を表示します」
		ルート案内が行なわれていないとき 「ルート案内中でないため表示できません」 以下のときも、同じ返答が行なわれます。 • 目的地が設定されているが、ルート探索がまだ完了していない • 目的地が設定されているが、ルート案内が中止されている • 目的地に到着している • 目的地が設定されていない
分岐点案内図の表示を設定する	「ブンキテンアンナイズヒョウジ」 「ブンキテンアンナイヒョウジ」 ℹ 一般道を走行中で、ルート案内中に設定できます。	「分岐点案内図の表示設定をオンにします」
		分岐点案内図が表示されない状況のとき 「分岐点案内図の表示設定をオンにできません」
分岐点案内図の表示を解除する	「ブンキテンアンナイズヒョウジカイジョ」 「ブンキテンアンナイヒョウジカイジョ」 ℹ 一般道を走行中で、ルート案内中に解除できます。	「分岐点案内図の表示設定を解除します」
		分岐点案内図が表示されない状況のとき 「分岐点案内図の表示設定を解除できません」

機能	音声コマンド	返答
高速案内図の表示を設定する	「コウソクアンナイズヒョウジ」 「コウソクアンナイヒョウジ」 ℹ 高速道路または都市高速道を走行中で、ルート案内中に設定できます。	「高速案内図の表示設定をオンにします」
		高速案内図が表示されない状況のとき 「高速案内図の表示設定をオンにできません」
高速案内図の表示を解除する	「コウソクアンナイズヒョウジカイジョ」 「コウソクアンナイヒョウジカイジョ」 ℹ 高速道路または都市高速道を走行中で、ルート案内中に解除できます。	「高速案内図の表示設定を解除します」
		高速案内図が表示されない状況のとき 「高速案内図の表示設定を解除できません」
都市高 3D 図の表示を設定する	「トシコウスリーディーズヒョウジ」 「トシコウスリーディーヒョウジ」 ℹ 都市高速道を走行中で、ルート案内中に設定できます。	「都市高 3D 図の表示設定をオンにします」
		都市高 3D 図が表示されない状況のとき 「都市高 3D 図の表示設定をオンにできません」
都市高 3D 図の表示を解除する	「トシコウスリーディーズヒョウジカイジョ」 「トシコウスリーディーヒョウジカイジョ」 ℹ 都市高速道を走行中で、ルート案内中に解除できます。	「都市高 3D 図の表示設定を解除します」
		都市高 3D 図が表示されない状況のとき 「都市高 3D 図の表示設定を解除できません」

メモリ地点に登録する

機能	音声コマンド	返答
メモリ地点を登録する	「メモリーチテン」 「チテントウロク」 ℹ メモリ地点は、100 カ所まで登録することができます。	「メモリ地点に登録しました」 **メモリ地点がすでに 100 カ所登録されているとき** 「メモリ地点がいっぱいです」

VICS 表示

機能	音声コマンド	返答
VICS 高速道情報を表示する	「ビックスコウソクドウヒョウジ」	「VICS 情報の表示を高速道路にします」 **2km 表示以上の縮尺で表示しているとき** 「VICS 情報の表示を高速道路にします。ただし、この縮尺では表示されません」
VICS 高速道情報を解除する	「ビックスコウソクドウヒョウジカイジョ」	「VICS 高速道情報の表示を解除します」 **2km 表示以上の縮尺で表示しているとき** 「VICS 高速道情報の表示を解除します。ただし、この縮尺では表示されません」
VICS 一般道情報を表示する	「ビックスイッパンドウヒョウジ」	「VICS 情報の表示を一般道にします」 **2km 表示以上の縮尺で表示しているとき** 「VICS 情報の表示を一般道にします。ただし、この縮尺では表示されません」
VICS 一般道情報を解除する	「ビックスイッパンドウヒョウジカイジョ」	「VICS 一般道情報の表示を解除します」 **2km 表示以上の縮尺で表示しているとき** 「VICS 一般道情報の表示を解除します。ただし、この縮尺では表示されません」
VICS 全道路情報を表示する	「ビックスゼンドウロヒョウジ」	「VICS 情報の表示をすべての道路にします」 **2km 表示以上の縮尺で表示しているとき** 「VICS 情報の表示をすべての道路にします。ただし、この縮尺では表示されません」

機能	音声コマンド	返答
VICS 全道路情報を解除する	「ビックスゼンドウロヒョウジカイジョ」	「VICS すべての道路情報の表示を解除します」 **2km 表示以上の縮尺で表示しているとき** 「VICS すべての道路情報の表示を解除します。ただし、この縮尺では表示されません」
渋滞・混雑線を表示する ℹ VICS 表示が解除されているときは表示されません。	「ジュウタイコンザツヒョウジ」 「ジュウタイコンザツセンヒョウジ」	「VICS 情報による渋滞混雑線の表示設定をオンにします」
渋滞・混雑線の表示を解除する	「ジュウタイコンザツヒョウジカイジョ」 「ジュウタイコンザツセンヒョウジカイジョ」	「VICS 情報による渋滞混雑線の表示設定を解除します」
順調線を表示する ℹ VICS 表示が解除されているときは表示されません。	「スイテイルミチヲヒョウジ」 「ジュンチョウセンヒョウジ」	「VICS 情報による順調線の表示設定をオンにします」
順調線の表示を解除する	「スイテイルミチヒョウジサクジョ」 「スイテイルミチヒョウジカイジョ」 「ジュンチョウセンヒョウジサクジョ」 「ジュンチョウセンヒョウジカイジョ」	「VICS 情報による順調線の表示設定を解除します」
規制情報を表示する	「キセイジョウホウヒョウジ」	「VICS 情報による規制情報の表示設定をオンにします」
規制情報の表示を解除する	「キセイジョウホウヒョウジサクジョ」 「キセイジョウホウヒョウジカイジョ」	「VICS 情報による規制情報の表示設定を解除します」

その他の音声コマンド

機能	音声コマンド	返答
目的地の到着予想時刻を確認する	「イツ ツキマスカ」 「イツ ツクノ」 「トウチャクヨソウジコク」	「目的地までの到着予想時刻は午前（午後）xx 時 xx 分（ちょうど）です」
		案内ルートを外れているとき 「案内ルートからはずれているため目的地までの到着予想時刻が計算できません」
		ルート案内情報が取得できないとき 「目的地までの到着予想時刻が計算できません」
		目的地が設定されていないとき 「ルート案内中ではありません」 以下のときも同じ返答が行なわれます。 • 目的地が設定されているが、ルート探索がまだ完了していない • 目的地が設定されているが、ルート案内が中止されている • 目的地に到着している
現在走行中の道路を確認する	「イマハシッテイルドウロワ」 「ゲンザイノドウロ」	**都市間の高速道路、都市高速または有料道路を走行しているとき** 「現在高速道を走行中です」
		国道または県道を走行しているとき 「現在 xx、xxx 号線を走行中です」
		その他の一般道を走行しているとき 「現在一般道を走行中です」
		その他の道路を走行しているとき 「走行している道路名称がわかりませんでした」

機能	音声コマンド	返答
ルート上の渋滞情報を確認する	「ジュウタイワアリマスカ」 「ジュウタイジョウホウ」	「およそ xx 先に VICS 情報による渋滞があります」
		ルート上に渋滞箇所がない、または VICS に表示されていないとき 「この先 VICS 情報による渋滞はありません」
		ルートを外れているとき 「案内ルート上ではありません」
		ルート案内が行なわれていないとき 「ルート案内中ではありません」 以下のときも同じ返答が行なわれます。 • 目的地が設定されているが、ルート探索がまだ完了していない • 目的地が設定されているが、ルート案内が中止されている • 目的地に到着している
		目的地が設定されていないとき 「目的地が設定されていません」
日付を確認する	「キョウワナンニチ」	「今日は xx 月 xx 日 x 曜日です」
時間を確認する	「イマナンジ」	「ただ今午前（午後）x x 時 x x 分（ちょうど）です」
ETC カードの状態を確認する	「イーティーシーカードワハイッテイマスカ」 「イーティーシーカードジョウタイ」 「イーティーシーカード」	**ETC カードが挿入されているとき** 「ETC カードは挿入されています」
		ETC カードが挿入されていないとき 「ETC カードが挿入されていません」
		ETC が使用できないとき 「ETC は使用できません」

ヘルプ機能

機能	音声コマンド	返答
COMAND システムの各アプリケーションを切り替えるための音声コマンドを表示する ⓘ “ｼｽﾃﾑ” → “システム” → “音声認識設定” で “ヘルプ表示” を解除しているときは、ヘルプ機能は表示されません。	「ヘルプ」	「機能を切り替えるためのコマンドを表示します。各機能で使える代表的なコマンドは音声認識中にヘルプ表示が出ます」

音声コマンドの訂正

機能	音声コマンド	返答
入力した音声コマンドを訂正する	「テイセイ」 「モドル」 「チガウ」	「訂正します」 ⓘ 入力している音声コマンドがないときは、音声認識が終了します。

施設ジャンルの音声コマンド一覧

ジャンル		音声コマンド
買い物	スーパーマーケット	スーパー
	デパート	デパート / ヒャッカテン
	ホームセンター	ホームセンター
	ディスカウントストア	ディスカウントストア / ディスカウント
	書店	ホンヤ / ショテン
	CD ショップ	シーディーヤ
	レンタルビデオ / CD	レンタルビデオシーディー / レンタルビデオ / レンタルシーディー
	靴屋	クツヤ
	玩具店	オモチャヤ
	電器店	デンキテン / デンキヤ
	スポーツ / ゴルフ用品店	スポーツヨウヒンゴルフヨウヒン / スポーツヨウヒン / ゴルフヨウヒン / スポーツヨウヒンテン / ゴルフヨウヒンテン
	釣具店	ツリグ
車	メルセデスベンツサービス工場	メルセデスベンツサービスコウジョウ / エムビーサービスコウジョウ / ベンツサービスコウジョウ / メルセデスベンツサービス / エムビーサービス / ベンツサービス
	カー用品店	カーショップ / カーヨウヒン
	駐車場	チュウシャジョウ
	洗車場	センシャジョウ

ジャンル		音声コマンド
宿泊	ホテル	ホテル
	ビジネスホテル	ビジネスホテル
	旅館	リョカン
	温泉旅館	オンセンリョカン
	ペンション	ペンション
	公的宿泊施設	コウテキシュクハクシセツ
	カプセルホテル	カプセルホテル
	ラブホテル	ファッションホテル / ラブホテル / ラブホ
遊ぶ	ゴルフ場	ゴルフジョウ / ゴルフ
	ゴルフ練習場	ゴルフレンシュウジョウ
	テニスコート	テニスコート
	スキー場	スキージョウ
	スケート場	スケートジョウ / スケートリンク
	プール	プール
	海水浴場	カイスイヨクジョウ
	ボーリング場	ボーリングジョウ
	サッカー場	サッカージョウ
	野球場	ヤキュウジョウ
	バッティングセンター	バッティングセンター
	体育館	タイイクカン
	サーキット	サーキットジョウ / サーキット
	キャンプ場	キャンプジョウ オートキャンプジョウ / キャンプジョウ / オートキャンプジョウ

ジャンル		音声コマンド
遊ぶ	マリーナ	ヨットハーバー マリーナ / ヨットハーバー / マリーナ
	遊園地 / テーマパーク / リゾート施設	ユウエンチ テーマパーク リゾートシセツ / ユウエンチ / テーマパーク / リゾートシセツ / リゾート
	水族館	スイゾクカン
	動物園	ドウブツエン
	植物園	ショクブツエン
	映画館	エイガカン
	ゲームセンター	ゲームセンター / ゲーセン
	競馬場 / 競輪場 / 競艇場	ケイバジョウ ケイリンジョウ キョウテイジョウ / ケイバジョウ / ケイリンジョウ / キョウテイジョウ
	温泉	オンセン
食べる	ファミリーレストラン	ファミリーレストラン / ファミレス / レストラン
	ファーストフード	ファーストフード
	ドライブイン	ドライブイン
公共	警察署	ケイサツショ / ケイサツ / コウバン
	役所	ヤクショ
	図書館	トショカン
	保健所	ホケンジョ
	郵便局	ユウビンキョク
	病院	ビョウイン
	動物病院	ドウブツビョウイン

ジャンル		音声コマンド
交通	IC / SA / PA	アイシー エスエー ピーエー / インターチェンジ / サービスエリア / パーキングエリア / インター / エスエー / ピーエー
	駅	エキ
	空港	クウコウ
	港	ミナト / フェリー
	バスターミナル	バスターミナル
	トラックターミナル	トラックターミナル
	道の駅	ミチノエキ
文化	劇場 / イベントホール	ホール ゲキジョウ イベントホール / ホール / ゲキジョウ / イベントホール
	美術館	ビジュツカン
	博物館	ハクブツカン
	名所 / 旧跡 / 城跡	メイショ　キュウセキ　ジョウセキ / メイショ / キュウセキ / ジョウセキ / シロアト
	神社 / 寺院 / 教会	ジンジャ ジイン　キョウカイ / ジンジャ / ジイン / キョウカイ
	公園 / 緑地	コウエン　リョクチ / コウエン / リョクチ
観光	展望台	トウ テンボウダイ / テンボウダイ
	桜の名所	サクラノメイショ / ハナミ
	紅葉の名所	モミジノメイショ / コウヨウノメイショ / モミジガリ
	梅の名所	ウメノメイショ
	花の名所	ハナノメイショ
	祭り	マツリ
	花火大会	ハナビタイカイ / ハナビ
	観光案内所	カンコウアンナイジョ

ジャンル		音声コマンド
その他	結婚式場	ケッコンシキジョウ
	葬儀場	ソウギジョウ
	銭湯	セントウ
	3D ランドマーク	スリーディーランドマーク

数字の読み方（電話番号、郵便番号）

0	ゼロ、レイ、マル
1	イチ
2	ニ、ニー
3	サン
4	ヨン
5	ゴ、ゴー
6	ロク
7	ナナ
8	ハチ
9	キュー

数字の読み方（丁目、番地、号）

1	イチ
2	ニ、ニー
3	サン
4	ヨン
5	ゴ、ゴー
6	ロク
7	ナナ
8	ハチ
9	キュー
十の桁	ジュウ
百の桁	ヒャク、ビャク、ピャク
千の桁	セン、ゼン

※この取扱説明書の内容は、2011 年 4 月現在のものです。

総輸入元
メルセデス・ベンツ日本株式会社
〒106-8506 東京都港区六本木一丁目 9 番 9 号 六本木ファーストビル

CLS / E

環境保護のため、この取扱説明書は再生紙を使用致しました。

MBJCSD 32660-041101800 F